大ショック!! 髙田、佐竹、そしてエンセン敗れる!

2000年3月9日発行3月9日増刊（毎月第2・第4木曜日発行）第2巻・第4号・通算16号

SRS-DX

Special Ring Side

スペシャル・リング・ガイド

3・9 臨時増刊
2000
定価680YEN

1・30 PRIDE GRAND PRIX GP 2000 完全速報

時代に凱旋した男

猪木から藤田へ!!

勝利は奴の存在証明

SRS-DX 3・9臨時増刊 No.16

1・30『PRIDE GP 2000』速報号
1・25『K-1 RISING 2000』長崎大会

編集人・吉川良治 発行人・細沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F 電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

第1R終了後、左ヒザの痛みが甦った髙田。一本は取られなかったのだが…

なぜだ!?

極められなかった髙田、されど、攻めなかった髙田。

グレイシー一族の危機にドンのエリオが立ち上がった。
そして、このエリオが一族のために選んだのがホイスだった

グレイシー一族の逆襲 ホイス、勝つ!

▼懐かしいグレイシー・トレインで入場。グレイシーの危機に、本家が団結した

UFC時代の時のように、ものすごい殺気で入場して来たホイス。体重81キロでこのトーナメントに出場して来たのは立派だ

グレイシー・トレイン 一族の絆

殺気！

グレイシーを悪く言うヤツを黙らせねばならない

▼堂々と入場してきた高田。その表情には「今度こそ勝つ！」という決意が表れていた

▲体重では10キロ重い高田。ホイスは予告どおり、道衣をつけて立ち向かう

高田VSホイス戦が決まった直後、高田は僕にこんなエピソードを披露してくれた。

高田は好きでVTの世界に来たわけではない。打倒グレイシーが目的でVTの世界にやって来たプロレスラーだ。その打倒グレイシーの終着点がホイス。しかし、高田がホイス戦を受けるかどうかの時点で、高田の左ヒザはしゃがめないほどヒドイ状態だった。

高田は迷った。ホイス戦は何がなんでもやりたい。しかし、もう少し時間がほしい。あと1カ月やそこらでは、スパーリングさえ、まともにできないまま試合に臨まなければならないからだ。

そんな高田の背中を押したのは、奥さんの向井亜紀さんだった。ある晩、高田は「1月30日のことだけど……」と何気なく切り出した。すると向井さんは「なに言ってんのよ、出なきゃダメよ」とピシャリと遮ったという。

高田にしてみれば「だって俺、この足だよ」とか、「相手はホイスだよ」と、いろいろグチをこぼしたかったと思う。しかし、向井さんは何も聞かずに、「その日は絶対に試合しなきゃダメよ」と言い切ったのだ。

向井さんがこんなことを言うのは初めてのこと。高田は向井さんのこの閃きに賭けてみようと決意した。きっと俺は勝てるんじゃないか。ヒザは曲がらないけど、高田はそうフッ切ったという。

それからの高田は、精神的にこれまで見たことないほど充実していた。桜庭がホイラーに勝った効果もあっただろう。佐竹や藤田が高田と同じくVTの世界に身を投

▲ホイスが胴タックル。高田はこれを受け止めると、倒れまいと

じ、しかも高田道場を頼って練習

高田の作戦は、相撲では倒れないことだった

▼やはり、高田の腰は重い。ホイスのタックルを見事に受けきった。ここから、高田はヒザで攻めようとしたのだろう

▲ホイスが胴タックル。高田はこれを受け止めると、倒れまいと踏ん張る。ホイスは高田の体に全体重をかけて抱きつき、そのまま引き込んで寝技に持ち込んだ。うまい！

★トーナメント一回戦/第8試合（15分1R）
○ホイス・グレイシー（判定3-0）高田延彦●
〈ブラジル/グレイシー柔術アカデミー〉　〈日本/高田道場〉

じ、しかも高田道場を頼って練習しに来たりする効果もあった。

高田はここのところ終始ゴキゲン。高田道場の中でも、他の誰よりも、スパーリングをこなすほど、心身ともに充実し切っていた。インタビューした時も、数え切れないくらい何度も「今度ばかりは勝ちたい」と口にしていたほどだ。

そんな高田の好調ぶりが、周囲に伝わってきたのか、試合前、バス・ルッテンも、ケン・シャムロックも「高田が勝つ！」と断言していた。そして、ヒクソン戦を含めて3度目となるグレイシー挑戦。高田は対ホイス戦のシミュレーションも自信が持てるくらい立てることができたのである。

高田の作戦は二つあった。ひとつは、ヒクソンやケアー戦で高田が見せた相撲の強さ。ホイスのタックルを受け止め、相撲の差し合いの状態で、ヒザ蹴りなどでダメージを奪っていく作戦だ。

そして、もし寝技になったら、今度はシャムロックがホイスと闘った時のように上になり、ホイスのお腹のあたりで動かず、チャンスをジッと待つ。

これで、高田はホイスから極められることをまず避けた。高田にとっては、今回は勝ちたいと思うと同時に、三度もグレイシーに極められたくないという思いが強かったのである。

だが、その作戦以前に、今回の高田の試合は気分的に見ていて楽だった。3年前のヒクソン戦、僕らは高田に「プロレス」というジャンルそのものを投影しすぎてしまい、もし高田が負ければプロレスがダメになるという切羽詰まっ

シャムロック戦法

動かぬ髙田 その目は何を……

ＵＦＣの時のホイスＶＳシャムロック・シーンを思い出す体勢がずっと続いた。髙田は上になりながらも、ジッと耐えて動かず

▼下から細かい打撃、三角絞めを狙うホイスは、手数で髙田を圧倒した

▼ホイスが下から髙田の首に道衣を巻きつけ極めにかかる。これはルールの上ではＯＫだ

▼ガードポジションのホイスに対して座り込む髙田。桜庭もホイラー戦で見せたが、この状態だと安全だ

た気持ちで試合を見ていた。

しかし、今回は明らかに違う。髙田のそうした大きなリスクを背負った挑戦が道しるべとなり、佐竹や藤田、アレクといった選手を巻き込んで『プライドＧＰ』が出来るほどの新しい格闘技ステージを作り上げた。しかも、後輩の桜庭がホイラーに勝ったのは大きい。髙田はすでに『プライド』で十分役割を果たしているのである。

勝ち負けを超越した存在。今の髙田は、そんなところにいる。だったら、髙田が完全燃焼するかどうか、自由に思い切ってやったらいい。ホイス戦の髙田に期待したのは、そんな思い切りだった。

一方、ホイスの立場はまったく逆である。今回の16名のメンバーの中で、一番「勝ち」「負け」が重くのしかかっているのがホイスだ。ホイラーが桜庭に敗れてから大きくなったグレイシー・バッシング。ホイスはそんな悪口を言うヤツらを黙らせるために、今回の出場を決意した。

グレイシー直系の遺伝子。ＧＰには、一族のドン・エリオも長男ホリオンもやって来た。ホイスのＧＰでの使命は、「優勝」以外の何物でもないのだ。

グレイシー・トレインで入場してくるホイス。柔術衣に身を包み、その目は死さえ覚悟した殺気が漂っている。一方、手枷足枷がはずれ、自由に闘えばいい髙田は、リラックスした表情で入場。

ゴングが鳴る。髙田は実に堂々とした威圧感でホイスの前に立ちはだかった。ホイスがタックル。髙田はこれを作戦どおりに受け止めた。しかし、「髙田のやろうとし

ていることは全て読める」と言っ

PRIDE GRANDPRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

次の獲物は桜庭か？ ホイス、やはり本命――

やはり、血族はプロレスより強いのか？　この怪物トーナメントの中でも、ホイスが本命だ

▼判定はホイス。アグレッシブ度や体重10キロ差のハンディがポイントとなったようだ

足を引きずりながら桜庭に話しかける髙田。「サク、後は頼んだぞ」と言っているのか？

優勝宣言をするホイス。「グレイシー・イズ・ナンバー・ワン」

父エリオ、長男ホリオンと勝利を喜び合うホイス。5年ぶりのＶＴ戦で見事復活した

髙田よ、完全燃焼できたか？

足を引きずりながら控室に帰る髙田。これでＶＴはおしまいか？
髙田は完全燃焼できたか？

ていることは全て読める」と言っていたホイスは、そのまま引き込んでガードポジション。

髙田が次にとったのが、シャムロック戦法だ。シャムロックが二度目のホイス戦でとった上になっても動かない作戦。これで、髙田はスキを見て殴り、チャンスがあればもう一度立てばいい。

しかし、この状態で、5分・10分と刻々と時間が過ぎていく。

ホイスが下から細かくパンチを打ち、カカトをワキ腹に打ち込む。そして、道衣を使って、髙田の首を絞めにかかった。

一方、髙田は動かない。なぜか、ほとんどホイスの下からの攻撃をディフェンスするだけだ。殴れ、髙田！　2人の間に、いったい何が起こっているというのだ。

タイムアップのゴングが鳴った瞬間、観客からため息がもれた。髙田は遂に最後まで、ホイスに一撃も加えることができなかった。もし髙田の重いパンチが、何発かホイスの顔面を襲っていたら、髙田の勝利は間違いなかっただろう。

なぜだ!?　髙田に何が起こっていたのか？　ゴングが鳴って、立ち上がった髙田は、左ヒザが痛む表情を露骨に見せた。やはり、左ヒザを痛めたのか。その謎は、髙田の試合後のコメントで分かったのだが、要はホイスに勝つには、髙田が想定した作戦の次が必要だったということだ。

僕らが髙田に望むことは、髙田自身が納得する完全燃焼。今考えると、向井さんの閃きは、「もっとＶＴをやらなきゃダメ」ということを髙田に暗示するものだったに違いない。

（谷川）

髙田のコメント
（ホイスの）存在自体感謝してますし、勉強になったんで…

――ヒザはどこで痛めたんですか？

髙田　初っぱな。倒れる前。片足踏んで。

――攻撃できないように見えたのは、ヒザの影響ですか？

髙田　関係ないッス。僕の戦法です。攻撃できなくないですよ。あれは僕の始めから考えた作戦なんですよ。

――体重差で自分の方が負けになると思わなかったですか？

髙田　しょうがないじゃん、それは。

――道衣をつかんで首を絞めたりしてきましたけど、それはおかしいとは思わなかったんですか？

髙田　首絞めたのはおかしいから、アピールしたんですけど、道衣で首を絞めてはいけないと聞いてたんで、それを試合中にアピールしたんですけども、向こうの方から「いいんだよ」なんて言われて。「あれ、いいんだっけ」って思って。「しゃーないなぁ」って思ったんですけど。でも、本当はいけないはずなんですけどね。

――右腕を抱えられて、グローブが抜けなくてパンチが出なかったんですか？

髙田　（ホイスは）UFCの場合にはグローブしてなかったじゃないですか。ですから、彼らが道衣を主張するのはやっぱりすべり止めなんですよ。道衣着てグローブつけてると、右ロックされたら抜けないんですよね。それで右手がまったく使えなかった。あとは自分で右手をコントロールされている状態ですから、コントロールされてるのだけは避けようと思って、相手の襟をつかんどいてそれがぶれないように、外側に取られたりしちゃうから。だから、あそこでディフェンスをしました。右手はあまり使えなかったです。その分、向こうは左手を使えなかった。あれは自分も向こうもあそこ止まりですよ、攻撃は。それで自分もあのままだったら、1時間でも2時間でもたぶんずっとあの状態だったと思います。

――立とうとは思わなかったですか？

髙田　え〜、立つチャンスはあったかもしれなかったんですけど、立てなかった。

――それはヒザのせいですか？

髙田　違います。流れの中で。右手が抜けなかった、立つ時に。だから、しっかりかかっちゃってる状態だったんで、かかって立った時に手だけ残っちゃうと、三角とか十字きますから、その三角と十字いくよ、いくよっていう空気が二人の中ではあったんですよ。ちょっと動くと。だから、これが抜ければ立てるんだけど、このまま立っちゃうと腕が残るじゃないですか。そうすると、もってかれちゃうんで。だから、立つよりもまず抜くことが先決でしょ？でも抜けなかったんですよ。

――わき腹のキックは効いたんですか？

髙田　全然、何も。一つも効いてないです。

――バーリ・トゥードに関しては、この試合で一区切りなんでしょうか。

髙田　試合前はね。

――ホイスともう一回やりたいですか？

髙田　凄い勉強になりましたし、自分のもっと立ってる時の展開が出来てればまた別なんですけど、そのスタンドの展開がなかったんで。

――条件は同じでやってほしいんですよ。例えば、向こうが柔術衣を着ているのであれば、髙田選手にも着てほしいし。

髙田　俺着てどうすんだよ（笑）。それは不可能でしょうね。定説ですから、彼らの、道衣は。

――勝ちは勝ちなんでしょうけど、それは彼らの立場と、ルールを利用してるだけ？

髙田　まぁ、そういう時がくれば一番いいのは道衣を着ているホイスを倒すのがね、手っ取り早いんだよね。だから、僕はあくまでも、相手がこういうルールだって言ったらそれに従って、自分はやりたいわけですから。ですから、ホイスはそっちへ話を持っていっちゃうと実現しないですよ。だから、ホイスはイコール道衣、イコール15分とか、フォーエバーとか、時間的にね。そういう風に考えて解釈して落とし所を押さえとかないと、時間が長いとか、道衣着てるとかってなっちゃうと実現しないんで。それは納得してやるしかないですね。

――今までだったら、ドローだったんじゃないですか。体重差や……。

髙田延彦×ホイス・グレイシー

髙田　体重差とあと手数だね。

――それは今までの判定基準ではなかったじゃないですか。ルールに負けたってことですか？

髙田　ルールに負けたっていうか、自分に負けたってことでしょうね。だったら、ルールを自分の味方になるようにね、自分が技術を身に付けて、例えそういう状態であっても、腕を抜いて殴るとか、すぐスタンドにいくとかね。そういうものを身に付ければいいわけですから。

――そういう不利なルールにも関わらずホイスと闘いたい？

髙田　そういうのが、今の自分があるというか、負けたイメージの自分しかないんでしょうけど、3年前より2年前、2年前より1年前、1年前より今のが端で見るより、ほふく前進ですけども、自分を成長させてくれるというのがあると思うので、ですからそういう意味では、存在自体感謝してますし、勉強になったんで、またチャンスがあればホイス・グレイシーとワンマッチでね、試合をさせていただければと思います。

――WWFに上がる話は？

髙田　チャンスがあれば体をバルブアップして薬は使わずに、ナチュラルで（笑）、バーベルいっぱいやって、筋肉隆々になれるようにもうすぐ38ですけども、トライしてみたいという風に思ってますけど。

ホイスのコメント
こちらがタカダを極められると思ってました

――試合を終えての感想を。

ホイス　非常に良い試合だと思います。

――一本勝ち出来なかったことに残念だという気持ちはないですか？

ホイス　対戦相手があまり動かずにあまりアクションを起こさないような時に、KOや一本を取るのはかなり難しいです。

――他の選手と闘いたいという希望はありますか？

ホイス　みんな7人とも残りの選手は手強いので、誰でもいいです。

――桜庭選手も残ってますが。

ホイス　いいことですね。すごくいいことです、それだけですね。

――試合前にこういう展開になることは予想してましたか？

ホイス　いいえ。こちらがタカダを極められると思ってました。

――道衣をつけて闘おうとした最大の理由は？

ホイス　いつも試合でも衣（ギ）を着ますし、トレーニングでも衣（ギ）を着ていますので、伝統的な柔術の一部だからです。

――優勝を狙っていると思いますが、最大の強敵は？

ホイス　自分自身です。自分の頭の中に棲んでいる自分自身です。

――体調はいま何パーセントですか？

ホイス　110パーセントです。今日全ての試合で一つ残らず自分が対戦しても良かったんですけども、そうするとおそらく5月1日に相手がいなくて戻って来られないので、そうしたらお寿司も5月に食べられませんので、また戻って来たいと思ってます。

――過去2回やったヒクソンと髙田選手との試合は参考にしましたか？

ホイス　ビデオを見ました。ヒクソンVSタカダ戦だけでなく、タカダの試合は他のビデオを見ましたので、宿題と思って勉強しました。

――実際闘ってみて、強さはどう感じましたか？

ホイス　タカダは試合の時にとても紳士だった。つまり汚い闘い方をしないということで、その点はとてもよいと思っていますし、自分自身も闘う時は紳士的に闘う。

――強さという点ではどうでしょう？

ホイス　肉体的に強い選手で、基礎があると思います。ただ、なぜだか分からないけど、あまり技を使って来ませんでした。

――道衣を使って髙田選手の首を絞めてましたけど、よくやるんですか？

ホイス　特に好きなテクニックではないけど、ただあれを出来るスキがあったので、やってみました。でも、その後にかなりタカダはかわして守ったと思う。

――グレイシー一族にはギブアップという言葉はありますか？

ホイス　ハハハ（笑）。それはなんだい？

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

「プロレスを守ろうとするな！PRIDEを攻めろ!!」

猪木の一言に藤田が結果を出した！

▼ゴング直後、藤田はしっかりと顔面をガードしてナイマンの打撃に備える

道なき道を迷わず踏み出せ！「イノキイズム」を背負いついに藤田が出陣！

▲開始早々、藤田の土手っ腹に"ナイマン蹴り"の洗礼！

▶一気にラッシュをかけるナイマンが左ストレートを放つ。これがカウンターでヒットし、藤田の左頬骨が腫れ上がった

悪い予感というものは当たりやすいものである。一度、そういう経験をしてしまうと、人間はなかなかそこから脱出できない。

たとえば髙田延彦は3年前と2年前の2回、ヒクソン・グレイシーと闘って、いずれも完敗してしまった。あの敗北を目の当たりにしてしまったら、プロレスファンでなくても臆病になる。

これは一種の〝トラウマ〟と言えるだろう。そこから我々プロレスファンは、グレイシー・アレルギーやバーリ・トゥード恐怖症にかかっている。

この臆病という病を治してくれるプロレスラーは、まだどこにも出現していない。わずかに桜庭和志が昨年、その期待にやっと応えてくれた。

今、プロレス界にとってスターの条件とは、バーリ・トゥードのリングでグレイシーや格闘家の強豪選手を破ることなのだ。

そういうニーズがあることはみんな知っている。ところがこれを逆の立場から見ると、『プライド』にしてもそうだが、プロレスラーを〝なんでも有り〟のリングに引っ張り込んで、やっつけてしまうという構造になっている。

両者の思惑は正反対なのだ。まあこれはマット界に起きている新たな〝闘いの構図〟でもある。

そうであるなら『プライド』を、プロレス側が利用すればいいのだ。この発想を目的意識に初めて具体的に持ったのが、A・猪木だった。

プロレス団体の関係者は『プライド』を〝天敵〟としてとらえ、自分たちの存在を脅かすものとして考えてきた。つまり彼らは外側の敵に対しては、いつも〝守り〟

藤田よ、これをキッカケに『プライド』の顔になってくれ！

▶ハイキックをかいくぐり、ついに藤田のタックルがナイマンの片足を捕らえる

▼インサイドガードの藤田はシアトル特訓を生かし、ナイマンの両腕をコントロールしながらパンチを叩き込む

▼小川直也の『プライド』デビュー戦の時のように、藤田はインサイドガードからアームロックを試みる場面も…

▼ナイマンが藤田を下から突き放して顔面を蹴り上げる。藤田は苦痛の表情だ

の敵に対しては、いつも〝守り〟の立場しかとれない人たちなのだ。

これはプロレス専門誌にも同じことが言える。専門誌の場合「プロレスを守るため」に『プライド』は、なるべく記事にしない姿勢をずっと取り続けている。

しかしプロレスは〝守り〟に入ると、その時点でパワーを失ってしまうのだ。この事実を避けて通るとジャンルとしてのプロレスは、ハッキリ言って死ぬ。

誰かがそれにストップをかけて『プライド』に逆襲をかける必要があったが、それをやったのは我らがA・猪木だった。

猪木はリングスへの参戦が決まっていた藤田を、強引にキャンセルさせて『プライドGP2000』への出場を決めてしまったからだ。

『プライド』恐るべし、『プライド』を無視するべからずと考えた猪木は、自分の方から『プライド』に接近する戦略に出た。

そこに利用すべきものがあればすべて利用する。それがプロレスのダイナミズムの一つでもある。

やはり猪木はその精神を持ち続けていた。そうでなければリスクの大きい『プライド』のリングに、藤田を送り出したりしない。

先のことを心配することよりも、一歩踏み出すことの方を選ぶ猪木には、失敗する可能性も高いがそこは運の強さが猪木にはある。

最後の所ではうまく辻褄を合わせてしまうから不思議である。今回の藤田がまさにそう。バーリ・トゥード系の試合は初体験なのに見事、ハンス・ナイマンを寝技で破ってしまったからだ。

こういう形で猪木と連係プレー

フィニッシュは渾身のケサ固め これが新日本スパーリング王の実力だ！

▲大興奮の観衆に応え藤田はコーナーに駆け上がり雄叫び！

ジェラルド・ゴルドーは同じオランダのナイマンを知り尽くす男として、自ら藤田のセコンドに志願した

ナイマンも完敗を認め、藤田を祝福。「フジタの寝技は強かった……」

藤田の応援に駆けつけた新日本の永田。後輩のＶＴ初勝利に何を思うのか

を組み、しかもきちんと結果を出した藤田は、単にレスラーとして強かったという以外に、何か特別のものを持っている男だ。

実を言うと私もバーリ・トゥード恐怖症の一人で、かつてケンカをやらせたらプロレス界でナンバー1と評判をとったケンドー・ナガサキが、バーリ・トゥードでジョー・フレジャーと試合をしたら、あっさりフレジャーのパンチ一発でリングにのびてしまった。

藤田もナガサキと同じで新日本プロレスでは、スパーリングをやらせたら彼の右に出る者はいないと言われてきた。

我々はそういう時の藤田を見たことがないので、ひょっとしてケンドー・ナガサキと同じことになったらどうしよう。そういういらぬ心配をしてきた。

だから藤田VSナイマン戦を見るのが正直、恐かった。ゴングが鳴っても、恐る恐る試合を見た。

私は藤田が勝てるとは思っていなかったし、藤田が勝った瞬間「え？　本当に勝ったの？」という感じしかなかった。

もっと強い感動があってもいいはずなのだが、これは藤田に高いハードルを求めているがゆえのことだと私はそう解釈している。

藤田の『プライド』参戦の第一歩は、見事にクリアされた。それで目的のすべてが達成されたわけではなく、それはあくまで藤田にとっては、第一歩に過ぎない。

それでも猪木の仕掛けは成功したわけだから、藤田はビッグになるチャンスをつかんだと言える。

要はその波紋がどれだけマット界に波及していくかだ。「藤田に続け！」という動きが出てくるのか、

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

最後に猪木バリのマイクアピール!「道はどんなに厳しくても笑って行こうゼッ!」(ちょっと間違い)

★トーナメント一回戦/第3試合(15分1R)

○藤田和之(1R2分48秒、ケサ固め)ハンス・ナイマン●

〈日本/フリー〉　〈オランダ/フリー〉

▲ナイマンからタップを奪うとあらゆるプレッシャーから解き放たれたのか、感極まって咆吼!

け!」という動きが出てくるのか、どうかにかかっている。

それは猪木が言っているように藤田の輝きが、はたしてどれだけのものになっていくのか?

ひとりの人間の輝きが大きくなっていくと、必ずあとに続くものが出てくるからだ。そうなったらしめたものである。

猪木が2年前の4月4日、東京ドームで引退したときから言い続けてきたものは一つしかない。

道なき道に迷わず踏み出せということだった。その道とは要するにバーリ・トゥードや『プライド』のリングだったのだ。

だが、誰もその道がなんであるかは、わからなかった。気が付くものさえいなかった。

そういう時、猪木は具体的なことは、何も言わない人だからだ。藤田が『プライドGP2000』のリングに上がり、そして勝ったことで、猪木のいう道がハッキリと見えてきた。

猪木が引退してから実に2年と10カ月かかっている。藤田がナイマンに勝った日のメインイベントでは、髙田が判定負けでホイス・グレイシーに敗れている。

髙田はグレイシー一族に3連敗したわけで、そろそろ彼の役割も終わりかけている。前田日明と山崎一夫も引退。

藤田を含めた若い世代の人間がマット界を変えていくしかない。できればこれをきっかけにして藤田には〝『プライド』の顔〟になってほしい。5・1ドームでは藤田には優勝するぐらいの意気込みがないと、私はまずいと思う。

(ターザン山本)

藤田のコメント
新日本プロレスを背負って出てるようなもんですから、ええ

——おめでとうございます。『プライドGP』1回戦を勝ち抜いて、まずご感想を聞かせてください。

藤田　感想ですか？　いや、とにかく無我夢中でね。とにかく倒すってことだけ考えていたから。もう何にも……、頭が真っ白になって、身体だけで動いてたんで、本能でね(笑)。

——裸足で出てくる選手が多い中で、レスリング・シューズを履いて出ていらしたのが非常に新鮮だったんですけれども、それによって足関節を警戒したりとかはしなかったんですか。

藤田　足関節ですか？　うーん、取られたらそれまでだと思うし。それよりも僕の攻撃っていうのはタックルなんで。叩いてからタックルに入るタイプなんで、やっぱりシューズがないとそれだけ踏み込めないっていうか。で、（準備）期間が短かったんで、本当は裸足でやりたかったんですけど、今回はシューズで出ました。

——じゃあ、慣れてるほうでということでシューズを履いた、と。

藤田　ああ、はい。

——相手が打撃の選手ということで、いろいろと展開を想定していたと思うんですけれども、具体的にはどのような作戦を考えていたんですか。

藤田　まあ打撃の選手だから、やっぱり打撃を知らない自分にとっては必ず打撃を当ててくると思ったんで。時間が短かった分、もう当たるのを覚悟で。その代わり、致命傷になるような相手のパンチやトドメのキックを出させる前に2、3発受けても、もう突っ込んでいくというのか。まあ、当たるつもりで、ええ。

——当たっても自分が得意な、自分らしいところで攻めるということですか。

藤田　ええ、もうあとは捕まえて。とにかく捕まえてやろうって気持ちで。

——ナイマン選手のパンチを少しもらったみたいですけど、実際にもらってみてどうでしたか？

藤田　うーん、カウンターで「バンッ！」と当たったんでね。最初、腹に一発「ドンッ！」と。打撃を本当に受けたことなかったんで、物凄いのをもらって「ウッ！」となったんですけど、「ここでうずくまったら終わっちゃうな」と思ったんで、もう突っ込んでいって……。

——最初、ボディにもらったのは蹴りですよね。

藤田　蹴りですね。

——あれがけっこう効いた？

藤田　「ウッ！」ってなりましたね。初めての洗礼ですけど、ええ。

——その左目のほう（の負傷）は、パンチですか？

藤田　そうですね、カウンターで。

——ナイマン選手が跳び蹴りみたいに来た時に藤田選手がタックルに入ろうとしたって感じですかね。

藤田　ただセコンドにゴルドーが付いててですね、「とにかく相手を見ていろ。相手がどんなに振り回して来ても相手を見ていろ。当たってもいいから相手を見ていろ」と言われていましたんで。一発「バンッ！」と腹に来て、頭にきたけど、相手を見て、相手がハイキックに来たんで、冷静に対処できました。

——タックルで倒してからガードポジションを取られまして、その後ちょっと手間取ってましたけれど、あそこはどう考えていましたか。やっぱり横四方（固め）みたいな感じで入りたかったんですか。あるいはマウントで？

藤田　ちょっと休んでました(笑)。というのは、やっぱり初めてのことなんで緊張もあったし、物凄い興奮もしてたんで、「相手を倒すまでは休むな。倒してからはゆっくりと自分のペースで料理しろ」とセコンドにはそう言われていたんで、その通りやりました。

——では、あの展開の時には「さあ、どう料理しようか」というか。

藤田　ええ。

——とりあえず、相手のパンチを下から食わないようにという感じですか。

藤田　はい。まあ、食ってもアゴを引いていればね、致命傷にならないんで。「殴るなら殴れ！」と。

——けっこう、下になった相手の腕を殺す練習をシアトルでしてましたが、けっこうちゃんと生きてましたね。

藤田　そうですね。シアトルでいろいろと教わったのが生きました。

——今日の試合では、猪木会長の赤いタオルだったんですが、猪木さんのほうからどういうコメントを、どういうアドバイスを受けましたでしょうか。

藤田　いや、「俺がどうこう言うことじゃない。おまえの好きにやれ！」と、ええ。ただ、そういう場を提供していただいた方ですから、やっぱり猪木さんには感謝していますし。あとは僕がこういう道に出るということで……、新日本プロレスの社長の藤波社長はじめ長州さんにとても感謝しています、ええ。だからもう、新日本プロレスを背負って出てるようなもんですから、ええ。それに対しては恥ずかしくないように、これから頑張っていこうと思います。

——最後、ナイマンがタップする前に顔面をむしられそうになったじゃないですか。あれはサミングを狙ってたんですか？

藤田　ええ、プロレスでは5カウントまで大丈夫なんで(笑)。2カウントくらいだったですからね、プロレス的には問題ないですね。

——今後の予定を教えてください。次は5月1日にこのドームで2回戦から決勝戦があるのですが。

藤田　はい。えー、今回ちょっといろいろとバタバタしまして。1月……、今年の初めにもこの東京ドームで新日本プロレスの試合もありましたし、月に2回もドームで試合をやって、ちょっと身体的にやっぱり疲れが溜まってるんで、今月いっぱいはゆっくり休みまして。えーっと3月にですね、中旬くらいに猪木さんと一緒にですね、パラオのほうへ行ってそこからスタートさせようと思います、はい。今日はありがとうございました！

藤田和之×ハンス・ナイマン

ナイマンのコメント
寝技は強かったね。パンチで倒せると思っていたんだけどね

——まず最初に、藤田選手の印象を聞かせてください。

ナイマン　彼は立ち技はイマイチだけど、寝技は強かったね。パンチで簡単に倒せると思っていたんだけどね。

——藤田選手のタックルは、どうでしたでしょうか？

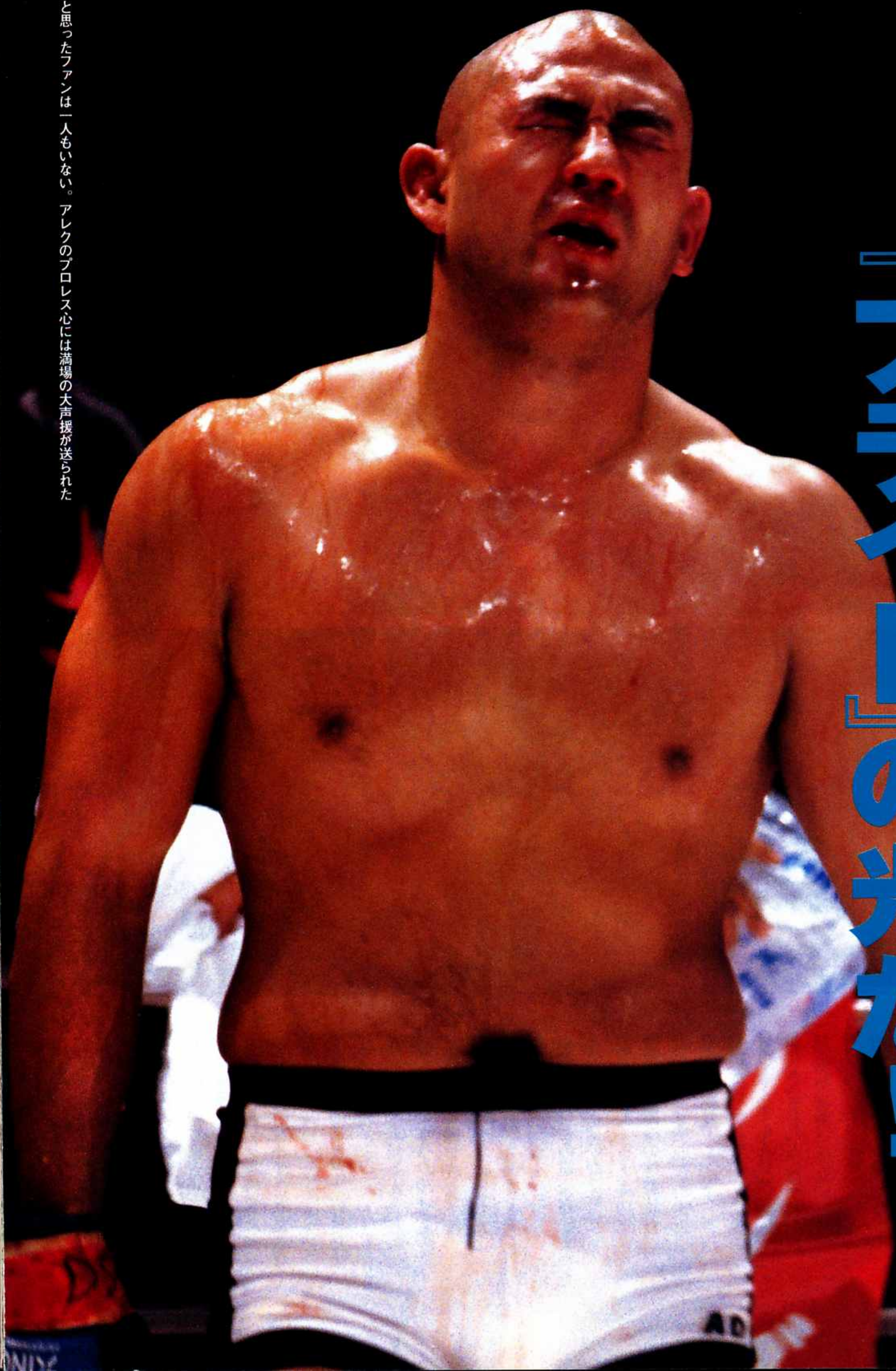
ナイマン　俺がハイキックを蹴っていって、それを失敗した時に足のバランスを崩して、その時にタックルに入られたので、かなりフジタにとっては簡単なタックルだったと思うけれど、そうでなければキチンとタックルを防げたと思うよ。

——相手がフリースタイル・レスリング出身ということで、それに対しては何か対策などは立てていらしたんでしょうか。

ナイマン　いや、フジタとの試合の話を聞いたのが2週間前だったのでね。最初のオファーがサタケ、次がグッドリッジと変わったので、二人とも打撃の選手だったので、それに合わせて打撃中心のトレーニングをしていたんだ。それからフジタに変わったので、とくにフジタに関しては対策は立てていなかったんだ。

息子よ

お前の"プロレス心"は『プライド』の光だ！

負けて悔しいと思ったファンは一人もいない。アレクのプロレス心には満場の大声援が送られた

いきなりドロップキック
見上げた息子ですっ！

序盤、立ち技の攻防からヒザ関節狙いの低空ドロップキック！『プライド』では髙田戦以来の飛び技だぁ

今や『プライド』外国人の中でもナンバーワン・ベビーフェイスのイゴール。ファンの大声援を受けて入場

入場時から'この日一番'とも思えるファンの大声援。あいかわらず道は厳しくとも、笑いながら歩いて入場

今回、アレクはサスケ、村上一成と「SAM」を結成。優勝賞金でお好みプレイ・スポット招待を約束していたが……

息子よ
アレクよ
お前はまったくたいした奴だ
でもボブチャンチンとの試合が
非常においしいだって？
それは俺が
ボブチャンチンを好きだと
知っていて言ったことだよな
そう
俺はボブのことが大好きだよ
だってさあ
あいつは純朴だもん
遠くはるかなウクライナの
月見草って感じかな
俺は心底、ヤツに惚れたよ
そうしたら
息子よ
お前とボブとの試合が決まった
というじゃないか？
これは
お前から俺への挑戦状だ
でも、アレク
言っとくが
お前の読みは甘い
甘いなんてもんじゃない
策におぼれたんだよ
試合にはな
おいしいも
おいしくないもないんだ
お前の若さで
そんな考えは
今後、いっさいやめることだな
お前の将来によくないぞ
第一
ボブチャンチンに失礼だよ
それ以来
俺はボブのことが
さらに好きになった
お前はミスった
大チョンボを犯した
思わず
口がすべって

言ってしまったんだよな

▼イゴールはアレクのタックルと次々とガブッて潰した。このパワーと重量感はさすがだった

▲イゴール相手にパンチを放つアレク。ムチャだぁ！　でも、おいしいっ！　プロレス心のプライオリティーの勝利だ

▲試合開始から5分あたりでアレクの三角絞めが。この体勢からアレクはイゴールの脳天にチョップを放った！

イゴール相手に真っ向打ち合い あっぱれな息子ですっ！

とんでもない右フックがアレクのアゴを直撃。アレクの脳味噌が一瞬、アレクサンダー大塚ダンスクラブ（各自要調査）状態に!?

★トーナメント一回戦/第6試合（15分1R）

○イゴール・ボブチャンチン（判定3-0）アレクサンダー大塚●

〈ウクライナ/フリー〉　〈日本/格闘探偵団バトラーツ〉

言ってしまったんだよな
それでどうだった？
ボブチャンチンとの試合は
おいしかったか？
おいしくはないよな
鼻血を出し
顔をあんなに腫らせたら
おいしいなんて
二度と言えないだろう
ボブチャンチンは
息子であるアレク
お前をぶっ倒すために
俺がぶつけた刺客なんだよ
お前には
まだまだ多くの
試練が必要なのだ
そういえば
アレク
この日、お前は
昼、後楽園ホールで
バトラーツの興行に出場
場外乱闘もやったし
ロープにノータッチの
トペ・コンヒーロも
やったというじゃないか？
それが我が息子の
ポリシーなんだろう？
いいぞ
好きなようにやってくれ
朝、早く
東京ドームの
リング作りもやったんだろう？
でもな
もう、それは一昨年の話
プロなら同じことはやるな
そうだろう
俺はそれを今
一番、お前に言いたい
一度、ファンに受けたことは
二度、受けると思うなよ
わかったか？
しかし

馬場さんの遺産は８億7000万円だけではなかった！
馬場さんの命日にアレクの河津掛け〜
河津落としが炸裂！

▼『プライド』の「いいひと。」
もマウント状態で鬼の形相。
イゴールのこういう顔もファン的にはハラショー！

馬場さんの命日に河津落とし さすがは俺の息子ですっ！

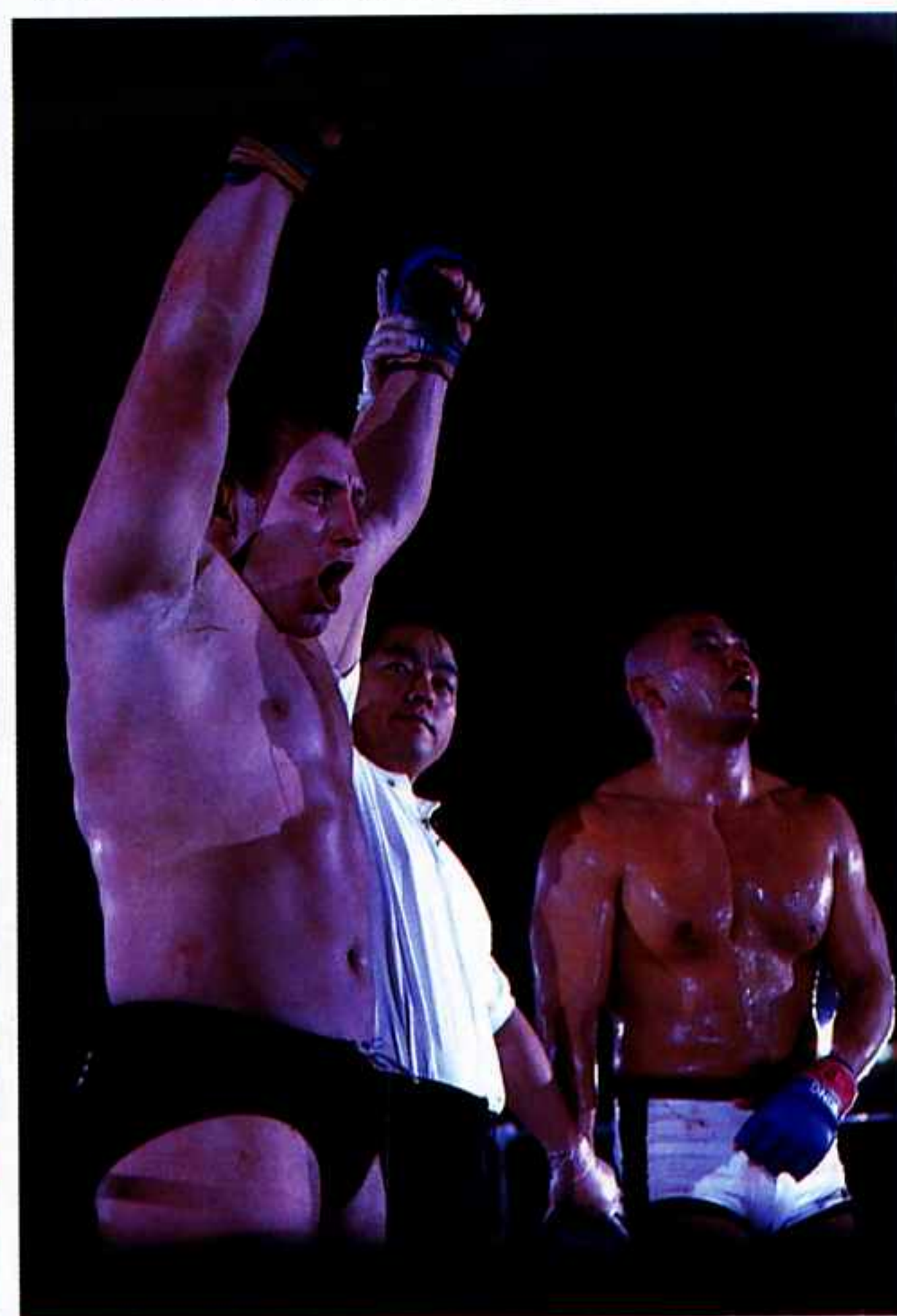
▲前半からアグレッシブに攻めたため、さすがのアレクもスタミナ切れ。森下社長、ギャラをアップしてあげてくださ〜い

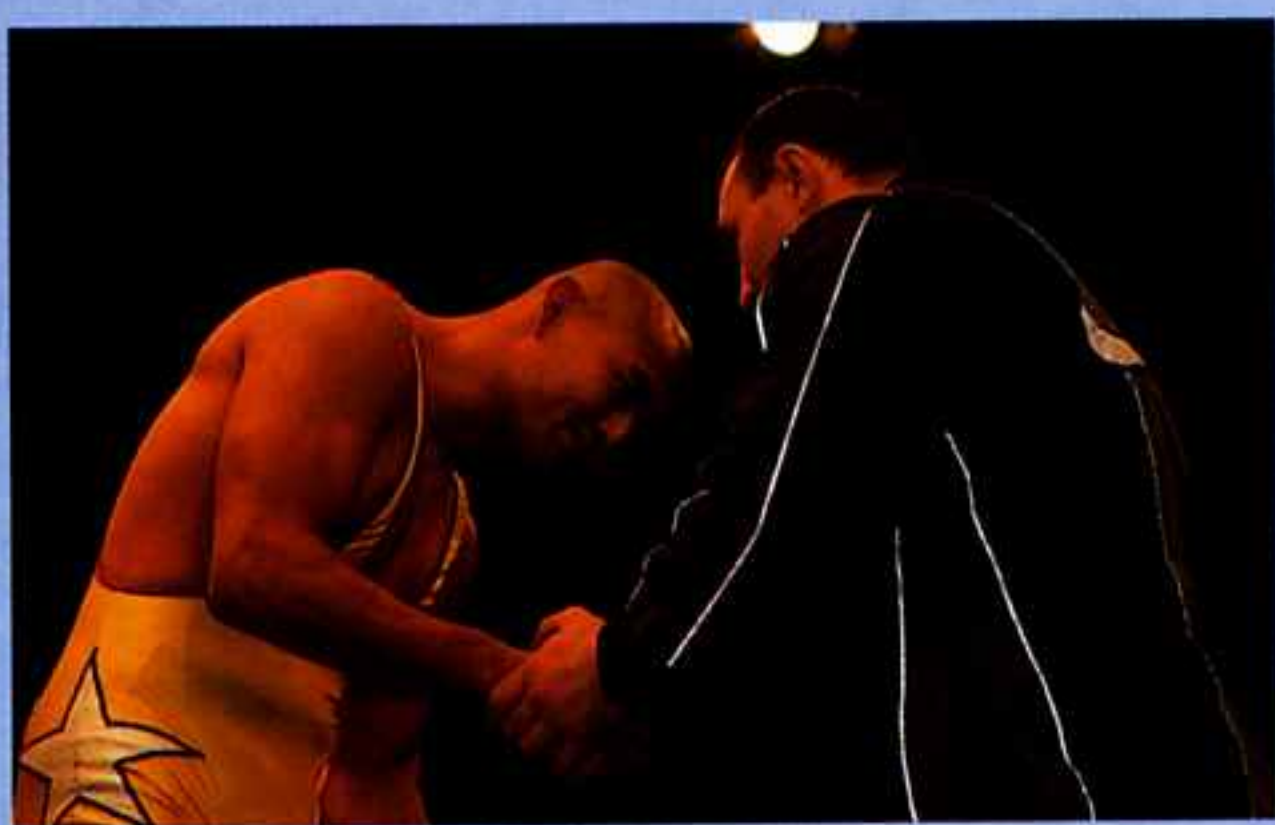
今日のお前は合格点だ
入場シーン
笑顔で出てきたのは
お前だけだった
マーク・コールマンと
マーク・ケアー
二人とも緊張で
顔に余裕がなかった
いかに『プライド』の勝負論が
選手にプレッシャーを
与えているか
あれでよくわかったよ
それに比べて
我が息子
アレクのリラックスぶりは
人を食っていた
あれでいいのだ
しかも
ゴングが鳴ると
お前は
ハードパンチャーの
ボブチャンチンに対して
打ち合いに出ながら
前へ前へ
出ていった
タックルも狙った
お前は鼻血だらけなのに
敵に殴りかかっていく
寝技になった時
三角絞めのチャンスも
あったんだよな
あれは本当に
惜しかった
鼻血が白いマットに
ボタボタと
落ちていった
打撃系の選手に
グラウンドになって
上になられたら
息子の立場はない
それも１回や２回ではない
そのへんのことは

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

試合に負けても“勝ち組”だ これでこそ俺の息子ですっ!

アレクにとっては、やはりおいしかったイゴール戦。イゴールにスパシーバ・チュッ!

▼ネガティブ・ファイトの末の判定決着でなければ、会場のファン大満足のフルタイムだ

「私はサクラバカズシさんと試合したくありません。友だちです」とナイスなコメント。イゴールもターザンの養子候補として急浮上!

この日の昼のバトラーツ後楽園ホール興行にイゴールが表敬訪問。「オーツカ選手は強いですけど秒殺します。チュッ!」と宣言したが……

大会終了後、帰り支度をしたアレクがアリーナ・スペースに登場。残っていたファンから大喝采を浴びた

自分で反省しろ
判定は3対0
いずれもがボブチャンチン
お前はこの結果を
どう受け止めたのか?
本当の意味で
おいしかったのは
お前の方ではなく
ボブチャンチンだった
アレクよ、もう一度、言う
格闘技においしいことなんて
ないんだよ
それにしても
ボブチャンチンは
俺の期待に
バッチリと応えてくれた
あいつは
北の最終兵器なんかではなく
俺たちプロレスファンの
夢と、憧れを
じわじわと感じさせてくれる
ファイターなんだよ
ボブチャンチンを見よ
ボブチャンチンを感じよ
ボブチャンチンのことを思え
そうはいっても
お前の評判は
抜群にいいんだよな
今日はアレクが
良かったよなと
歩きながら話をしている
ファンがいた
ネットを見ても
お前のことをみんな
絶賛しているんだよな
それはお前のアクティブな
ファイトが評価されたんだよ
俺の遺伝子は生きていた
俺が目をつけただけのことは
あるというものだ
うん! これでいいのだ

(ターザン山本=ダメ親父)

イゴールのコメント
オーツカ選手は人間としてたいへんいい人だと思います

——まず、大塚選手の印象を聞かせてください。

イゴール　オーツカ選手はたいへん強い選手だと思います。また、人間としてたいへんいい人だと思います。オーツカ選手と闘うことになったと決まりました時に、オーツカ選手のことを想定して、多く時間を割いてトレーニングをしました。とくにグラウンド・ワークに力を入れました。

——闘っていて「危ない」と思った場面はありましたか。

イゴール　他のどの試合でもそうですが、立ち技では「危ない」と思った場面はありませんでした。ただ、寝技では本当に「危ない」という場面もあり得ますので、とても慎重に対処しました。

——三角絞めはピンチだと思いましたか。

イゴール　それは気付きませんでした（笑）。それをしようとしていたことも気付きませんでした。

——なぜ、そんなに強いのですか。

イゴール　まあ、このように生まれついたのです。

——今回の相手の大塚選手はタックルが巧いんですが、なぜ巧くタックルを切ることができるんですか？

イゴール　確かに私は立ち技のほうが得意ですけれども、定期的にレスリングのトレーニングを、そして寝技のトレーニングをちゃんと積んでおりますし、完璧にできるようにしています。

——途中、マウントを取ったのですが、マウントポジションからのパンチというのはあまり得意ではないんですか。

イゴール　それは先ほど言いましたように、私は立ち技のほうが得意だという理由なのです。たとえマウントポジションでも拳に力を最大限に込めにくいのです。というのもそれは対戦相手を動かさないようにしなければいけないからです。だからパンチになかなか力が入らないのです。

——トーナメントで次に闘いたい相手は誰ですか。

イゴール　これまで闘うことができなかった相手とぜひ闘いたいです。

——マーク・ケアー選手ともう一度決着をつけたいと思いますか。

イゴール　ええ、闘いたいと思っています。

イゴール・ボブチャンチン×アレクサンダー大塚

アレクのコメント
これだけキレイな顔にしていただいて、ありがとう、と

アレク　ありがとうございましたあ〜。なんでも聞いてくださ〜い。

——大塚選手にとって、今日の試合の15分間というのは長い15分間か、短い15分間か、どちらでしたか。

アレク　う〜ん、長かったですね〜。やっぱりタックルに入ってからガブられて、ガブりを研究してましたもんね。あのプレッシャーがキツくてキツくて。とにかく圧迫がキツくて長かったですね。コツコツコツコツ入れられて。

——あそこからの反撃はどんなことを考えていたんですか。

アレク　ロープへ押し込んでから、引っついてテイクダウンを狙ってたんですけど、巧いですよね。巧いというか、さっきイゴールのマネージャーみたいな人が言ってたんですが、「アレクサンダー、タックル！　タックル！」って、タックルを切るトレーニングしてたらしいですからね。みちのくプロレスのビーフ・ウェリントンみたいで、チョロイかなって思ったんですけど……。まあチョロイとは思わないですけど、似てるなと思って。でも、一番ビックリしたのは意外に僕のほうがプレッシャーをかけていて。まあ、タックルを警戒してたのがあるからでしょうけど、2発くらい僕のロングフックが入って、ちょっと怯んでたのが面白かったですけどね。まあ、インパクト的にはあそこまでいかないけど、『プライド7』のケアーVSイゴール戦の時の「ケアーが!?」と思ったような感じが自分の中には起きました。

——「前に前に」という感じだったんですけど、それは始めから考えていたんですか。

アレク　そうですね。やっぱり守っても仕方ないんで。それにルール・ミーティングの時でも常に森下社長のほうから「アグレッシブなファイトを心がけてください」と言われているので、アグレッシブなファイトをしてギャラを上げていただこうかなと思っていたんで。って、今のは冗談ですけど、僕のプロレスラーとしての感性として、やっぱり前に前に出ていって、試合だから勝ったり負けたりは当たり前なんで。とにかくいいものを見せたかったな、と。そういう部分で5、6分過ぎたあたりから僕はちょっとグラウンドで止まっちゃったのはファンの人に申し訳なかったなと思いますよね。やっぱり入場の時のあの歓声は一昨年のこのドームで初めて闘った時に、あれだけ気持ちいい想いをさせてもらって、今日もね、あれだけ歓声があって僕には凄いありがたかったんですけど。その期待に応えられなかった後半が悔しいですね。

——チャンスは何度かあったと思うんですけど……。

アレク　そうですね、腕とかも取りにいこうと思ったり巻こうとかしたんですけど。いかんせん体重差とパワーですね。あとはあのアンコ型を攻略するのは難しいですね。

——顔がかなり傷だらけなんですけど、効いたのはありました？

アレク　全体的にちょこちょこ、頭をゴツゴツ、たぶん後から腫れ上がってくると思うんですけど……。耳もゴワンゴワンしてて、判定を聞く時の間もフワンフワンしてて気持ちよかったです（笑）。

——途中でマウスピースを捨てたのは、両方の鼻から……。

アレク　いや、マウスピースは捨ててないです。血を吐いただけです。もう鼻や口が血やツバが溜まっちゃって呼吸できなかったんで。どうにかしてと思って、ちょこっとだけ吐いたんです。

——一番のチャンスは三角絞めに行ったところだと思うんですけど。

アレク　そうなんですよねえ！　あそこは惜しかったですよねえ。チョップをしないほうが良かったかもしれないですね。チョップで警戒しましたね、アレ。

——なんであそこでチョップを出したんですか（笑）。

アレク　やっぱり顔を殴られてる分、顔に返そうかなと思って。そうですね、振り返ってみれば三角をやりましたね。

——ちょうど頭に脳天唐竹割りを出したみたいな形でしたね。

アレク　そうなんですよ。顔面を避けて下を向いていたんで「もう、チョップだ！」と思って。あと、低空ドロップキックが当たっていれば、ヒザ関節を壊していましたね。あと残念なのが、タックルからの離れ際の青い炎が出せなかったのが……。

——試合前にサスケさんとかから、作戦とかは授かったんですか。

アレク　もうそれ以前にいろいろ。作戦っていうか、いいところを出して、いい時に青い炎を出せ、と。今回優勝して2000万円入っていれば、村上さんとサスケ社長をそれぞれお好きなプレイ・スポットに僕が招待して「SAM」の活動が大きく広がっていくはずだったんですけど、軍資金がなくなったんで稼がないといけないです。

——試合後はイゴール選手と何を話していたんですか。

アレク　イゴールも凄いヤツですね。僕の所属するバトラーツの昼間の後楽園ホールに足を運んでくれたんですよ。「オーツカさんは強いですけど、私は秒殺します」ってステキな言葉を吐いていってくれたんで、会場が「ドッカンッ！」となりましたね、イゴールには。プロフェッショナルを感じましたね、イゴールには。

——終わってみて、やっぱりおいしい相手でしたか。

アレク　だと思いますよ。闘っていて本当においしく感じました。たぶん皆さんの予想だと、終わるとしたら一発入ってキレイな顔して終わってるかなと思うんですよ。逆にこれだけキレイな顔にしていただいて、ありがとう、と。

——そのTシャツは？

アレク　あ、これはさっきイゴールに僕のTシャツをプレゼントしてきたんですよ。そうしたらイゴールも自分の着ていたものをプレゼントしてくれて。こんなサイン書かれたら着られないですよね。まあ、でもありがたい、「スパシーバ！」と握手を交わしてきました。どうもスパシーバ！

佐竹死刑！

されど、格闘家は
金と、女と、負けることに
テレちゃいけない！

この日、「佐竹死刑」とバックプリントされたニューTシャツを着ていた佐竹。この「佐竹死刑」には深い意味があったのだが、それとは全く別の意味で試合も「佐竹死刑」になってしまった

『プライド』にテーマ曲「闘志天翔」が流れた瞬間、思わず涙が出そうになった

電撃離脱からわずか2カ月。佐竹雅昭が「プライド」のリングへ向かう。これは夢ではないのだ!

会場の大歓声を浴びてリングイン! この表情、実にいいではないか!

▼タックルを切るつもりだった佐竹はコールマンと距離をとる。この距離が何ともいえない緊張感を生んでいた

▲しかし、佐竹がロープ際になり逃げられない状況になったところで、コールマンがタックル!

タックルしたコールマンはもの凄い勢いで、佐竹を持ち上げた。なんていうパワーなんだ!

▼高い所から投げ下ろされた佐竹。ついにテイクダウンを奪われてしまう

◀一度はコールマンのネックロックを外した佐竹だったが、コールマンは2度目のトライで佐竹からタップを奪取。コールマンの鬼の形相を見よ!

いつもK―1で聞き慣れた佐竹のテーマ曲「闘志天翔」が『プライド』の会場で流れた時、思わず涙がこぼれそうになった。佐竹はなぜ、これほどイバラの道を歩むのだろう。今回の『プライドGP』の中でも、一番残酷なのが佐竹の試合だ。まるで「死刑」の宣告。それでも佐竹は実に堂々とした、いい顔で入場してくるではないか。

VTでは、もちろん立ち技の格闘技よりも寝技の格闘技の方が有利。しかも、相手はタックル世界一のレスリング銀メダリスト、コールマン。それはまるで、VTの白帯が、世界王者クラスのファイターに挑むようなものだった。

無茶だ。こんな無謀な男は、佐竹くらいのもの。これじゃあ、グローブをつけてわずか1・2戦で、モーリス・スミスやピーター・アーツに挑んでいった時と同じじゃないか。佐竹という男は、どういう腹の座り方をしているんだ。

佐竹は言う。「格闘家は金と、女と、負けることにテレてはいけない」と。

格闘家は本質的に女々しいところがある。負けることを恐れ、相手を選ぶことで、自分を守ろうとする。しかし、佐竹は違う。だから、佐竹ほど夢の対決を実現して来た男はいない。それは、負けることを、決して恐れていないからだ。負けをいつも笑い飛ばし、明日に向かって歩き出す。佐竹にはそんな明るさと強さがあるのだ。

しかし、佐竹は決して負けを簡単に考えているのではない。その証拠に、今回のGP前もシアトルでミジメなまでに、モーリスやTK（髙阪剛）に寝技でグチャグチ

ヤにされながらも、少しでも強く

ああ、佐竹の首が折れるVTの白帯、残酷な結末

◀一度はコールマンのネックロックを外した佐竹だったが、コールマンは2度目のトライで佐竹からタップを奪取。コールマンの鬼の形相を見よ！

★トーナメント一回戦/第5試合（15分1R）

○マーク・コールマン（1R1分14秒、ネックロック）佐竹雅昭●

（アメリカ/オバケ・ジム）　（日本/怪獣王国）

ャにされながらも、少しでも強くなろうとしていた。その姿は、TKも藤田も感動したほどだ。

34歳にして、必死になってもがき苦しむ佐竹。相手がコールマンということで、逆に佐竹は自分自身を追い込んでいった。佐竹は最後の最後まで、少しでも勝とうとしていたのである。

僕はそんな佐竹の性格をよく知っている。しかし試合前、僕はさらに佐竹にプレッシャーをかけた。

「佐竹さん。今度の勝負、もし石井館長に〝だから、言わないこっちゃない〟と言われたら、佐竹さんの負けですよ」

この一言は正直キツイと思う。しかし、内心緊張しているだろう佐竹に、少しでも弱気になってもらいたくはなかった。弱気になったら、それこそ大ケガをする可能性だって、十分あるからだ。

シアトルの練習を見て思ったのは、佐竹が予想以上にタックルを切ったり、タックルに合わせて打撃を当てるのがうまいことだ。藤田のタックルにも見事に当てる打撃の反射神経。それを見た瞬間、僕は佐竹が100%負けるとは思えなかった。

打撃の選手が、タックルのうまい選手にひっかからないようにするには、自分から攻撃しない方がいい。相手が出て来るところを、一歩左右に引いて、打撃を合わせることだ。佐竹の作戦は完全にそこにあった。

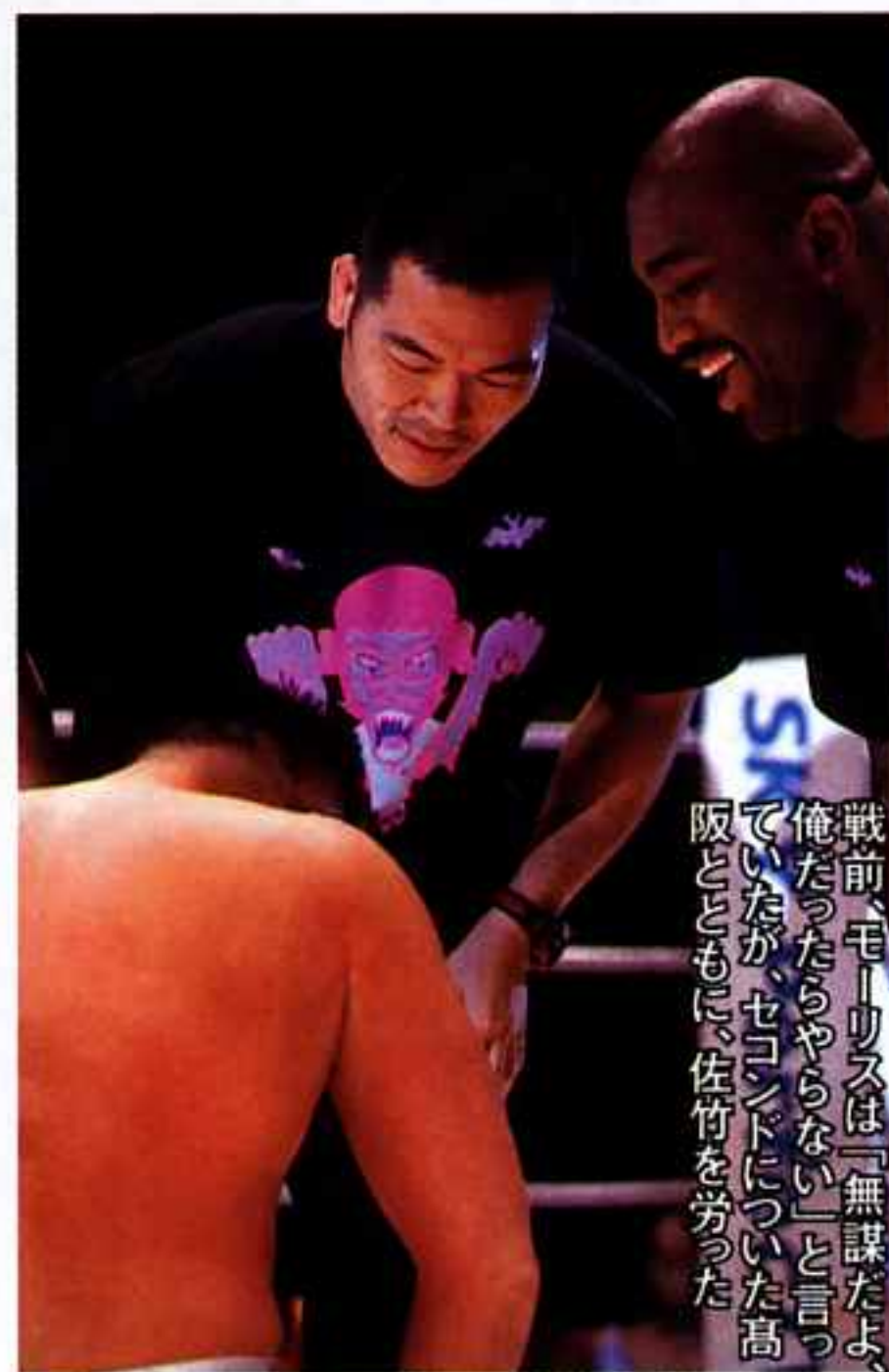
しかし、コールマンはそれを見事に読んでいた。いきなり、タックルにいくのではなく、ジリジリと佐竹との間合いを詰め、ロープ際まで佐竹を追い込んで逃げ場を

自信も戻った！

必ず、私が優勝する！（コールマン談）

▶花道でも勝利に興奮したのかノリノリだったコールマン。ガッツポーズだけでなく、浜さんの「気合いだぁ〜」ポーズも披露していた

▼「3月に入ったら、再びモーリスのところで徹底的に鍛える」と佐竹。この日のためにスパッツを新調した

戦前、モーリスは「無謀だよ、俺だったらやらない」と言っていたが、セコンドについた高阪とともに、佐竹を労った

敗れた直後の佐竹は首に手をやり悔しそうな表情を浮かべていた

コールマンのコメント

「とても気分がいいです。この試合に出るために非常に一生懸命練習してきたので、このトーナメントでは誰にも負けないと思う。サタケに対しては打撃系の選手でとても強いと警戒していたけど、グラウンドに持ち込めば必ず勝てると思っていた。サタケは初めてだから、これから練習すればきっと強くなると思う。私はこの優勝を確信しているし、自信も戻った。私は強いし、必ず優勝する。とにかく、辛抱強くチャンスを待って、サタケをテイクダウンしてパンチを浴びせて最後は関節技で極めるという戦略だった。それが上手くいって大変嬉しいです。（決勝トーナメントは？）対戦相手は誰でもかまわない。相手が誰だろうと関係ない」

佐竹のコメント

「距離をあけて、チャンスがあったらインローとパンチを打ち込んでいくって感じで、そういうヒット＆アウェイ作戦ということで、モーリスから指示をもらったんですけど。ロープに詰められたあとの、一応ガードポジションまではもってたんだけど、そこまでは計算通りだったんですけど、コールマンの力が思った以上に強かったですね。これからが僕のスタートだと思ってますから、負けからのスタートっていうのは、とても厳しいものが僕の目の前に今あると思うんですけども、これで逃げ出さずに、一歩一歩踏み出して歩いていきたいと思っています。みっちり練習して、この借りは必ず返します。ホントはこういうこと言いたくないけど、むかつきます」

封じていったのだ。

「まるでアーツのようなプレッシャーだった」という佐竹。そこまで間合いが詰まったら、むしろ佐竹から内股にローキックや前蹴りをぶち込むしかない。

しかし、佐竹の手が出ない。その紙一重のタイミングで、コールマンはミサイル・タックルを佐竹にぶち込んでいった。しかも、佐竹を空中に持ち上げて叩きつけるという、完璧なタックルだ。

あー、寝たらおしまい。コールマンは全体重を佐竹に乗せて、上からパンチを叩きつける。佐竹がやられている、この見慣れないシーンに目を覆いたくなる。そして、後ろから佐竹の頭を抱え込むようにネックロック。コールマンの数少ない極め技のひとつだ。

ディフェンスがまだまだできない佐竹は、コールマンの馬鹿力で本当に首が折られそうなくらい絞め上げられる。一度はスッポ抜けたが、さすがの佐竹もタップ。今までKO負けは何度も見て来たが、絞め上げられ、佐竹がタップするシーンは初めてだ。

ああなったら、しゃーないと言えばしゃーない。しかし、佐竹がもし間合いが詰まった瞬間、打撃の一発でも入れていたらどうなっていたことだろうか。勝負はそんな紙一重のところで決まったような気がして仕方がない。それだけ佐竹にはまだ幻想がある。

それにしても、この手の異種格闘技戦の空間に入った時の佐竹の色気といったらない。これまで、負けても笑いながら次を見せて来た佐竹。その意味で、これが本当のゼロからの出発なのだ。（谷川）

「死んでもいい」覚悟で臨んだケアー戦だが、判定負けを喫したエンセン。その顔には、ケアーのパンチでできたいくつものアザが

死んでも死にきれない・・・

ついに実現したエンセンVSケアーは意外な膠着戦の末、ケアー判定勝ち

▲後頭部には『死』、背中には『修斗』と『大和魂』。エンセンの生き様が、この後ろ姿に凝縮されていた

ケアー、安全策でエンセンを完封

「今日のケアーはワタシより強かった」（エンセン）

スタンドでの殴り合いしか頭になかったエンセンに対し、ケアーはタックルから寝技に持ち込み、パンチを落とす。その巧さ、強さはエンセンも認めていた

〝死〟

エンセン井上の後頭部には、そう刈り込まれてあった。

「今日、リングに上がる時に、この四角い場所で死んでもいいと思った」（エンセン）

〝格闘技の目的は、相手を潰すこと〟というエンセンは、言葉のあやでもなんでもなく、掛け値なしにこの一戦に命を賭けていたのだ。対戦相手のマーク・ケアーは『霊長類ヒト科最強』と呼ばれる男。過去に対戦が3度キャンセルとなり、その間、ケアーがボブチャンチンに失神させられて評価を下げることもあったが、望みうる最高の相手であるのは変わらない。

だから、エンセンはこれまでも最高のハードトレーニングを積んだ。シューティングジム大宮での実戦さながらのスパーリング。〝鬼の渡辺〟〝ケンカの渡辺〟と恐れられるキックの渡辺ジムでの出稽古もシ烈を極めた。練習の激しさで有名なエンセンが、さらに「いつもよりトレーニングできた」と言い切るほどである。

そんな練習漬けの日々の中、エンセンはひとつの確信を得た。〝頭より体の方が弱い〟ということだ。体がどんなに悲鳴をあげても、頭はギブアップしない。スタミナが切れても、心で動かせる。

「ケアーがワタシ、極めるんだったら、気絶までさせないと。折っても、折った後のこと考えた方がいい。ワタシはタップしない」

極真のブラジル軍団がそうだったが、日本から離れているほど、日本的な美意識は純化された形で心にインプットされるのだろう。ハワイで生まれ育ったエンセンも

どっちか死んでもイイ。殺し合いがしたい!

▶エンセンは最後まで、膠着した試合展開を打破しようとしていた。下からケアーの顔を蹴り上げていく

▲終盤の猪木VSアリ状態。ケアーのローキックは強烈だったが、エンセンも蹴り返した

▲タイムアップ直後の両者。生きるか死ぬかの殴り合いがしたいというエンセンの願いは、最後までかなわなかった

◀パンチとともに効果的だったのが、前腕部を使っての圧迫&絞め。全体重を乗せての攻撃に、エンセンは苦悶の表情

★トーナメント一回戦/第7試合(15分1R)
○マーク・ケアー(判定 2-0)エンセン井上●
(アメリカ/ハンマーハウス)　(日本/PUREBREDシューティングジム大宮)

しかり。もはや現代の日本人には持ちようがないほど巨大で純粋な〝大和魂〟が、この男にはある。

エンセンの心は、試合が近づくにつれ、さらに研ぎ澄まされていった。以前は、ケアーに勝ったらホイスと闘いたいと言っていたが、もうそんな気持ちさえない。

「ケアーに負けたらおしまい。トーナメントだけじゃなくて、もう格闘技できなくなるかもしれないし。とにかく、生きてるかどうかの問題。この試合にすべて賭ける。明日はない」(エンセン)

文字通りの〝死闘〟。それを自ら望んで、エンセンはケアーの待つリングへ向かった。作戦はただひとつ、殴ること。エンセンは試合前のインタビューでこう言った。

「殴り合いになったら最高。手を出したら顔(ガード)が空くからお互いの顔に当たると思う。ワタシは殴りにいくから、彼もKOしたいんだったら殴ってきてほしい」

確かに、闘いの手段として、殴り合いは最もプリミティブかつスッキリした方法だろう。ある意味、男らしいとも言える。だからといって、試合前に自分のガードが甘くなることを予告するヤツがいるか? だけど、そんな古色蒼然とした〝男らしさ〟への憧憬が、たまらなく魅力的なのはどうしてなんだろう…。

午後8時32分。ゴングが鳴った。エンセンは予告通り、ケアーに向かって一直線に進み、渾身の右ストレートを放つ。

しかし、ケアーはそれを見透かしたようにカウンターのタックルを決め、グラウンドに持ち込んだ。ケアーにしてみれば、この試合は

「負けたのが悔しいんじゃない。死ぬまで闘えなかったから…」

▶試合後、エンセンは思わず涙。「泣いたのは悔しかったからじゃない。死ぬまで闘いたかったのに、それができなかったから」

▲判定は2－0でケアーに。エンセンは裁定が発表される前から「悔しくてたまらない」という表情を見せていた

▶5月1日の決勝トーナメントに駒を進めたケアー。1度流れているホイス戦、そしてボブチャンチンとのリマッチを望んでいるという

▲大宮ジムの盟友・朝日昇と兄・イーゲン井上がエンセンの試合を見守る。山本美憂の姿もあった

ケアーのコメント

「この4カ月間、健康状態が悪かったので、闘い方としては保守的だったとは思う。満足のいく試合ではなかった。体の様子を見ながら試合をして、どんな感じか確かめてみた。トーナメントの時には、もっとよく闘いたいと思う。エンセンのことはリスペクトしている。彼が僕のことを悪く言ったとしてもね。（エンセンは生きるか死ぬかの殴り合いをしたかったようだが？）でもまだお互い生きてるからね（笑）。エンセンは巧い選手だから、打撃は有効じゃないと思う。柔術やサブミッションの試合の方が、二人には向いている。（エンセンの後頭部の字の意味は分かったか？）“I LOVE マーク”って書いてあったんだろ（笑）」

エンセンのコメント

「今日、ケアーはワタシより強かった。言い訳、ない。勉強じゃない？　これ。全然大丈夫よ。殴り合いになると思って、パンチだけになっちゃった。十字とかは、汗で滑ってできなかった。また壁ができたから、登らないと。そしたらまた強くなる。ファンには謝りたい。賢い野蛮人になろうとしたけど、賢いだけになった。ケアーには極めにきてほしかったね。試合中、声に出して言ったよ。（後頭部の“死”は）そのつもりでやった。どっちか死んでもいいつもりで。今日、リングに上がる時、この四角い場所で死んでもいいと認めた。そうならなかったから、涙出た。負けて悔しくてじゃない」

『プライド7』でボブチャンチンに失神させられるという醜態をさらして以来の復帰戦なのだ。大事なのは何よりもまず、勝つこと。エンセンの望む殴り合い、いわばギャンブルに付き合ってなどいられないのである。

一度上になったケアーは、やはり強かった。パンパンに張り詰めた筋肉から強烈なパンチを打ち下ろし、エンセンをじっくりと痛めつけていく。エンセンは〝思いって勝負しよう。極めにこいよ〟と訴えたという。しかし、何をどうしようが、ケアーはテコでも動かない。残り1分を切ったところでブレイクがかかり、スタンドの展開になったが、ケアーはやはり殴り合いよりも寝技を選択した。ケアーの勝利への執念と、魔法が宿ったようなパワーがエンセンを完封したのである。「ケアーはワタシより強かった」と、エンセンも完敗を認めるしかない。

会心の勝利に笑顔を見せるケアーとは対照的に、エンセンはアザだらけの顔を涙で濡らした。負けたからではない。「死ぬまで闘いたかった」という願いがかなわなかったからだ。〝死んでも死にきれない〟とはまさにこのことだろう。

エンセンの次の試合がいつになるのかは分からない。だが、その時こそ、命を賭けた殴り合いをするエンセンの姿が見たい。そうすればエンセンも、笑ってリングを降りられるはずである。たとえそれが、担架の上であってもだ。

「リングで死ぬのは、夢のような死に方」

そう語るエンセンの顔は、どこまでも真剣だった。

（橋本）

WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT KING of KINGS

2・26リングスKOK
熱烈応援！
決勝大会を制するのは誰だ!?

編集長インタビュー（前編）

「前田日明遺伝子配布計画」着々と進行中！

21世紀はグレイシー一族じゃなく「前田一族」が世界を制す

聞き手◎谷川“グレキュー”貞治

昨年起こった安生闇討ち事件後、初の前田日明インタビュー。前田は元気に世界中を飛び回って、リングスの新たなる野望に燃えていた。2・26日本武道館では、KOKの決勝トーナメントも行われ、いよいよリングスが面白くなる。そこで2号にわたって前田のインタビューをお届けする。

――す、す、すいませ～ん。年が明けてずいぶん経ちましたが、あけましておめでとうございま～す。
前田　おめでとっ。
――今年もよろしくお願いしま～す。
前田　こちらこそ、ご丁寧にどうも。
――いやあ～、そんなことないです。なんか調子狂っちゃうなあ。ところでアメリカはどうでした？
前田　ニューヨークなんかマイナス17度もあってマイッたよ。
――あ、そうなんですか。そんなに寒いんですか。
前田　そう、風邪ひいちゃった。
――はあ～。なんかもう雪が凄い記録的に降っているって聞いてますけど。
前田　雪は全然ない。
――あ、ない。
前田　相変わらず、いいかげんだねぇ。雪もないし、氷もないんだけど、ピー天でさ、風だけ毎日吹いてるの。
――えっ、そんなに寒いのに雪がないんですか。へえ～、大変ですねえ。
前田　何が？
――いやあ、大変なんじゃないかなあと思って。なんか精力的に今、海外を飛び回っているという話を聞いたんですけど。ちょっとそのへんのお土産話から、今度のKOKの決勝大会のことを話していただきたいなあ。
前田　それを言っちゃうとさあ、グレキューから伝わって石井館長とかDSEとかいろんな人がマネするからね。
――いやいやいやいや、そんなことはないですよお。
前田　いつも俺がアイデアを考えて、外の人が先にやっちゃうからアホらしくなるよ。
――じゃあ、それは話せる部分は話して、内密なところは言っていただければ、こっちで適当にカットしておきますから。
前田　でも、言うとあっちこっちでしゃべっちゃうだろ。
――いやいやいやいや。いいアイデアはもうパッパッパッパと浮かんでいるんですか。聞きたいなぁ。
前田　もう、どんどん実行してるよ。
――頼もしいですねぇ。
前田　面白いのやりますよお～。
――それは楽しみだなあ。で、まず年末にオランダに行って、このあいだはアメリカに行ってたんですよね。
前田　2月にもアメリカ行くよ。
――あ、そうですか。アメリカは今、何をやっておられるんですか？　ズバリ言うと。
前田　日本でやってるのとまったく同じリングスをやろうと思って。
――リングス・アメリカを設立して、リングスのイベントをやろうというふうに考えているんですか。
前田　それと、俺は今までネットワークがほしくてやってたんだけど、選手はハッキリ言って、いすぎるくらいいるんだよ。で、活かす場がなさすぎたから。だから、これからはいろんなところに選手を出すよ。いろんなアメリカの大会に。どんどんオファーが来てるからね。
――それはアメリカのどっかの団体と組むという話なんですか。なんか、このあいだのKOKのAブロックとB組のほうをやって、大反響だったらしいじゃないですか、アメリカのほうで。
前田　そうそうそう。あれ、何やったっけ？　『フルコンタクト・ファイター』？
――僕、見ましたよ、表紙でしたねぇ。
前田　今度は『ブラック・ベルト』の取材が来るし。

世界を制す

――あ、そうですか。で、その反響が凄くあるらしいんですけど、何か具体的に向こうで「ミスター・マエダ、一緒にやろう！」という話になってるんじゃないですか。
前田　「一緒にやりたい」って人はいっぱいいるんだけど、今はちょっと慎重に考えてるところ。
――ふう～ん。向こうの評価ってどんな感じだったんですか？
前田　未知で実力のある選手がウチにいっぱいいるんで、みんなビックリしてたね、うん。だってコピィロフが勝った選手なんてさあ、アレ戦績見たら凄いじゃない。
――ええ、凄いですよお。
前田　それを秒殺だもん。
――日本人の僕もコピィロフがあんなに強いとは驚きでしたけどねえ。
前田　それはしょうがないんだよ。これまでのウチのルールっていうのはゲーム性を持たせたルールだから。ロシアの選手は可哀想だったんだよお、やっぱり一本取りの場がなかったからさ。
――ふんふんふん。ルールについてはアメリカではどういう反響だったんですか？
前田　ルールは面白い、と。ほんであとはアメリカはなんだかんだいっても、政府のほうから「VTはバイオレンスだ」っていうんで、グラウンドで顔面がない、もっとスポーツ的なものはないんかっていうのがあったんだけど。で、ウチのトーナメント・ルールだったら、ニューヨーク州とか大会をできない州でもできるだろうって話で。その部分でも面白そうなことができそうだよお。
――いつくらいから実現していくんですか？
前田　夏頃に向こうでトーナメントやるから。
――えっ！　もう。で、前田さんはもう向こうに住んじゃうんですか。
前田　うん！
――えっ！　「うん！」ってぇ（笑）。それはホントですかあ。
前田　そう。
――いつから住むんですかぁ（笑）。
前田　とりあえずはね、この4年の間にね、日本刀の作刀試験に受かんなきゃいけないから。
――それはいつ受かるんですかあ？
前田　えーっとね、もう先生に入門して2年経ったから、あと3年だね。3年後に島根で作刀試験があるの。グレキューの身体で試斬りさせてくれる？
――い、い、いやあ。う、う、腕くらいなら……。
前田　ちょっとだけ斬らせてよ。腕だったら2本あるから、1本くらいいいよね。
――ま、前田さんだったら『バガボン

▲KOKで本領を発揮したコピィロフ。決勝大会が楽しみだ

ド』の中に出てくる宮本武蔵のようにバッサリと斬られそうだなあ。で、その免許を取ったらアメリカに住んじゃうんですかあ。

前田　うん！

――「うん」って前田さん今日はかわいいですね（笑）。

前田　で、とりあえずリングスの事務所の場所も2月に行ったら決めてくるから。マリーナの近くに。

――マリーナ？　そこは美味しいんですかあ？

前田　何がっ！　ヨットハーバーの近くだよ。

――すいません、食べ物屋さんだと思いました。で、それはどこですか。

前田　ロス。

――はあ～、いいですねえ。

前田　とりあえず3ベッドルームのところを借りて。選手が行った時も泊まれて、練習とかできるようにさ。

――僕も行ったら泊めてくださ～い。

前田　イヤだっ！　何が悲しくて、グレキューを泊めなきゃいけないの。

――ちぇ～っ！

前田　凄いよお、このあいだも見てきたんだけどさあ。マリーナ・デル・レイとかあのへんに泊まったりとかしたけどさあ。朝起きてさあ、ほんで窓を開けるじゃない。で、真っ正面がヨットハーバーなの。その脇にコンクリートの遊歩道があるの。そこをローラーブレード履いてさ、プルンプルンの金髪のおネーちゃんが短パンで滑ってるわけ。

――はあ～んっ！

前田　それを見ながら葉巻を吸ってコーヒーを飲むっていう。なかなかゴージャスじゃない？

――ゴージャスですねえ（笑）。いいなあ、泊めてくださいよお、僕も。

前田　イヤだっ！

――んあ～。

前田　で、ちょっとパツ金のガールフレンドもできたし。

――えっ、もうできたんですかあ！

前田　できたよお（笑）。

――く、くっそー！　もう、日本の女性には未練はないんですか。

「前田一族」が

前田　俺は博愛主義者だから。

――あっ、あと3年の間に結婚されて、向こうに行こうとかそういうことなんですか。

前田　結婚は分かんないんだけど。とりあえず、人類全人種に子供を産まそうと計画してるからね。

――ああ、「大家族が好きだ」って言ってましたもんねえ。

前田　臨終の時にはありとあらゆる言語を持った息子、娘が駆け付けるみたいなね。

――はあ～、器量がありますねえ。

前田　その時にさあ、それぞれの母親が包丁を持って俺を刺し殺しに来るんだよお。

――それは凄いなあ（笑）。でも、それをやったらグレイシーより凄い「前田一族」ができますねえ。アメリカはいいですねえ。で、ロスには社長とか誰かはいるんですか。

前田　ロスの社長も俺。でも、向こうのセクハラの感覚っていうのは凄いらしいからねえ。大きいオッパイをじーっと見るだけでセクハラなんだって。それで訴えられたら、何千万、何億って持っていかれるんだって。

――前田さん、一番危ないじゃないですか。

前田　危ない、危ない（笑）。

――そんなことでリングスの野望が挫折しちゃあねえ（笑）。で、そうなると日本のリングスは誰がやるんですか。

前田　俺。今はインターネットがあるからね。

今年の夏、アメリカでKOKトーナメントをやるよ

――へえ～、カッコイイですねえ。

前田　24時間闘いますから。

――で、今回気になるのは、シアトルなんですが、どうだったんですか、前田さんから見て。

前田　清原は凄い順調。今年は大活躍すると思うよ。彼はね、今まで素質だけでやってた人なんだよね。で、去年はたまたまケガしてダメだったけど。彼曰く「本格的な体力トレーニングは初めてだ」って言ってたね。向こうのね、クリニックのパーカー博士っていう人がビックリしてたけどね。清原が出す心肺機能とか反射反応の数字っていうのは、大リーガーでもそうそういないんだって。彼の反射能力や体力は信じられないんだって。清原の本当のポテンシャルっていうのは、マグワイヤとかソーサと同じクラスなんだって。

――でも、清原選手も偉いですよね。前田さんに勧められてちゃんと行くんですから。

前田　清原ってね、巷間囁かれてるような男じゃなくてね。ついこのあいだ週刊誌で清原をおちょくるような記事が出てたけど、あれ全部ウソだよお。でね、「ああ、清原ってマスコミにこういう扱いを受けてたんだ」ってよく分かったよお。記事を書くにも話半分っていうのはあるかもしれないけど、清原の場合は100％作り話が書かれてるよお。「前田がこう言った」とか「ケビンさんがこう言った」とかさ、言ってねえよ、そんなこと。

――なるほどお。で、肝心の佐竹と藤田

はどうだったんですか。

前田　藤田はなんとかイケるんじゃない。でもちょっとなんかねえ、打撃に対して予想以上にビビッてるのと、あともう一つはプロレスラーを長くやってると攻撃が来た時に一瞬パッと待っちゃうんだよ。一瞬受けようとする変な癖があるからね。それが出たらメチャクチャ怖い。

――でも、才能は凄いですよね。

前田　うん。

――本当にバーリ・トゥードや総合をやらせたら日本一になるくらいの素質があるんじゃないですか。

前田　だから、そういった意味でももっとじっくりと育てたかったんだけど。猪木さんはすぐに金にしようとするからね。

――ハハハハ。でも、今年はリングスとかにも出るんでしょ。

前田　出る予定はない。まったくない。

――あ、ないんですか。でも、話によっちゃあ……。

前田　藤田は元々、ウチが引っ張ろうと思って、去年のUFC―Jで事件になった日があるじゃない。あの時点で藤田もオッケーしてたんだから。

――ああ、なんか「いいケツしてんなぁ」とかお話してましたもんねえ。

前田　ほんなら、変な風に話が展開して、猪木さんがすぐに『プライド』に上げちゃって。まあ、藤田がリングスにも上がりたいって言うんなら、アメリカのトーナメントでも用意するよ。もう団体とかは、べつにどうだっていいんだよお。

――そうですね。佐竹選手はどうですか？

前田　佐竹はね、なんかね、凄く混乱してるね。

――「パニックになってます」とかって本人は言ってましたけど。

前田　だからね、いい方法があったんだけどね。ちょっと時間がなくて教えられなかったんだけど。佐竹だったらできるっていう、いい方法があるんだよ。でも、今回はシアトルに一晩しかいなかったでしょ。

――佐竹選手も場合によってはリングスに出る可能性は、本人が望めば全然オッケーですよね。

前田　ギャラをお友達価格にしてくれたら、いつでもいいよお。

――前田さんなら当然、それはお友達価格ですよ。

前田　でも、今はそうもいかないからね、この世界は「世の中、銭がすべてや～」っていう感じになってるからね、業界全体が。俺らの世代だったらさ、「おまえは金で動くのか！」って言ったら一種の侮辱だったじゃない。今のヤツらに「おまえは金で動くのか！」って言ったら、「そうですよ、プロですから」って言うからさ。侮辱でもなんでもない。

――はあ～ん。

前田　金がないと動かないっていうふうになっちゃってるからね。「人間」である前に「プロ」なんだよ。俺らん時は、「プロ」である前に「人間」たらんとしたじゃない。でもね、しょうがないところもあるんだよお。彼らが俺らの世代を見て、俺らは散々騙されてるじゃない。それを見て来たらそうなるよね。俺なんか今の立場になって、「ああっ、あの時あいつにも騙されてたんだ」って分かることがあるよお。この世界はね、なんか「食いものにしてやろう」っていうヤツが多すぎるね。

――とくに前田さんたちの世代は、それでだいぶ苦労しましたもんね。

前田　俺らはもう、ホントに世間知らずだったからね。

――でもいいですね、今回のシアトルみたいに佐竹選手とか藤田選手とか髙阪選手とかがみんな集まって、モーリスとかと一緒にやってるのを見ると「いい感じだなあ」って。まさしく団体とかは崩れてますよね。

前田　それはいいんだけど、俺のマッチメーカーとしての立場があやしくなるんだよね。今のDSEとかでやってるのもいいんだけど、あれはマッチメーク権とかも全部渡しちゃってるでしょ。合議制で決めてるんだって、マッチメークを。

――でも、誰が決めてるのかサッパリ分からないらしいですよ（笑）。

前田　でね、それって凄い怖いことだよお。ほんでさ、桜庭はね、グレイシーみたいなミドル級の連中の専門にさせればいいんだよ。あれを無闇にアマレス上がりのヘビー級のヤツとやらせたらダメ。たとえ桜庭が勝ったとしても壊れていくから絶対にダメ。そういうのをなんにも考えないでしょ。3試合先、1年先のことを全然考えてない。ただ「今が面白かったらいい」でしょ。「なんでも突っ込んじゃえ！」みたいな感じだからさ。ワケの分からんど素人がね、マッチメークをいじくるんじゃないよっ！

――はあはあはあはあ。

前田　せっかく有望な才能が勃興してきてるのに、全部壊しちゃうよお。全部潰しちゃう。もう、しょうもない発想ばかりだし。

――佐竹選手もちょっと可哀想ですもんねえ。

前田　佐竹だって、あれもっとちゃんと準備させたらなんとかなるものをさ。

――だけど逆に言うと、今度のリングスのトーナメントがあるじゃないですか。この間も言いましたけど、たとえ無名であってもなんか純粋無垢で「あざとさ」がなくっていいですね。

前田　だからマッチメークで一番大事なのは、これから伸び盛りの選手をいかに入れるかってことね。あとはマッチメークをするにしても、あんまり一方的になるんじゃなくて、お互いの良さで対決させたほうがいい。打撃巧者対グラウンド巧者とかね。で、同じタイプ同士でやっても面白くないじゃない。でしょ？

――そうですね。今回の決勝トーナメントの組み合わせは、僕は手を叩いて「お見事！」って言いたいくらい、いい組み合わせですねえ。あれは面白いですよお。

前田　でもね、ホントはもっとやりたいマッチメークがあったんだよ。

――いや、あれでも十分にいい組み合わせだと思いますよ。

前田　いや、もっといい組み合わせがあったんだよお。あったんだけど、アメリカ側から「ババルとノゲイラは同門だから、同じブロックに入れないでくれ」っ

世界を制す

WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT
KING of KINGS
2・26　日本武道館　決勝トーナメント

- 田村潔司〈ジャパン〉
- ヘンゾ・グレイシー〈ブラジル〉
- イリューヒン・ミーシャ〈ロシア〉
- レナート・ババル〈ブラジル〉
- ギルバート・アイブル〈オランダ〉
- ダン・ヘンダーソン〈アメリカ〉
- アンドレイ・コピィロフ〈ロシア〉
- アントニオ・ノゲイラ〈ブラジル〉

マッチメークはね、将来性のあるヤツを引き出すことにあるんだよ

てなったからさ。だからいろいろあるんだよ。1回戦からずっと「ああだ、こうだ」ってあってさ。

―へえ～。前田さんとしてはどのへんが優勝しそうな感じがしますか。リングス的にはどういう人が優勝したら面白くなりそうですか。

前田 リングス的にはリングスの選手が優勝するのが一番いいんだけど、分かんないよ、正直言って。

―ヘンゾかもしれないですねえ。

前田 いや、ヘンゾは難しいでしょ。

―えっ、ヘンゾは難しい？

前田 軽いヤツは難しいよ。

―ますます分かんないなあ。

前田 ババルはね、このあいだ見たら、またさらに大成長したね。

―へえ～、僕はあれはミーシャが勝つと思ってるんですけど。ババルもイケそうですか。

前田 ババルもね、凄いヒザが打てるようになった。凄い身体が柔らかいからね。コーラーがあっという間に止められちゃったからね。

―へえ～。ノゲイラとババルは全然分かんないですね。で、いつ見ても分かんないのがアイブルですね。「どこまで行くんだろう、こいつ？」っていう感じで。

前田 アイブルはね、実力だけじゃなくてね、妙な運を持ってるんだよお。

―運を持ってるし、なんかあれはスターですよねえ。天性の野性味の溢れる運動能力を持っている。あれは見ててもどこまで強いのか分かんないですね。負けてないですもんね、リングスで。

前田 リングス以外でもここんとこずっと負けてないでしょ。あいつはタリエルの時もそうだし、セーム・シュルトの時もそうだし、試合の直前までジャレて来てさあ。

「前田一族」が

―なんか『あしたのジョー』のハリマオみたいなヤツですもんね（笑）。バーリ・トゥードの中でも全然型がないし、自分の運動能力と勘だけで闘ってるんだけど、メチャ強いですもんね。でも、しつこいようですけど、今回のトーナメントの組み合わせはいいと思いますね。特にこのトーナメントの中にグレイシーがいるところがいいですよ。凄いいいポイントになってますから。

前田 ヘンゾは人間的にも凄いいいヤツだよお。この前、ルッテンにも会ってきたんだけど、ルッテンに言わせると「グレイシーで真の最強はヘンゾだと思う」って。

―桜庭もそう言ってましたね。「バーリ・トゥードはたぶんヘンゾが一番強いと思いますよ」って。

前田 今度、3月頃にブラジルに行かなきゃいけないからさ、ちょっと勉強でいろんなビデオを見てるけどさ。要するに柔術って何をやってるかっていうと、戦前までの柔道をやってるんだよ。

―は？

前田 投げて一本じゃないからね、連中は。それって高専柔道と同じだよお。

―引き込んで関節を極めるまでやるっていう。

前田 そうそうそう。ギブアップ取って一本でしょ。だからね、ブラジル人が強くなったとか強いんじゃなくて、日本人が弱くなったの。それはね、柔道の失敗でね、闇雲にスポーツ化を推し進めすぎてしまったんだよね。だから極真なんかも気をつけてほしいね。武道とスポーツは違うからね。

―ええ、講道館柔道みたいになってもらったら困りますよね。ケンカに弱い空手になってしまったら困りますよね。

前田 なんかさ、いろんなレギュレーションを付けると、そうなりがちなんだよね。

―今回は田村選手をヘンゾにぶつけるんですけど、前田さんはグレイシーに対して特別な想いはあるんですか、今となって。

前田 ない。

―あ、ない（笑）。

前田 ブラジルでもリングスやるから。

―おお、遂にブラジルで！

前田 やる。ただ心配なのは、向こうは気性が荒いから観客が暴動を起こしちゃったりとかさ、観客が興奮してさ、選手をナイフ持って刺しに来たりとかさ。ワケの分からんところがあるじゃない。それが心配だね。まあ、サンパウロでやったらそれはないんじゃないかって話だから。とりあえずサンパウロかなと思うけどね。

―なんか、世界中に行くんですね。

前田 「前田日明遺伝子配布計画」が着々と進行中。

―それは凄いですねえ（笑）。

前田 リングスを媒介として、その土地のオンナをコマすみたいな感じ。

―いいですねえ、僕も連れていってくださいよ。

前田 だから、何が嬉しくてグレキューを連れて行かなきゃいけないの！

―んあ～！

前田 壮大なロマンでしょ？ 20年後には前田日明の遺伝子を持ったガキんちょがあっちこっちで問題を起こす（笑）。偉くなるんじゃなくて、問題を起こす。やっぱり×××は中で出すのに限るね。

―んあ～。（以下次号へ）■

グレイシー一族随一の"いい人"
ヘンゾ・グレイシー

KOKの決勝戦の相手は、たぶんコピィロフじゃないかな

リングスKOKの本命？

▼ニュージャージーの自宅で。愛妻クリスティーナ、愛娘（次女）コーラ、長男フーラン（右）と

12月22日のリングスKOK予選トーナメント（Bブロック）で、坂田亘を1分25秒、モーリス・スミスを50秒で下し、圧倒的な強さを見せつけたヘンゾ・グレイシー。2月26日にKOK決勝大会を控え、ニュージャージーの自宅で家族と過ごすヘンゾにインタビューを行った。ニュージャージーとマンハッタン、二つの道場で指導しながら、自らの調整に汗を流すヘンゾ。「新しい道場をオープンしたばかりでとにかく忙しいよ」。笑顔がコンディションの良さを物語っているようだ。

聞き手＆撮影◎川崎浩一

――さっそくですが、リングスのトーナメントに出た感想を聞かせてください。

ヘンゾ　とてもいい大会だったと思うよ。ボクの試合はとても速かったしね。あとは……これと言ってないなぁ。

――坂田亘選手に関して、対戦してどんな印象を持ちましたか？

ヘンゾ　とても強かったよ。彼はとてもアグレッシブに技を仕掛けてこようと挑んできたからね。確かに決着は早く着いたけど、それは彼がボクと同じようにフィニッシュを心掛けて闘ってきたからで、決して彼が弱かったからじゃないよ。彼は次の試合ではきっと活躍すると思うよ。

――2回戦で闘ったモーリス・スミス選手にはどんな印象を？

ヘンゾ　モーリスはとても危険な選手だった。彼はポジショニングも非常にうまい選手だしね。ボクとモーリスの試合は、実績や実力から考えてもビッグカードだったんじゃないかな？　そういえば、試合後にカストロのセコンドのファビオ・グージェオが言っていたんだけど、ボクがモーリスに蹴りを出した時に、モーリスが目をまん丸くしていたんだってね。

――ヘンゾさんは1、2、8と『プライド』に出場していますが、『プライド』とリングスKOKを比べていかがですか？

ヘンゾ　はっきり言ってまったく違ったものだよね。でも、どちらもすごくいいイベントだと思うよ。ただ、ボクはノールールの方が好きだから、『プライド』の方が闘いやすいかな。

――ノールールの方が得意だと言うことですが、KOKのルールはどうですか。

ヘンゾ　このルールは、誰にでもイーブンなものだと思うよ。どちらかと言うと、アブダビ・コンバットのようにスポーツライクな感じだね。だから、もしも柔術

タムラはジャパニーズ・フランク・シャムロックという感じだね

家同士で闘うことになったとしても、ボクにとっては何の問題もない。このルールは、ボクにとって特別何が良いとか何が悪いというのはないね。ただ、ルールよりも体重がちょっと気になるかな。ボクが一番軽いからね。

―決勝トーナメントの1回戦はリングスの田村潔司選手に決まりましたが、田村選手の印象は?

ヘンゾ 彼は非常に強い選手だと思うよ、動きがとても速いしね。見た感じでは、ジャパニーズ・フランク・シャムロックと言った感じかな（笑）。日本のファンの間でとても評判のいいカードだと聞いているんで、ボクとしても楽しみなんだ。

―田村戦は、どのような試合になりそうですか。

ヘンゾ う〜ん、とても危険な試合になるだろうね。その問いにはハッキリとした答えをできないけど、グッドファイトをすることだけは約束するよ。彼はリングスのチャンピオンだよね。もしボクが勝ったら、そのチャンピオンベルトはもらえるのかな（笑）。

―田村戦に勝つと、次に対戦するのはミーシャ選手の可能性が強いのですが、ミーシャ選手については、どのような印象をお持ちですか。

ヘンゾ ミーシャ選手は、正直に言ってとても印象に残っているよ。彼の試合は何度か見ているけど、本当に強いよね。よく鍛錬されている。とくに彼のレッグロックは非常に危険な技だから対戦するときには注意しなきゃいけないと思っているよ。でも、彼とはぜひ闘ってみたいね。

―ミーシャ選手はサンボの選手ですが、サンボという格闘技についてはどんな印象を?

ヘンゾ サンボもとてもすばらしい格闘技だと思うよ。足関節も腕関節も、非常にレベルの高い技術があるし、我々の柔術と同じようにフィニッシュさせる競技だと思うよ。

―そのまま勝ち進んだ場合、編集部ではコピィロフ選手かアイブル選手と決勝で対戦すると予想していますが。

ヘンゾ ボクの予想では、コピィロフだと思う。アイブルには、ヘンダーソンが勝つんじゃないかな。コピィロフはとてもパワフルで強いね、とても大きいし。この前の試合を見ても、彼のレッグロックは「ウォーオ!!」って感じだよ（笑）。本当にすごいと思うけど、腕十字も得意らしいね。彼の闘い方はとにかく極めることしか考えていないって感じだから、非常にエキサイティングな試合になるんじゃないかな。ボクとしてもとても楽しみだよ。

―ズバリ優勝予想を?

ヘンゾ ハハハハハッ。それは神か仏しか分からないよ。でも、もしも優勝したらいいよね、リッチマンになれる!（笑）

―今回のKOKのプロデューサーでもある、リングスの前田日明社長についてはどんな印象を持ちましたか?

ヘンゾ とてもナイスガイだね。紳士的ですばらしい人だと思うよ。

―『プライドGP』の感想は?

ヘンゾ たくさんの強いチャンピオンが出場していて、本当にすごい大会だと思うよ。たぶんこれまでの中で、一番すごいトーナメントだよ。

―『プライドGP』についても予想してもらえませんか。

ヘンゾ う〜ん、難しいなぁ。優勝者に関しては、1回戦を見てからでないと何とも言えないね。1回戦を勝ち上がった選手を見れば予想できるんじゃないかなぁ。

―『プライドGP』で勝つには何が必要だと思いますか。

ヘンゾ う〜ん、そうだねぇ、言うまでもないけど、たくさんのトレーニングが必要だよ。それから瞬間的に判断できる決断力や熟練したグラウンドテクニックもないと勝てないだろうね。

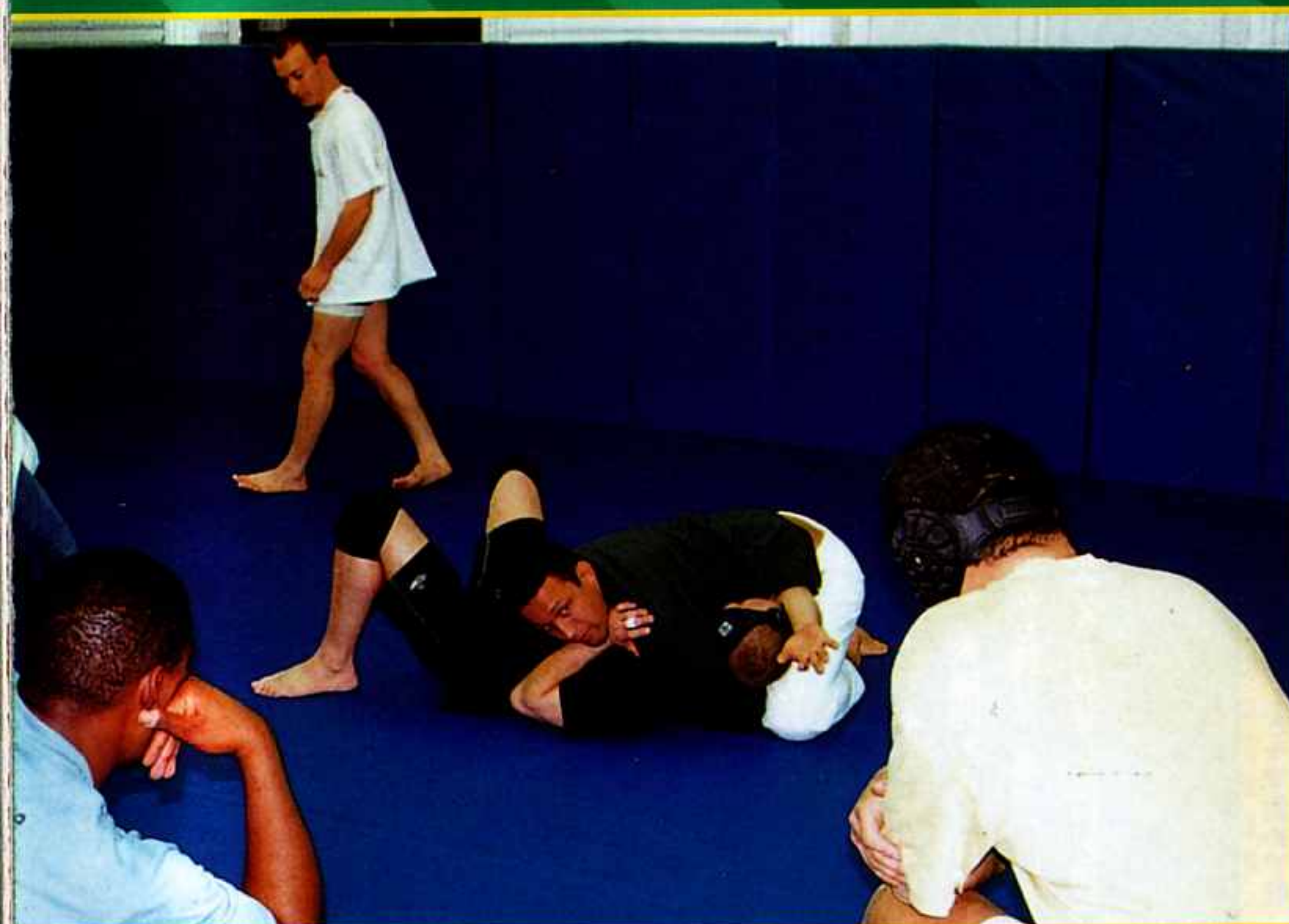
―ズバリ聞きますが、ホイス選手は優勝できると思いますか。

▶アメリカにヘンゾを訪ねたリングス前田社長と。「ミスターマエダは紳士的ですばらしい人」（ヘンゾ）

◀マンハッタンの道場で指導するヘンゾ。ニュージャージーに12月にオープンした道場での指導もあり多忙な日々を送る。ニュージャージーの道場は取材した1月中旬の時点ではまだ電話も設置できていない状態だった

WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT KING of KINGS

熱烈応援! 2・26リングスKOK

決勝大会を制するのは誰だ!?

ボクはミスターオオツカが勝つことを祈っている。グッドラック・マイフレンド!

ヘンゾ　もちろん！　ボクは彼が優勝することを一番に望んでるし、間違いなくできると思ってるよ。

——ホイス選手は『プライドGP』でどんな闘い方をすると思いますか。

ヘンゾ　ホイスはグラウンドのテクニックが抜群に優れているから、恐らくグラウンドで勝負しようとするだろうね。グラウンドに引き込むのも巧いから得意のチョークで極めるんじゃないかな。いずれにしてもミスタータカダとの試合は良い試合になると思うよ。

——『プライド8』で対戦したアレクサンダー大塚選手も『プライドGP』に出ますが。

ヘンゾ　うん、知っているよ。ボブチャンチンとやるんだよね。頑張ってほしいなぁ。彼は相手を恐れない闘い方をするし、常に攻める姿勢を持っていて非常にいい選手だと思うよ。たしかに、ボブチャンチンは強敵だけど、彼のグラウンドのテクニックがあれば、勝つことは不可能じゃないと思う。どちらが勝つにしてもKO決着になるような気がするよ。

——アレク選手にアドバイスをするとしたら？

ヘンゾ　ボブチャンチンはとても危険な選手だけど、距離を保って、懐に入ることができれば大丈夫でしょう。ボクはミスターオオツカが勝つことを祈っているよ。グッドラック・マイフレンド！

——話は変わりますが、『プライド8』の桜庭和志選手とホイラー選手との試合についてお聞きしたいのですが。

ヘンゾ　そうだね、まず言えることは、ミスターサクラバに対して、ホイラーは体重が軽すぎたと言うことだね。あまりいいマッチメイクではなかったと思うよ。ミスターサクラバと闘うのは、やっぱりボクだろう！

——5月26日に、ヒクソン選手と船木誠勝選手が闘うことになりましたが。

ヘンゾ　ミスターフナキについては、ボクはあまり知らないんだけどどんな選手なの？　まあ、どんな選手でも、ヒクソンは非常にすばらしいファイターだから、きっとミスターフナキは試合中に大きな問題を抱えるでしょう。まあ、最終的に勝つのはヒクソンだろうね。

——日本人もバーリ・トゥードをやる選手が増えてきましたが、日本のレベルはどうですか？

ヘンゾ　非常に高いと思うよ。今は、ブラジルやアメリカとも変わらないくらいの高いレベルになってきていると思うよ。

——日本選手のランキングをつけるとしたら？

ヘンゾ　そうだね〜、まずトップはサクラバ、2番がオオツカ、3番がキクタ、4番がショージ、5番がマッハ、6番がルミナ、7番がウノと言ったところかな。

——ヒクソン、ホイス、そしてアナタとはどんなところが違いますか。

ヘンゾ　う〜ん、まずヒクソンとボクとは体重が違うから、相手によって闘い方が少し違うけど、かなり近いタイプだと思うよ。逆にホイスは体重がほとんど一緒なんだけど、闘い方は全然違う。彼はとてもグラウンドで闘うのが好きだし、「衣」を着て闘うけど、ボクは「衣」を着てバーリ・トゥードを闘うのは好きじゃないんだ。

——昨年11月にホイラー選手が試合をし、今年に入って、アナタがリングスKOKに、そしてホイス選手が『プライドGP』、さらにヒクソン選手が5月にコロシアム2000と、グレイシー一族の試合が続きますが？

ヘンゾ　うん、確かにそうだね。ボクはグレイシーファミリーにとって、こうして大きなイベントで試合をすることは非常にいいことだと思っているよ。

——そうですか、日本のファンにとっても、どの大会も非常に楽しみだと思います。1月30日のホイス選手のあとは、ヘンゾ選手の2・26KOK決勝大会ですが、ぜひ頑張ってください。

ヘンゾ　ハイ、ドウモアリガトウ。

——それでは最後に日本のファンにメッセージをお願いします。

ヘンゾ　日本のファンのみんなはボクにとって非常に良いサポーターであり、いつも歓迎してくれるので本当に感謝しているんだ。ボクは"太陽の昇る"日本で闘えることを心から誇りに思っている。2・26は良い試合をお見せしたいと思っているよ。

▲ヘンゾとともに練習するパートナーたち。ヘンゾの右はヒカルド・アルメーラ、左はボドリゴ・グレイシー、そして左端がマット・セラ。いずれもアルティメットや柔術の大会で実績を上げている実力者だ

◀KOKトーナメント1回戦。坂田を腕ひしぎ十字固めで破ったヘンゾ。2回戦もモーリスを秒殺。優勝候補の本命と見られている

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・ガイド

No.16 3・8臨時増刊号

CONTENTS

表紙デザイン◎梅村あゆみ

緊急バナナ大食い鼎談!

なんと! PRIDE GRAND PRIX GP 2000は、ターザンの遺産だった!?

出席者◎「誰が〝勝ち組〟になるのか、それが問題だ!」トリオ

ターザン山本=地球規模で大勝ち大負けする定義王
サダハルンバ谷川=濃尾平野規模の勝ちっ放し大将
〝Show〟大谷泰顕=勝ったこと……あったっけ?

欠席者◎レギュラー司会の柳沢忠之(本誌発行人)
バナナ協力◎新日本キックボクシング協会・伊原信一代表

谷川 山本さん、ズバリ言いますけど今回は司会者不在です。

山本 えっ、柳沢氏いないのぉ?

谷川 ええ、「前号から一週間後ではズバリ言って何も語ることはない!」ということで本日は欠席だそうです。

山本 俺も『プライドGP』が終わるまで、もう何も語ることはないよぉ。

谷川 んあ~! でも、そう言われてみれば僕もないなあ。

山本 困ったねぇ。

谷川 困りましたねえ。幸いにしてバナナがいっぱいありますので、今日はみんなでバナナでも食べて解散しましょうか。

山本 このバナナは食べてもいいの?

谷川 ええ、遠慮なく食べてください。

山本 (モグモグ) まあ、今日は大丈夫だよぉ。Showが主役になるからぁ。

大谷 ヒャッ!? なんで僕が主役なの?

山本 (モグモグ) だって、Showはシアトルに密着取材してきたんだろう?

谷川 向こうの状況はどうだったの?

大谷 シアトルは面白かったですよ……って、またそうやって僕に言語化できない話を振らないでよ。

谷川 山本さん、Showが「面白かった」ってシアトル合宿をなんとか言語化してますけど。前号のシアトル・レポートは伝わりましたか?

山本 (モグモグ) 伝わらない。俺が前号で一番ビックリしたのは、表紙をめくったら、いきなり1ページめにドォ~ンッとK—1のことが出てたことですよぉ! サダハルンバ殺法爆発だぁと思ったよぉ。俺はあれ見て、「あれぇ~? K—1が1月30日にドームでやるのぉ?」と思ったよぉ。

谷川 あ、あ、あれは確かにサダハルンバ殺法なんですけどね。

大谷　いやあ、なんとも素晴らしいですよ。僕もあれには仰天しました（笑）。

山本　俺だったら「待ったなし！　待ちきれない！　1・30ドーム、グランプリ発進！」とかさぁ。ドカーッとやるけどねぇ。それが、谷川お得意の巨大なスカしにはマイッタよぉ。

谷川　それほどのものでもないですけどね（笑）。

山本　俺は、サダハルンバの石井館長への巨大な愛を感じたよぉ。

大谷　僕もそれはバッチリ感じた。

谷川　なるほどお、感じてくれましたか。さすが山本さんは天才だぁ。

山本　バナナ、もう一本いい？

谷川　はい。まあ山本さん、僕はとにかく『SRS・DX』が世の中のより多くの人に読んでもらえることを願って、表紙を作らせたら世界一の山本さんにコピーを考えていただいたんですけど。前号の「やる側、見る側　絶体絶命」「誰が〝勝ち組〟になるのか、それが問題だ！」っていうその意図は、誌上では全然触れてないんですよ（笑）。まず、その意味を教えてもらいたいんですけど。

山本　「やる側」とゆーのは『プライドGP』に上がる選手だよねぇ。で、「見る側」とゆーのは俺たちのように『プライドGP』に興奮してる観客だよね。今まででだったらさ、「やる側」と「見る側」には一つの境界線があってお互いが違う立場から見てたんだけどもねぇ。3年前の髙田vsヒクソンの場合は、主役は髙田でありプロレスでありというふうに捉えられたけども、今回は出場するメンバーを見たら分かるよーに佐竹もいるし、藤田もいるし、もちろん髙田もアレクも桜庭もエンセンもいるし、と。ハッキリ言って出場する選手のうち8人がよ〜するに日本人なんだよねぇ。で、今までだったらその中でもとにかくレスラーが主役に躍り出るとゆーか、特別な光を放って、他の選手はその他大勢みたいな感じで。でも今回の場合はみんなそーゆー差別がないんだよねぇ。

谷川　ふんふんふん。

山本　よ〜するにホントの実力測定の場所に肩書きとか差別なしに、オールすべてぜ〜んぶが平等に出てきた。そして、負けたら一巻の終わりみたいなところがあるので、絶体絶命の瀬戸際で背水の陣を敷いてるんだけど、一人のところに集中してないからある意味では絶体絶命ではないんだよねぇ。「髙田がヒクソンに負けたらプロレスは終わりだ」というよーな捉え方は、あれから3年経ってやっぱり成長・成熟してさ、「髙田がホイスに負けたらプロレスは終わりだ」という言われ方じゃなしに、ある意味ではリラックスした感じで見られるというところもあるんだよぉ。だけど、このリングは勝ち負けの結果もまた凄いんだよねぇ。重たいというかぁ。だから「やる側」も「見る側」も絶体絶命の緊張感を受け取ってしまうわけ。これは以前に比べると選手とファンの距離が縮まったとゆーか、選手の気持ちを共有できるとゆー状況になったな、と。

大谷　ああっ、そうかあっ！

山本　だから「誰が〝勝ち組〟になるのか」とゆー結果を見てみたいな、と。しかも、それは髙田vsヒクソン戦のような悲壮感がつきまとうものじゃないんだよぉ。「もっと上のレベルに行ったな」と俺は思うよぉ。

谷川　それが一番いい形で表れてるのは髙田選手でしょうね。活き活きして練習をやってますもんね。

緊急バナナ大食い鼎談！

今回は藤田が一番キツイよねぇ。パンパンの状態の悲壮感だよぉ

山本　それともう一つの効果はね、佐竹が出場したことで、これはプラスに働くのかマイナスに働くのか分からんけど、悲壮感とゆーのが払拭された。彼は悲壮感とゆーものを消してしまう男だねぇ。

大谷　頭いいよね、佐竹雅昭は。

山本　その存在によって髙田とかも救われるとゆーか。バナナもう一本。

谷川　どうぞ。でも救われてますよね。藤田だけだったら、新日本を背負ってるという意味で重たくなったでしょうね。

山本　でも、今回の選手の中で一番キツイのは藤田だよぉ。やはり新日本とゆー看板、ストロングスタイルとゆー看板を背負ってるからぁ。新日本プロレスの中でバーリ・トゥードをやったら藤田が一番強いとゆー幻想を背負ったぶんだけ、藤田が一番キツイよねぇ。だから今回は藤田が一番悲壮感があるよぉ。

大谷　でも藤田和之はね、シアトルでもその悲壮感っていうのか、またこれも言語化できないんだけどね、「ヤバイなあっ!?」っていう雰囲気なんですよ。

山本　今回は藤田が3年前の髙田と同じ状態になると思う。それは物凄いプレッシャーだよぉ。計り知れないプレッシャーを蓄積してると思うよぉ。それに比べるとアレクとか桜庭とか髙田は、もうそういうものが吹っ切れて、すんなり自分の自然体で出ていってるよねぇ。

大谷　だから、猪木さんが「大きい舞台のほうがいいから行ってこい！」って言ったけれども、逆にね、こんな準備期間が少ないのになんでやらせるのっていうのもありますよ。

山本　パンパンの状態の悲壮感だと思うよぉ、藤田は。悲壮感の飽和状態だよぉ。俺もバナナ食いすぎて、腹がだんだん飽和状態になってきたよぉ。

谷川　んあ〜。ということは、佐竹の対極にいるんですねえ。佐竹は初参戦で相手がコールマンなのに凄く腹が据わってるように見えますからね。でも、佐竹の明るさや髙田選手やサクやアレクの自然体は目に見えてたけど、それに消されたのか陰の藤田選手の悲壮感というのはあ

佐竹と藤田が死にもの狂いの地獄特訓
SRS・DX
No.15 2000 2・10 2・24合併号
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN
スペシャル・リング・サイド
やる側、見る側
絶体絶命
1・30東京ドーム PRIDE GP 2000へ
行け！
誰が"勝ち組"になるのか、それが問題だ!

▲本誌前号を見ていない方には、のっけから何のことやらサッパリ分からない内容だと思います。ということでこれが前号の表紙。ちなみにこの表紙をめくると、いきなり「気になるK-1の2000年　全容・近日公開！」という扉が目に入ります。サダハルンバ殺法爆発だっ！

んまり目立ってないですねえ。

山本　それはサダハルンバの目が節穴だからですよぉ！　今回の主役は誰がなんと言っても藤田ですよぉ。悲壮感を背負ってるとゆーところに光があるんだよぉ。勝ったら凄いけどねぇ。

谷川　そうかあ。でも、僕が藤田選手を見ていると、それをも凌駕する肉体のポテンシャルのほうに目が行って、単純に凄いなあと思っちゃうんだけど。で、「やる側」の絶体絶命はジャンルを背負ってる緊張感ということで分かりましたが、「見る側」の絶体絶命というのは？

山本　「見る側」もね、バラつきはあるんだよ。気楽に見に行く人もいるし、勝負論を楽しもうとゆー人もいるし、ほんの好奇心の人もいるし、興味深くワクワクしてる人も様々いるんだけども、やっぱり最上のファンとゆーのは選手の側の「絶体絶命の危機感」を共有できる観客がこの『プライドGP』をストレートに楽しめるんじゃないか、と。そーゆー場が久しぶりに来たなと思うわけですよぉ。

谷川　最近のプロレスや格闘技の大会は、リング上と観客席がまったくバラバラの状態ですもんね。

山本　気楽にディズニーランドに行って楽しんでるよーな雰囲気で、選手の側の気持ちを共有するとゆー発想はないいっ！　でも、今回の『プライドGP』に関してはいろんなものを背負ってるでしょ。「藤田は勝てるのか？」とか、「連戦連勝の桜庭にここで土が付いては困る」とかゆーことを背負うでしょ。「あれほど大きなことを言ってたエンセンが負けたらどうなるんだ？」とかね。アレクにも勝ってほしい、佐竹にはK—1とか空手を背負って違う戦場に来た勇気に対して拍手を贈りたいし。そーいった意味では、選手の気持ちに感情移入して共有できるとゆー空間があるということは、現在のマット界では画期的なことだと思うよぉ。そーいった意味で「見る側」も絶体絶命の緊張感を持って行ってほしいなとゆー、俺のメッセージですよぉ！

大谷　僕も思うんだけど、2000年に入っていきなりクライマックスですよね。

山本　そうだよぉ。これには3つのポイントがあってぇ……。

谷川　今日は3つ！（笑）。と、司会不在なので一応僕がリアクションを取っておきます。

山本　これは俺の言語では使い古された言葉なんだけど、マット界が2000年に向けてビッグバンしたんですよぉ！　で、ビッグバンしたとゆーことは今までの境界線、国境がなくなったということでオープンなフリーなマーケットがやっと実現した。で、最後は選手が脱藩してボーダレスの自由な世界に突入したとゆーことですよぉ。だから、『プライドGP』以前と以後では、世界が完全にガラッと変わるよねぇ。

大谷　クライマックスとビッグバンとボーダレスですか。じゃあ、マット界の「関ヶ原」じゃないんですか。

『プライドGP』以前と以後では、世界が完全にガラッと変わるよねぇ

山本　関ヶ原には日和見がいて、各軍の優劣を見極めてから徳川軍に付いたヤツらがいたけど、今回はこの場に参加しなかったとゆー時点で日和見はオールすべてぜ〜んぶ不戦敗で切り捨てられるから「関ヶ原」じゃないんだよぉ。だから、これが新しいマット界の始まりだよねぇ。

谷川　真の実力測定トーナメントという意味では初めてですよね。

山本　これが初めてですよぉ。今まではアルチメット（※発言ママ）とかアメリカでやったけど、これだけの人材とジャンルが揃って、幅広く多様性を持った「よーい、ドーンッ！」でスタートするのは初めてだよねぇ。そこに一ファイターとして、ヒクソンのような特権を行使することなく、みんなと平等に参加したホイス・グレイシーはハッキリ言ってエリオと共にここで一番誇り高きファイターですよぉ。

大谷　う〜ん、でもそう考えると、やっぱり「髙田延彦の運命やいかに？」なんだよなあ。

山本　いや、髙田はもはや勝ち負けを超越した男だからねぇ。完全に結果を超越したところまで行ったからぁ。だから、髙田も2年前3年前のヒクソン戦みたいな悲壮感はないし、俺たちにも悲壮感はないねぇ。「ホイス戦を思う存分楽しんでください」とゆー心境だよねぇ。やっぱりそーいった意味では、極端に勝ち負けの明暗が出る世界に身を投じることが、その人間を真に変革させるんだよなぁ。で、負けた時のほうが大変革させるんだよなぁ。違う言い方をすれば、敗者に最も意味があるんだよぉ。敗北によってその人間が深みを増したり成長したりという色合いを見せてくれるということが最近のプロレスや格闘技にはないからねぇ。ヒクソンに2回負けたことで、髙田はあれほど魅力溢れる男になったんですよぉ。

谷川　し、し、師匠、どの口がそういうことをおっしゃるんですか（笑）。

山本　この口ですよぉ！　髙田は真の意味で色気のある男なんだよぉ。

谷川　まあ、そういう意味では一番勝負論で負けが気になるのは藤田とホイスですね。

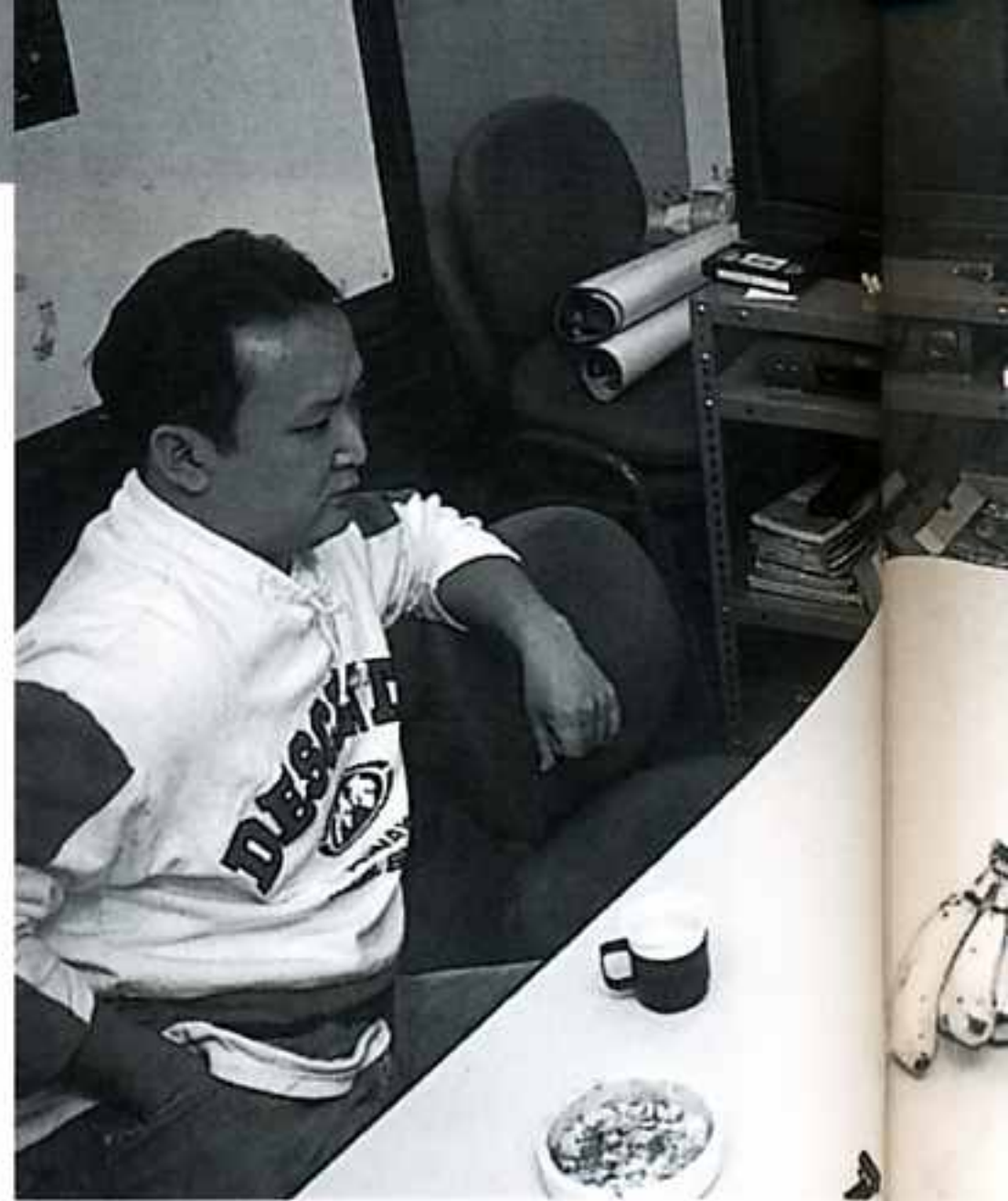
山本　そうっ！　負けて輝いてダメージも大きいとゆーのがこの二人ですよぉ。このダメージは大きいんだけど、大きいがゆえに色気があるんだよねぇ。負けた時間を生きなきゃいけないから。でも髙田はその負けた時間を3年間も生きてきたんだから、やっぱり今回の選手の中でも一番タフだよなぁ。それで一番おいしいホイスとの試合を取ってるんだからぁ。

谷川　タフという意味では佐竹もタフですよね（笑）。「佐竹だったら負けてもまた挑戦してくれるだろう」とか、「負けても落ち込まないだろう」とか、そういう部分で安心しますよね。

山本　そう考えると桜庭は勝ち負けの重要性ということに、我々を興奮させないで知らん顔して勝ち続けていくとゆー新しい方法論を提示したよねぇ（笑）。見る俺たちを等身大にして、価値を積み上げていくという今までになかったパターンだよぉ。猪木さんだったら、ビッグマッチの前にケガしたとか、いなくなったとか、直前になると過剰な不安を与えて、俺たちを絶体絶命のところへ追い込んだでしょ。それで試合でも「危ない」と思わせて俺たちを臨終寸前まで追い込んで最後に勝つという戦法を自然に取ってきたでしょ。全然違う方法論だけど、どちらも観客を引きつけてるよねぇ。

谷川　なるほどお。いろんなグループに

緊急バナナ大食い鼎談！

藤田が勝っても負けても新日本は“負け組”なんですよぉ

分けられるんだなぁ（笑）。

大谷　とにかく今回は、見どころが多すぎてね、逆に結果を見るのが怖いんだよなぁ。

山本　この8試合をオールすべてぜ〜んぶ個別に見ながら、横に連結させてどういう関連性を持ってるかを考えないとダメだよなぁ。それを発見した時に『プライドGP』の真実があぶり出されてきますよぉ。それによって真の“勝ち組”も見えてくるよぉ。

谷川　なるほどぉ。で、誰が“勝ち組”になるかっていう時に、今回の藤田の参戦は新日本プロレスにどういう影響を及ぼすんですか。

山本　新日本の場合はね、藤田が負けたら「新日でも藤田だったら勝てる」という幻想が壊れちゃうわけだからダメージが大きいよぉ。勝っても藤田とゆー一介の前座レスラーしか出なかったという意味で、新日本自体は落ちるんだよねぇ。

谷川　あ、新日本は最初から“負け組”なんだなぁ。

山本　藤田が勝っても負けても新日本は“負け組”なんですよぉ。なぜかというと、藤田を出したのは猪木さんだから、勝った時には猪木さんが勲章を得るんですよぉ。新日本には「所属選手は出さない」という気持ちがあったんだから、勝った場合は新日本の勲章にはならずに、猪木さんの先見性に拍手と喝采が贈られるんだよぉ。まあ、藤田にも半分は贈られるけどども。

谷川　は、は、半分だけ！

山本　なんかバナナ食べ過ぎたよぉ。

谷川　それ、半分食べかけだから食べちゃってください。

山本　この食べかけの半分は、サダハルンバに進呈しますよぉ。

谷川　いりませんよぉ（怒）。

山本　まあ、藤田が勝った場合はそこでやっぱり猪木が正義になるわけですよぉ。で、それと同時に新日本には「×（ペケ）」の烙印が押されてしまうわけ。今回面白いのは、『プライドGP』が30日だよねぇ。その明くる日の31日に馬場さんの「一周忌興行」があるわけよぉ。

大谷　そこなんだよなあ。

山本　で、2月1日に新日本のシリーズ開幕戦があるんだよねぇ、代々木で。この3つはよ〜するに順番からいくと、最初にバ〜ンッとビッグバンがあって、その後に1990年代の流れを引きずったプロレス界大手メジャー2団体が興行をやるとゆーのは象徴的だよねぇ。この対比は凄いよぉ。とくに2・1の開幕戦は選手がど〜ゆー気持ちで試合をするのか、俺がレスラーだったらイヤだなあと思うよぉ。俺はね、たぶん『プライドGP』は女子プロも含めて全レスラー全格闘家がみ〜んな注目して、見ない人間は一人もいないと思うよぉ。意識的に視界に入れなかったらレスラー失格ですよぉ！

谷川　自分のことに照らし合わせて考えるでしょうね。

山本　その時に思うことはたった一つしかないっ！

谷川　たった一つ！（笑）。

山本　あの場に出なかった自分に対する悔しさというかさ、巨大な自己嫌悪ですよぉ。それが猪木さんの言う「ジェラシー」の世界だよねぇ。

谷川　じゃあ、『プライドGP』と翌日と翌々日の新日と全日の興行の対比から見えてくるポイントは、1990年代のものは何が壊れてるかですよね。

山本　そうだよなぁ。まあ、壊れてるというかぁ、急激に色褪せるとゆー現象が起きるよねぇ。そこで「蝶野がどうの」「天山がどうだ」「小島はこうだ」とか言っても、あらゆる部分でまったく説得力はないもんなぁ。

大谷　それはやっぱりヤバイなあっ!?

山本　まあ、今回のグランプリには16人のうち8人の日本人が出るけど、これこそが「選ばれし者の恍惚と不安」とゆーか、恍惚とは快楽であり、不安というのは絶体絶命とゆーことだよねぇ。

大谷　ヒャッ!?　それはやっぱりヤバイなあっ!?　僕はちょっと見るのが怖くなってきたんだけど。

山本　俺たちはその時にしっかりと目を見開いて、現実を見据えて、新しい時代の答えを見つけなきゃいかんっ！　ここで俺たちは答えを見つけるんだよぉ。

谷川　その現実を見据えて“勝ち組”“負け組”の答えが出る時に、マスコミも含めて必ずブレーキが働きますよね。変に古いものを守ろうとするじゃないですか。

山本　それが如実に出てるのが既存のプロレス週刊誌ですよぉ。これだけ『プライド』が新しいうねりとして押し寄せてきて、ミレニアムにふさわしい大クライマックスを迎えていて、なおかつ藤田が参戦したとゆー衝撃的な事実があったのに、彼らのスタンスは藤田は取り上げるけど、『プライド』に関してはブレーキをかける。藤田に対するアクセルの踏み方もソフトにそーっとだよなぁ。

谷川　アイドリングの状態でギアが入ってるみたいな（笑）。まあ、僕もギアをローに入れたつもりでバックしちゃうこともあるんですけど。

山本　それは『プライド』を推してしまうと、プロレスが負けてしまう、ダメになってしまう、ヤバイとゆー恐怖感と不安感が編集者ぜ〜んぶの共通の概念として生きてるのでぇ、ど〜しても『プライド』を推せない、推してはダメなんだというかなり保守的な気持ちが働いちゃってるわけよぉ。でも、そこには一つの真実があるんだよぉ。

谷川　ほおほおほおっ！

山本　「プロレスがヤバイ」と思ってることは正しいんだよぉ！（笑）。俺だったらそこで思いっきりビジネスに走って、『プライド』の機関誌になろうがカタログ誌になろうが広報誌になろうが、一冊丸ごと『プライド』一色で染めて大プロパガンダに走りますよぉ！　優勝者当てクイズで「俺と一緒に行く世界一周旅行」プレゼントとかぁ、大々的にやってやりますよぉ！

大谷　山本さんと一緒の世界一周じゃあ、応募者が少ないかもね（笑）。

山本　とにかく煽りに煽って、この波に乗ろうとするわけよぉ。よ〜するに“勝ち組”に乗ろうとするわけ。ところがその“勝ち組”を作ったら、プロレスとゆージャンルが終わってしまうという正しい認識を持って大ブレーキをかけるという大アンビバレンツがマスコミに起こってるわけですよぉ。俺はもうここでハッキリ言うっ！　もうプロレスを守りきれないんだよぉ、今は。この16人のトーナメントが組めたこと自体が奇跡なんだか

らぁ。ポーカーで言えば、手持ちのカードを総取り替えする時代なんですよぉ。山本言語ではこれを「御破算の論理」というんですよぉぉぉ！

谷川　要するにプロレス・マスコミは『プライド』を怖がってるわけですね。Ｓｈｏｗもさっきから「怖い、怖い」って言ってるし。

大谷　いや、僕は結果を見るのが怖いんですよ。

山本　まあ、とにかくプロレス・マスコミは手が出せないわけよぉ。で、俺は2年半前に『週刊プロレス』を辞める時に「プロレスと格闘技のプロ格時代到来！」と叫んだけど、それがこうして現実のものとなったわけねぇ。そのプロ格の時代がスタートしてるのに、そこに乗れない歯がゆさと気の弱さと、新しい時代への対応力のなさとゆーものがマスコミにもあるし、新日本にも全日本にもあるわけよぉ。

谷川　僕なんか、なんでも無意識に対応しちゃうけどなあ。

大谷　ああっ、そうかあっ！

山本　俺は今回、一番マヌケだと思ったのは全日本だよぉ。わざわざＤＳＥの森下社長が三沢に会いに行って、「出てください」って。こんなビッグ・チャンスはないよぉ！　秋山なら一番いいけど、たとえ外人選手でも藤田より先に送り込んで出場させたら大変なことになったんだよぉ。もうその時点で新日本が完全に遅れを取って、取り返しのつかない状態になったんだよぉ。そのチャンスを逃して、馬場さん特有の「未だ時期尚早、その機にあらず」と三沢が言ってどうするんだよぉ！

谷川　逆に「森下社長が三沢光晴に会った」という小さな記事でしたけど、それに一番敏感に反応したのが猪木さんだと思いますよ。

山本　そうっ！　猪木さんはその時、嫉妬したんですよぉ。その猪木さんの機転の利き方というかさぁ、瞬発力の早さが重要なんですよぉ。

谷川　だって、仮に秋山選手を先に出されたら、猪木さんだってヤバかったですもんねぇ。

山本　一巻の終わりだよぉ！　だって秋山がもし出たら、プロレスの王道がバーリ・トゥードに出てきたとゆーことで、巨大な山が動いたということになるから藤田よりもさらに刺激的だよぉ。

谷川　実際に、秋山選手はあの場で飛び抜けたスターになる可能性が凄く高いですもんねぇ。

山本　いやあ、秋山の運動神経と身体能力は凄いよぉ。それにしても、森下社長が三沢に会いに行ったというのは、凄くいいビッグ・チャンスだと思ったんだけどなぁ。

谷川　あえて僕が全日本を弁護するとしたら、日にちが悪かったですね。馬場さんの命日ですからね。これが2月とかだったら、一周忌が終わってるから動けたと思いますけどね。

ポーカーで言えば、手持ちのカードを総取り替えする時代なんですよぉ！

山本　でも、31日に一周忌興行があるから出られないと考えることが、今は一番ダメなことだよねぇ。何を優先すべきか、プライオリティーの決断ですよぉ。馬場さんの命日に「プロレスの王道の勝利」を捧げるんですよぉ！　それが最高にして最大の供養ですよぉ！　だって、今回出場した選手たちはモチベーションとして、『プライドＧＰ』を最優先して佐竹も髙田も藤田も出たわけでしょ。動機のプライオリティー、モチベーションが凄いわけですよぉ。もはやここにしかポイントはないよぉ。一歩でも出遅れたら、大きな遅れを取るわけよぉ。

大谷　そうかあっ、そうかあっ。

山本　だから猪木さんは、残りの0・0001パーセントの可能性の中で、藤田を強引に出場させたんだよねぇ。それが猪木さんの執念というか、ギリギリのプライドというか、土壇場でつじつまを合わせて、やっとこさ間に合わせたんですよぉ。バスに乗り遅れないために、ドアをこじ開けて駆け込み乗車したんですよぉ。やっぱりそーゆー意味で猪木さんは時代の空気に敏感なんだねぇ。まあ、コスイというかズルイよねぇ、それが猪木さんの真骨頂なんだけど。

大谷　まあでも、『プライドＧＰ』はホントに「来た来た来た！」って感じですよね。でもヤバイんだよなあ。

山本　おまえ、さっきから「ヤバイ、ヤバイ」って何がヤバイのぉ？　他のプロレス・マスコミみたいに「プロレスがヤバイ」と思ってるってことぉ？

大谷　いやいや、そうじゃなくて。結果が出るってことが怖いんですよ。ジャッジされるっていう結果がですよ。

山本　あー、これねぇ、今日はＳｈｏｗのことがハッキリ分かったぁ。

谷川　分かりましたか（笑）。

山本　結果が出ることが怖いとゆーのは、「弱者の人生」を生きてるとゆーことですよぉ。どんな結果が出ようと、その結果に対して強く立ち向かえるのが「強者の人生」で、Ｓｈｏｗの生き方は「弱者の生き方」そのものですよぉ。

大谷　そんなことないよ。これは性格だよ。だって僕は映画とかでも犯人が追求されて、分かっただけで怖いもん。「ヒャッ!?　この人が犯人だったんだあ！」と思うもん。

谷川　僕も犯人が出てきた時は驚くけど、怖いとは思わないもんなあ。「んあ〜！　こいつが犯人だったの？」って思うくらいで。

山本　Ｓｈｏｗは人生に何も楽しみがないんじゃないかぁ？　人生を楽しむ権利を自ら放棄してるというか、人生を楽しむＤＮＡが欠落してるよぉ。このままだと、人生では負けることが凄い快感であるとゆーことを知らないで人生が終わるぞぉ。

谷川　Ｓｈｏｗは「怖い」って言うけど、『プライド』の結果は快感だと思うよ。

大谷　桜庭和志は唯一、僕にとって希望の光ではあるけれども、それ以外の結果は正直言って「怖い」と思うんだよ。

谷川　でも、桜庭じゃないんだよ。桜庭は元々一番の〝勝ち組〟だから。だから今回僕は負けの快感が見たいなあ。

山本　サダハルンバがそういうことを言っても、ま～ったく似合わないなぁ。

谷川　んあ～！　それは僕がいつも〝勝ち組〟だからかなあ。

山本　いや、サダハルンバは〝勝ち組〟じゃあない。〝勝ち組〟と〝負け組〟に常に二股かけてる男なんですよぉ。

谷川　そうだよなあ、僕は負けることのダイナミズムとリアリティがないんだよなあ。

大谷　僕は勝ちも負けもなく、迷ってるだけだからなあ。

谷川　僕は人が負けた時に「凄いなあ」と思っちゃうんだよなあ。いつも山本さんを見ていて思うもんなあ。悔しいとか、こうなってやろうと思わないで「ああ、凄いなあ、この人は」って思っちゃうんだよなあ。

山本　俺はバーッと大勝ちするか、ドーンッと大負けするか、どっちかしかしないんですよぉ。上はエベレストから下はマリアナ海溝まで、勝ち負けの幅が広いんですよぉ。そこへいくと、サダハルンバは常に広大な濃尾平野の住人ですよぉ。

谷川　んあ～！　確かに愛知県出身だけど、僕だって少しくらい山には登るし、素潜り程度には海にも潜りますよお。

大谷　まあとにかく、僕は「ヤバイなあっ!?」という気持ちのまま東京ドームに向かおうっと。でも、僕も一回めの高田vsヒクソン戦以上の気持ちにはなれないから、そう考えるとリラックスして見られるのかなあ。

山本　あの時は負けたら「問答無用の負け」ということだったからなぁ。まあ、とにかく今回の16選手の試合を見たら、それぞれの選手の持っている気持ちとかがぜ～んぶ見えてくると思うよぉ。試合内容を通して、彼らの『プライド』への関わり方の微妙なところまで見えてくると思うよぉ。それが凄く楽しみだよぉ。

谷川　でも、髙田がホイスに勝ったら、いろんなものが狂うでしょうねえ。最も予想しがたい事態が起こるでしょうねえ。

山本　そうなったら俺たちは懺悔しなきゃいかん！

大谷　「俺たち」って、懺悔するのは山本さんだけでしょ（笑）。

山本　髙田がホイスに勝ったら、俺は懺悔の意味を込めて丸坊主にするよぉ。

谷川　ちぇ～っ！　そうやって、また山本さんはいい負け方をしようとするもんなあ（笑）。

山本　でも、もし髙田が勝ったとしたら、やっぱり桜庭が勝たせたと叫ぶねぇ。桜庭が髙田を変えた、と。桜庭効果というか、髙田道場をあれだけ繁栄させて、好転させたのは桜庭だからぁ。髙田とゆー人は気分によって動く人だから、桜庭によって気分が良くなってるんだよねぇ。

緊急バナナ大食い鼎談！

『プライドGP』は俺の遺言を実現してくれたんですよぉ！

谷川　勝ってほしいなあ。

大谷　エヘヘヘッ、僕も髙田延彦にはぜひ勝ってほしいなあ。

山本　とにかく『プライド』は新しいプロレスだと認識しなきゃいかんっ！「これが新しいプロレスだ！」と考えて出発したほうがこの先、道が拓けるし、俺たちの自由な世界が広がるんじゃないの？

谷川　そうですね。

大谷　そうかあっ！　『プライド』は最先端のプロレスと考えればいいんだ。

山本　だって、偶然かも分からんけど、形を変えた日本人vs外人の対決になったよねぇ。そーゆーことでも、これは力道山時代の日本人vs外人の対決みたいなものを表してるもんねぇ。で、そこに勝負論があるわけでしょ、力道山時代の。正真正銘のプロレスですよぉ。

谷川　元リングス、元パンクラス、元Ｋ―1、アルティメット大会チャンピオン、グレイシー柔術、相撲……、って何から何までいろんなジャンルが揃ってますしねえ。

山本　これね、俺はさっきも言ったけど2年半前に『週刊プロレス』の編集長を降りて、ベースボール・マガジン社を辞めたでしょ。あの時に「これからはプロ格の時代になる！」と書いたけど、あの時のターザン山本の遺言状が実現したんだよなぁ！　『プライドＧＰ』は俺の遺言を実現してくれたんですよぉ！

谷川　山本さんの遺言だったんだあ（笑）。

山本　だから、『プライドＧＰ』は俺の亡霊の怨念が実現させたんですよぉ。これは怨念の賜物だぁ！　俺の巨大なる遺産ですよぉぉぉ！

大谷　また勝手な解釈をしてるよ。ヤバイなあっ!?

山本　俺の遺産ということは、つまりハッキリ言うと真実は勝つんだよなぁ。これは今日の大発見だぁ！

谷川　やっぱり山本さんは〝勝ち組〟だったんだあ。

山本　そーゆーことです！　なんか最後に大発見したら、また腹が減ってきたよぉ。バナナもう一本いい？

谷川　んあ～っ！　■

本誌からプチなShow原稿の傾向と対策

Showの旧キャッチ・フレーズ「世迷い人」は、「世を迷わす人」が正解

本誌前号の1・23パンクラス後楽園ホール大会をレポートしたShowの原稿は、今年の大学入試センター試験と比べてもはるかに読解不能の難解な内容であったと思います。たとえば「グレイシー出現以来、マット界は荒らされ放題で来たが、いつまでもそんな輩に構ってはいられないのだ」という部分の「そんな輩」とは何か？　その直後の段落で『プライドGP』とリングスKOKは「時代の気分」が現れていると書いているため高度な解釈が要求されると思わせますが、これは単純に「グレイシー」ということで正解だそうです。もう一つ「いわゆる『出島外交』でパンクラスらしさも十分に出ていた」という部分の「出島外交」とは、「鎖国政策を取っているにも関わらず慧舟會やRJWなど、特定の団体とは交易する」という意味だそうです。でも、それってパンクラスらしさなの？　全国のShow原稿に迷わされた読者の皆さまはこれで謎が解けましたでしょうか？　解けないよねえ。ちなみに最近のShowは船木誠勝選手との2000回スクワットの約束に向けて、週2回各400回のスクワットに励んでいるそうです。…………アーメン！

次号予告
NEXT ISSUE

2・26 リングスKOK 決勝トーナメント 直前情報

やる側、見る側、これも
絶体絶命

面白さ、試合内容では『PRIDE』にも負けない!

2・26は 日本武道館へ
行け!

見えてきた武蔵の可能性! 3・19 K-1ジャパン 横浜アリーナ大会は どんなカードが飛び出すか!?

試合レポート
なぜか、キックが花盛り

◎1・29 ニュージャパンキック後楽園大会
◎1・30 MA日本キック後楽園大会
◎2・4　J-NETキック後楽園大会

スペシャル・リング・サイド
SRS DX No.17

毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

次号は通常どおり、第4木曜日2月24日に発売されます。

2/3 THU～2/24 THU
CALENDAR

日付	予定
2/3 THU	★『SRS・DX』16号発売日 ●フジテレビ系『ＳＲＳ』(25:15～25:45) ⬅p69
2/4 FRI	■J-NETWORK/東京・後楽園ホール（17:30～）⬅p49
2/5 SAT	
2/6 SUN	■修斗/福岡・ももちパレス柔道場（10:30～）⬅p47
2/7 MON	
2/8 TUE	
2/9 WED	
2/10 THU	●フジテレビ系『ＳＲＳ』(25:15～25:45) ⬅p69
2/11 FRI	■バトラーツ/神奈川・クラブチッタ川崎⬅p47
2/12 SAT	◆全日本キックボクシング連盟『LEGEND-3』/チケット発売⬅p48
2/13 SUN	■バトラーツ/福岡・アクロス福岡⬅p47 ■真樹ジム沖縄/沖縄・ダンスホールMATSUSHITA（17:00～）⬅p49 ◆シュートボクシング『INVADE』/チケット発売⬅p49
2/14 MON	■バトラーツ/長崎文化放送NCC & スタジオ⬅p47
2/15 TUE	
2/16 WED	
2/17 THU	●フジテレビ系『SRS』(25:15～25:45) 放送⬅p69
2/18 FRI	
2/19 SAT	◆K-1 BURNING 2000/チケット発売⬅p46
2/20 SUN	■全日本キックボクシング連盟/東京・後楽園ホール（18:00～）⬅p48 ◆K-1 BURNING 2000/チケット発売⬅p46
2/21 MON	
2/22 TUE	
2/23 WED	■キングダム/東京・北沢タウンホール（18:30～）⬅p48
2/24 THU	★『SRS・DX』17号発売日 ●フジテレビ系『SRS』(25:15～25:45) 放送

格闘技
パーフェクトガイド
Perfect Guide

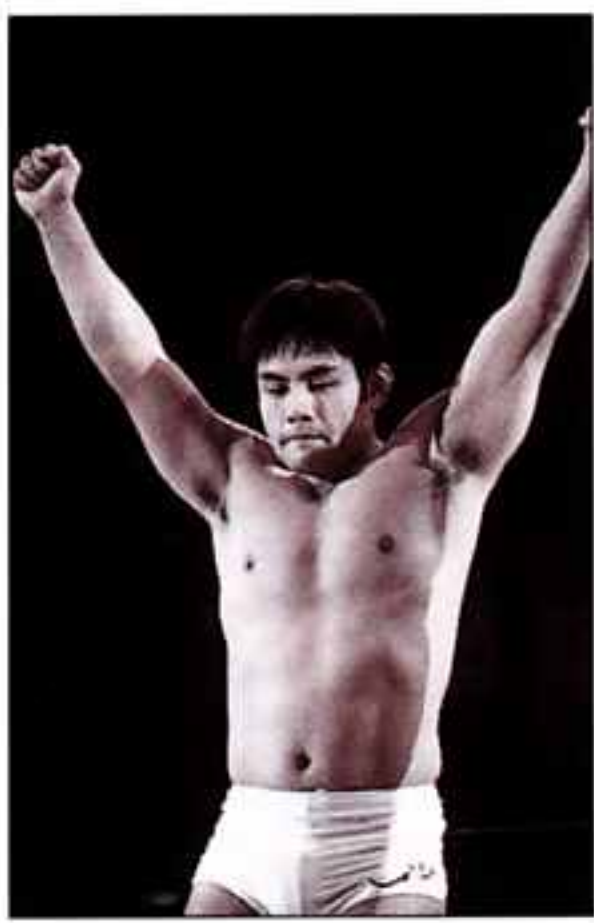
GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

◎主なチケット発売所は、P75『イエローページ』をご覧下さい

総合格闘技&ノールール系

パンクラス

いよいよランキング入りか!? 菊田早苗の強さの秘密に迫る

2.27大阪大会で柳澤龍志とランキング戦を行う菊田早苗。パンクラスきっての実力派が、ついにランキング入りのチャンスを迎えた。菊田は元々柔道の出身で、日体大時代は一軍で活躍したエリート。その後、オーストラリアに渡りスタン・ザ・マンのもとでトレーニングをするなど、変わった経歴を持っている。そして、道衣着用の総合大会『トーナメント・オブ・J』を連覇、『バリ・ジャパ』出場、さらに『プライド』のリングでヘンゾ・グレイシーと対戦するなど、菊田はまさに"総合の申し子"的な格闘家なのである。パンクラスのグローブ着用新ルールなら、菊田はさらに強さを増すこと必至。今年、もっとも期待されるパンクラシストのひとりだ。

PANCRASE 2000 TRANS TOUR
2月27日(日) 大阪・梅田ステラホール

◆開場/15:00 試合開始/16:00
◆入場料/SS8,500円 A6,500円 ※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎06-6363-9999、ローソンチケット☎06-6369-6633、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディ・スラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富万☎078-811-6222
◆会場アクセス/JR大阪駅中央北口から徒歩10分
◆お問い合わせ/GAORA☎06-6374-0002、パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

〈無差別級ランキング戦/15分一本勝負〉
柳澤龍志(パンクラス/東京) vs 菊田早苗(パンクラス/東京)

〈ミドル級10分一本勝負〉
國奥麒樹真(パンクラス/横浜) vs 須藤元気(パンクラス/ビバリーヒルズ柔術クラブ)

〈ライトヘビー級10分一本勝負〉
美濃輪育久(パンクラス/横浜) vs レスリー・アレン(イギリス/ドラゴンズ・ゲイト)

リングス

コマンドサンボ幻想、大爆発か? コピィロフ、ブラジリアン柔術と対戦!

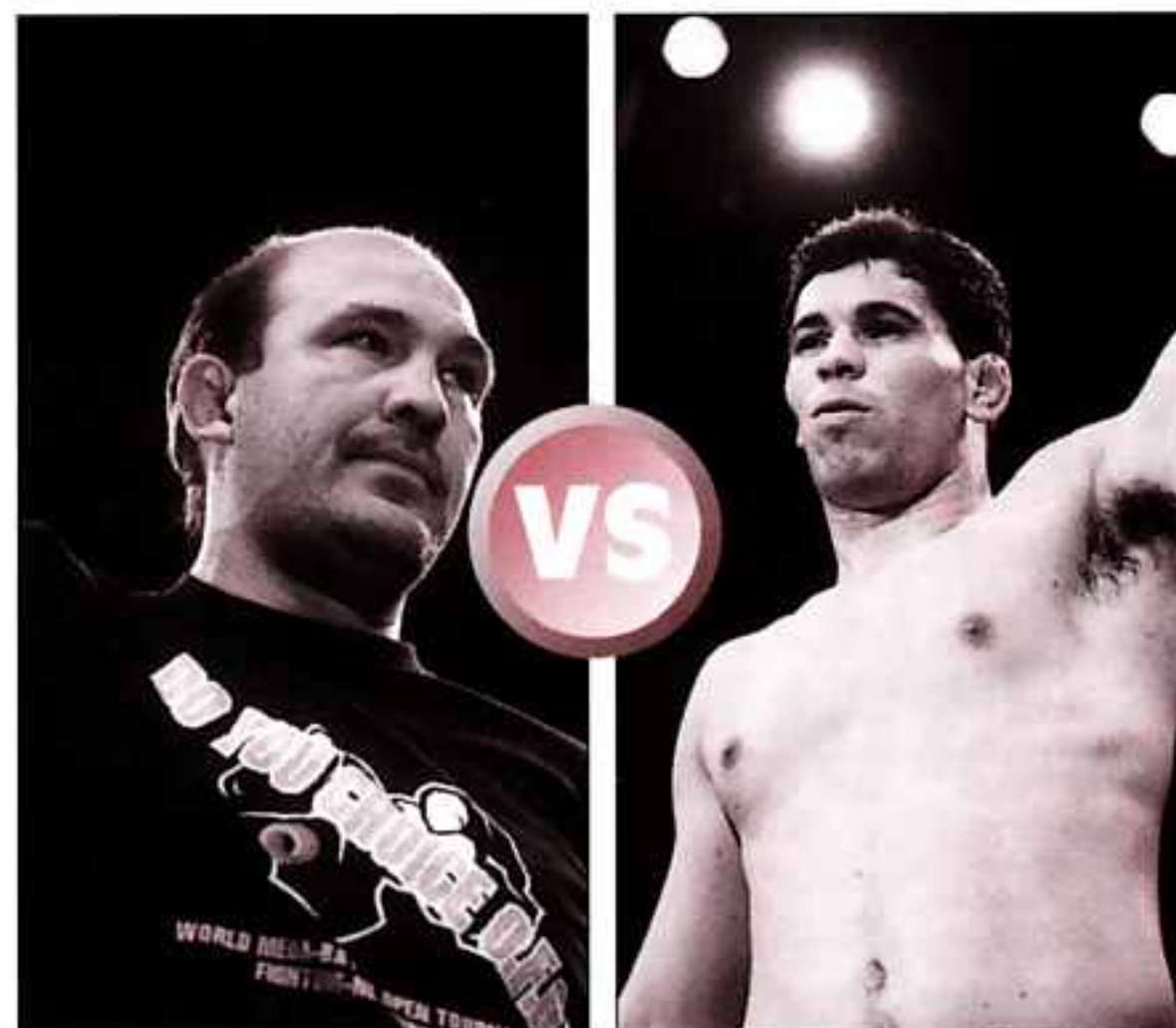
リングス史上でも最大級の盛り上がりを見せている『KOKトーナメント』。決勝トーナメントにも、興味深いカードがズラリと並んでいる。大阪で行われた1、2回戦を見事すぎる秒殺の連続で勝ち上がり、その強さをまざまざと見せつけたアンドレイ・コピィロフは、なんと代々木大会で大活躍、優勝候補の声も高い柔術のアントニオ・ノゲイラと対戦する。極限まで膨れ上ったコマンドサンボ幻想が、武道館で爆発するぞ!

VS

WORLD MEGA BATTLE OPEN TOURNAMENT KING OF KINGS GRAND FINAL
2月26日(土) 東京・日本武道館

◆試合開始/15:30
◆入場料/ロイヤルリングサイド20,000円 アリーナリングサイド15,000円 リングサイド10,000円 アリーナSS6,000円 スタンドS7,000円 スタンドA5,000円 スタンドB3,000円 学生特別優待席A2,000円 学生特別優待席B1,000円 ※学生特別優待席の販売はチケットぴあのみ。高校生以下に限る。購入時には学生証の提示が必要
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、ファイター新宿店
◆会場アクセス/地下鉄東西線、半蔵門線、都営新宿線九段下駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999、WOWOW情報ダイヤル(24時間テープ案内)☎045-683-8009

トーナメント表

- 田村潔司(リングス・ジャパン) / ヘンゾ・グレイシー(ブラジル)
- イリューヒン・ミーシャ(リングス・ロシア) / レナート・ババル(ブラジル)
- ギルバート・アイブル(リングス・オランダ) / ダン・ヘンダーソン(アメリカ)
- アントニオ・ノゲイラ(ブラジル) / アンドレイ・コピィロフ(リングス・ロシア)

※ヴォルク・ハン、ブラッド・コーラーも出場予定

K-1

3.19 横浜で角田vs黒澤! 4.23大阪ドームもチケット発売開始!

K-1 BURNING 2000
3月19日(日) 神奈川・横浜アリーナ

◆開場/15:30 試合開始/17:00
◆主な対戦カード/角田信朗vs黒澤浩樹、前田憲作vsチャモアペット・チョーチャモアン
◆入場料/SRS20,000円 RS16,000円 SS10,000円 S8,000円 A5,000円
◆チケット発売/2月12日(土)10:00～ ※キョードー東京は2月13日(日)より
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、キョードー東京
◆会場アクセス/JR横浜線新横浜駅、市営地下鉄横浜駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

◎K-1 BURNING 2000 チケット発売

2月19日(土) 10:00～
チケットぴあ(特電) ☎03-5237-9888
CNプレイガイド(特電) ☎03-5802-9955
ローソンチケット(特電) ☎0570-00-0063

2月20日(日) 10:00～
チケットぴあ ☎03-5237-9999
CNプレイガイド ☎03-5802-9999
ローソンチケット ☎03-3569-9900(Lコード35538)
キョードー東京 ☎03-3498-9999

K-1 THE MILLENNIUM
4月23日(日) 大阪ドーム

◆開場/11:00 試合開始/13:00
◆入場料/SRS30,000円 RS20,000円 SS15,000円 S10,000円 A5,000円 ジュニアシート(小・中学生)2,000円
◆チケット発売/下記の表を参照
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット
◆会場アクセス/地下鉄大阪ドーム前千代崎駅下車すぐ、地下鉄九条駅より徒歩9分、JR環状線大正駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/ステージア・K-1大阪事務局☎06-6344-4441、K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

◎K-1 THE MILLENNIUM チケット発売

〈関西テレビ『SOLD OUT』予約〉
2月29日(火)
番組開始午前2時30分～番組終了午前9時まで
ローソンチケット ☎06-6369-6666

〈一般発売〉
3月5日(日)
チケットぴあ(特電) ☎06-6363-9911・9922
ローソンチケット(特電) ☎06-6369-6655・6600
CNプレイガイド(特電) ☎06-6776-1177

3月6日(月)～
チケットぴあ ☎06-6363-9999
ローソンチケット ☎06-6369-6633(Lコード58728)
CNプレイガイド ☎06-6776-1199

VS

バトラーツ

『スカイ・ハイ』で泣け!
2.11川崎にマスカラス・ブラザーズ登場

バトラーツ2.11クラブチッタ川崎大会に、あのマスカラス・ブラザーズの参戦が決定した! フライング・クロスチョップにダイビング・ボディアタック、ロメロスペシャル。さらにはオーバーマスク投げ、そして『スカイ・ハイ』のメロディ…。昭和のプロレスファン的にはマスカラスといえば、全日本プロレス『サマーアクションシリーズ』への特別参戦が定番で、夏の風物詩といった印象があるが、季節に関係なく、マスカラスは飛びます!

大会日程

2月シリーズ マッハGO! GO! GO!

2月11日(金・祝) クラブチッタ川崎
2月13日(日) アクロス福岡
2月14日(月) 長崎文化放送NCC&スタジオ

バトラーツ2.26事件

2月26日(土) 愛知・名古屋レインボーホール第3競技場

FEAST OF BATTLARTS

3月18日(土) TOKYO FMホール

春の嵐 ~ミレニアム~

3月25日(土) 北海道・札幌テイセンホール

お問い合わせ/バトラーツ
☎0489-63-0005

修斗

修斗、またも大阪に進出
五味、ノゲーラが出場!

昨年10月、8年ぶりに大阪で大会を開催、大成功を収めた修斗。4月2日にも、なみはやドームでの開催が決定した。今後、大阪大会は恒例になっていきそうだ。前回は佐藤ルミナの復帰戦が行われて注目されたが、今回はアレクサンドレ・フランサ・ノゲーラと五味隆典の出場が決定。ノゲーラはライト級タイトルを保持しているだけに、チャンピオンシップが行われる可能性もある。となると挑戦者は…!?

博多フリーファイト WITH KYUSYU BJJ JAM 2

2月6日(日) 福岡・ももちパレス柔道場

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/市営地下鉄藤崎駅下車徒歩3分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209、JJJ立野和浩☎090-8299-4488

第2回中部日本アマチュア修斗オープントーナメント

2月13日(日) 愛知・名古屋市露橋スポーツセンター・1F柔道場

◆試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/名鉄・名古屋本線ナゴヤ球場前駅より徒歩7分
◆お問い合わせ/大会事務局☎03-5984-3209、中部事務局☎052-936-0480

R.E.A.D ~2000 SHOOTO~

3月17日(金) 東京・後楽園ホール

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/SRS席12,000円 SS席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、ファイター
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ガッツマンプロモーション☎044-988-3633

決定対戦カード

〈ミドル級チャンピオンシップ〉
桜井"マッハ"速人(総合格闘技木口道場) vs 加藤鉄史(PUREBREDシューティングジム大宮)

桑原卓也(PUREBREDシューティングジム大宮) vs ジョニー・エドゥアウド(アカデミア・ボクセタイ)

小島弘之(シューティングジム横浜) vs マセロ・アグア(アカデミア・ボクセタイ)

三島★ド根性ノ助(格闘サークル・コブラ会) vs ディン・トーマス(インターナル・パワー)

R.E.A.D ~2000 SHOOTO~

4月2日(日) 大阪・なみはやドームサブアリーナ

◆開場/16:00 試合開始/17:30
◆主な出場選手/アレクサンドレ・フランサ・ノゲーラ、五味隆典ほか
◆入場料/1階RS席10,000円 1階SS席7,000円 1階S席5,000円 1階A席4,000円 2階パノラマ席6,000円 2階A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎06-6363-9999、シューティングジム大阪☎06-6390-5010
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/修斗大阪事務局☎06-6233-8787

R.E.A.D ~2000 SHOOTO~

4月12日(水) 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:30
◆主な対戦カード/秋本じんvsバレット・ヨシダほか
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ、ファイター
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/K'zファクトリー☎0427-40-5710

PRIDE

さあ、今度は決勝戦だ!
最強の称号を勝ち取るのは、果たして…

1月30日の開幕戦も終わり、ついに決勝トーナメント進出者8名が決定した『プライドGP2000』。決勝大会の会場も、もちろん東京ドームだ。開幕戦に出場した16人のファイターがすこぶるつきの凄まじいメンバーだったのに、さらにそこから勝ち抜いた8人が、しかもワンナイト・トーナメントで闘うのである! 5月1日といえば、ゴールデンウィークの真っ最中。地方のファンも、これは見に来るしかないわけですよ、実際。

PRIDE GRANDPRIX 2000 ~世界最強トーナメント決勝戦~

5月1日(日) 東京ドーム

◆開場/15:00 試合開始/17:00(予定)
◆入場料/VIP100,000円 RRS30,000円 SRS20,000円 RS15,000円 S9,000円 A6,000円
※VIP席は専用入場ゲート、グッズの特典つき
◆チケット発売/3月5日(日)~
◆チケット発売所/キョードー東京、チケットぴあ、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、書泉ブックマート、フィットネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット&トラベルT-1、AOコーナー、アイドール、髙田道場、公武堂、相鉄ジョイナスプレイガイド、ファイター
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-3552-6300

総合格闘技&ノールール系

コロシアム2000実行委員会

18万円チケット売れ行き好調
ホームページも面白いぞ！

特別リングサイド席が、特典つきで18万円という常識を越えた仰天価格で話題となっている『コロシアム2000』。「一体、どんな金持ちが買うんだ？」と思ってたら、すでに結構な枚数が売れているらしい。歴史的な一戦だけに、できるだけいい席で、というのが熱狂的なファン心理ということなのかも。また、大会オフィシャルホームページのほうも、なかなかの評判。充実した内容なので、ぜひ一度のぞいてみては？

コロシアム2000
5月26日（金）　東京ドーム

◆試合開始/未定
◆入場料/特別RS席180,000円　※3列目まで。パンフレット、お土産、当日大会終了後に行われる出場全選手出席パーティー参加の特典付き
RS席32,000円　SS席23,000円　S席10,000円（1F）　A席7,000円（1F）　B席5,000円（2F）
◆チケット発売/〔一般発売〕3月上旬予定
◆チケット発売所/全国の有名プレイガイドにて発売予定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/コロシアム2000実行委員会☎03-3432-1682

『コロシアム2000』公式ホームページ
http://www.colosseum2000.com

キングダム

プロフェッショナル・レスリングキングダム東京大会
UWF CHALLENGER
2月23日（木）　東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30
試合開始/18:30
◆主な対戦カード/入江秀忠vs力王ほか
◆入場料/リングサイド7,000円（1列目のみ）
自由席4,000円
※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケット&トラベルT-1、きんとき中央林間店、後楽園ホール、キングダム他
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/キングダムワーキングオフィス
☎0423-31-2797

キックボクシング

全日本キックボクシング連盟

完全復活へスパート！
2.20後楽園に立嶋が出場

2.20後楽園大会のセミファイナルに、立嶋篤史が登場する。90年代のキック界を牽引してきた立嶋だが、ここ数年の間、なかなか結果を残すことができず、一時の輝きを失っていた感があった。だが、やはり立嶋はキック界になくてはならない人物。入場シーンで見せる異様なまでの集中力は、今なお見る者を魅き付けてやまない。ここ2試合は連勝中と調子も良いだけに、今度の試合でも、カリスマ復活へ向けての強烈なアピールを期待したいところだ。

LEGEND-Ⅱ
2月20日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円（当日のみ）
※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、書泉ブックマート、ローソンチケット、チャンピオン、ファイター、全日本キック　※全日本キック電話予約での購入者には、魔裟斗、金沢久幸ら7選手の中から希望選手のスタジオ写真（ニューバージョン、非売品）をプレゼント
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

主な対戦カード

〈メインイベント/ミドル級ランキング戦〉
新田明臣vs藤原鉄志
（SVG）　（青春塾）

〈セミファイナル/日本・イギリス国際戦〉
立嶋篤史vsリンフォード・メーボーン
（RIKIジム）　（イギリス/トロージャンジム）

〈全日本フェザー級ランキング戦〉
藤武蔵vs清水潤也
（藤ジム）　（富士魅ジム）

LEGEND-Ⅲ
3月16日（木）　東京・後楽園ホール

VS

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆主な出場予定選手/金沢久幸、内田康弘、小林聡、安川賢ほか
◆入場料/SRS席15,000円　RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/2月12日（土）～
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、書泉ブックマート、ローソンチケット、チャンピオン、ファイター、全日本キック　※全日本キック電話予約での購入者には、魔裟斗、金沢久幸ら7選手の中から希望選手のスタジオ写真（ニューバージョン、非売品）をプレゼント
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック
☎03-3365-1171

MA日本キックボクシング連盟

MAの最終兵器・山口元気が
10カ月ぶりの復帰戦

3月20日の後楽園大会で行われる、55kgトーナメント。興味深いメンバーが並んでいるが、中でもフェザー級王者・山口元気はMAの最終兵器ともいうべき存在だ。昨年5月にランバー・ソムデートM16と対戦し、KO負けを喫している山口だが、それまでは無敗を誇っていたのだ。スピーディーかつ破壊力のある攻撃は、見ていて気持ちがいい。優勝者には海外の強豪選手との対戦権が与えられるという、このトーナメント。山口にかかる期待は大きい。

COMBAT-2000
3月20日（月・祝）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆チケット料金/特別リングサイド20,000円　リングサイド15,000円　S10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、山木ジム
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

55kgトーナメント出場決定選手

土屋ジョー（谷山ジム）
山口元気（山木ジム）
貝沼慶太（J-NETWORK/アクティブJ）
水井聡（K-U/習志野ジム）
ラビット関（山木ジム）

ニュージャパンキックボクシング連盟

いざ、リマッチ！　鈴木よ、
今度こそアタチャイを越えろ！

1月に予定されながら、鈴木秀明のケガで延期になっていたアタチャイとのリベンジマッチが、3.10後楽園大会で行われることになった。一昨年の12月に対戦した時には、惜しくも勝利を逃した鈴木だが、その後はタイ人を相手に破竹の連勝を重ねている。今度こそアタチャイ越えを果たし、さらに"打倒ムエタイ"への道を前進していってほしい。

MILLENIUM WARS Ⅱ
3月10日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/16:45　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席12,000円　RS席10,000円　特別指定席7,000円　指定A席5,000円　指定B席4,000円　立見3,000円（当日券のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、後楽園ホール、書泉ブックマート、ファイター、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、渋谷センタースポーツ☎03-3400-3308、格闘館MAX☎03-5212-7897、マーシャルワールド東京店、コンクリート
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-3239-7703

主な対戦カード

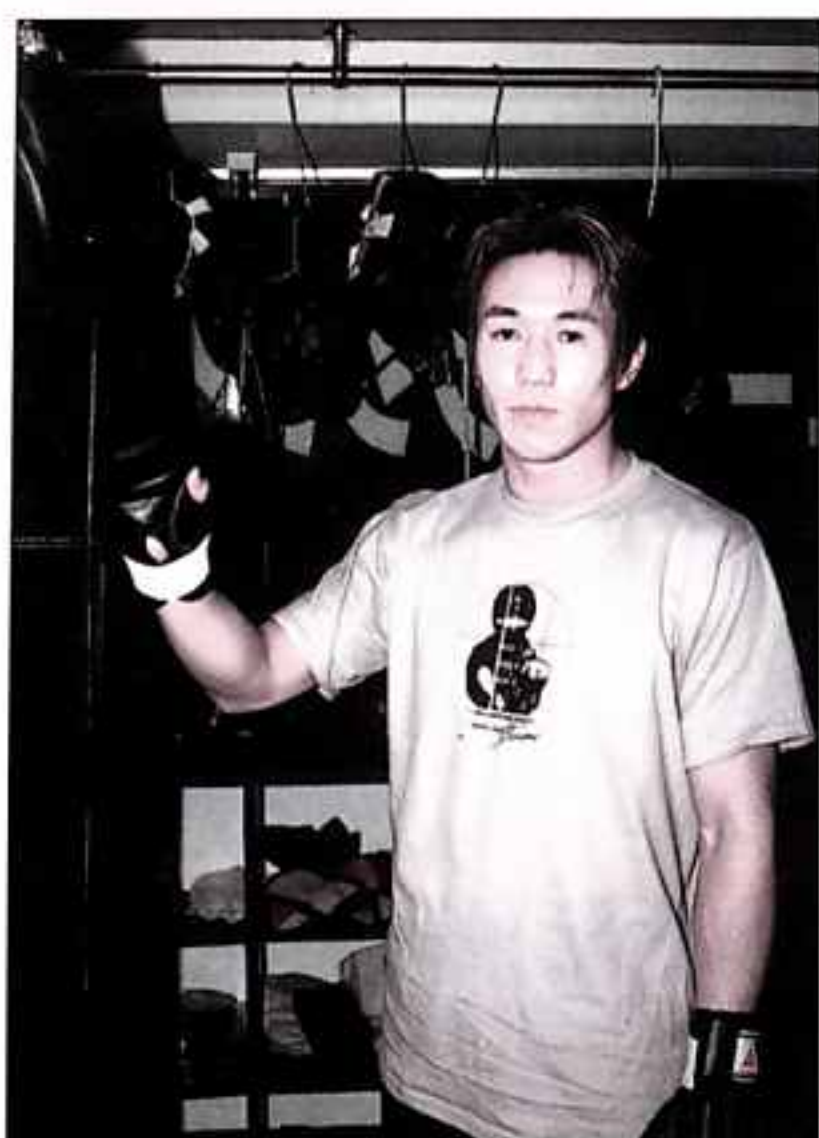
アタチャイ・ボー・サムランチャイvs鈴木秀明
（タイ）　（名古屋JKF）

青葉繁vs小野瀬邦英
（仙台青葉ジム）　（日本キック連盟/渡辺ジム）

佐藤孝也vsプラサンチャイ・ルーグノンセントーイ
（名古屋JKF）　（タイ）

大谷浩二vs松浦信次
（横浜征徳会）　（東京北星ジム）

野崎勇治vs松本竜大
（東京北星ジム）　（名古屋JKF）

シュートボクシング

3・22後楽園で復帰！緒形健一にインタビュー「投げでKO勝ちします！」

――復帰が決まった、今の心境は？

緒形　1月の大会で後楽園に行ったんですけど、『2カ月後にここでやるんだな』と思ったら、メチャクチャ緊張しましたね。もう、練習しないと落ち着いてられないんですよ。

――9カ月ぶりの試合ですよね。

緒形　期待されてるのを感じるんで、絶対負けられないです。倒されることが不安じゃないって言ったら嘘になりますけど、それより負けるのがイヤですね。

――体調の方はもう万全？

緒形　はい。たくさん検査しましたよ（笑）。去年の暮れにも再検査しましたし。

――正直、休養前は体がかなりキツそうだなっていう感じがしたんですが…。

緒形　はっきり言って、ドクターストップがかかってたんですよ。去年の4月にジョン・ウェインとやった時は、ダウンしたら体が言うことを聞きませんでしたね。それで、6月にもKO負けして、さすがに周りも自分も『休んだ方がいい』と。

――そりゃあキツイわ。

緒形　僕、これまで6回負けてるんですけど、その内5回がKO負けで、しかも全部病院送り（笑）。で、2回入院してるんです。ダメッスよねぇ。

――だって、相手はデッカーとかデニー・ビルとか、世界のトップ選手じゃないですか。

緒形　いやぁ、でも負けたらダメですよ。『こんなにチャンスもらってるのに…』って、限界を感じたりもしました。

――休養中は進退を考えたこともあったとか。

緒形　はい。シーザー会長と裏方の仕事をやってて、リングから気持ちが離れたりもしました。でも、一度行った道を途中で引き返すのはイヤですし。村浜のこともあって、なおさら『やめるもんか！』と。今はもう、練習もガンガンやってますから、大丈夫ですよ。

――復帰戦の相手は決まってるんですか？

緒形　まだですけど、ドラッカの選手とやりたいですね。今は『打撃十投げ』というSBの競技性を確立する時期ですから。できれば投げでKOしたいですね。打撃でフラフラにさせといて、トドメに頭から落としてやりたい。

――おお、それいいですよ。絶対カッコいい！

緒形　あ、いや、そう言われると…。あくまで目標、ってことで（笑）

――あ、目標（笑）

緒形　とにかく、言いたいことはいろいろありますけど、それは勝ってから言いますんで。楽しみにしててください！

INVADE　～2nd STEAGE～

3月22日（水）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆主な出場選手/土井広之、前田辰也、緒形健一ほか
◆入場料/RS席10,000円　SS席8,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/2月13日（日）～
◆チケット発売所/チケットぴあ、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、ローソンチケット、チャンピオン、CNプレイガイド、書泉ブックマート、後楽園ホール、渋谷東急文化チケットセンター、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

ワールドシュートボクシング名古屋大会 The beginning of millennium fight

4月7日（金）　愛知・名古屋市公会堂4Fホール

◆開場/17:45　試合開始18:15
◆主な対戦カード/若宮一樹vs森谷吉博、北岡孝人vs前田辰也ほか
◆入場料/S指定席10,000円　A指定席7,000円　B指定席5,000円　立見3,500円（当日のみ）　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎052-320-9999、アイビー・ブックス☎0568-31-0727、風吹ジム
◆会場アクセス/JR中央線鶴舞駅下車徒歩3分
◆お問い合わせ/風吹ジム☎0568-76-5054

真樹ジム沖縄

試合以外も気になる『KASSIN』今回も豪華ゲストが沖縄に!?

いよいよ間近に迫った『KASSIN』。あの『カキダミシ』のスタッフが手がける大会ということで話題となっているが、試合のほかに気になるのが、ゲスト陣だ。前回は、士道館の添野館長や真樹先生、さらにバス・ルッテンといった豪華な顔触れがリングサイドで見られた。果たして今回は？

KAKIDAMISHI PRESENTS KASSIN

2月13日（日）　沖縄・ダンスホールMATSUSHITA

◆開場/16:00　試合開始/17:00
◆入場料/SRS席10,000円　RS席5,000円　立見2,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ロータスクラブ沖縄支店、真樹道場沖縄支部の各道場
◆お問い合わせ/真樹ジム沖縄☎098-926-2523

主な対戦カード

ロバート・ゲンノラシン（タイ）vs大城健

ベイビー・ゴールド・ゲッソンリット（タイ）vs山本登（士道館シカノジム）

※ほか、4名参加のVTトーナメントも開催。アーロン・ライリー（アトランタVT王者）、岡田茂、A³ジム所属選手、沖縄米軍王者が参戦予定

日本キックボクシング連盟

2000年感動シリーズ

2月26日（土）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/リングサイド10,000円　指定A5,000円　指定B3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/後楽園ホール、チケットぴあ、ファイター、日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

主な対戦カード

〈メインイベント〉

佐藤ツヨシ（ピコイ錦ジム）vs清野浩志（みなみジム）

〈日本バンタム級王座決定トーナメント〉

川島康人（村越ジム）vs田村健治（渡辺ジム）

尾崎英樹（ピコイ錦ジム）vs海老沢朋和（平戸ジム）

〈交流戦〉

神島雄一（村越）vs馳大輔（JK国際）

植木孝一（千葉）vs中西和宏（八王子FSG）

〈対抗戦〉

田村和久（松栄ジム）vs馳和徳（大阪真門ジム）

J-NETWORK

Shangrila-1

2月4日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS9,000円　S7,000円　A5,000円　B3,000円　立見3,500円（当日のみ）　※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田ジム
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3419-0536

主な対戦カード

増田博正（アクティブJ）vsソンポン・ソーチタラダ（タイ）

蔵満誠（アクティブJ）vsアラビアン・ハセガワ（タイ）

梅下湧暉（谷山ジム）vsソンチャイ・JMTC（タイ）

長谷川康也（アクティブJ）vs中西陽介（MAキック/山木ジム）

〈闘魂伝笑マッチ〉

アントニオ猪木（春一番）vs長州力（神奈月）

空手

極真会館（松井派）

第3回極真祭 ～全日本壮年・女子・大学生空手道選手権大会～ ～全日本壮年・女子・少年「型」選手権大会～

2月27日（日） 東京・国立代々木第2体育館

◆開場/10:00
◆入場料/2,000円 ※当日券のみ会場販売（前売り券なし）
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/24時間テレフォンサービス☎03-5992-7739

OSAKA'S CUP2000 第2回大阪府空手道選手権大会

4月2日（日） 大阪・舞州アリーナ

◆入場無料
◆会場アクセス/JR西九条駅よりバス運行
◆お問い合わせ/兵庫・大阪南支部☎078-531-0664

第6回全日本青少年空手道選手権大会

5月3日（水・祝）、4日（木・祝） 埼玉・戸田スポーツセンター

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR埼京線戸田駅下車徒歩7分
◆お問い合わせ/極真会館埼玉県支部☎048-256-8255

正道会館

第34回オープントーナメント 全日本新人戦空手道選手権大会

2月27日（日） 大阪府立体育会館・柔道場

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

第11回オープントーナメント 東日本新人戦空手道選手権大会

4月30日（日） 東京・新宿スポーツセンター

◆試合開始/10:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR山手線高田馬場駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館東京本部☎03-5285-1966

勇志会

第11回東都空手道選手権大会

4月2日（日） 神奈川・とどろきアリーナ3Fサブアリーナ

◆試合開始/
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR南武線、東横線武蔵小杉駅よりバス7分
◆お問い合わせ/勇志会大会事務局☎03-3990-9270

キックボクシング

新日本キックボクシング協会

王者の貫禄を見せつけられるか？ 深津、菊地がタイトル防衛戦

1.23後楽園大会では、揃ってタイ人に勝利、2000年に幸先の良いスタートを切ったフライ級王者の深津飛成とバンタム級王者・菊地剛介。3月には、タイトル防衛戦が待ち構えている。深津は強烈な左右のボディブロー、菊地はランカーを向こうに回して蹴りで勝つなど、その持ち味が活かされていた両者。今回は日本人が相手だけに、迎え撃つ立場として、王者としての威厳を感じさせる試合が期待される。とはいえ、何が起こるか分からないのが、日本人対決の怖いところであり、面白いところでもある。それだけに、好勝負になる可能性も大きいといっていいだろう。

トーエル横浜ジム落成記念興行 ～Fight One～

2月27日（日） 神奈川・トーエル横浜ジム

◆開場/14:30 試合開始/15:00
◆入場料/3,000円 ※オールスタンディング制。前売り券のみ
◆チケット発売/発売中

主な対戦カード

〈メインイベント〉
高杉茂男vs米田克盛
（伊原ジム） （トーエル）

〈セミファイナル〉
マサルvsジャッカル黒石
（トーエル） （治政館）

〈5回戦〉
ミークルラット・ジョーvsモンチ-エシマ
（タイ） （治政館）
中村弘樹vsパティアン・チャイペット
（藤本ジム） （タイ）

◆チケット発売所/（株）トーエル、新日本キック協会HP〈http://www.neweb.ne.jp/wa/kick/〉
◆会場アクセス/東急東横線綱島駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/（株）トーエル☎045-592-7777

SPEED KINGS ～フライ級&バンタム級Wタイトルマッチ Wメインイベント～

3月26日（日） 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/17:15
◆入場料/SRS20,000円 RS15,000円 A席7,000円 B席5,000円 立見4,000円※当日券のみ
◆チケット発売/2月上旬発売予定
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、（株）伊原プロモーション
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/（株）伊原プロモーション☎03-3718-8941

主な対戦カード

〈日本フライ級タイトルマッチ〉
深津飛成vs建石智成
（伊原ジム） （尚武会）

〈日本バンタム級タイトルマッチ〉
菊地剛介vs山口志
（伊原ジム） （宮川道場）

〈日・タイ国際戦〉
小野寺力vsタイ国強豪選手
（藤本ジム）
小笠原仁vsタイ国強豪選手
（伊原ジム）

〈5回戦〉
禹英鉄vs中川タカシ
（伊原ジム） （トーエル）
小出智vs鈴木敦
（治政館） （尚武会）

アマチュア

パレストラ

ブラジリアン柔術ワンマッチ交流戦 関西BJJジャム2

2月20日（日） 大阪・堺市立大浜体育館・柔道場

◆試合開始/12:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/南海本線堺駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/柔専館大会事務局☎090-1141-8182（宮本）、パレストラ東京☎03-5984-3209

ブラジリアン柔術ワンマッチ交流戦 MATSUDO BJJ JAM

2月27日（日） 千葉・松戸運動場公園内柔道場

◆試合開始/14:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/新京成松戸新田駅より徒歩15分
◆お問い合わせ/パレストラ松戸☎047-369-5663、パレストラ東京☎03-5984-3209

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒173-0001 東京都板橋区本町34-4 石田コーポラス501
☎03-3961-2704

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒104-0033 東京都中央区新川2-3-9 新川第2ビル7F
☎03-3552-6300

掣圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607 ☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7 江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒102-0076 東京都千代田区五番町12-7 ドミール五番町1-055(5F)
☎03-3239-7703

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12 三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒144-0052 東京都大田区蒲田4-40-10 グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

BACK NUMBER INFORMATION
バックナンバー インフォメーション

売り切れ御免!

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円
送料／1冊＝310円、2冊＝340円、3冊以上＝500円。
希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて右記までお送り下さい。

住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1～2週間ほどかかりますのでご了承下さい。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
『SRS・DX　バックナンバー係』まで
お問い合わせは　☎03-3295-4445

《7・8　創刊号》
●噂の三面記事/石井館長、ドン・キング遂に接触。ほか
●大会情報/6・20 『K-1 BRAVES'99福岡大会』
●総力大特集/7・4 『PRIDE.6 横浜アリ』決戦迫る！
●桜庭、エンセン インタビュー
●UFO緊急大放談・A.猪木&小川&村上
●編集長インタビュー/髙田延彦
●SRS・DX特集★第1弾/お台場格闘チャンネル「SRS」どう～なってるの？
●着メロ/ピーター・アーツ『ミザルー』

《7・23　創刊2号》
●噂の三面記事/佐山「掣圏道」プロの凄いリスト！ほか
●編集長インタビュー/佐山聡
●完全速報/7・4『PRIDE.6 横浜アリーナ大会』
●直前特集/7・18 K-1DREAM'99　グレコ、バンナ インタビュー/カード発表ほか
●SRS・DX特集★第2弾/'99夏格闘技入場テーマ曲パーフェクトカタログ
●着メロ/極真会館『若獅子の歌』

《8・12　創刊3号》
●噂の三面記事/異種格闘技戦はオレにまかせろ！　佐竹vsグッドリッジ戦浮上ほか
●完全速報/7・18『K-1 DREAM'99名古屋大会』
●徹底追跡/PRIDE大ブレイクの行方
フランク・シャムロック、マーク・ケアー インタビュー
●編集長インタビュー/小川直也
●SRS・DX特集★第3弾/佐山聡の掣圏道とは何か？
●着メロ/『闘志天翔～覇王・佐竹雅昭のテーマ～』

《8・26　4号》
●噂の三面記事/ホイス『プライド』に出陣表明！ほか
●衝撃インタビュー/ホイス・グレイシー
●石井館長とドン・キング密室会談、120分の謎
●編集長インタビュー/佐竹雅昭
●桜庭、田村、ビル・ロビンソン インタビュー
●極真カラテ（松井派）世界大会へのカウントダウン
●SRS・DX特集★第4弾/沖縄の夏　美女と達人に出会う旅
●着メロ/田村潔司『FLAME OF MIND』

《9・9　5号》
●噂の三面記事/どうなる今年のK-1GP開幕戦？ほか
●完全速報/8・22『K-1 SPIRITS有明コロシアム大会』
●編集長インタビュー/石井和義
●髙田、アレク インタビュー/魔裟斗インタビュー
●短期集中連載/極真世界大会カウントダウン第1回/郷田師範、田中健太郎インタビュー
●SRS・DX特集★第5弾/最強！　俺の格闘お宝アイテム
●着メロ/髙田延彦『TRAINING MONTAGE』

《9・23　6号》
●噂の三面記事/髙田、新日本プロレス神宮大会交渉決裂の真相？ほか
●特集/総合格闘技気になる男たち
髙田延彦、前田日明、エンセン井上、佐山聡インタビュー
●編集長インタビュー/髙阪剛
●K-1 GRAND PRIX'99大阪ドーム直前情報/武蔵、ノブ・ハヤシ インタビュー
●SRS・DX特集★第6弾/大山倍達を悩ませた最後の格闘技『中国拳法の謎』
●着メロ/武蔵『KICK START MY HEART』

《10・14&28　合併号　7号》
●噂の三面記事/リングス、前田の構想は32名トーナメントだった！ほか
●K-1GRAND PRIX'99直前特集/20世紀最強の「暴君」と「空手魂」を倒すのは誰だ！？
●本誌独走スクープ！/猪木&小川　闘魂師弟、モンゴル相撲に殴り込み！！
●完全詳報/9・12『PRIDE.7』
●SRS・DX特集★第7弾/桜庭和志の『バーリトゥードはプロレス技で勝て！』
●着メロ/エンセン井上『Chant of the Islands』

《11・11　臨時創刊号　8号》
●噂の三面記事/11・21有明『プライド8』で、髙田道場の打倒グレイシーが具体化ほか
●大特集/K-1の軸はオランダにあり！、格闘王国オランダの強さに迫る
●完全速報/10・3 K-1 GRAND PRIX'99開幕戦大阪ドーム大会
●現地徹底取材/9・24『UFC-22』フランクVSティト
●速報/10・2 掣圏道有明コロシアム大会
●着メロ/アンディ・フグ『WE WILL ROCK YOU』

《11・11　9号》
●噂の三面記事/11・21『プライド8』は「プロレスラーVSブラジル戦士だ」ほか
●第7回極真世界大会直前大特集/大山倍達のカラテ道人生、ブラジル怪物育成の秘密に迫る
●編集長インタビュー/磯部清次
●歴史的対談実現！　石井和義VS松井章圭
●10・11東京ドーム　小川VS橋本戦/小川インタビュー
●前田、ヒクソン インタビュー
●SRS・DX特集★第8弾/微笑みの国タイの国技ムエタイとは何か？
●着メロ/フランシスコ・フィリォ『I'LL BE MISSING YOU』

《11・25　10号》
●完全速報/11・5～7『第7回極真世界大会』
●詳報/10・28 リングス50万ドルトーナメント
『WORLD MEGA-BATTLE OPEN TOURNAMENT KING of KINGS』
●11・21『プライド8』有明大会直前情報/髙田、ゴエス インタビュー
●10・29 修斗大阪大会
●10・30 新日本キック後楽園ホール大会
●噂の三面記事/佐竹、石井館長緊急記者会見の全容ほか
●着メロ/『空手バカ一代』

《12・9　11号》
●誌上ドキュメント/前田日明襲撃事件の真相
●完全速報/11・21『PRIDE.8』有明大会/桜庭、ホイラーに勝つ！
●特報！　2000年1月30日東京ドームで『プライドGP』開催！
●佐竹、髙田道場で始動。復活の舞台はやはりバーリ・トゥードか？
●極真初の外国人世界王者を育てた男・磯部清次インタビュー
●11・14『UFC-J』NKホール大会詳報
●噂の三面記事/バリ・ジャパのカード決定！ほか
●着メロ/『UWFメインテーマ』

《12・23　12号》
●完全速報/12・5『K-1 GRANDPRIX'99決勝戦』
●編集長インタビュー/エリオ・グレイシー&ホイス・グレイシー
●パンクラシスト初登場！　鈴木みのるインタビュー
●12・11『バリ・ジャパ』決戦直前見所ガイド
●噂の三面記事/『プライドGP 2000』開催記者会見
●11・22 全日本キック後楽園ホール大会
●11・28 新日本キック、ラジャダムナン興行詳報！
●着メロ/魔裟斗『Santa Maria』

《1・13　13号》
●噂の三面記事/佐竹が『プライドGP』に電撃参戦！ほか
●1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報
佐竹、桜庭インタビュー、アレクサンダー大塚×ターザン山本対談
●フランシスコ・フィリォ、アーネスト・ホーストインタビュー
●『SRS・DX』が選んだ1999年格闘技界10大ニュース
●詳報/バーリ・トゥード・ジャパン'99
●12・5 鈴木がタイでムエタイチャンピオンに
●着メロ/魔裟斗『Santa Maria』

《1・27　14号》
●噂の三面記事/『プライド』全カード決定！　藤田、新日本離脱『プライドGP』出場へ
●1・30東京ドーム『PRIDE GP 2000』大会情報　髙田、桜庭、エンセン井上、大刀光インタビュー、佐竹雅昭×ターザン山本対談
●本誌初登場！　船木誠勝インタビュー
●2000年度版　最新インターネット格闘技読本
●2000年のアナタと格闘技界はどうなる！？
●詳報/12・22 リングス『KOK』大阪大会
●SRS・DX特集★第9弾/まだある大山倍達　世界ケンカ旅行の謎
●着メロ/グレイシー一族『FORT BATTLE』

《2・10&24　15号》
●噂の三面記事/上半期だけで7カ国で開催。K-1、2000年は"大航海"
●PRIDE GP 2000直前大特集/佐竹&藤田のシアトル衝撃スパーをリポート◎佐竹のシアトル絵日記◎藤田インタビュー◎ホイスインタビュー&ホリオンインタビュー◎誌上大予想クイズ◎基礎講座◎海外取材☆注目の外国人ファイターたち/ナイマン、コールマン、ケアー
●熱烈応援！　2・26リングスKOK/田村潔司インタビュー、アイブル　インタビュー
●大会リポート/1・14修斗後楽園大会、1・23新日本キック後楽園大会&パンクラス後楽園大会
●1999『SRS・DX』読者選定ベストバウト！　桜庭、ダントツでMVP&ベストバウト2冠王に輝く
●着メロ/桜庭和志『SPEED TK REMIX』

残りわずかの号もあります。お早めにお買い求めください！

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

キッドのイチ押し

リングス『KING of KINGS グランドファイナル』
2月26日（土） 日本武道館

芸能界随一の格闘技マニアが選んだ2/3～2/29の最注目大会はこれだ！

《浅草キッド最新情報！》
キッドが主催する恒例のお笑いライブ『浅草お兄さん会』。次回は2月29日（火）に、中野ゼロホールにて開催されるぞ！ 東京ダイナマイトやマキタスポーツといった、キッドも認める精鋭出演者たちは、メジャーでこそないが、ズバリ言って一見の価値あり！ チケットはチケットぴあで発売中だ。
◎浅草キッドHP『キッドリターン』
http://www02.so-net.ne.jp/~a-kid/

博士 今回は締め切りが随分早まって…。

玉袋 まだ『プライドGP』も終わってないのに…。

博士 リングスの2・26事件『KING of KINGS』の決勝大会を語ろう。

玉袋 通称「殿様キングス」と言われてますが…。

博士 言われてないよ。

玉袋 男のプライドを賭けて闘う『プライドGP』に対抗して、女の操を賭けて闘うのが、「殿様キングス」だ！

博士 なんで宮路オサムの話をしてんだよ！ 我らが前田日明が大金と社運とリングスの未来を賭けて格闘技界に王の中の王を問うトーナメントだ。『KING of KINGS』、略して『KOK』。

玉袋 正式名称は「格闘技革命クラブ」。

博士 そりゃあ「経済革命クラブ」KKCだろうが！ しかし、この大会、『プライド』が世界で今一番注目なら、世界で今一番面白い、格闘技大会かもしれない。

玉袋 前田社長の提言で、総合で最も問題点であるグラウンドの膠着を無くした画期的なルールだからな。

博士 これもルールミーティングで前田社長が「THIS IS JAPANESE STILE」と言い切って「強い奴はガタガタ言わないで金を持っていけ！」と賞金マッチにしたおかげだ。

玉袋 なんと優勝賞金8億7千万！

博士 それは馬場さんの資産総額だよ。

玉袋 全日本も馬場遺産争奪トーナメントやってほしいよ！ 遺産相続といえば骨肉の争いですよ！ 君島家に続いてワイドショーも注目ですよォオ！

博士 そんな額なら遺産目当てにいろんな団体の選手が参戦するぞ。

玉袋 全女の松永会長が早速、身体鍛え直しだしたそうですよ。

博士 ブランクあり過ぎだけど出てきそうだな。

玉袋 自己破産でお馴染みの187センチの大男・岸部シローなんか絶対参戦だよ。

博士 それだけじゃないよ！ UFOの資金繰りに追われるアントニオ猪木自ら参戦してくる可能性もあるぞ！

玉袋 笑いながら参戦しようぜ！

博士 そんな無い話で盛り上がってもしょうがない…。KOKの話だよ。予選でリングスファンが唸ったのは、アンドレイ・コピィロフ。ロシアで名だたる要人の用心棒をしているというコピィロフが1、2回戦をなんと24秒で片づけた！

玉袋 カーッコイイッ！！！

博士 男の中の男、あのヒゲ面、ウ～ン、マンダムならぬ、ウ～ン、コピィロフ！って感じだよ。

玉袋 ウ～ン、キングダムだったら嫌だね。

博士 うるさいよ！

玉袋 なんでも優勝賞金でロゲインを買っていくのが夢だと…。

博士 なわけないだろ！ そして1回戦を突破した唯一の日本人、リングス無差別級王者田村がヘンゾ・グレイシーを指名。

玉袋 こんな嬉しい逆指名はない！

博士 1回戦で判定となった時の解説席で田村のジャッジに対する目に、このトーナメントに出場している田村の意地がビンビン伝わった。

玉袋 自らグレイシーと闘うことを望んだ田村への期待は大。

博士 しかし前田社長はもし田村が負けたら一念発起してヘビー級選手として体重増加に励んでくれたらなんてことも、思ってるらしい。

玉袋 田村を渡辺絵美のところに1カ月ぐらい預けたいなんて言ってるし。

博士 言ってないって！ シアトルのケビン・ヤマザキ氏に預けたいって言ってんだよ。

玉袋 でも、そんな前田社長の思惑を覆して田村が優勝したらスゴイ！

博士 KOK、リングス無差別級、中量級の三冠統一王者誕生なんて夢も広がる。

玉袋 東スポでは田村は「色々なリングに上がる時期かも。もう団体におんぶにだっこの時代じゃないでしょう」なんて発言もあった。

博士 もし、今の体重にこだわるなら、桜庭戦はもちろん木口道場で接点のある、桜井“マッハ”速人や先日シアトルで山本、髙阪らと親交のあった宇野薫などとの交流戦に期待したい…。しかも前田社長も1・4東京ドームで藤波社長などと会談、「若い頃、総合に没頭していた選手が30過ぎてエンターテイメントに出たり、総合に出たり各団体を循環できるシステムができれば最高」と発言したなんて報道もあった。

玉袋 今回のKOKにも「世界のプロレス」に参戦していたブラッド・コーラーが出ていたからね。

博士 エンターテイメントの世界でも強いヤツは強いと。前田発言には、新日を離脱した藤田が実はリングス入りが内定していたという爆弾コメントもあった。

玉袋 リングス、UFOが『プライド』のリングで藤田争奪マッチを開催なんて話もある情報筋から得ています。

博士 ウソをつくな！ どんな情報筋だよ！ アイブルが優勝すれば、K―1に続いて格闘技界オランダ時代に一気に突入だ。

玉袋 アイブル、オーフレイム、フィエートと、とにかく層が厚い。若くて悪くて強い！ なによりカッコイイ。

博士 コピィロフ優勝なら、柔術の台頭ですっかり影と髪の毛が薄くなったコマンドサンボの復権にもなる。ミーシャもいるし。ブサイクでも強い男もまたカッコイイ！

玉袋 しかしヘンゾに優勝されてしまうと、またまたまたリングスの大きな宿題が残ってしまう。

博士 今や外人がやたらと元気で面白い、「ここが変だよ日本人」状態だ。だからこそヘンゾと準々決勝で対戦する田村を応援だ。いよいよ決勝は2月26日、日本武道館！

玉袋 しかし今回の『KING of KINGS』では残念ながら王の中の王は決まらない！

博士 なんだと！

玉袋 リングスの王の中の王、すなわち王、王と書いてなんと読む！

博士 「班」（ハン）！ ヴォルク・ハンがいたか！

玉袋 お後がよろしいようで。

K-1 RISING 2000

1·25★長崎県総合体育館

ギョッ！武蔵、勝つ？？？

アーツの顔色豹変！そして武蔵の評価一変！

激闘の3Rが終了し、待ちに待った判定の瞬間！勝利を確信したのか、武蔵は早くも勝利のアピールをしていたのだが、事態は思わぬ方向へ。そして壮絶な結末を迎える

速くて巧い！あのアーツを相手に武蔵の理想がフル回転！

▼効果的に決まった武蔵のボディ。「あのボディでもポイントとってると思ったけど」と天田

武蔵、アーツと互角に打ち合う！

面白いように攻撃が決まった！

▼結婚の準備で忙しく、さらに風邪をひいたということで、久々にアーツのお腹はポコッと出ていた。体調は万全ではなかったのだ

アケマシテオメデトウ！

必ず倒して歴史を塗り替えたい！

宣戦布告！

▲「絶対にナメられたくなかった」という武蔵は背水の陣。やる気がヒシヒシと感じられた

◀ミドルもガンガン蹴り込んでいく。ミドルだけでなく、テンカオもいいのが入っていた。武蔵、凄すぎる！

★第5試合（日本対オランダ5対5マッチ大将戦・3分3R）

○ピーター・アーツ（延長1分25秒、TKO勝ち）武蔵●

〈メジロジム〉　〈正道会館〉

※タオル投入。本戦3Rは30—30、30—30、30—30でドローとなったため、延長ラウンドが行われた。延長ラウンドで武蔵に右ストレートでダウン1あり

アーツVS武蔵戦の3Rが終了し、記者席で見ていた私は急いでコメントスペースへ向かった。ちょうどそこでは、天田が独演会を開いていた。

コメントスペース横にあるモニターを覗く。まさに、アーツVS武蔵戦の判定が下される時だ。顔見知りの記者たちが「武蔵、勝ったかな」と話しかけてきた。すると、独演会を開いていた天田がモニターの目の前までやってきた。

「武蔵さんの勝ちですよね。1Rにいいボディブローも入っていたし」とニコニコしている。

ところが……。30—30、30—30、30—30のドロー。

その瞬間の天田は「え〜、何で？　武蔵さんの勝ちじゃない！」と叫んでいた。同じように、記者たちも「1Rは武蔵のポイントだよなぁ」と首をかしげる。

「武蔵は速いし巧いですね」

「絶対、武蔵の勝ちだと思うけどなぁ……」

とまぁ、報道陣はかなり興奮気味だ。そこへ、サダハルンバ谷川編集長がさらに興奮気味に現れた。

「いやぁ、武蔵は凄いよ。俺は武蔵が勝ってたと思ったんだよね。武蔵のことは〝よくやった、すごい、すご〜い〟って褒めたほうがいいよ。だってさ、ボディも、テンカオも効いてたよ」

ちなみに、これまで谷川編集長が武蔵の試合でここまで興奮したことは一度もありません。さらに、武蔵を褒めたこともありません。

だから私は、試合内容よりも、まずみんなの興奮ぶりのほうに驚いたのだ。

確かに、それほど武蔵はどえら

K-1 RISING 2000
1·25★長崎県総合体育館

トム&ジェリー戦法大爆発！「ほら、トムさん！　僕を捕まえてごらん」（Byジェリー）

▼まさしく、"トムとジェリー状態"！トム（＝アーツ）はなかなかジェリー（＝武蔵）を捕まえられなかった

▼アーツの攻撃はほとんど見えていたという武蔵。ローキックもキャッチして投げ捨てる場面もあった。いいぞ、武蔵！

これは一大事！ アーツの攻撃が空回り！

◀3R判定はドロー。その瞬間、アーツは延長戦へ心を切り替えたが、武蔵は「え〜」という表情。この時点で、緊張感が途切れた。もったいない！

◀「いつだって空手家のつもりで闘ってますよ」という武蔵。豪快な後ろ回しを出す余裕さえもあった

▲アーツが攻撃したい時には武蔵はいないという場面が多かった。アーツのパンチが決まらないのだ

い試合を、あのアーツを相手にやってのけた。

試合翌日の朝、長崎は雪が降っていた。九州だから雪なんて降らないと思っていたサダハルンバ編集長は驚いていたが、九州といっても北部九州なら、雪が降るのは珍しいことではない。そして、雪で思い出すのが、96年のオランダでのことだ。

96年2月。武蔵は『K―1GP』初出場を前に、オランダ修行を敢行した。海外旅行すら初めてだった武蔵は、ボスジム、メジロジム、そして当時、バリバリのエースとして君臨していたアーツの所属ジムであるチャクリキで毎日しごかれていた。

特にひどかったのは、チャクリキ。疲れがたまっていた時期でもあったが、アーツの熱い洗礼を受けて、武蔵はマウスピースもはめていられなく、アーツに何度もダウンさせられていた。練習が終わり、口の中はマウスピースを外していたためズタズタに切れていた。食事に行っても「しみて食べられない」とグッタリしていたのだ。

あれから4年。驚くほどの成長ぶりを武蔵は見せた。たとえ、アーツが新婚ボケでさらに体調を崩していたという状態であっても、あそこまで王者・アーツに立ち向かえた日本人はいない。

「1R終わった時に倒せるかなっていうのもあったんですけど、そういう欲がちょっと出たんですけどね。まぁ、無理はしないでおこうと」（武蔵）

と武蔵が自信満々に言い切ってしまうほど、1Rの武蔵はアーツを凌ぐほどの動きを見せていたの

K−1王者の貫禄！最後はガツンと

武蔵を砕く！

▲延長ラウンドに入り、アーツのパンチがついに武蔵を捕らえた。フィニッシュは左から右ストレートのワンツー！　ガクンと落ちた武蔵。そしてセコンドからタオルが投入された

◀悪いながらも最後はきっちりしめるところが、トップファイターといったところか

◀あと一歩のところだった武蔵だが、ベストバウトといってもいいほどの内容だった。その相手がアーツなのだから、これは凄いことだ

▶閉会式後、控室に戻る武蔵に群がるファン。やっぱりジャパン勢で頼りになるのは、この男なのだ

だ。先手先手でミドルやボディパンチをズバっと決めていく武蔵。そして、アーツが攻めてくるとみるや、〝トムとジェリー戦法〟で、アーツの攻撃をまともに食らわないように、スイスイかわしていく。

何せ、あのアーツを相手にタイミングよく決めたテンカオにはゾクッとした。あんなに真っ正面からアーツに向かっていく勇気は、本当に凄い。

3Rで判定勝ちだと思った武蔵は、延長に入り一瞬の油断でアーツのパンチの前に沈んだ。だが、判定の時点で武蔵の勝ちだと言う関係者は多い。

なにせ、これまで武蔵のことをほとんど褒めたことのない石井館長が武蔵を絶賛したほどだ。

いつも試合で負けると、がっくりしながら「すみませんでした」という武蔵だが、この日は「すみませんでした」と言いつつも、いつもとはトーンが違った。しっかりと胸を張って帰ってきた姿を見て、負けはしたが、武蔵は何ものにも代え難い〝自信〟を手に入れたのではないかと思った。

今の段階で武蔵より速くて巧く動けるヘビー級の日本人選手はいないだろう。武蔵は自分の力でそれを証明して見せた。この試合で、武蔵はこれまで練習していたことが出し切れなかったことなどの〝壁〟を乗り越えた。

2000年早々、K−1の歴史が大激震するような予感がこの日の武蔵の闘いで見えてきた。

武蔵の自信と勢い。このまま持続出来れば、今年の目標に掲げている「K−1GP決勝進出」も決して夢ではない。

（石黒）

K-1 RISING 2000

1・25★長崎県総合体育館

アーツのコメント

ムサシのこれからの課題は、精神的にもっと強くなることだね。

——コンディションは？

アーツ 非常に悪かったよ（笑）。来週、結婚するので忙しかったのと、先週風邪をひいてしまったので、ご覧のとおり、調子は悪かった。

——武蔵選手の強さに面食らったのでは？

アーツ ムサシは非常に良かったと思う。特に1Rがね。でも、2R目からは精神力を失っていったよね。確かに驚いたよ。

——1R目は武蔵選手がポイントをとったように思いましたけど、どうですか？

アーツ 自分自身としては、3Rトータルで自分が勝ったと思っているよ。1R目をムサシにあげたとしても、残り2Rは自分が勝っていると思ってる。

——これまでの、アーツ選手と対戦した日本人選手で、アーツ選手からポイントをとった人はいないと思いますけど、それに関してはどうですか？

アーツ 確かに、もしかしたら1R目はムサシがとったかもしれないね。レバーにムサシのキックがキレイに入ったので、それで目が醒めた感じはあるよ。

——一番強い時の佐竹選手と今日の武蔵選手を比べてどうですか？

アーツ 現在、一番強い日本人はムサシだと思うよ。まだ、オールラウンドの選手ではないので、まだ伸ばさなければならないところはあるけどね。サタケの方が肉体的に強い部分はあったと思うよ。ムサシのこれからの課題は精神的にさらに強くなることだと思うね。

——3Rの武蔵選手は、戦法だと思いますか？　それともスタミナ切れだと思いますか？

アーツ いや、純粋にムサシは疲れたんじゃないのか。

——武蔵選手はそういう戦法でいくと、戦前から言ってましたけど。

アーツ 1R目はそういう闘い方はしてなかった。ボクと闘いたかったように思ったよ。3R目は疲れていたよね。だからどちらかというと逃げていたんじゃないのかな。

——そういう武蔵選手に対して、苛立ちを感じていたように見えましたが。

アーツ 逆に自分に自信がつきました。

武蔵のコメント

1R終わった時に倒せるなっていうのもあった

——率直な感想を。

武蔵 う〜ん、結果的には負けちゃったんですけども、延長を考えないで3Rで出し尽くそうと考えてました。僕の正直な意見で言うと、3Rで勝ってたんじゃないかと思うんですけど。30—30ドロー、30—30ドロー、30—30ドローって全部30—30ということは、1Rに僕がいった時に、そのポイントがまったくついていないことになるんで、だからちょっとおかしいなと思いながら。でも、負けたんでアーツ批判をするわけでもないです。

——延長は？

武蔵 アーツが闘い方を変えたんで、サバ折りとかヒザとかポイントをとりに来たんで、ちょっと油断をしたっていうのはあるかもしれないですけど。でもまぁ、ちょっと気が抜けたというのはあるのかもしれないですね。やっぱり3Rでとってたと思ってたんで。まぁ、殺るか殺られるかっていう勝負をしようと思っていたんで、ハイ。

——3R目については？

武蔵 3Rは、いいものはもらってないですけど、ダメージというか、ポイント的にはとられても性がないと思ってました。ま、う〜ん、納得いかない部分はあります。それだけだと思うし。ダメージでいうと、僕の方が絶対に与えてると思うんで。そういう部分では満足してない部分はありますけど、でも結果的には負けましたけど、自分の中では負けてないというのがあるんで。だから2000年一発目はそんなに幸先の悪いスタートではないと思ってます。徐々に自分の動きっていうのも、上がってきている部分がありますし、実際、今日は最強の敵とやって徐々に世界も見えてきたのではないかなぁという実感をかみしめているというか、そういう部分はあります。

——最初に「トムとジェリー」の闘い方をするということで、その作戦どうりだったと思いますか？

武蔵 そうですね。ま、その出し切ろうと思ったんで、もっともっとスピードは出せたかも知れないですけど、3R目までの過程を見てると捕まった部分はほとんどないんで、ホントに最後の一発以外は効いたものはないし、作戦的には上手くいってたのではないかと思います。

——2Rまではアウトボックスしている感じでしたけど、3Rの後半くらいは消極的というか、疲れているという印象があったんですけど。

武蔵 そうですね、1、2Rは自分なりにいった部分があったんで、最後は疲れたのはありましたけど、でももう、「トムとジェリー戦法」と言ったように、とりあえず捕まらないでおこうと思ったんで、やっぱり勝ちたかったんで、無理をしないでおこうと。たぶんアーツ選手は（ポイントを）とられていると思っているだろうから、行くしかないと思ってたと思うんですよ。でも、僕は逆に（ポイントを）とってると思ったんで、無理をしないでおこうと。無理をすると向こうの作戦にはまっちゃいますから。ハイを狙っているのは、まる分かりでしたし、左ボディを狙っているのもまる分かりだったし。動き自体は全部見えたんで、だから消極的と言われればそう見えたかもしれないですけど、自分にとってはただ無理をしないでおこうと思っただけなんで。

——1Rの攻防を見る限りでは、日本人の選手であれだけアーツ選手を攻めた人はいないと思うんですけど、それについてはどう思われますか？

武蔵 だからその、開会式でも言ったように、日本人の逆襲というか、魅せるところは魅せるというか、そういうところは絶対に前に出さなきゃいけないと思ったし。記者会見でも言ったようにナメられるのが一番嫌いなんで、最初にスピードを活かして、来るなら来いと思ってたんで。そん時に倒れたらしょうがないですけど、倒すか倒せるかの打ち合いをしてやろうと思ったんで、言ったように臆するところはなかったので、怖くないし自分がどれだけやれるか全部ぶつけようと思ったので、ハイ。

——1R終わって、ポイントをとったと思って、あとはセーブすればいいと思った？

武蔵 1R終わった時に倒せるかなっていうのもあったんですけど、そういう欲がちょっと出たんですけどね。まぁ、無理はしないでおこうと。相手は百戦錬磨ですから、そういうところは考えているかもしれないですから。でも、明らかにボディは効いていたし、テンカオも入って嫌がってると思ったんで、1、2Rは下がりながらでもミドルとパンチをとりあえず出していこうと思ってました。

——捕まれた時に、クリンチを有効に使われていたと思いますけど、それは作戦だったんですか？

武蔵 そうですね。やっぱりロープ際になったりとかして打ち合うと危ないんで、自分が逃げられないので、そういう時はクリンチして無理をしなかった。べつに首相撲、向こうは4Rはしてきましたけど、する気配もないし、僕が先に固めたら首相撲出来なさそうだったんで、これだったら大丈夫じゃないかと。

——日本の逆襲といったじゃないですか。それはこの長崎の第一戦で勢いづけたのではないかと思いますが。

武蔵 そうですね、まぁ全体的な試合を見ても、今回は結局勝ち越したんですか？　日本が勝ち越したということで、これからの日本人選手の活躍、僕自身の活躍というのも、もっともっと高めていくというか、これで満足せずにレベルを上げていきたいと思うんで、その分では全体的に勢いづいた試合になったのではないかと思います。

——アーツの攻略がかなり見えたんじゃないですか？

武蔵 向こうも僕の攻略は、次はしてくると思うし、僕もアーツ選手と実際にやってみてアーツ選手の圧力とか、そういう動きっていうのは、だいぶ把握できた部分はあるんで。でも、実際には結果的に負けてることになりますから、もっともっと精進しようかなと。ただそれだけですね。あとはちょっと、ジャッジの方に関しては、もうちょっと、せめて29—29くらいにしてもらえたほうが良かったんじゃないかと思いますけど（笑）。30—30っていうのは、ちょっと厳しいんじゃないかなぁと思うんで、ただそれだけです（笑）。

K-1 RISING 2000
～激闘初上陸～
1・25☆長崎県総合体育館

総 評

石井和義館長が初めて武蔵をベタボメ

僕は判定で武蔵が勝ったと思った。あれで勝てないなら、どうすれば勝てるんだろうって（苦笑）。

――総括をお願いします。

館長 武蔵が勝ったと思ったんですけどね。あれで負けだったらどうやったら日本人は勝てるんでしょう。本当に逆に思うんですけど、どうしたら10―9で1ポイント奪えるんだろうって。だから、僕は1Rに2ポイント差がつくくらい（武蔵は）取っていたと思います。ミドルが入って、2Rヒザが入って、まあ3R取られたとしても1ポイント勝ちでしょう。

――2Rも取ってましたか？

館長 2Rも微妙な判定だったと思いますよ。3Rは流したからね、（勝ちを）確信したでしょうから。打ち合うとKOもらうんで。でもあれで30―30ならどうしたら（アーツの方が）1ポイント取れるんだろう。佐竹じゃないけど、どうしたら勝てるのか教えてほしいですよね（笑）。まいったなぁ、本当に。トムとかにも聞いてみてくださいよ。みんな（武蔵が）勝ったと言ってましたもん。いや、でも武蔵はいい試合してましたね。左ミドルでピーター・アーツの動きは止まったもんねぇ。

――あれでアーツは目の色変わりましたね。

館長 ピーター・アーツはポイント取りに来たんで、武蔵はあわててジャブ当てるところを4Rに合わせられて右のクロスをかぶせられて。本当は、3Rでもうね、武蔵は燃え尽きたって感じだね。「やったー！」って思ってさ、盛り上がったのにね（笑）。

――今日はリングをフルに使うというか、そういう戦法だったと思いますけど？

館長 良かったと思いますよ。最初から逃げずにね、1Rから打ち合って、スロースターターのピーター・アーツが出る前に自分の攻撃を当てて。2R焦っているところをカウンターを刺して、あの左のヒザ蹴りのカウンターをアーツに当てるには勇気がいりますよ。だからね、ああいう判定でさ、ああいう形でドロー、ドローにするんだったら、どうしたら勝てるんだと。

――まだ、ドローでも29―29なら分かるんじゃないですか？

館長 まだね。ただ、1Rは確実に（武蔵が）取ったと思うんですけどね。でもまあ、武蔵もね、ピーターとここまでやったことですごい自信が出来たと思うし。この試合は3月の試合につながる試合になると思います。

――2000年の第一弾にピーターと武蔵のマッチメイクを組んで、武蔵のどんな所を見てみたかったですか？

館長 う～ん、武蔵が最強のピーター・アーツに対して向かって行く姿ですよね、見たかったのは。ピーター・アーツって、やっぱり最強でしょうから。K―1を代表するトップクラスの選手なのに、日本人の武蔵が本当にどこまでやれるか、っていうテーマですね。僕は、ミルコとの試合も負けてないと思っているし。頭突きで倒れて、次に倒れた時は蹴られちゃって、それからダウンしてからのパンチでしょ。だからまあ、不運だとかいろいろ言われますけど、本当にいい条件の中でちゃんと闘って、実力ってのを証明してほしかったんですけどね。だから、これからは自分より大きな相手と5R闘えるだけの、パワーとスタミナ、スピード、コンビネーションに磨きをかけて、きちっとディフェンスもしていく。でも今日は、日本人がこうしたら、パワーがある外人のトップ選手に勝てるという方向を、見たような気がします。

――ノブと天田の試合はどうですか？

館長 天田は意地を見せましたよね。天田のパンチをノブは正面から受けすぎた。やっぱりあれだけ手数があったらというか。

――ジャブですか切れたの？　バッティングじゃないんですか？

館長 右のクロスですね。3R目、きれいにバッティングじゃなくて右のクロスが入りましたから。ノブが焦って右出すところを天田は待ってて、サイドに入りながら右のクロスをちょうど合わせた。それまで切れてませんから。テレビで見たんですけど。きれ～いに入ってました。右のクロスですね。ノブはもらいすぎですよね。ブロックしている時は、ちゃんとガードしているけど、自分が反撃しようとするとやっぱりガードが下がります。そこを天田が待っていたという展開でしたね。

――手が出なかったですね、全然。

館長 天田がまあ、実力を見せたというか。ジャブとかどんどんパンチが当たっていくんで、ノブがだんだん後傾になってきたんですね。だからローキックの時、体重が乗らなかった。強いローキックが蹴れなかったと。ノブの威力は、少し前傾で前に体重を乗せるから自分の体重が活かせるんだろうけども、天田の速いジャブとワンツーの回転のいいパンチをもらって、上体が完全に浮いちゃったんですよね。上体が浮いたまま攻撃しているから、ノブの良さが出なかったんですよね。まあ、そのくらい天田の攻撃が凄まじかったということですね。アンディの時は、アンディはパンチもらってましたけど、ちゃんと懐深くしてこう前のめりになってたんで、蹴りが蹴れたんでしょう。

――黒澤選手はいかがでしたか？

館長 黒澤選手はびっくりしましたねぇ。ローキックで倒すと思ったから。いや、パンチ強いですね。すごいフックだ。

――デッカーとコヒは？

館長 コヒは頑張ったんじゃないですかね。キチッとカットしてましたね。きれいにね。

――前蹴りも良かったですね。

館長 前蹴りもちゃんと止めたし。1Rが一番危なかったですね、デッカーは。

――もうちょっと見たかったですね。

館長 そう、もう1Rね。

――デッカー自身は、2R以降があったら絶対オレが勝ってたって言いはってるんですけど？

館長 1Rキチッと凌いだんで、それはまあもっとやりたかったんでしょうね。デッカーの右のスネは、かなり脆くなっているんでしょうね。2年前にも一回やって、その後吉鷹とやったんですよね。それで、右の蹴りを使わないで倒したんだけども。よく頑張りました、ええ。

――横浜でもう一回やってほしいですね。デッカーは引退試合に指名してもいいというようなことも。

館長 ああ、そう。いいね。そしたら、3月横浜で引退試合したろかな、デッカーのねぇ。

――フィリオもそうなんですけど、黒澤選手なんかも腰の回転とかじゃなくて、こうカギ突きで入れるだけ…。あれは、空手の技なんですか？

館長 あのままパンチ打てると、まだまだいけそう。それと思ったのは、3Rにして逆にKOが少なくなったんだよね。

――まだ、選手が3Rに慣れてないですね。

館長 というか逆に、5Rだとダメージが重なったり、中迫だって5Rだったらちゃんと捕えてたと思うんですよ。武蔵が頑張ってくれて、盛り上がったけど。

――今日は本当に武蔵のおかげだと。

館長 だからあれは1Rずつつけてるんだから、レフェリーが10―10にしているのはおかしいよね。

――相手がピーターだってのは絶対あると思うんですよね。

館長 ピーター、だって1R終わって顔色変わったもんね。マジになった。

――でも、それにしてもピーターはすごいなぁ、プロの試合をしましたねぇ（笑）。あれは、ピーターが武蔵のいいところを全部引き出してくれたんじゃないですか。

館長 武蔵ってピーターとやるとかみ合うね。

――あれ、左のパンチを強くしたら本当に勝ててますねぇ。ミドルだけだったじゃないですか。左がガツーンと打てたら。右も結構合ってたでしょ、クロスが。あれで左のパンチが出たら、本当に勝ったかもしれない。

館長 あんなピーターは初めて見ましたよ。

ノブが天狗になるくらいなら、この負けも〝よし〟としよう！

長崎大会一の注目カードは、元ヤンキー天田が制す！

3R、左のまぶたを切ってドクターストップとなったノブ・ハヤシ。昨年のK―1ジャパンGPの2位対3位対決は、3位の天田が勝った

キャラクター抜群の対決 "かっこいい"とは何かを問う

▼それに対しノブは嫌そうに「僕は負けることを考えていないんで、負けたら考えます」と答えた

「僕は負けることを考えていないんで、負けたら考えてみます」

▼開会式では天田がマイクで「僕が負けたら坊主になりますので、ノブ選手が負けたら頭を剃ってもらえませんか？」とノブに提案

「ノブ選手に提案します。負けたほうが頭を剃りましょう」

◀チャクリキで練習するノブはオランダチームの一員。逆輸入でジャパンをぶっ潰せ！

▶「天下統一」と書かれた白いガウンを着てグラサンをかけて入場する天田。元ヤンキーの個性が光る

◀"カメ"になってガードを固めるノブに、天田はおかまいなしでパンチのラッシュ

★第4試合（日本対オランダ5対5マッチ副将戦・3分3R）
○天田ヒロミ（3R0分50秒、TKO勝ち）ノブ・ハヤシ●
〈フリー〉　〈ドージョー・チャクリキ〉
※天田のパンチにより、ノブが目の上をカット。試合続行不可能によりドクターストップによるTKOとなった

K―1ジャパンのファイター、いや今の日本人の若いファイターを見て思うのは、"かっこよさ"についての価値観である。

確かに最近の日本人ファイターは一様に顔がいい。輪島功一やガッツ石松といった往年のボクサーのような"いかにも"というタイプは非常に少なくなって、普段からオシャレ、髪は金髪というのが当たり前になっている。

しかし、"かっこいい"って、そういうことだろうか。

僕は格闘家がいくら顔がいいからっていったって、一度だってかっこいいと思ったことはない。もちろん、オシャレだからといってその格闘家に興味を持ったこともなければ、強いからかっこいいと思ったこともないのだ。

ファンがプロとして興味を持つのは、つまりそういった外的要素ではなく、そのファイターの生き様、そこにファンは木戸銭を払って見に行こうと思うのである。

ファイターは我々にどんな生き様を見せてくれるのか。あるいは、その生き様を選ぶ遺伝子とはどういうものなのか。そういうドラマを楽しむのである。勝ったとか、負けたということよりも、プロは生き様を見せるものであり、その生き様にファンはお金を使う。そのことを分かっている若いプロのファイターは、一体どのくらいいるのだろうか。

その意味で、私はK―1ジャパンにおけるノブ・ハヤシには凄く期待している。ノブは外見的には決して今風のかっこよさはない。見た目は、大きな"裸の大将"という感じだ。しかし、私にはノブ

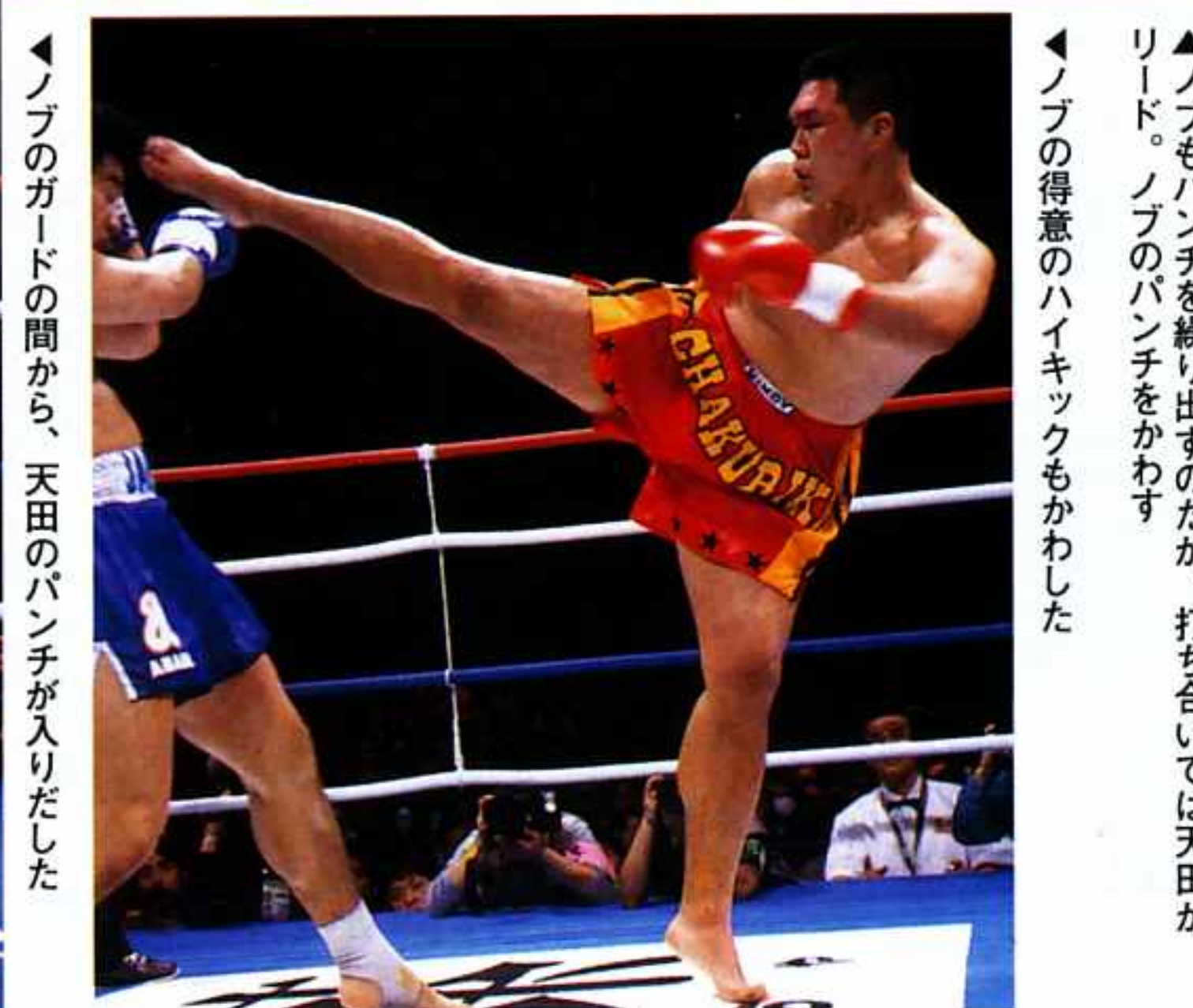
K-1 RISING 2000

〜城門の上に〜

1·25☆長崎県総合体育館

▼天田の手数が止まると、ノブは前に出てローキック。まるでアーツ戦のヴァン・ダムだ

▼途中で天田の足が効いてくるかと思いきや、3Rに畳み込むようにラッシュ

"カメ"になるノブに天田はなんとパンチ 268発!!

▲ノブもパンチを繰り出すのだが、打ち合いでは天田がリード。ノブのパンチをかわす

◀ノブの得意のハイキックもかわした

◀ノブのガードの間から、天田のパンチが入りだした

がかっこよく見える。

それは、アルバイトで貯めたお金で格闘技王国オランダに行き、単身チャクリキジムで寝泊まりしながら、日本人初のK—1チャンピオンを夢見ているからである。

K—1に出たかったら、普通は正道会館を選ぶ。正道会館にはそれだけ恵まれた環境が整っているし、チャンスもたくさん転がっている。しかし、ノブはそれを自ら拒否して、世界で最も過酷なスパーリング（潰し合い）をするチャクリキに入門した。自分を逆境に追い込み、逆輸入ファイターとして日本に乗り込もうとしているのだ。

そういう生き様を見せてくれる点で、ノブは天性のプロである。だから、ノブには決して日本人の普通のファイターと仲良しこよしになってもらいたくない。今回、オランダチームで出るのは、それだけで正解だ。ファンは何も、仲良しこよしのスポーツなんて見たくない。生き様を賭けた、潰し合いをいつだって見たいのだ。

今回、そのノブの相手は、ノブに負けないくらいのキャラクターの持ち主、天田ヒロミが選ばれた。

ノブと天田。K—1ファンならこの長崎大会で一番勝敗が気になる一戦だ。ノブが昨年のジャパンGP準優勝なら、天田は第3位。しかし、大阪ドームではノブが負傷したため、天田が代打で出場しアンディにあっさり敗れた。

天田のキャラクターは、元ヤンキーのボクサー。しかし、不良は相手の実力を読むのがうまいので、アンディ戦のあっさりとした負け方に私はガッカリした。

開会式、その天田がノブを挑発

▼ノブが右を出したところで、天田の右がクリーンヒット。まぶたを腫らしていたノブは、そこがザックリ切れてTKO負けとなった

天田の右でノブのまぶたがザックリ！

天田、のし上がる

天田のコメント

「ローキックにパンチを全て合わせようと思っていたので、カットはしませんでした。パンチはガツン、ガツンって音がして、手応えありましたよ。今、拳は痛いですけど、腫れてませんからね。でも、あれだけ殴っても倒れないのは打たれ強いんでしょうね。ノブの髪の毛を切る前に、まぶたを切ってしまいました（笑）」

ノブのコメント

「3Rの後半からバーッといく予定でした。パンチもらって痛いとか効いたとかは全然ないんで、イケると思ってました。挑発は何も受けとめてないです。天田さんが言ってることは負けることを想定してると思いました。（天田のパンチは）一発当たれば僕も倒れるとは思うんですけど、言わしてもらったら、ただ速いだけですね」

▼深く切ったノブにドクターはすぐにストップを宣言。ノブは「やれますよ」と言っていたが……

▲ノブのTKOにチャクリキのハーリック会長も、仕方がないという表情

◀ノブに勝った天田は、昨年のGP出場が決して代打でないことを証明した

する。「ノブ選手に提案したいのですが、今日の試合、髪の毛を賭けて闘いませんか？」。それに対し、ノブは嫌そうな顔をしながら「負けたら考えます」と答えた。

あの場合、ノブは天田に付き合う必要はない。「僕はいつもそんなチンケなものを賭けて闘っているのではない」と言ってほしかった。天田のプロ精神に対し、ノブはもっとスケール感を見せるべきだ。

そこがノブの最大の失敗である。試合は、天田が回転の速いパンチでノブを攻めたて、ノブはカメのようにガードを固めて重いローキックで返すという展開になった。こうなると、普通はボクサーの天田が疲れて最後はローが効いて逆転勝ちになるケースが多い。

しかし、天田が凄かったのは、ラウンドが進むにつれて、パンチの回転が速くなり、ノブの上体を立たせて顔面にヒットさせていったことだ。そして3R、ハレたノブの左まぶたに天田の右がクロスでヒット。ザックリとノブのまぶたは切れTKO負けとなった。

ノブは昨年のジャパンGPでいきなり準優勝し、シンデレラ・ボーイとなった。しかし、実際はまだオランダで2戦しかしたことのないヤングボーイである。だから、いきなり準優勝して、急に脚光を浴び、天狗になるくらいならこの負けもよしとしなければならない。

ノブはまだまだ、だ。でも、これでなーんだとは思わない。自分の実力を噛みしめながら這い上がってくればいい。ノブが勝つ姿よりも、苦しみもがきながら、本当に強くなっていく姿を、私は見たいのである。

（谷川）

K-1 RISING 2000
〜栄町初上陸〜
1・25★長崎県総合体育館

ああ、空手衣を脱いでも まだ、神秘のベールが 黒澤を覆っていた!

次は角田戦か?

▶ルイスの勢いは最初だけ。あっと言う間に心が折れてしまったかのようなダウンを喫していった

◀最後は黒澤の上から振り下ろすような右ストレートでルイスはダウン。しばらく立ち上がれなかった

▶完勝でK―1初勝利を飾った黒澤だが、実力の全てが見られたわけではないので、まだ未知数。今後が楽しみである

★特別試合(3分3R)
○黒澤浩樹(1R0分56秒、KO勝ち)マーカス・ルイス●
〈黒澤道場〉 〈モーリス・スミスキックボクシングセンター〉
※右ストレート。1Rにルイスは左フックでダウン1

▲空手衣を脱いでついに、黒澤の伝説のローキックを蹴っていた足があらわに! もっと蹴っている場面を見たかった

「今まで自分がやってきたことが、どこまで通用するか試したい」
試合前、黒澤は、そう語り、K―1のリングに上がった。
空手ファンにとっては、この黒澤の出場する特別試合こそ、最も注目する試合であったろう。あのローキックが、左ミドルが、K―1のヘビー級の強者たちに炸裂する姿を見たい。誰もがそう思っていたはずだ。
試合は、黒澤の一方的な展開。1Rから黒澤は突進し、ルイスをロープに詰め、左右の連打。軽くかすった左パンチで自分から崩れるようにルイスは早くもダウン。
立ち上がるところを、再び黒澤がワンツーを打つと、もうルイスは立ってこなかった。1R56秒。黒澤の秒殺だった。
結果から見ると空手ファンは、胸をなで下ろしたかもしれない。が、期待した黒澤の姿を、そこに思い出すことが難しかったのも事実だ。なぜだろうか?
実はK―1に潜む魔物は、空手家にまず宿る習性がある。
顔面なしのルールで育った空手家が、最初に克服すべき相手は顔面パンチへの恐怖感。これを克服するために、過大に顔面パンチを恐れ、過大に顔面パンチに頼る。
最初の頃のアンディやフィリォがそうだったように、この日、黒澤が出した攻撃のほとんどが顔面パンチのみ。自ら語るように、これまで空手で培った破壊力抜群の蹴りを活かすためには、黒澤の経験は浅すぎる。今回は、その過程をたどるための儀式にすぎない。黒澤の空手家としての真の実力は、まだベールに包まれている。(山田)

勝つには勝ったが、何かが違う？

中迫の復帰戦を狂わせた誤算とは？

う〜ん、伝家の宝刀ハイキックでも倒せない!?

ＫＯ率抜群のハイキックも、あと一歩ジャストミートにならず。惜しい！

★第3試合（日本対オランダ5対5マッチ中堅戦・3分3R）
○中迫剛（3—0判定）マーテン・シモンズ●
〈正道会館〉　〈メジロジム〉
※30—28、30—28、30—28

▲なかなか根性のあるファイターだったシモンズ。さすが、メジロジム期待の新鋭である

◀昨年のオレンジから、今年はイエローで統一。ニューガウンで登場した中迫

天田がすさまじいパンチを何百発も叩き込んでも、驚異的な打たれ強さでノブは倒れなかった。それと同じくらい中迫は、この試合でローキックをしこたま打ち込み、さらにパンチまで打ち込んだのに、倒せなかった。

判定が下され、勝利が告げられた瞬間に首を何度か横に振った中迫の様子を見ていれば、試合に勝ったが、満足していないのは一目瞭然。

どうしてこういうことになってしまったのだろうか。

昨年8月に行われた『ジャパンGP』で優勝候補に上げられながらも、突然の体調不良を起こし3位に終わった。この大会で拳を負傷した中迫は、そのまま99年を終えてしまうことになる。

朋友であり、ライバルでもある武蔵がついに〃佐竹越え〃を果たし、『K—1GP決勝戦』に駒を進めたが、その武蔵の取材で大阪の道場を訪れたときに、復帰に向けてウェイト・トレを黙々とこなす中迫の姿があった。体も一回り大きくなっていた気がする。

そして、迎えた復帰戦。「2000年はエンターテイナーをテーマとして魅せる試合をしていく」と宣言した中迫。これまで、ミドルやハイキックを多用していたが、今年はローキックを磨いて攻撃の幅をさらに広げようとも考えているようだ。

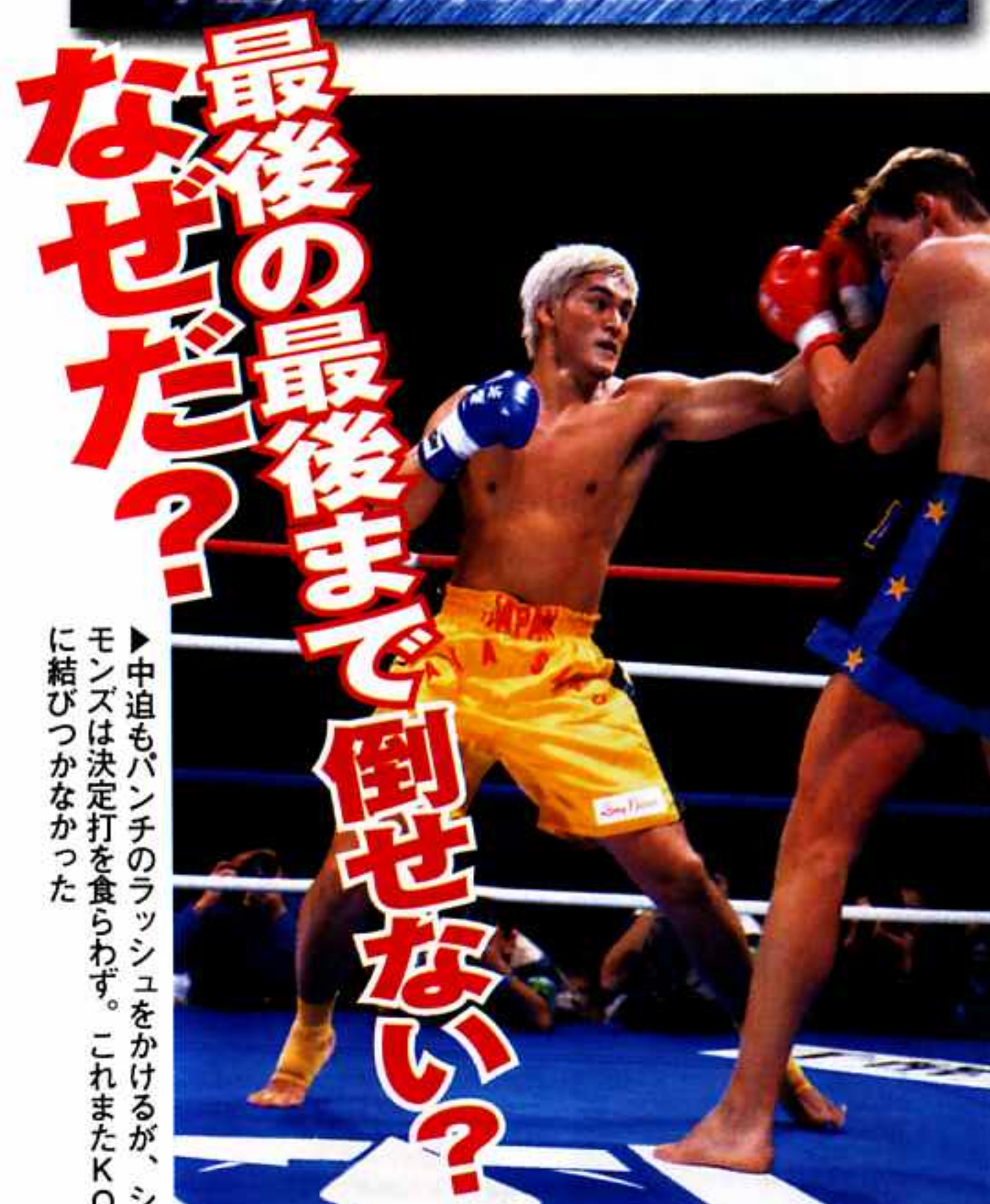
自分よりも10センチ背の高いシモンズに対して、徹底したローキック作戦は常套手段だ。シモンズの足が赤紫にミミズ腫れになっていったのを見るといつでもＫＯ出来る状態。観客も中迫のＫＯシー

K-1 RISING 2000

1・25★長崎県総合体育館

最後の最後まで倒せない？ なぜだ？

今年のウリのローキックでも倒せない!?

▼執拗なまでに叩き込んだローキックだが、シモンズは最後まで倒れることはなかった

▶中迫もパンチのラッシュをかけるが、シモンズは決定打を食らわず。これまたKOに結びつかなかった

▼今回、すっきり勝てなかった理由を自分なりに分析している中迫。ウェイト問題はどうなるのか？

▶判定は中迫に上がったが、首を横に振ってニコリともしなかった。シモンズの左ヒザ上の内側は赤く腫れ上がっていた

▲シモンズも負けじと中迫と打ち合いにいくが、シモンズにも決定力がなかった

ンを待っている雰囲気だった。

だが、何だか今までの中迫と違う。いくら相手のシモンズが打たれ強いといっても、ノブの打たれ強さとは質が違う。

ラウンドの後半も中迫の独壇場。ローキックだけでなく、ボディへのパンチが決まり、シモンズを青色吐息状態にまで追い込みながら、3R終了のゴングが打ち鳴らされた。う～ん、なぜ、中迫は倒せなかったのだろうか？

大会終了後、『格闘Kマガジン』の山田編集長とチャンポンを食べながら、K—1長崎大会のテレビ中継を見た。その時に、中迫はなぜ倒せなかったのか聞いてみた。山田編集長は「おそらく、ウェイトのやりすぎがいけないざんす」と一言。

つまり、ウェイト・トレで大きくなりワキがしまらず、効くパンチが打てないのだという。同じ体を大きくしたとはいえ、天田の筋肉はワキがちゃんとしまってパンチが打てるので、いいのだそうだ。

ウェイトで鍛え、さらに体重もアップさせて迎えた復帰戦。当の本人も、実はその部分で迷っているようだ。

「今回は体重をアップさせて、100キロくらい（実際は99・7キロ）で試合をしたんですよ。そうしたら、蹴りを蹴るにしてもよっこらしょって感じで重たいんですよね。だから、これからこの体重のままで動けるようにしていけばいいのか、それともこれまでの98キロくらいで試合をやっていくのか考えないといけないですね」

思わぬ誤算で終わった復帰戦。中迫の決断は？

（ユカポン）

この日、この時、確かに小比類巻はデッカーを凌いでいた!

魅せた、コビ! デッカー相手に一歩も引かず!

思いっきりのよい蹴り技で、試合の主導権を握っていた小比類巻。面白いようにミドルや前蹴りが決まった

▲これから試合が面白くなるというところでストップになったのは残念だったが、小比類巻はとびきりの笑顔で勝利をアピール!

▶"地獄の風車"の異名をとるデッカーの高速パンチも1Rは本領発揮とならず。だからこそ、2R目からが楽しみだったのだが……

▶小比類巻に負けじと、デッカーが飛びヒザ蹴り! 場内がドーッと沸いた!

▲右足のスネがパックリと割れていたデッカー。その傷は骨まで達していた

★第2試合（日本対オランダ5対5マッチ次鋒戦・3分3R）
○ 小比類巻貴之（1R終了時TKO勝ち）ラモン・デッカー ●
〈チーム・ドラゴン〉　〈ジム ヘマーズ〉
※デッカーのスネ負傷により試合続行不可能によりTKOとなった

古い話で申し訳ないが、かつて沢村忠をスターとする日本キックと藤原敏男をスターとする全日本キックが、5対5で対抗戦をしたことがある。人気の日本、実力の全日本と言われた両団体の激突は、当初全日本の圧勝が予想されていた。が、結果はあけてビックリ。人気の日本が全勝したのだ。この事実は、格闘技の舞台において、実は人気と実力は比例する法則があることを我々に知らせてくれた。

そのことを改めて思い起こしたのは、小比類巻の急成長ぶりの原因に思いをめぐらしたためである。

小比類巻は新空手での活躍で注目を集め、デビュー後すぐに、魔裟斗をKOして将来を期待されたが、その後、所属ジムが独立団体を興こしマイナーなファンを相手に試合を続けることが多く、しばらく伸び悩みを見せていた。しかし、キック界の伝説の男と、K―1のリングで闘う。このような場を用意された時、小比類巻の才能は努力と結びつき開花したようだ。

1R、小比類巻は近づくデッカーに鋭く力強い左ミドルのカウンター、そして前蹴りで距離とリズムをつかみ、まったくデッカーにつけ入るスキを見せない。焦るデッカーは強引な右ロー。これを左スネで難なくカットする小比類巻。これが試合の明暗を分けた。

この時デッカーのスネは骨が見えるほど裂け、1R終了時でレフェリーストップ。それほど小比類巻が蹴り込んでいたということだ。才能と努力と場が揃う時、選手は必ず成長する。その一瞬の場に出会いたいがために、ファンは会場に足を運ぶのだ。　（山田）

K-1 RISING 2000

〜栄光への上陸〜

1・25★長崎県総合体育館

この攻防はまるで対ノブ戦みたいな感じ！ 宮本、チャクリキへのリベンジならず……

▲リーチの差に苦しんだ感もある宮本。後半はローキックにパンチのカウンターを合わせられる場面が多かった

▼昨年の「ジャパンGP」での対ノブ戦時のように、コーナーに詰められパンチの連打を浴びてしまった。だが、フェイリーもチャンスは多かったが倒せない

▶ローキックを効かせつつ、時折ミドルも出していった宮本だったが活路を見いだせなかった

▶判定は1Rの頑張りが利いて、フェイリーが判定勝ち。がっくりと肩を落とす宮本。なぜかハーリック会長がカメラ目線だ！

▶なかなか蹴りの名手だったフェイリー。前蹴りがスコーンと決まっていた

★第1試合（日本対オランダ5対5マッチ先鋒戦・3分3R）

○ヴィサム・フェイリー（3—0判定）宮本正明●

〈ドージョー・チャクリキ〉　〈正道会館〉

※30—29、30—29、30—29

ジャパン戦士の中で、一番のパンチ力を誇るといわれている宮本のパンチが、これでもかというくらい当たっているにも関わらず、まったく倒れなかったのが〝ミスター・オニギリ〟ノブ・ハヤシ。

ノブは宮本と対戦した『ジャパンGP』1回戦がK—1デビュー戦だったが、宮本のパンチをまったく相手にせず、逆に宮本をマットに沈めてしまった。

普段はニコニコしている宮本も、試合となると、すぐにカチンとくるところがある。ノブとの試合でもムキになって打ち合いにいき轟沈されたが、思いっきり殴ったとあって、なんと宮本の拳は骨折していたのである。

昨年の11月後半に宮本と偶然に会う機会があった。その時はまだ「拳が握れないんですよ。だから、今はウェイト・トレをやるだけなんですけどね」とギューっと握れない拳を恨めしそうにさすりながら、話していた。

その後、タイに渡りトレーニングを積んできたようだが、そこですぐにカッとなるクセが良くないと指摘され、今回の試合は大人の試合をしようと決めていた。

相手はノブに続き、またしてもチャクリキの刺客・フェイリー。パンチは正確ではないが、パワーはあるファイターだ。

試合はまるでノブ戦の時のように、フェイリーの突進に宮本が返せないという展開。3Rになってようやく宮本のローが効いてきたが、上手く逃げられて宮本はまさかの判定負け。

宮本無念、チャクリキへのリベンジはならなかった。（I）

2000年K－1ジャパン第一弾、超満員6100人で好発進

K-1 RISING 2000
1・25 長崎県総合体育館

日蘭交流400年という記念の年に K－1が長崎にやって来た！

今回のK－1長崎初上陸は、長崎とオランダが通商400周年を記念して、「日本対オランダ5対5マッチ」を行った

▲長崎大会のゲスト解説に、昨年大相撲を引退した舞の海も登場

▲K－1ジャパンのマスコットガールに選ばれた優香は、実況席で応援

K－1王者も初上陸

▲99年のK－1チャンピオン・ホーストも家族とともに来日。長崎のファンにモミクチャにされていた

日本対オランダ5対5マッチは3－2でジャパン勝利

◀初のK－1開催とあって、長崎のファン6100人が会場ビッシリと埋まっていた

▶長崎県立総合体育館は、どこから見ても見やすいいい会場だった

グレート草津2世 不戦勝デビュー

◀注目の、元プロレスラー・グレート草津の次男・草津賢治は、この日フレッシュマン・ファイトでデビューする予定だったが、対戦相手の宮本健太郎が当日38度5分の高熱が出たためドクターストップ。なんと、不戦勝で白星デビューという前代未聞の記録を作った。「3月の横浜アリーナでもう一度デビュー戦をやりたい。できれば他流派のほうが燃える」と草津

▶もうひとつのフレッシュマン・ファイト藤本祐介VS山中政信は、2R36秒、藤本がパンチのラッシュでTKO勝ち。藤本も将来が楽しみな選手だ

▲悔しいので長崎の観光名所に行こうということで、長崎と言えば大仁田厚。大仁田の実家の風呂敷屋に行ってみたのだが、ここも閉まっていた

▲K－1ジャパン・ラウンドガール2000も初お目見え

▼長崎といえば平和記念像だが、大会翌日に本誌サダハルンバ編集長と島田裕二K－1レフェリーが訪ねてみたら、なんと銅像の修繕工事のため幕がかけられていた。ちなみに翌日には長崎にも雪が降った

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

2/3、2/10、2/17の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは1月27日現在のものです。
都合により内容が変更になることもございますのでご了承下さい。

『SRS』は毎週木曜日深夜25時15分~25時45分 フジテレビ系で絶賛放送中。お見逃しなく!

2/3

大熱戦の模様をダイジェストでどうぞ!

1・30東京ドーム『プライドGP 2000』速報!

2/3(木)放送　25:15~25:45

この日の放送は、1月30日(日)、東京ドームで開催された『プライドGP 2000』の速報です。興奮、興奮、また興奮！　とにかくドキドキの連続だった『プライドGP』……と言っても、実はこのコーナーの締め切りが大会前のため、実際に大会がどうだったのかは正直言って分かりません。どうもすんまそん！　しかし、この豪華絢爛のカードが面白くないわけがありません、ゼッタイに！髙田vsホイス、佐竹vsコールマン、藤田vsナイマン、エンセン井上vsケアー、アレクvsボブチャンチン、グッドリッジvs大刀光、小路vsブラガ、バベットvsテリグマン、どれも見逃せない試合ばかり。今号を見ればト~ゼン、試合内容、結果は分かるわけですが、映像でも見たいですよねぇ~やっぱり。と言うわけで、2月6日の試合中継(16:00~17:25)に先がけ、この日の放送では『プライドGP』の美味しいところをチョイスしてお届けしてしまうのです。お楽しみに~!

2/10 & 2/17

待望のあの人気企画ふたたび……

『格闘ビデオ道　21世紀に残したいビデオ特集』

2/10(木)&2/17(木)放送　両日とも25:15~25:45

2/10と2/17の放送は、ファン垂涎！　待望の「格闘ビデオ道スペシャル」。SRSの人気企画のひとつ「ビデオ道」、ナビゲーターはもちろん、あの方、大槻ケンヂさんです。過去に放送を見逃してしまった方にも安心のSRS。これは何？　という不思議な格闘技から、むか~し昔の映像やら、怪しい投稿ビデオやら、スタッフのこよなく愛するちょっとエッチなビデオまで、過去4年間のSRSで放送したものに、まだSRSで紹介したことのないビデオを含め、「格闘ビデオ道！　21世紀に残したいビデオ特集」を2週にわたってオンエアーします。――視聴者の皆様より投稿ビデオもいただきました。SRSスタッフが血眼になって探したビデオ、そして過去の放送の際には企画の段階でお蔵入りしてしまったビデオなどもあります。ゼッタイに一見の価値ありです。さらにさらに「ビデオ道」だけでは終わりません。年末から年始にかけて、好試合が続出中のキックボクシングの試合を、いつもより“たっぷりめ”に放送いたします。乞うご期待なのだ~!

2/6

これはもうゼッタイに見なきゃダメでしょう!

1・30東京ドーム『プライドGP 2000』試合中継

2/6(日)16:00~17:25

東京ドームに『プライドGP 2000』を見に行かれた方は、いまだ“興奮冷めやらぬ”って感じではないでしょうか。とにかく！　見に行った人も、残念ながら見に行けなかったという人も、この日の試合中継はゼッタイに見逃せないでしょう、やっぱり。

SRS
ホームページに
アクセス
してみよう!

http://www.fujitv.co.jp/

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
2/3（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	98年にイスラエル　テルアビブで開催の『アブソリュート・ファイティング・チャンピオンシップ4（USA vs USSR）』パート１を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	1.14に後楽園ホールで開催された修斗の2000年第一弾『R.E.A.D.〜2000 SHOOTO〜』の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77
2/4（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00〜8：00 12：00〜13：00	2/3を参照
	GAORA	格闘伝説ムエタイ	10：00〜11：00	ムエタイの魅力・迫力たっぷりの60分。チェーンギ・ヤーマーギジムvsポンシリノーイ・ポー・ルアムルディー戦ほか
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00〜15：30	2/3と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	18：00〜19：00	2/3と同内容
2/5（土）	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	23：30〜24：30 27：00〜28：00	『第5回IVC大会トーナメント』（準決勝・決勝）を放送。ジョゼ・ランジ・ペレvsジョルジ・ペレイラ（準決勝）戦ほか
	SKY sports 3	ムエタイ	17：00〜17：55	タイ国内のムエタイ中継番組をそのまま放送。日本に居ながらにして本場の熱気を味わうことができるマニア必見のプログラム
	WOWOW	リングス　スペシャル 世界最強決定間近	23：30〜24：00	『ワールドメガバトルトーナメントKING of KINGS』決勝トーナメントを目前にして、糸井重里氏が各界著名人とともに大会の展望を語る
	テレビ朝日	リングの魂	24：40〜25：11	『ファイティング・カジノ』前編を放送
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：10〜27：10	2.1代々木第二体育館大会を放送
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	26：30〜27：30	2/4と同内容
	フジテレビ	新日本キック・ラジャダムナン ムエタイ遠征	27：05〜28：05	99.11.28タイ・ラジャダムナンスタジアムにて行われた、新日本キック主催『ファイト・トゥ・ムエタイ』を放送する。
2/6（日）	SKY sports 3	ムエタイ	5：30〜6：30	2/5を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8：00〜9：00	2/3と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00〜10：30	2/3と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00〜12：00	2/3を参照
	フジテレビ	SRS特番	16：00〜17：25	PRIDE中継
	GAORA	全日本キックボクシング	20：00〜22：00	全日本キックボクシング連盟の2000年最初の興行が1.21に後楽園ホールで開催。その『LEGEND-Ⅰ』の模様を中継
	GAORA	パンクラッシュ！　PANCRASE	22：00〜24：00	1.23に後楽園ホールで開催された『PANCRASE 2000 TRANS TOUR』大会の模様を放送。全試合グローブ着用となる記念すべき一戦を特集
2/7（月）	GAORA	格闘伝説ムエタイ	24：00〜25：00	2/4と同内容
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	25：20〜25：50	1.31『ジャイアント馬場一周忌追悼興行』後楽園ホール大会
2/8（火）	GAORA	格闘伝説ムエタイ	14：00〜15：00	コーグ・フェーテッグvsゴンギアット・シッチュントーン戦ほか
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45〜26：15	黒澤浩樹特集、3.19横浜大会情報
2/9（水）	SKY sports 3	ムエタイ	27：00〜28：00	2/5を参照
2/10（木）	GAORA	PANCRASE　DAYS	20：00〜22：00	95.4.8愛知県武道館、95.12.14札幌中嶋体育センター大会の模様を放送
	GAORA	全日本キックボクシング	23：00〜25：00	2/6と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	14：00〜15：30	格闘探偵団バトラーツ特集。98.1.21後楽園ホールで開催の『BATIBATI』大会を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	98.5.17にロシア・サンクトペテルスブルグで開催の『ミックスファイトトーナメント3』を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	99.12.12に後楽園ホールで開催された日本キックボクシング連盟『'99躍進シリーズFINAL』の模様を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	2/3を参照
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77
2/11（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00〜8：00 12：00〜13：00	2/3を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00〜15：30	2/10と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	18：00〜19：00	2/10と同内容
	GAORA	格闘伝説ムエタイ	19：00〜20：00	2/7と同内容
	GAORA	パンクラッシュ！　PANCRASE	20：00〜22：00	2/6と同内容
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	23：30〜24：30 27：00〜28：00	2/4と同内容
	WOWOW	リングス　スペシャル 世界最強決定間近	23：40〜24：10	間近に迫った『ワールドメガバトルトーナメントKING of KINGS』決勝トーナメントを徹底予想
2/12（土）	SKY sports 3	ムエタイ	18：00〜18：55	2/5を参照
	テレビ朝日	リングの魂	24：40〜25：11	『ファイティング・カジノ』後編を放送
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：10〜27：10	2.4月寒グリーンドーム大会を放送
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	26：30〜27：30	2/4と同内容
2/13（日）	SKY sports 3	ムエタイ	7：30〜8：30	2/5を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8：00〜9：00	2/10と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00〜10：30	2/10と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00〜12：00	2/3を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	1.30に後楽園ホールで開催された格闘探偵団バトラーツの新春第一弾興行『B-BLOOD』を放送。PPV有料
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	26：25〜26：55	内容未定
2/14（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00〜15：30	2/13　20：00〜と同内容
	SKY sports 3	ムエタイ	17：00〜18：00	2/5を参照
	WOWOW	リングス　スペシャル 世界最強決定間近	21：30〜22：00	2/11と同内容
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45〜26：15	ベルナルドのボクシング試合、アーツの結婚情報を放送予定

ON THE AIR 2/3～2/24

格闘技番組ガイド TV&RADIO

Pick Up 1 『バトル・ステーション』〈新日本キックボクシング〉

FIGHTING TV SAMURAI!
2月17日（木）/20:00～21:30など

1.23後楽園ホール大会『ダブル・インパクト』を放送する。4月にムエタイチャンピオンとの対戦が決定した武田幸三は、日本ウェルター級タイトルマッチとして藤本ジムの北沢勝と対戦。また、壮絶なKO決着となった日本ライト級タイトルマッチ、鷹山真吾vs石井宏樹も見逃せないぞ！

Pick Up 2 『柔道王・小川直也vs破壊王・橋本真也』

ディレクTVスペシャル
2月17日（木）/22:00～24:00

"柔道王・小川直也vs破壊王・橋本真也"。タッグマッチを含め、過去に4回闘った二人の試合を一挙放送（"あの試合"は除く）。両者ともアントニオ猪木の弟子であることから、"闘魂"の継承者はどちらか、"あの試合"にどんな意味があるのか、など実際の闘い以上の様々なテーマが表出した。

Pick Up 3 『バトル・ステーション』〈ニュージャパンキックボクシング〉

FIGHTING TV SAMURAI!
2月24日（木）/20:00～21:30

1.29NJKF後楽園ホール大会、『MILLENIUM WARS Ⅰ』を放送する。オーローノーvsニキエマはムエタイの本場タイでもメインになるくらいのカード。その超ハイレベルな闘いは見逃せない。また、"驚異の新人"富平辰文が、11月の全日本、12月のMAに続きNJKFにも参戦。デビュー戦以来KO勝ちを続けている富平はゼッタイ、要チェック！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
2/15（火）	GAORA	格闘伝説ムエタイ	17：00～18：00	キンスター・ナコーントーンパークウィウvsウォーラウット・フェーテッグ戦ほか
	GAORA	PANCRASE DAYS	20：00～22：00	96.1.28横浜文化体育館大会の模様を放送
	WOWOW	リングス1999	25：35～27：40	『ワールドメガバトルトーナメントKING of KINGS』Bブロック1回戦の模様を再放送
2/16（水）	GAORA	PANCRASE DAYS	18：00～20：00	2/15と同内容
2/17（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00～20：00 23：00～24：00	97.9.27にオランダ アムステルダム、スポートハレン・サウドで開催の『フリーファイトイベント6（フリーファイトガラ）』から5試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	⬅Pick Up①
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 26：30～27：30	2/3を参照
	ディレクTVスペシャル	柔道王・小川直也vs破壊王・橋本真也	22：00～24：00	⬅Pick Up②
	フジテレビ	SRS	25：20～25：50	⬅P77
2/18（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7：00～8：00 12：00～13：00	2/3を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14：00～15：30	2/17と同内容
	GAORA	格闘伝説ムエタイ	16：00～17：00	2/15と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	18：00～19：00	2/17と同内容
	GAORA	全日本キックボクシング	18：00～20：00	2/6と同内容
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	23：30～24：30 27：00～28：00	内容未定
	GAORA	PANCRASE DAYS	24：00～25：55	2/15と同内容
	GAORA	ひとりパンクラッシュ!	25：55～26：00	次回興行の告知を注目の選手自らがコメント
2/19（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	16：00～17：30	2/13 20：00～と同内容
	テレビ朝日	リングの魂	24：40～25：11	『クイズ・プライド1』を放送
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26：10～27：10	2.4月寒グリーンドーム大会を放送
	SKY sports 3	ブラジル格闘技'99 VT	26：30～27：30	2/18と同内容
2/20（日）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	8：00～9：00	2/17と同内容
	SKY sports 3	ムエタイ	9：00～10：00	2/5を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	9：00～10：30	2/17と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	11：00～12：00	2/3を参照
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	26：25～26：55	内容未定
2/21（月）	SKY sports 3	ムエタイ	19：00～20：00	2/5を参照
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45～26：15	『K-1高校・前田憲作』、ミルコ情報を放送予定
2/22（火）	GAORA	格闘伝説ムエタイ	16：00～17：00	ルァーッチャーイレッグ・ルーグバーンマクアvsガーウガラット・フェーテッグ戦ほか
	GAORA	ひとりパンクラッシュ!	21：55～22：00	2/18を参照
2/23（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトステ・アンコール	14：00～15：30	MAキックボクシング連盟主催による『マッハ士道館・ドリームマッチ』（98.6.26後楽園ホール）の模様を再放送
2/24（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト	19：00～20：00 23：00～24：00	98.5.23にモスクワ スポーツパレス・ロシアン・アルメンで開催の『ケージファイトトーナメント4』パート1を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	20：00～21：30 24：00～25：30	⬅Pick Up③
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22：00～23：00 26：30～27：30	2/3を参照
	フジテレビ	SRS	25：20～25：50	

VIDEO
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介①〉 It's HOT!

『ラジャダムナンが燃えた！～キックボクシング 日本VSタイ 世紀の決戦～』
クエスト/90分
3,810円（税別）/発売中

新日本キック六人衆 タイ遠征のすべてを網羅！

99.11.28タイ国・ラジャダムナン・スタジアムにて行われた、新日本キックボクシング主催『ファイト・トゥ・ムエタイ』の模様を収録。これは、新日本キックのチャンピオン、小野寺力、武田幸三、鷹山真吾、菊地剛介、深津飛成、小笠原仁の6人がムエタイ戦士と激突した大会である。へたをすれば全敗もありえる危険な賭け。なぜ、そんな危険を冒してまでタイに乗り込まなければならないのか？　なぜなら、新日本キックには“打倒ムエタイ”というコンセプトがあるからである。ムエタイはタイで倒してこそ意味がある。そんな勇者6人の姿をぜひご覧になっていただきたい。

〈新作紹介②〉 It's HOT!

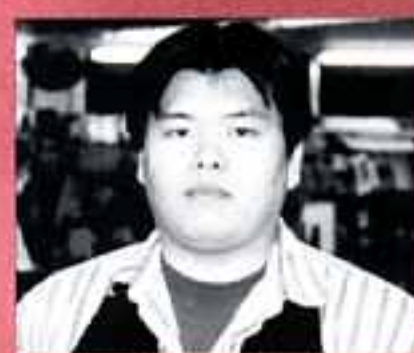
『ultimate fighting championship JAPAN』
クエスト/120分
6,600円（税別）/発売中

VTの老舗UFC再上陸 本物を見よ！

約2年ぶりに“バーリ・トゥードの老舗”UFCが再上陸した、99.11.14東京ベイNKホール大会を収録。試合以外でいろいろな波紋を呼んだ大会だったが、メインのUFCヘビー級チャンピオン決定戦ではピート・ウィリアムスを制したケビン・ランデルマンが第5代UFCヘビー級王者に。次期挑戦者決定戦にリングスの“TK”こと髙阪剛が逆上陸したが、ペドロ・ヒーゾにまさかのTKO負け。また、UFC-Jチャンピオン決定戦はパワー・オブ・ドリームのヤマケンが見事一本勝ちで優勝を果たした。パンクラスからもKEI山宮とジェイソン・デルーシアが参戦したが、惜敗を喫した。

プロレス＆格闘技専門ビデオショップ『チャンピオン』
東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
☎03-3221-6237

チャンピオン

丸野大樹マネージャー
「1・30の『プライドGP2000』大会の際は多数のご来店誠にありがとうございました。今回、チーム・オバケのTシャツを独占入荷いたしました。通販も行ってますので、どしどしご注文ください。ビバリーヒルズ柔術クラブも独占販売してます」

▲毎回、ランキングにご協力いただいている『チャンピオン』。プロレス・格闘技の書籍も多数販売されているぞ！

〈おすすめの一本〉 Recommend!!

『VALE TUDO JAPAN'99』
クエスト/120分　6,600円（税別）/発売中

ルミナ、マッハ、宇野が登場 『VTJ'99』を完全保存

今回で6回目を迎え格闘技界の一大イベントとして定着した『バリ・ジャパ』の99.12.11東京ベイNKホール大会を収録。今回は日本vsブラジルと銘打ち、佐藤ルミナ、桜井“マッハ”速人、宇野薫といった日本を代表するシューターがブラジルの強豪ファイターを相手に7対7の対抗戦形式で激突。第1試合でいきなり日本のエース・ルミナが出場し、ブラジルのエース格でもあるコルデイロを相手にわずか61秒の秒殺劇。試合後、感極まって涙するシーンも。

RENTAL RANKING（1/13～1/26調べ）

1. 『PRIDE.8 オフィシャルビデオ』 メディアファクトリー/110分
2. 『PRIDE.7 オフィシャルビデオ』 メディアファクトリー/100
3. 『エンセン井上　1999年のヤマトダマシイ（2本組）』 クエスト/120
4. 『世紀末極真最強の記録（2本組）』 ポニーキャニオン/180分
5. 『◎スクープ映像発掘「大山道場」36年目の真実』 日本スポーツ映像

1位 『PRIDE.8 オフィシャルビデオ』
歴史的瞬間がこの一本に『プライド』伝説がここに

桜庭がホイラー・グレイシーから歴史的勝利を収めた『PRIDE.8オフィシャルビデオ』が予想通りの1位。あの試合はダイジェストではなくノーカットで見たいというファンが多く、12.24のレンタル開始から現在も勢いは止まらず大好評レンタル中。また、4位、5位に極真モノがランクインしており、総合系が多い中大健闘している。

SELL RANKING（1/13～1/26調べ）

1. 『PRIDE.8 オフィシャルビデオ』 メディアファクトリー/110分
2. 『VALE TUDO JAPAN'99』 クエスト/120分
3. 『凄技（すごテク）プロレスラー桜庭和志の“反”常識技術講座』 ベースボール・マガジン社/90分
4. 『ultimate fighting championship JAPAN』 クエスト/6,600円
5. 『THE REVENGE TSUKI-OOKAMI in OSAKA』 クエスト/101分

1位 『PRIDE.8 オフィシャルビデオ』
セル・レンタル二冠達成！総合系独占

お～と！　レンタルでも1位の『PRIDE.8オフィシャルビデオ』がセルでも1位！　見事、V2達成!!　やはり、あの感動は一家に一本でしょう。なぜ、ここまでの人気なのか？　それは、桜庭vsホイラー以外にも名勝負があるからです。そう、ボブチャンチンの“あの”KOシーンが入っているからです。ご覧になってない方はゼヒ！

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介〉 It's HOT!

『死ぬまで大和魂パーカー』
修斗/7,000円

『大和魂』シリーズから
またまた新作登場

『プライドGP』の記者会見では、ブチ切れモードで殺気立っていたエンセン。その会見時にエンセンが着用していたパーカーがコレ！左肩の赤いロゴがカッコイイっす。もう、さすがってカンジだね～。

〈おすすめグッズ〉 Recommend!

『プライドロゴトレーナー』
PRIDE/6,300円

人気上昇中のプライド・グッズ
ロゴトレーナーがオススメ

『プライドGP開幕戦』が終わって、うかうかしていませんか？　5月には決勝戦もあるんですよ！　そんなタイムリーな商品がこれ。「真の最強」を決める大会にふさわしいシンプルなロゴが、きっとあなたの胸を熱くします！

ワールドスポーツプラザKINGS
藤原毅店長

先日、初めてキックボクシングを観戦し、チョー熱くなってきました。やっぱり格闘技って最高！　さて、話題の『プライドGP』オフィシャル・グッズは2月中旬頃の入荷予定です。皆様のご来店お待ちしております。

ワールドスポーツプラザKINGS
東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F（渋谷消防署前）
☎03-3462-1001　通信販売受付 ☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00　通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING (1/13～1/26調べ)

1. ENSON R･S･S･Dトレーナー 修斗/6,000円
2. 大和魂パーカー 修斗/6,000円
3. 桜庭モデルTシャツ 髙田道場/3,300円
4. 死ぬまで大和魂Tシャツ 修斗/4,000円
5. 桜庭バイクTシャツ 髙田道場/3,800円

1位

ENZOプリントがマジでかっこいい！

週刊ヤングジャンプ『タフ』のキャラクター、ENZOのバックプリント入りトレーナーです。モデルはもちろんエンセン！　ブラックのトレーナーは1枚あると便利だよ。

飛び込み新刊情報

このリングには、必ずマイク・タイソンがやってくる

『プライドの野望』

テリー伊藤も執筆！
プライドを100倍楽しく見る方法!!

発行・発売/扶桑社
定価/1,300円（税込）発売中

ちょっとアートなプライド本、『プライドの野望』。アートだからといって軽く見てはいけません。なぜなら、この『プライドの野望』の編集をしているのは、いつまでも子供の心を持ちつつ、ダンディズム溢れる雑誌『Free & Easy』の編集部。そして監修には『メンズ・ウォーカー』でのアントニオ猪木氏との対談が話題になった百瀬博教氏が務めている。「最強」の“キョウ”はさらに異なる“キョウ”（凶、恐、脅、etc.）に変化しなければ闘いの魅力を創造できない…、などと専門誌にはない独自の視点が面白い。そして、我らがサダハルンバも登場！　ターザン山本との「勝負論」についての対談は読みごたえ十分！　5月の『プライドGP決勝戦』は、きっとピナツボ火山級の盛り上がりをみせるだろう。その前にぜひこの本をご一読されることをオススメする。

PRESENT!
今回このコーナーで紹介した『プライドの野望』を、『SRS・DX』の読者5名様にプレゼント！　希望者はハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号、今号の感想を明記して下記までご応募を。締め切りは2月23日（水）の消印有効

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『プライドの野望』係

Et cetra

cdma Oneは会議室で鳴っているんじゃない！リングで鳴っているんだ！

『PRIDE』のリングコーナーでお馴染みのIDO・cdmaOne。そのIDOのプレイスポット5店舗（下記記載）では、来店した人に抽選で総額300万円の商品券（1万円を300人分）がその場で当たる"IDO テレホンゲット・キャンペーン"とcdmaOne持参の方に"各店オリジナルサービス"を実施中。またキャンペーン中、cdmaOneの無料通話体験コーナーも設置しているぞ。
◆IDOテレフォンゲットキャンペーン（2月末日まで実施）/ドリンクオーダーした全員にコースターを配布し、コースターのスクラッチ部分を削るとチャレンジナンバーが出現。そしてコースター裏面のキャンペーンダイヤルに、各店に設置してあるcdmaOneにて電話をかけ、ガイダンスに従いチャレンジナンバーを入力するとその場で当否が分かり、当たった人はそのコースターと引き換えに商品券1万円をゲット！　（引き換えは後日）

◆各店オリジナルサービス（2月末日まで実施）/
【THE EARTH-RESTAURANT Monterey】
◎港区海岸1-13-3　☎03-3436-6330
19:00～深夜までオープン
※21:00までに入店の方に入場無料サービス
【Ken's Dining】
◎港区西麻布1-15-4Faro西麻布1F　☎03-5771-5788
18:00～27:00(日曜25:00）まで
※ウェルカムシャンパン一杯無料サービス
【J TRIP BAR NISHI-AZABU】
◎港区西麻布4-2-4　☎03-3409-8222
20:00～深夜まで（日曜休）
※23:00まで入場無料サービス
【Budweiser Carnival】
◎新宿区新宿5-17-13オリエンタルウェーブビル5F　☎03-5272-7055
営業時間/17:00～深夜まで
※オールタイム生ビール1杯無料サービス
【LOVENET】
◎港区六本木7-14-4ホテルアイビス3・4F　☎03-5771-5511
営業時間/18:00～29:00（金曜は31:00まで、日曜・祝日パーティー専用）
※オールタイムハウスワインボトル1本サービス

田村潔司 格闘技セミナー開催

昨年、田村潔司が開催した格闘技セミナーが好評に付き、再度開催することが決定。前回のセミナーでは「関節技が面白い」という女性の声も聞こえるなど、初心者にはうってつけのセミナーだ。今回は祭日に行われるので、興味のある人はぜひ参加してみてはいかがだろう。
◆内容/打撃・寝技を中心にしたセミナー
◆日時/2月11日（金・祝）15:00～17:00
◆場所/ティップネス渋谷店
◆料金/ティップネス会員2,500円、一般5,000円
◆お問い合わせ・お申し込み/ティップネス渋谷店☎03-3770-3531

石井館長が題字を書いたぞ！『13ウォリアーズ』

石井館長が題字を書いた映画『13ウォリアーズ』が、2月19日（土）より全国東宝洋画系にてロードショー(GAGA配給）！　それに先立って行われた試写会には、アンディ・フグ、エンセン井上、前田憲作、小比類巻貴之などの格闘家も多数訪れ、徹底的にリアリティのある戦闘シーンに格闘家達も口々に絶賛の声を上げていた。主演はアントニオ・バンデラス（『マスク・オブ・ゾロ』）、監督にジョン・マクティアナン（『ダイ・ハード』）、原作マイケル・クライトン（『ジュラシック・パーク』）が送る、スペクタクル・アクション超大作！　そしてこの『13ウォリアーズ』のチケットを『SRS・DX』の読者ペアで5組にプレゼント!!　詳しくはP.112～『ごっつあん銀座』参照。

載ってないと寂しいでしょ？バトラーツ情報

◎島田裕二プロデュース『プロレス講座』
バトラーツのオープンスペースにて毎月、ターザン山本・島田裕二両講師による『プロレス人生相談』が開催されるぞ。君のプロレス観もぶつけてみろ！　「おいおいおい、もう終わりかよ、冗談じゃねえよ！」ってな場合には、近くの居酒屋で延長戦、続行！
◆日時/2月19日（土）19:00～21:00
◆料金/2,500円
◆お申し込み方法/バトラーツに電話連絡の上参加。定員になり次第締め切り
◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

◎バトラーツ札幌大会観戦ツアー
◆日程/3月25日（土）羽田発、札幌テイセンホールにて観戦3月26日（日）羽田帰り
◆料金/一般42,000円、FC会員40,000円（往復航空券、特別RS、ホテル代込み）
◆お申し込み方法/バトラーツに電話連絡の上、現金書留を送付
◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005
◆締め切り/2月18日（金）

渋谷にムエタイを習いにいこう！

タイの名門ジム『ソーチタラダジム』が、同ジムを東京・渋谷にもオープン、J-NETWORKと共同運営することになった。まったくの初心者からプロを目指す人まで、各人に応じたクラスがあるので、強くなりたい人は迷わずGO！　コーチは、J-NETのエース増田博正と蔵満誠が務めるぞ。見学・入門したい人は下記まで。
◆住所/東京都渋谷区渋谷3-6-19　第1矢木ビルB1
◆電話/03-3498-3067
◆オープン/15:00～22:30

『コロシアム2000』ラウンドガール募集！

船木vsヒクソンで話題を呼んでいる5.26『コロシアム2000』が、ラウンドガールを募集中。我こそはと思っているあなた！　自慢のナイスバディで東京ドームの観客の視線を釘付けにしてみてはいかがでしょうか？　ただし、18才以上の女性に限りますよ～。我こそはと思う人は、上半身及び全身の写真と、履歴書を下記のあて先まで郵送してくだちゃい。締め切りは2月29日（火）。
◆あて先/〒105-8012　テレビ東京『コロシアム2000オーディション』係

B.J.J. JAM＆柔術セミナー参加者募集

◎『ブラジリアン柔術講習会in仙台』
◆日時/2月13日（日）13:00～17:00
◆場所/仙台市・青葉体育館柔道場
◆講師/和道稔行（98ブラジリアン柔術世界大会青帯ペナ級3位、プロ修斗1戦1勝）
◆参加費/一般3,000円、JFCN会員2,500円、パレストラ会員2,000円
◆応募方法/電話予約
◆締め切り/定員50名になり次第
◆お問い合わせ・お申し込み/パレストラ仙台☎023-645-1442

◎『関西B.J.J.＆柔術セミナー』
◆大会内容/!ブラジリアン柔術マッチ、"中井祐樹による柔術セミナー
◆日時/2月20日（日）
・11:30～選手集合、計量
・12:30～試合開始
・16:30～19:00『中井祐樹柔術セミナー』
◆場所/大阪・堺市立大浜体育館柔道場
※南海本線堺駅下車、西へ徒歩10分
◆参加費/【どちらか一方のみ】一般4,000円、パレストラおよびJFCN会員3,000円【試合＆セミナー】一般6,500円、パレストラおよびJFCN会員5,000円
◆応募方法/下記の問い合わせ先まで参加申込書を請求
◆お問い合わせ/【神戸】柔専館・大会事務所☎090-1141-8182（宮本）、【東京】パレストラ東京☎03-5984-3209
◆締め切り/2月10日（木）必着

◎『松戸B.J.J.』
◆大会内容/ブラジリアン柔術マッチ
◆日時/2月27日（日）
・13:10～選手集合、計量
・14:30～試合開始
◆場所/千葉・松戸運動公園内柔道場
※新京成松戸新田駅より、徒歩15分。JR北松戸駅より、県立松高行きバス乗車、運動公園前下車、徒歩7分。
◆参加費/一般3,500円、パレストラおよびJFCN会員3,000円
◆応募方法/下記の問い合わせ先まで参加申込書を請求
◆お問い合わせ/【松戸】パレストラ松戸☎047-369-5663、【東京】パレストラ東京☎03-5984-3209
◆締め切り/2月16日（水）必着

ルミナ、マッハも参加！シーザージム『もちつき忘年会』

昨年の12月26日（日）に都内のシーザージムにおいて、毎年恒例の『もちつき忘年会』が行われた。この日はSB選手・関係者のみならず、佐藤ルミナ、桜井"マッハ"速人などの修斗勢も参加。年間表彰も行われ、土井広之が見事MVPを獲得した。なお、その後には地獄のような"飲み"があったという…。

Goods & Ticket

イエローページ

東京ドーム
青色のビル
黄色のビル
白山通り
外堀通り
神田川
至新宿
西口
JR水道橋駅
マクドナルド

チャンピオン 西田ビル6F

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6Ｆ
☎03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

レッスル渋谷
南口徒歩4分
第2野々ビル3F
（1F茜屋）

井の頭線ガード
横浜銀行
渋谷中央街
KENWOOD
住友銀行
東急プラザ
渋谷駅
南口
玉川通り
首都高速

〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル
☎03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

レッスル池袋
豊島区区役所真向かい
池袋陽光ハイツ3F
（1Fうどん屋）

豊島区役所
歩道橋
サンシャイン通り
東口
ビッグカメラ本店
池袋駅
至上野

〒170-0013　東京都豊島区東池袋1-36-3池袋陽光ハイツ306
☎03-3989-0056
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

山手通り
わかしお銀行
板橋文化会館
遊座大山商店街
至成増
東武東上線
大山駅
至池袋

板橋大山アメリカン

〒173-0014　東京都板橋区大山東町24-11
☎03-3962-6443
年中無休　営業時間（平日）10:00～20:00

書泉グランデ

至水道橋
住友銀行
至お茶の水
靖国通り
地下鉄新宿線・半蔵門線・三田線神保町駅
すずらん通り
白山通り
至大手町

書泉ブックマート

〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
☎03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

東京ドーム
後楽園ホール
西口　東口
JR水道橋駅
至新宿
パチンコ屋
マクドナルド至両国

プロレス・マニア館
ラーメン屋の3F

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-7-14　たかのビル3Ｆ
☎03-5276-0304
営業時間（平日）12:00～21:30（日祝）11:00～21:30

アイドール
加藤ビル4F

至大久保駅
西武新宿駅
歌舞伎町
パチンコ
とみん銀行
青梅街道
大ガード
靖国通り
小田急ハルク
西口
小田急デパート
JR新宿駅
東口
マイシティ

〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4Ｆ
☎03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

ファイター
都営地下鉄
新宿線・丸の内線
「新宿３丁目」駅
C4 出口より徒歩1分

丸井
新宿通り
要通り
伍名館 B1
末広通り

〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
☎03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間　11:00～19:00

後楽園ホール
神田川
至新宿
JR水道橋駅
チャンピオン
水道橋西口会館

フィットネスショップ格闘技
寺本ビル2Ｆ

〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-6-13　寺本ビル2Ｆ
☎0120-4646-81

横浜駅
東口
至桜木町
崎陽軒
ヨコハマプラザホテル
ローソン
国道一号線
日産ビル

横浜AOコーナー
YOKOHAMA AO CORNER

〒220-0011　神奈川県横浜市西区高島2-8-5　篠崎ビル2F
☎045-440-3355　毎週月曜日定休　営業時間（火～土）14:00～19:00（日祝）12:00～18:00

■主要チケット発売所一覧

発売所	電話
チケットぴあ	☎03-5237-9999
チケットセゾン	☎03-3250-9999
ローソンチケット	☎03-3569-9900
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
オデッセー	☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	☎03-3406-1513
レッスル渋谷店	☎03-3464-0078
レッスル池袋店	☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン	☎03-3962-6443
チャンピオン	☎03-3221-6237
書泉ブックマート	☎03-3294-0011
後楽園ホール	☎03-5800-9999

星座別
タロット占い

2/3 Thu. 〜 2/23 Wed.

宇月田麻裕
mahiro utsukita

プロフィール　フォーチュンクリエーターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐（現ホリプロ所属、俳優）のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。
URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座 3/21〜4/20

全体運　意欲的になれるとき。センスがアップしているので、春物ファッションやトレーニングウェアのリニューアルをすると、注目度アップ。また、趣味と実益を兼ねるような仕事へのチャレンジがグッド。恋愛では、仕事関係、趣味関係の中で恋人候補が。ライバルが出現する前に、こちらからVDの約束を取り付けておくとグッド。

勝負運　過去の栄光にしがみついていたらダメ。

健康運　自己コントロールできるとき。健康良好！

金　運　遣い始めたらゆるんだまま。ストップさせて。

ラッキーアイテム：**ミレニアムグッズ**
ラッキーカラー：**ゴールド**

牡牛座 4/21〜5/21

全体運　交際が活発になり、行動に比例して、ネットワークも広がりをみせるとき。グッドニュースがキャッチできたり、悩みを解消してくれる人との出会いがありそう。信頼できると確信したら、相談してみては？　恋愛では海外運が強いとき。外国人とのカップリングや海外遠征場所での出会いなど、出会いは広範囲に広がりそう。

勝負運　闇に葬られる暗示。未決着のままになるかも。

健康運　ストレスを発散する必要が。カラオケでも？

金　運　お釣りの間違いが起きやすいとき。チェック！

ラッキーアイテム：**旅情報誌**
ラッキーカラー：**ペパーミントグリーン**

双子座 5/22〜6/21

全体運　対人関係のトラブルに注意。上下関係にストレスを感じ、イライラすることが。だからといって、いきり立ってはダメ。子供みたいな態度は、一気に信用ダウンすることに。大人のやり方を考えると、確執なく治まるよう。恋愛は、ラブラブ度を周囲に見せつけると、嫉妬されるハメに。自らトラブルを起こすようなことは避けて。

勝負運　実力不足が身に沁みるとき。再チャレンジ。

健康運　ちょっとした過労が原因で食あたりや湿疹に。

金　運　お金を好きになることが収入に結びつきそう。

ラッキーアイテム：**携帯電話**
ラッキーカラー：**グレー**

蟹座 6/22〜7/23

全体運　予想がつかない運気に見舞われるとき。激動になり、吉凶極端な結果になりやすいので、予想しての行動はあまり役に立たないよう。だからといって、考えなしで行動をしてもダメ！　しばらくは状況の流れを見守って。恋愛は海外運がアップしているので、英会話、外国に関するボランティアなどに、参加するとVDに滑り込み。

勝負運　考え込んではダメ！　直感重視の方がグッド。

健康運　腱鞘炎など起こさないように肉体過労に注意。

金　運　トレーニンググッズを衝動買いしそうな予感。

ラッキーアイテム：**アルカリ飲料**
ラッキーカラー：**ボルドー**

魚座 2/20〜3/20

全体運　外面や噂に囚われやすいとき。人付き合いや物事のセレクトをするときに、外面よりも、実際に調べたり、話したりと、奥深い部分まで追求して。自分の目や耳で確かめないと、判断を誤る可能性が。恋愛はVD後から、冷戦状態にハマりそうな予感。許容範囲を広げれば回避できるハズ。シングルは二股アプローチはキケン。

勝負運　ビデオ再生で弱点を発見、克服、勝利へ。

健康運　冬太り解消は、寒さに負けずのエクササイズ。

金　運　実力をアピールすることで収入アップの期待。

ラッキーアイテム：**とっくりセーター**
ラッキーカラー：**オフホワイト**

獅子座 7/24〜8/23

全体運　センスアップするとき。芸術性がアップするので、趣味のカテゴリーが広がったり、格闘技なら華麗な技の閃きがあったりしそう。日頃のハードトレーニングとの切り替えには音楽がグッド。ライヴハウスやクラブに行くとラッキーなコトが…。恋愛はそんなスポットでの出会いも。ペアはVDライヴが最高のシーン。熱い夜の期待。

勝負運　確実なラインを狙う方が勝率アップ。

健康運　風邪をぶり返したり、病気の再発に要注意。

金　運　借金していた人は朗報。返済できる方法発見。

ラッキーアイテム：**ペンケース**
ラッキーカラー：**レモンイエロー**

水瓶座 1/21〜2/19

全体運　世紀末までのプランニングをするとグッド。思考力がアップしているので、目標を定めるといいかも。プロ試験合格、試合優勝、海外進出と、あなたにピッタリの目標を決めて。仕事ではファイティングマネー、ギャラの未収、詐欺などに要注意。恋愛はハイソにオシャレにキメて！　そんなあなたに、彼女もホレ直しちゃいそう。

勝負運　厳しい状況。足技のフェイント攻撃に要注意。

健康運　太るのは気になるけど食欲がわいて健康良好。

金　運　取引は契約書など書類にしておくとグッド

ラッキーアイテム：**DM（ダイレクトメール）**
ラッキーカラー：**タコールブルー**

乙女座 8/24〜9/23

全体運　ようやくパワー復活！　気持ちが前向きに循環してくるので、あとは実力をつけて臨むだけ。今一歩、心技の統合がされていないので、結果は納得がいかないかも。スキルが磨かれたら、結果や実利が自然とついてくるハズ！　恋愛は、恋人とVD旅行でラブラブ気分満喫。シングルはウインタースポーツでの出会いのチャンス。

勝負運　挽回しようとムキになると勝運は逃走の予感。

健康運　バランス良い食事を心がけて健康良好！

金　運　通販で調子に乗って買いすぎないようにして。

ラッキーアイテム：**インターネット**
ラッキーカラー：**ワインレッド**

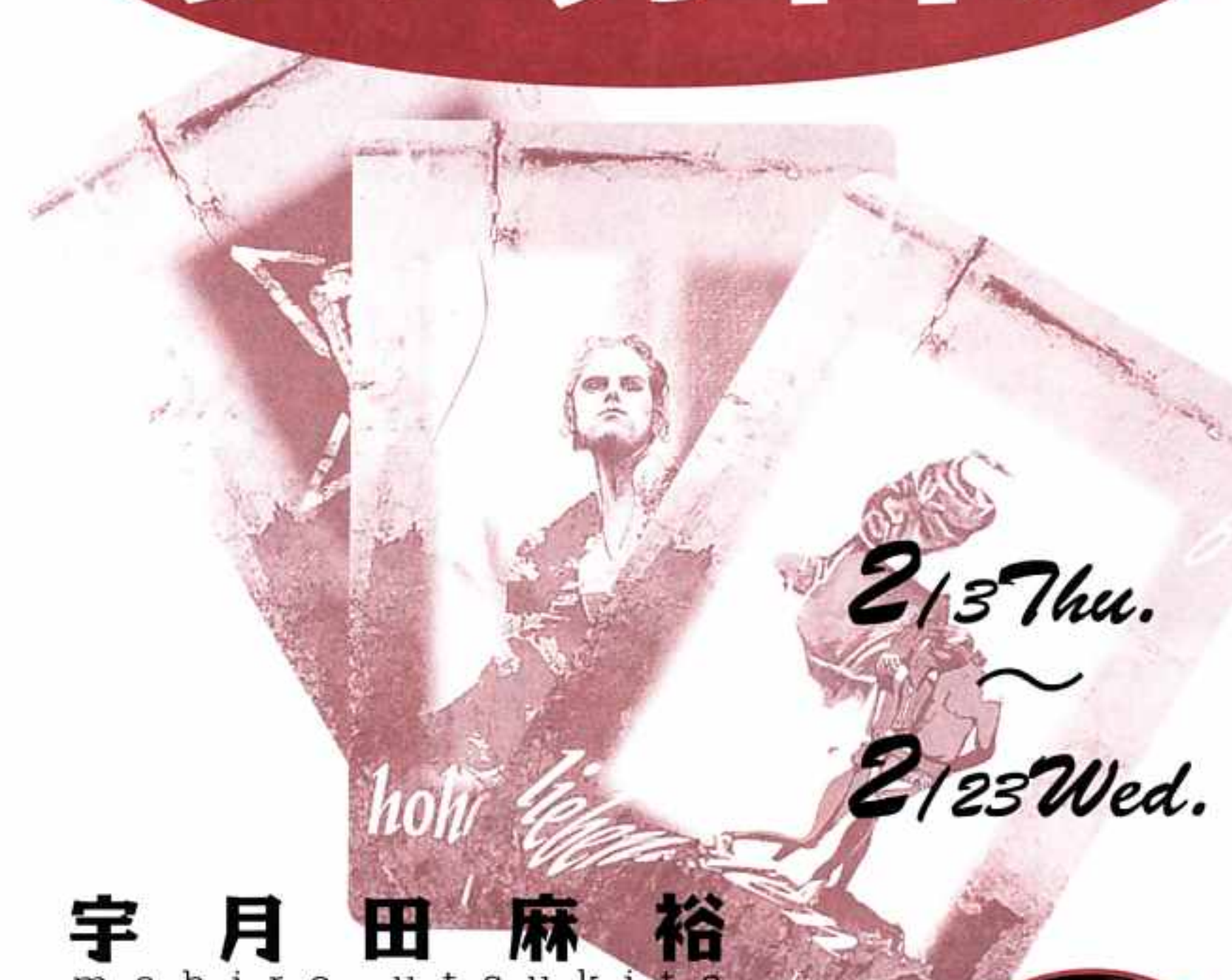
山羊座 12/23〜1/20

全体運　地味ながらも、周囲から認められるとき。マジメなキャラクターが好評で、重要な地位を与えられる可能性が。その陰で、携帯電話の電池切れ、忘れ物と、大事な場面でポカしそうなので、念には念を入れて。恋愛では、VDを境に結婚話が浮上したりと、結婚運がアップ。反面、愛情の自信過剰が、ケンカの原因になりそう。

勝負運　トレーニング、勉強不足が敗因になる恐れ。

健康運　肌荒れケアを。悪化はトレーニングに悪影響。

金　運　景品、懸賞が狙い目。ギャンブル運あり。

ラッキーアイテム：**スーツ**
ラッキーカラー：**ブラック**

射手座 11/23〜12/22

全体運　友情運が好調。仲間と行動するのが楽しくて、ラッキーにもなるとき。誘いには支障ない限り付き合っておくと、見返りの期待あり。でも、お酒の飲みすぎは要注意。醜態をさらし、呆れられる事態も。恋愛は、VDにアプローチしてくれた人が好みのタイプじゃなくても、友達になっておくとグッド。ペアは嘘や隠しごとはダメ。

勝負運　熱くなりすぎはダメ。冷静になれたらグッド。

健康運　朝寝坊しがちに。1日の始まりはビシっと。

金　運　家族を大切にすると金運がアップする暗示。

ラッキーアイテム：**ポスター**
ラッキーカラー：**ペパーミントグリーン**

蠍座 10/24〜11/22

全体運　交際運、レジャー運が引き続き好調。知り合いの紹介や情報から、グッドなスポーツジムやパートナーが見つかったりする予感。あなたの欲しい情報を、みんなに話しておくと、それがキッカケになるハズ。恋愛では、VDだからといって、あまりにも性急に恋の進展を望んではアウト。愛はデリケートなもの、大事に育んで。

勝負運　下調べすることが肝心。ぶっつけ本番はダメ。

健康運　元気という過信が過労をためる原因に。

金　運　金銭の貸し借りは対人関係を壊すのでパス。

ラッキーアイテム：**ヘアーブラシ**
ラッキーカラー：**シルバー**

天秤座 9/24〜10/23

全体運　新境地が開けるとき。自分の可能性がアップしてくるので、ミレニアムなこの年に、誇れる軌跡を残すようなことに挑戦してみては？　周囲もそんなあなたを尊敬のまなざしで見つめるかも。身近なところで、まずは試合、仕事のプレゼン、公募作品にチャレンジ！　恋愛はムード作りの善し悪しで、今後の交際が変わってくる暗示。

勝負運　ギャンブル、賞金目当ての勝負には弱いとき。

健康運　大事な勝負やイベントの前日は十分に休息を。

金　運　雑談の中で金銭に関するグッドアイディアが。

ラッキーアイテム：**ペットボトル**
ラッキーカラー：**ベージュ**

サダハルンバ編集長の

一撃コラム

連載第16回

プロレスと格闘技は、なぜチケットの売れ方に違いが起こるのか?

前号でプロレスファンと格闘技ファンでは、チケットの買い方に大きな違いがあると書いた。

格闘技ファンは、カードが発表された初動でチケットを買い、あとはあまり伸びない。しかし、プロレスファンは興行が近づくにつれてチケットを買い求め、当日券で最終的に興行は満員になるというケースが多い。

あるいは、格闘技ファンはリングサイドの一番高いところからチケットがなくなるが、プロレスファンの場合だと安い席から買う。格闘技ファンはリング上における闘いをできるだけ前で見ようとし、プロレスファンは会場全体のライブ感を他のファンと共有することを求める傾向があるのだ。また、真ん中の席が一番最後に残るドーナツ現象が見られるのも、プロレスならではのことだ。

では、いったいなぜ、このような傾向が起こるのか。

まずそれは、プロレス自体が、K―1のように初動でチケットが完売することがないからである。若者たちのトレンディ格闘技として社会現象となったK―1は、チケットが取れないこと自体が大きな売りとなっていた。しかし、プロレスではそういうことがめったにないので、ファンはまずあせらないのである。

しかし、もっと重要なことがある。それは、格闘技の場合、カードが出た時点でドラマが見えてしまうのだが、プロレスの場合、カードが発表されてからドラマが始まり、興行が近づくにつれてそのドラマが展開されることだ。

毎日のスポーツ紙を見てほしい。プロレスラーは、カードが出る前、そして出た後もドラマを常に展開していく。ファンに対して、マスコミを通じて常に刺激を与えていくのである。プロレスファンは、そのドラマを追いながら、だんだん見に行こうという気分になっていくのだ。

それに対し、格闘技はそういうネタをマスコミに提供するのが非常にヘタである。記者会見や公開スパーリングこそ、最近よく行われるようになったのだが、それでおしまい。ファイターは、何をマスコミに書かせるか、また何をすれば大きく扱われるか、まったく展望のないまま開いていることが多いのだ。

記者会見や公開スパを行えば、あとは記者まかせというのはまったく間違った発想である。目的がないなら、わざわざ開く必要はない。どうしても取材が殺到していて、いっぺんにやった方がいい場合のみやればいい。記者会見や公開スパは、マスコミやファンとの勝負だという発想がまずないのである。

だから記者が質問をしても、ほとんど答えが返ってこないファイターもいる。「相手は誰でもいい」「作戦は言えない」「一生懸命がんばる」――こういったありきたりの答えでは、ほとんど記事にならないし、たとえなったとしても、チケットの売り上げに跳ね返ってこない。

しかし、プロレスというジャンルはその部分が徹底的に鍛えられている。どんな小さなインディー団体でも、どうやったらマスコミが扱ってくれるかという発想があり、そういったドラマを見せることで、興行を盛り上げようと必死なのだ。

もちろん、これはファイターが饒舌にならなければならないとか、格闘技に子供だましのアングルを求めているのではない。決してない。要するにプロとしての、最低限の意識が問題なのである。

自分はなぜ次の試合で、その相手と闘うのか。その相手との闘いでプロとして何を見せたいのか。その試合にはどれほどの思いがあるのか。そんな簡単なことでさえ、ファンにはよく伝わっていないのである。

プロレス団体は、格闘技に比べてほとんど広告を打たない。そういう広告費を使うなら、いかにマスコミに取り上げてもらうかに神経を注いでいる。そういう意識があるから、ファンは専門誌やスポーツ紙で情報を集め、興行が近づくにつれて会場に足を運ぼうという気分になっていくのである。

『プライドGP』がプロレス型のチケットの動きを見せたのも、そういう理由があったからだ。まずGPということで、参加選手が決まり、カードが発表されるにつれてファンの心が動かされた。

髙田VSホイスが決まった。桜庭やアレク、エンセンも出る。K―1からFA宣言した佐竹が参戦を表明した。新日本から藤田が離脱し、急遽参戦することになった。もちろん、途中でカードが変わることはよくないが、それを含めてファンの心は少しずつ揺さぶられたのである。

それと今回の『プライドGP』はファイター同士がライバル心を燃やして、お互いネタを提供しようという傾向があった。もちろん、純粋に練習しているのだが、佐竹や藤田のようにシアトルや髙田道場で合同トレーニングを行ったり、アレクのように温泉に行く選手も出た。ホイスは海篭り、大刀光は相撲部屋と、それぞれが自分のバックボーンをドラマとして見せ、それがマスコミを賑わせたのが大きい。ある意味で、『プライド』はプロ格の新しいマスコミへの情報の見せ方を提示したと言えるのだ。

私は今号を書くにあたって、ターザン山本さんに「なぜ、プロレスファンは、チケットを直前になって買うんですか」と質問してみた。それに対しターザンさんは、「それはプロレスファンは、自分がチケットを買うという行為自体を自己演出し、ドラマ化しているからですよ」と言った。この気分はよーく分かる。

そのターザンさん、今回の『プライドGP』は3万3千枚は実券で売れると断言していた。しかし、1週間前まで正直チケットは2万枚を超えたところだった。ところが、当日発表されたのは……。今回の『プライドGP』のチケットの売れ方は、本当に勉強になった。

▶『プライド』はカードが発表されてからも、ドラマが膨らんでいった

“アレクサンダー大塚ダンスクラブ”旗揚げへ!

クンフー・マクダニエル VOL.2

編酋長◎井上きびだんご

コーナー続行ッ!!

五木田智央、『バァフ・アウト』から『ワンフー』へ電撃移籍!

キャー

アントン&ミツコ

イン・パキスタン

KING OF SPORTS

ANTON & MITSUKO IN PAKISTAN

COPYRIGHT ©TOMOO GOKITA

ゴキータ vol.2

1・30、アレクは勝ったのか!? ボブチャンチン戦直前（1/26）、アレクから送られてきたFAXイラスト!!

ウクライナと日本の行き来より試合の方が楽だよ～! でも下っ端だから皆の荷物オレが持ってんだよ～ あ～あ～

初心忘れずってゆーけど、ボブも大変だね。でも そーゆーとこって すごく親近感湧くんだよねぇ～ でもパンチは怖いなぁ～

◇どんなに強くなっても、リング設営&撤収をやり続けるアレクと、来日の際、いつもマネージャーと通訳の荷物も自分で持ち運ぶボブ。もう泣いてしまいそうだ!! 締め切りの時点では勝敗は分からないが、二人とも初心を忘れず、感動させてくれッ!!

▶兵庫県津名郡・バルサハンダ・?歳

▶熊本県玉名郡・塩本祐介・34歳

神様、もし立会えば…
あのヤングボーイランデルマンには勝てても ドーベルマンは殺せないっ!!

1月30日、朝倉にて…
グローブ!? いらねぇよ めんどくせえ!!

▶新潟県南魚沼郡・小林さつき・19歳

◇さつきちゃんに録画ビデオを貸してあげたい人、また友達になろうという人は、まずは編集部までお手紙を送ってください（いたずら防止）。編集部から本人に転送します。エリオの表情から察するに、さつきちゃんは非常に友達が欲しそうというか、ンムフフフ。『ワンフー』では全力を賭けて友達作りに協力します!

スカパーで PRIDEGP 2000 完全収録生中継を録画された方 ぜひ貸してください。送料はこちらで負担します。
格闘技の好きな友達がほしいです。Friendになりましょう!

▶神奈川県横浜市・上杉太郎・28歳

驚愕 すごき グレイシーの定説
ミイラは本当に生きていた!!
というわけで、エリオのじーちゃん、長生きしてね♡（推定124歳）

▶東京都小平市・笹原靖・21歳

アントンといっしょ

▶埼玉県草加市・アントニオ文朱・100歳

勘弁!

■いろんなお便り募集

アピールしたいことがあったら、とことんやれ。それがプロだし、男だ。自分のない人生なんて人生ではない。身勝手すぎてもいけないが、人間としての最低のルールをわきまえた上で、自分のある人生をつくれ。もう一度いう。自分のない人生など何になる！　byアントニオ猪木（『苦しみの中から立ち上がれ』より）。『ワンフー・マクダニエル』では、こんな猪木さんの言葉に感銘を受けながらも、結局意味をはき違えてしまうような人からのお便りをお待ちしています。『マジメな観戦記』なども大募集します（冗談じゃなしに）。イラストはパンチの効いたものを、写真はコメントを添えて、その他なんでもお待ちしています。簡単なお便りは、『ごっつぁん銀座』の応募ハガキに書いてくれてもかまいません。
あて先は、

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『ワンフー・マクダニエル』係まで

※注意……作品は一切返却しません!

俺は百瀬博教さんのTシャツを作ったことがあります（←大自慢）

今月の私怨

現在発売中の『紙のプロレスRADICAL』誌上に、「山口日昇とその他大勢」のうち、「その他大勢」の一人が俺の作った「トリプルクロス」（メディアワークス刊）について「どうせ今回も後から『裏テーマは家族』だのと不可解なことを言い出すのだろう」とかいう、まったく見当違いのダメ書評を書いていた。

俺は「トリプルクロス」の中に裏コンセプトは「人間の根源的なもの」と書いているのだから「家族」なわけがないんだよ。アホ、ボケ、カス!!（清原和博調）

そんな間違ったことを平気で書けるのだから、さすがに「その他大勢」はひと味違うよな!

確かに俺は昨年の忘年会の席でカタブツ氏に「カタブツ氏は『その他大勢』に入ってないよ」とは言った覚えがある。

それが「その他大勢」の方々にどう伝わったのは俺の知るところじゃあないが、『紙プロ』誌上には「そこにボクも含んでいやがったら、どうしてやろうか」と書いてあったので聞くが、「どうしてくれるの?」。

ただ、今回だってそんな暇があるなら、大仁田厚VSエンセン井上の対談をもっとどうにかしてほしかった。

せっかく両者をブッキングできたんだ。キチンとアドバイスしてやれよ。

それが名目上でも「スーパーバイザー」とか名乗っている立場の人の「仕事」じゃねえの?

だから「その他大勢」だっていうんだ。

愛のある意見だと思うけどなあ……。

それから最後に、前号の当コーナーに掲載されていた、アントニオ文朱とかいう人のイラストは何が書いてあるのか、汚くて読めない。常連の方なんだったら、もっとわかるように書いてほしいよな。

以上、キビ氏に代わって、Showがお伝えしました。

◇……以上、なぜかShow君からゼヒとも載せろ、とメールが送られてきました。でも、「キビ氏に代わって」って、何? 俺は関係ねえだろ! 吉田豪に噛みつくのは自由だが、勢い余ってアントニオ文朱のことを中傷するのだけは許さねえです! こーゆーのは、やっぱりよそでやって。もう、よそう。なんつって、ダーハッハッハ!

怒りと落胆の第3種接近遭遇

SB vs 散打

エース・土井広之、入場時の笑顔から一転——試合後は号泣

★第8試合・SBvs散打交流戦（メインイベント）
○土井広之（3R判定3-0）宵成龍●
〈シーザージム〉 〈中国少林寺散打〉
※ヒジ、ヒザなしのSB特別ルール。2R、宵にシュートポイント1（反り投げ）、3R、土井にシュートポイント1（バックドロップ）あり

散打との交流戦は、突然のルール変更（ヒジ、ヒザが禁止に）もあって、不満の残る内容に。メインに出場したエース・土井広之は勝利したものの、試合後は悔し涙を流した

ついに、シュートボクシングと中国武術・散打が初の接近遭遇を果たした。パンチ・キック・投げ技からなる〝立ち技総合格闘技〟の確立を目指すSBにとって、同じコンセプトを持つ散打は、ロシア産の格闘技・ドラッカに続いて現われた、待望の〝同志〟だったのである。この日、ラインナップされた散打との交流戦は3試合。エース・土井広之を筆頭に、森谷吉博、角田紀子といった一線級をいきなり投入したことからも、散打への期待の高さがうかがえた。

ただし〝打つ、蹴る、投げる〟が三位一体となる展開を究極とするSBに対し、散打は打撃を殺して相手を投げると高ポイントになる競技である。試合を構成する要素は似ていても、その方向性にはかなりの違いがあったのだ。

しかも、散打勢は来日後、つまり試合直前のドタンバになってヒザ蹴り、ヒジ打ちなしの特別ルールを要求。それによって、散打勢は頭を下げた低い体勢からのフックやタックルといった自分たちの持ち味を発揮することができた。

そして特筆すべきは、相手の蹴りを封じる技術である。緒形健一や、実際に手を合わせた森谷によれば、相手が蹴る方向に体を移動して勢いを殺しているのだという。そして蹴り足をキャッチした上で、投げる。時には、ドラゴンスクリューのような技まで見せていた。長い歴史の中で練り上げられたその技術は、さすがといえよう。

そんな散打の戦法に、角田、森谷が相次いで判定負けを喫してしまう。タックルに合わせるヒジ、ヒザの練習を集中的にしてきたS

散打は“打撃を殺す”武術だった

土井のコメント

「ヒザとヒジを禁止にしてくれと言われて、正直、頭にきていました。対戦相手のことなんてどうでもいいタイプなんですけど、さすがに今回は。所詮あんなもんですよ。向こうの要求してきたルールで勝ったんで、ざまあみやがれって感じです。ヒザに対処できなかったら、もう来なくていい。3月は中国以外のヤツとやりたいです」

宵成龍のコメント

「彼らの闘い方と、自分たちが教えられたやり方はちょっと違います。今日の私の素直な気持ちを申しますと、採点の方法にいろいろと分からない点があって、ちょっと失望しています。また今度チャンスがあったら、もう一度やってみたいと思います。私は必ず努力しますから、そうしたら必ず勝つと思います」

▲遠い間合いからサイドキック。散打の攻撃は、まずここから始まる。相手の打撃を寄せつけないのだ

水車落とし!?

▲散打勢は、まるで柔術の如く、バツグンのタイミングでタックルに入っていった。宵成龍は、土井を抱え上げると後ろに投げ捨て、シュートポイントをゲット

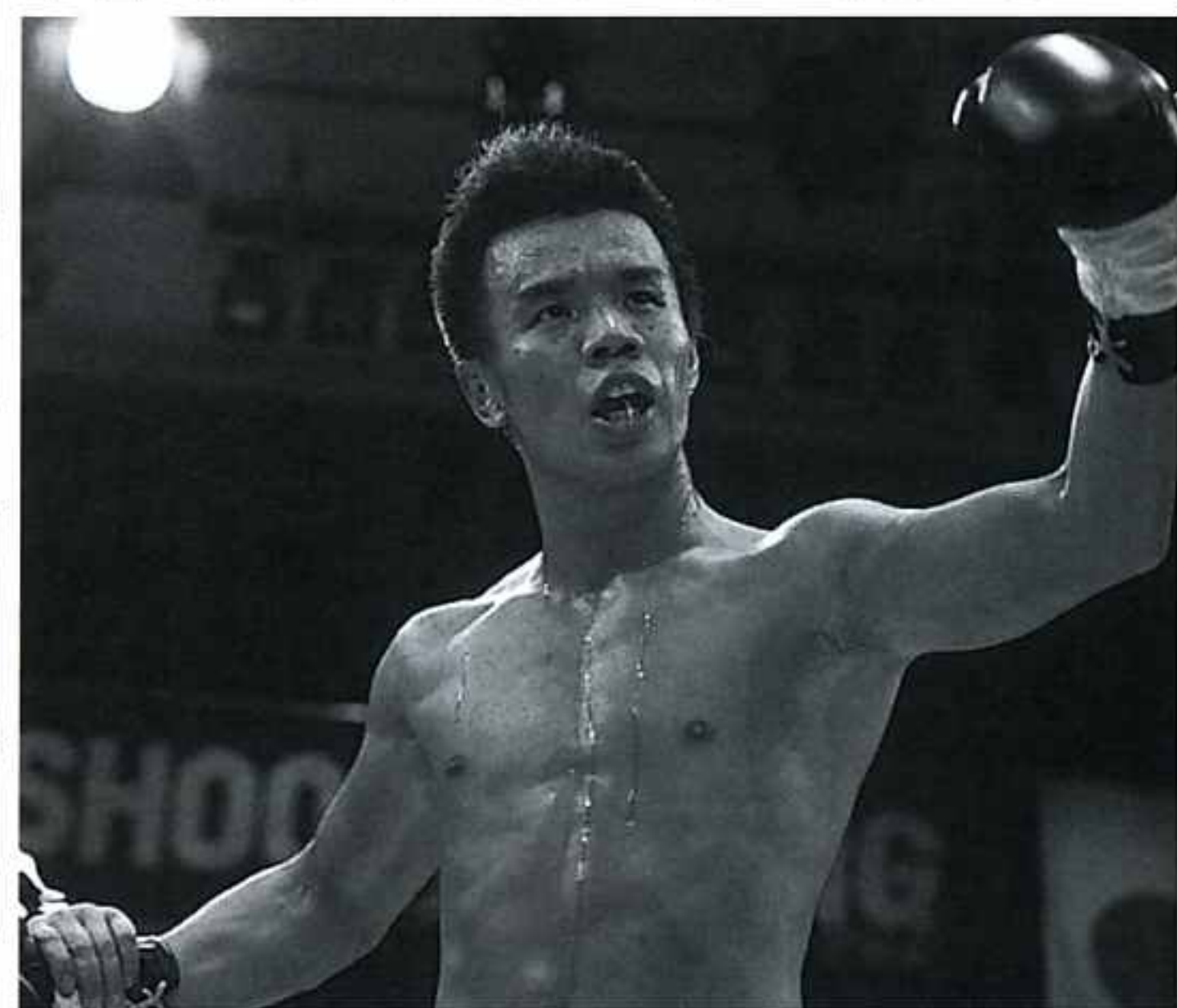
▶勝利者賞プレゼンターは、元ジャイアンツの吉村禎章氏が務めた

日本人をナメんな！

▲終盤になると、宵はスタミナ切れ＆土井のローキックでヘロヘロ状態。これが勝負を分けたか

▲次回、3・22後楽園大会で9カ月ぶりの復帰が決定した緒形健一がリング上で挨拶。「もう一度このリングに、命を張って勝負したいと思います！」

▶なんと、中国雑技団のパフォーマンスも行われた。散打以上（？）の神業に、マジで大拍手！

▲試合終了間際に決まった土井のバックドロップ。土井は「してやったり」という表情を浮かべた

▲散打側のルール変更要求に、かなり怒っていた土井。勝利が告げられると「どうだ！」と見栄を切る。「日本人をナメんな！」というマイクアピールも

B勢にしてみれば攻め手をもがれたも同然で「ヒザがあれば簡単に倒せるのに」と、すこぶるフラストレーションのたまる敗戦だった。

そして、メインイベント。〝なんとかしてくれ〟と願う観客の声援を浴びながら、土井がジェームス・ブラウンのド派手なソウル・ナンバーに乗って入場する。その笑顔には、期待を抱かせるのに十分なだけの魅力があった。

しかし、土井の実力を持ってしても、ヒジ、ヒザなしで散打67キロ級王者・宵成龍を攻略するのは容易ではなかった。宵の首を極めることでタックルを防ぐものの、どうしても完璧とはいかない。終盤はスタミナの切れた宵が苦し紛れのタックルで土井の足に絡みつき、何度も試合の流れが寸断された。最後はローキックと、バックドロップによるシュートポイントでなんとか判定勝ちした土井だが、とても満足できる内容ではなかったのは確かだ。

試合後。勝利者賞を受け取り、記念撮影に応じたところまでは笑っていた土井だったが、リングを降りようと観客に背を向けたその瞬間、堪えていた涙があふれてしまう。嗚咽は、控室に戻ってもしばらく続いた。観客を満足させられなかった悔しさと、ルール変更を要求した散打への怒りと――。

確かに、散打との交流戦は成功したとは言い難い。だが、勝ってなお泣いた土井の〝本気〟と、観客には涙を見せまいと、ギリギリまで我慢したプロとしての矜持。それを感じられたことが、この日の大きな収穫だったとはいえないだろうか。（橋本）

INVADE
1.24★後楽園ホール

タックル三昧の散打に『SBの頭脳』森谷がやられた！

ひたすらタックルを繰り返す林大里の戦法に戸惑い、てこずって判定負けを喫したものの、交流戦の2番手として登場した森谷吉博は、冷静に試合を振り返っていた。ヒザなしルールに縛られ、思うように打撃が決められなくても、散打の長所を認めるだけのクールな余裕があったのだろうか。

「ああいうのをどういう風に攻略するかという意味では勉強になりました。あの形はビデオを見たりして、研究したいです。楽しみがひとつできたというか」（森谷）

さすがはシュートボクシング協会の広報も務める男である。いち選手としての感情とともに、SB全体のことも頭に入れながら話しているんだろう。しかし、森谷はこうも言う。「また、行くか呼ぶかして、やらないと。どうしても悔しいんで」

やっぱり悔しいのである。それも、自ら中国に乗り込んでもいい、と思うほどに。『SBの頭脳』とも言える森谷だが、その心はさらなる自分の進化に向け、熱く燃えているに違いない。（橋本）

▶SBが誇るテクニシャン・森谷吉博も、林大里にタックルで2度シュートポイントを奪われて判定負け。「向こうのペースで試合しちゃって」（森谷）

▲ハイキックも、サイドキックと投げを警戒するため間合いが遠く、なかなか決まらない

▲判定は3－0で林に。SBは散打勢に2連敗し、交流戦負け越しが決定してしまった

◀悔しい敗戦にも、森谷は落ち着いて試合を振り返っていた

★第6試合・SBvs散打交流戦
○林大里（3R判定3-0）森谷吉博●
〈中国少林寺散打〉　〈シーザージム〉
※ヒジ、ヒザなしのSB特別ルール。1、2R、林にそれぞれシュートポイント1（タックル）あり

こんな新星を待っていた！宍戸大樹に大器の予感

◀昨年のSB新人賞を受賞した宍戸大樹が第4試合に登場。スピード、スタミナともに◎の小気味いい動きで、北岡孝人から判定勝ちを収めた

▲1Rにダウンを奪われたものの、後半盛り返していった宍戸。多彩な攻撃バリエーションに加え、試合終盤になっても動きが落ちないのも凄い。今年の目標は「全興行出場」だとか

★第4試合・SBエキスパートクラス
○宍戸大樹（3R判定2-0）北岡孝人●
〈シーザージム〉　〈風吹ジム〉
※宍戸は1Rに右ストレートでダウンを喫した。3R、宍戸にシュートポイント1（タックル）あり

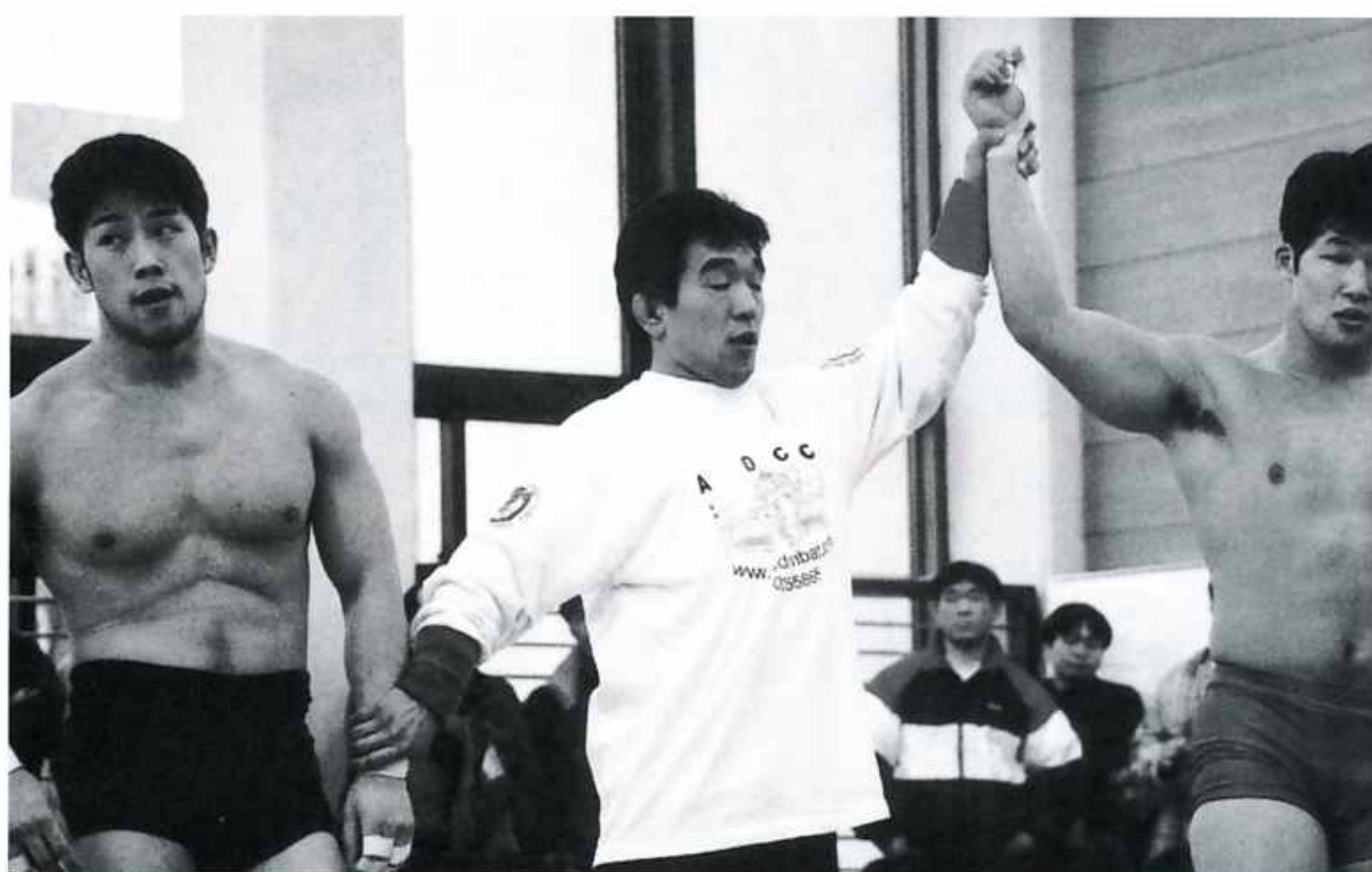
▲前大会、豪快な投げで相手をKOし、一躍脚光を浴びた前田辰也はセミでドラッカのエドモンド・トラバーディアンと対戦。身長差に苦しんだが、ローキックでダメージを与えてなんとか判定勝利をつかんだ

▲SBvs散打の幕開けとなったレディースマッチ、角田紀子と刈王杰の一戦は、サイドキックと超大振りフックを顔面にバシバシ決めた刈が判定勝ち

グラップラー十字軍、アブダビへいざ出陣！

『アブダビ・コンバット2000』
出場選手選考会
1.23 港区スポーツセンター

アブダビ行きはこの5人！

▲各階級の優勝者。上段左から、99キロ以上級/アンソニー・ネツラー（STG大宮）、98キロ以下級/矢崎雄大（和術慧舟會東京本部）、下段左から、87キロ以下級/竹内出（K'zファクトリー）、76キロ以下級/八隅孝平（パレストラ東京）、65キロ以下級/阿部裕幸（RJW/CENTRAL）

▲1・14修斗に出場したばかりの郷野聡寛（フリー）が参戦したが、優勝した竹内出に判定負け。準決勝で姿を消した

▶『VTJ'99』では、見事一本勝ちを収めた五味隆典（K'zファクトリー）。場内の注目を浴びたが、決勝で八隅孝平に判定負け

◀すでに出場が決定している佐藤ルミナもK'z勢の応援に駆けつけた

▶K－1やプライドで活躍中の本間聡（東京ボンバイエ）も、99キロ以上級にエントリー。多田尾秀樹（K'zファクトリー）に惜しくも判定負け

昨年2月にアラブ首長国連邦の首都・アブダビで開催され話題を呼んだ、打撃なしの総合格闘技大会『ADCCサブミッションレスリングワールドチャンピオンシップ』が、今年も3月1日から3日まで開催される。昨年の大会では、マーク・ケアー、ホイラー・グレイシー、ヘンゾ・グレイシー、日本からも、エンセン井上、桜井〝マッハ〟速人、宇野薫などなど、世界中から強豪が続々参戦。そもそもこの『アブダビ・コンバット』とは、アブダビの王子が大の格闘技好きで、その豊富な資産で（まったくの道楽で）開いたという、贅沢にもほどがある大会なのである。そして、この大会の日本代表出場選手選考会が1月23日港区スポーツセンターで開催され、本間聡、郷野聡寛、五味隆典などプロ選手も多数参加。全5階級総勢68名により出場権を懸けた熱い闘いが繰り広げられた。なお、昨年、無差別級準優勝・76キロ以下級3位のマッハと76キロ以下級準優勝の宇野、昨年はインフルエンザによって欠場した佐藤ルミナはすでに推薦出場が決定している。各階級8人の日本代表たちよ、砂漠の国にその名を刻め！

（宗忠）

SRS・DX Editor's Talk

編集部トーク

裏事情

魔裟斗のFA宣言、ドロ沼化へ

A　前号でお伝えした全日本キックの魔裟斗のFA宣言なんだけど、その後、続報が入ったって？

C　1・21後楽園ホールで行われた全日本キックの興行で、「試合放棄」という形で欠場が発表されたんですけど、それに対する魔裟斗サイドの反論のFAXが1月24日付けで流れてきました。それによると、「全日本キックが一方的に試合放棄と公表したのはまったくの事実無根。魔裟斗選手は試合を前提としたトレーニングに励んでいたのだが、同連盟からFA宣言した選手をリングに上げることはできないという理由で、試合をキャンセルするという意向を伝えられた」と書いてあります。

B　一体、どうなっているの？

C　話を整理してみると、魔裟斗は藤ジムの加藤会長から「辞めろ」と言われ、ジムを飛び出した。それで知人で飲食店を経営する宇佐美陽雄氏が代理人となって、魔裟斗はFA宣言。今後は「興味がある団体なら、どこでも上がる」と会見したんですけど、全日本キック側は、「初対面の人にいきなり代理人だと来られても、話す必要性がない。向こうから条件の提示があったけど、それ以前の問題じゃないですか。ものの道理として加藤会長とまず話すべき」と平行線。加藤会長が「実際、魔裟斗とは会っていない。自分がいない時に書き置きがあった」と言えば、金田代表も「平成14年まで魔裟斗との契約はある」と主張しているんです。要するに、交渉する以前の問題で、話が止まっているんですよ。

B　実際、魔裟斗は「フリーになる気はなかった」と言ってるんでしょう。これは脱藩者ということなの（笑）？

A　少なくとも主体的な行動ではないよね。佐竹選手が石井館長と会見を開いたり、藤田選手が猪木さんに後見人になってもらったりと、そういうスッキリしたものがない。ファンは乗れないというより、まったく意味が分からないよ。

C　全日本キックとしては、今でも魔裟斗に戻って来てもらいたい気持ちが強いんで、話を大ごとにしたくないみたいです。

A　まあ、魔裟斗が「K−1に出たい」とか、「他団体の○○と闘いたい」という純粋な動機が最初から見えれば分かりやすいし、それなら金田代表のルートもあるし、話し合いの余地もあると思うんだけど、これじゃあ他団体も使いにくいでしょ。才能あるキックボクサーなんで、早く解決してもらいたいんだけど…。

B　それにしても、キックは延々とこの手のスキャンダルが続くね。その意味で、今は他団体とは交流しないで我が道を行く新日本キックが一番勢いに乗っているでしょう。昨年、タイのラジャダムナン興行が関テレで流れて深夜で高視聴率をマークしたんだけど、それが関東地区のフジテレビやCSでも流れることになった。武田の4月のラジャダムナンのウェルター級タイトルマッチも関テレでのテレビ放映が決まったしね。伊原代表は本当にがんばってるよ。

C　あとは極真がまた揺れていますね。といっても、松井館長が率いる組織ではなくて、三瓶啓二代表の方なんですけど。西田師範の独立、そして遺族の津浦師範の登場で、もうこの先いくつ極真を名乗る組織が出てくるか分からない。もう本当に寂しい話ですよ。

A　みんな「極真」を名乗るけど、本当に大義名分があるのかって話でしょう、ここまで来ると。やっぱり大山総裁の時代にやって来た組織力があり、ウェイト制、全日本大会、世界大会といった大会をきちんと開いているところを、どうしてもマスコミやファンは認める。どうせなら黒澤選手のように「黒澤道場」と名乗ってくれた方がスッキリしているし、自分の手で一からがんばろうとしているんだなってことで応援のし甲斐もある。本当にこの混乱ぶりには当事者はしっかりと責任を持ってほしいね。一番かわいそうなのは、やっぱり一般会員なんだから。

B　一般会員は、じゃあ、あそこの組織に行きたいとか、戻りたいとか、大会に出たいと言っても、なかなか難しいしがらみが出てくるからな。そういう選手って多いと思うよ。極真の2000年問題も気になるよ。

▶才能と人気のある魔裟斗だけに、このまま宙に浮いてしまうのは惜しい

◎前号では空手の佐竹、プロレスラーのアレク、桜庭、グレイシー柔術のホイスと、みんな違う競技の違う団体に属している選手を総力取材したのだが、ひとつだけ共通することがあった。それは『プライドGP』に出るという一点だ。つまり、それだけ多くのジャンルを『プライド』は巻き込んでいるということである。その巻き込んでいるという点が、実は一番パワーが出るのだ。同種目、同団体内で何かが起こっていても、そのパワーには限りがある。もちろん、そうやってジャンルを成熟させていくことは大切だが、その場合、極真の世界大会くらいのスケール感がないと、なかなか世間には届かない。大きなステップアップというか、ターザン流に言うところの「飛び級」の精神は、そういうところから生まれてくるのだ。創刊して半年以上経とうとしている本誌だが、ある意味で『プライドGP』は部数を上げるための大きなチャンスとなった。そういった底上げができれば、他の格闘技を扱った時でも、より多くの人の目に止まることができる。まず、たくさん売って、活字ファンを取り戻すこと。こういうビッグイベントは、雑誌の腕が問われる正念場といえるのだ。もちろん、新しいものが生まれれば、古いものとの闘いとなり、それが対立概念となる。UWFやグレイシー、K−1が登場した時も、徹底的に批判されたり、何かを守ろうという力が働いた。しかし、そのどっちに着くかでも雑誌の未来は左右されるのだ。ターザンさんは『プライドGP』の速報号について、週プロの増刊号だったら、15万部は売れると言っていたが、売れるといいなぁ…。　（谷

SRS・DX

次号の発売日は**2月24日（木）**です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070　東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之　編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、小幡浩史、水町由美子、IDS、su・plex、佐藤敦、岩村唯是

夢空間 in Takada Dojo

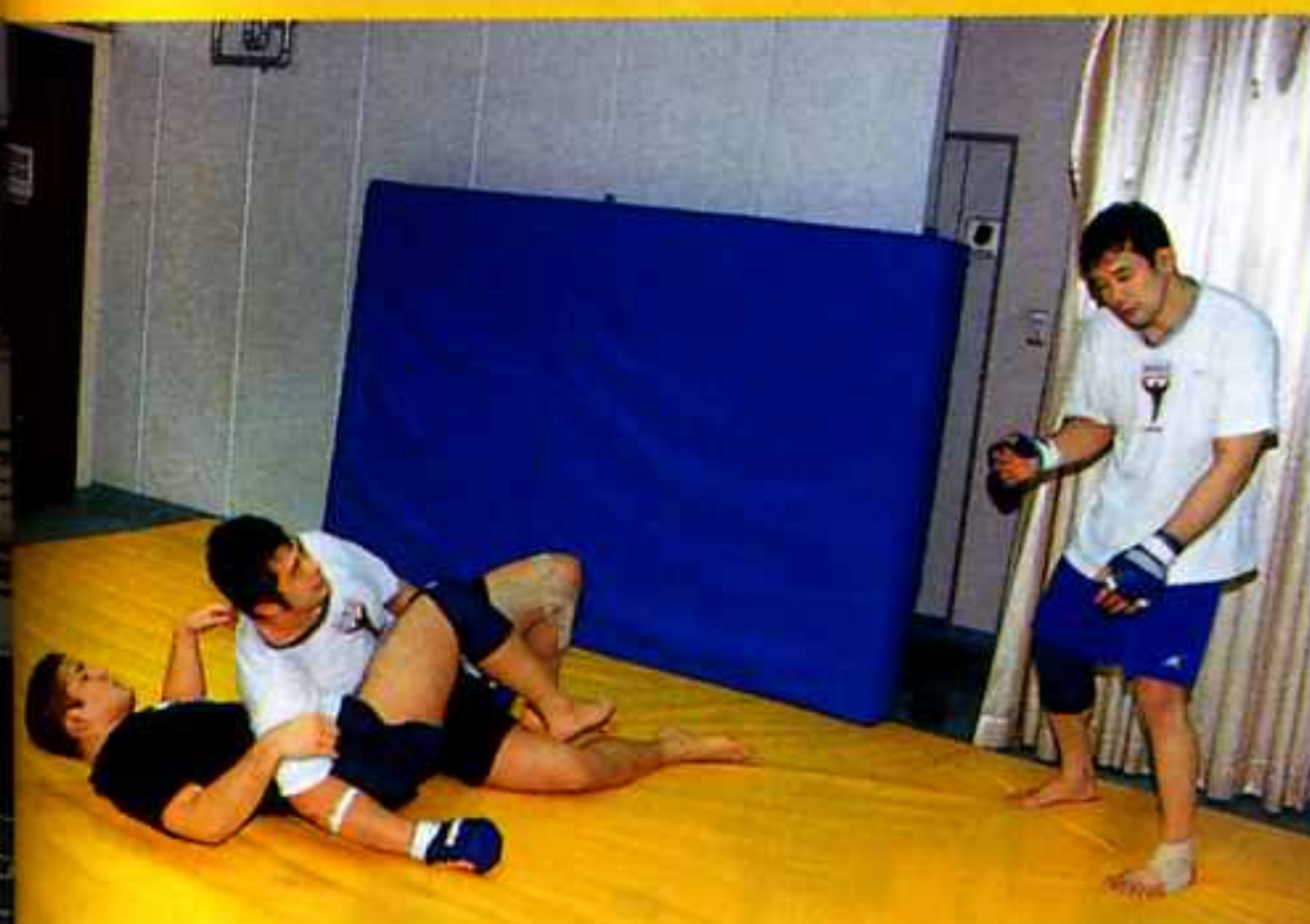
▼確かに新生ＵＷＦが解散する前にもこんな写真がありましたが、
それとはまったく関係がありません。それどころか、
とてもポジティブな写真なのです、あしからず

『プライドGP』4日前、空前絶後のメンバーによるスパーリングが!!

文◎"Show"大谷泰顕
撮影◎乾晋也

髙田が佐竹がTKが桜庭が……、この超豪華な顔ぶれを見よ！

回る髙田

▲両者汗だくになりながらのスパーリング……、とは思いながら、実はこれも夢の組み合わせなのだ。桜庭に指導を受け、さらにこの日の面々とスパーリングを続ければ、打倒ホイスもバッチリ！

▲髙田にアドバイスを与える桜庭。
“中間管理職として社長に助言を与える”の図

▲髙田道場勢に佐竹、TK、金原も加わってのスパーリングは、まさに壮観！

いやあ、またまた凄いものを目撃してしまった！

それは、まさに「夢」のような空間だった。

『プライドGP』を目前に控えた1月26日、髙田道場にて公開スパーリングが行われたのだ。

と言っても、DSEや髙田道場から正式なリリースはなく「髙田道場で『プライドGP』直前のスパーリングを行うので、取材をされる媒体の方々はどうぞ」という程度の連絡があっただけ。

ただし締め切りの間に合わない雑誌社系の媒体ではなく、主に新聞社系の媒体が数多く髙田道場に訪れていた。

おそるおそる、と言った感じで髙田道場に足を踏み入れる。

すると、そこには信じられない光景が……!!

道場主の髙田を筆頭に、桜庭らの髙田道場勢（松井は欠席）の他、佐竹雅昭、TK（髙阪剛）、金原弘光の姿があったのだ!!

しかも全員が汗だくになってスパーリングを繰り広げているではないか。

聞けば、当初はこの輪の中に藤田和之も参加するはずだったという（所用のため欠席）。

前号でお伝えしたとおり、藤田は佐竹やTKとはシアトルのモーリス・スミスジムでともに練習した仲であり、また実際に藤田も何度か髙田道場で練習していることは、他のマスコミを通じてすでに公になっている。

そう考えると、この日のメンバーに藤田がいなかったことが悔やまれるが、それを差し引いたとしても、これだけの豪華な顔ぶれが

夢空間 in Takada Dojo

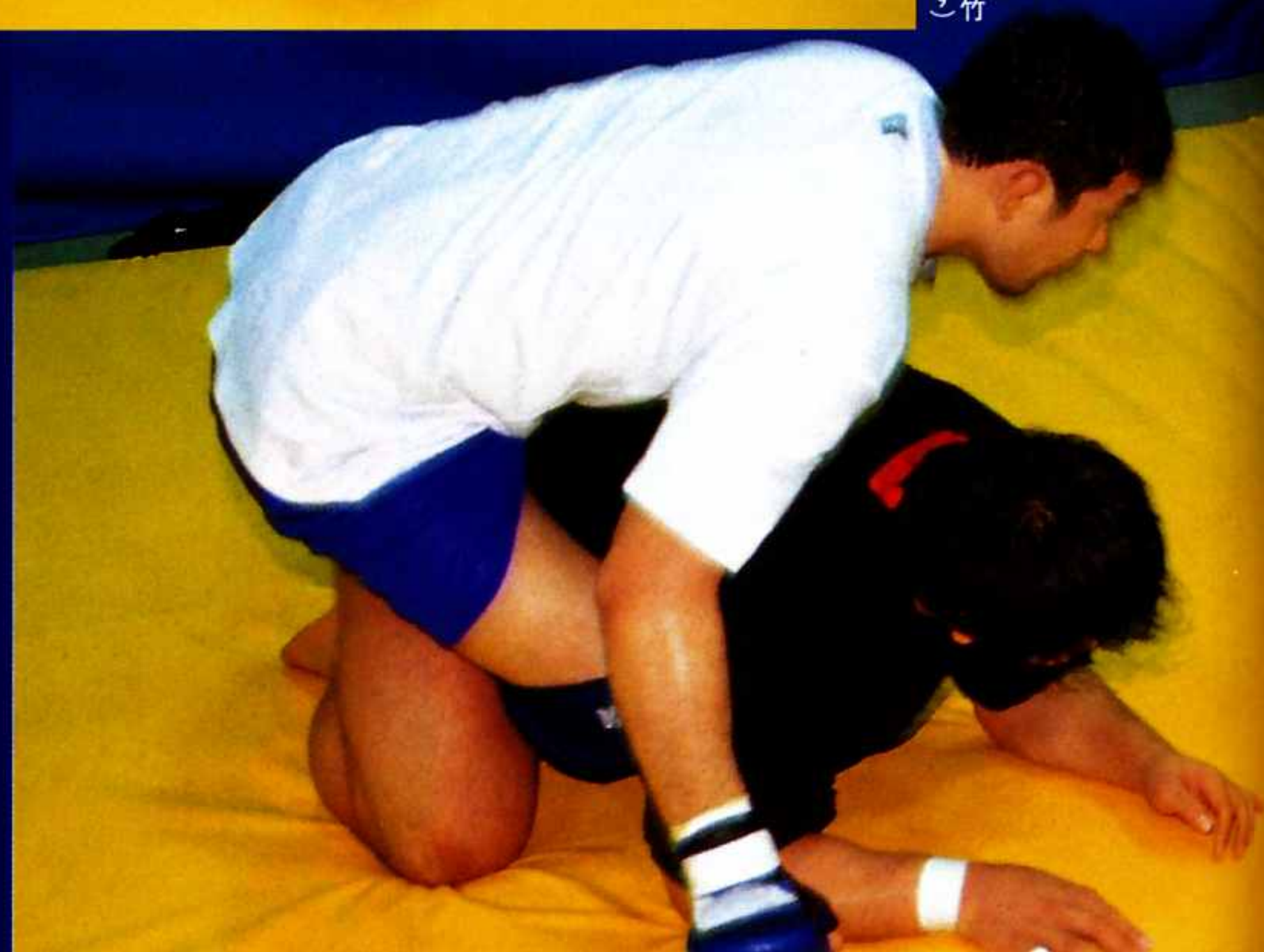
ああ、桜庭がやられたあ！

▲桜庭に対してＴＫと金原がダブルで脇固め。後ろの佐竹も鉄拳一閃！ さすがの桜庭も大苦戦!? 当然、つくりです

高田のコメント

「幸せだね」（髙田）

「精神的に？　いいね。ほどよく盛り上がってるよ。（いろんな団体の選手とスパーリングをやることは？）幸せだね。一番いい環境だからね。その人によってスタイルがあるから。凄く新鮮だし緊張感があるね。あとは身体がその都度対応できるようにやっているだけだから。無心にやってます。ホイスの道衣について？　あんまり考えてないね。すべるかすべらないかというくらい。あとは数ポイントですよ。それは対戦してみなきゃ分かんないね。あとはガウンを着て試合をするかしないかを決めることくらいだね（笑）。足のテーピング？　問題ないね。練習には支障がない。次の相手？　それより今、目の前にあるものをサッと綺麗に飛び越えるかだけだから。ホイスはヒクソンより体重は軽いけど、大きけりゃあいいってもんじゃないし、彼らのテクニックを究めようとしたら、大きい人じゃあ身に付かないんだよね。だから大きい小さいはあまり意識せず、その人が持った運、タイミング、実力が組み合った瞬間に勝てるということは思ってますよ。ただ、僕が（2度目の）ヒクソン戦でやった、足を取りに行くようなマヌケなことはやらないようにして、いつも周りが見えるように、試合の流れに引き込まれないようにしたいね。（桜庭会長からアドバイスは？）会長？　『俺の身体で体感しろ』とは言ってないけど、無言のうちにそういうアドバイスを与えているのかなあと。（佐竹選手は変わってきた？）そうだね。今は上に乗っていてもイヤだね。前はバランスが取りやすかったけど、今は非常に乗りにくい。相手をどかすのもうまくなってきてるし、イヤな感じだね。佐竹選手もクレバーだし、モーリスもうまいし、ＴＫも理論的だから、ポイントさえ教えれば大丈夫だろうしね。ただ、乗られたままで膠着状態が長くなると時間に流されるから、立って打撃で攻めてほしいよね」

▲練習後の風景。『プライドGP』で新発売となる「佐竹死刑」Tシャツ（※井上きびだんごとの悪ノリ制作）の意味を髙田に教えていた

▲リング上では佐竹とＴＫがモーリス・スミスジムでの再現とばかりに、コールマン戦に向けての最終調整

一堂に会すると、まさに壮観である。

もちろん、このメンバーが入れ替わり立ち替わりスパーリングをこなしていく。

つまり髙田VS佐竹や髙田VSＴＫ、桜庭VSＴＫ、桜庭VS金原……などなど、数え上げればキリがないほど、ついつい嬉しくなってしまう夢の組み合わせが次々と目の前で行われていくのだ。

それも、ごくごく自然なかたちで、である。

実はこの点が重要なのだ。

そして前述通り、この絵に藤田が加わることになれば……、頭の中で想像しただけでも自然と笑みがこぼれてしまうではないか。

そんな環境の中で行われたスパーリング中、最も気合いが入っていたのは誰か？　と言えば、その男こそ、髙田だった。

確かに各々がそれぞれ各自のメニューをこなしてはいたが、それにも増して我々にやる気が伝わってきたのは文句なしに髙田だったのである。

この日の髙田は計16ラウンド（1ラウンド3分）のスパーリングを消化。

聞くところによると、前日も同じく計16ラウンド（1ラウンド3分）をこなしているという。

この日集まったメンバーの中で最も高齢（と言っても弱冠37歳）の髙田がこの調子である。

当然のことながら、他の選手の気合いの入り方も違ってくる。

では最も社交的だったのは誰か？　と言えば、僕は迷わず「ＴＫ」と答える。

たとえば、リング上で佐竹を相

夢空間 in Takada Dojo

ハイ、チーズ！

もう下手な垣根はいらないのだ!!

▲練習後のスナップ。まるで修学旅行の記念写真のようだが、右端の豊永がいい味を出している。髙田やＴＫの笑顔も最高に素敵！

佐竹のコメント

「佐清（すけきよ）キックで倒します」（佐竹）

「イメージは良くなってきたと思います。こっち帰ってきて、実際に今日もやってみて、アメリカに行く前よりも全然、動けるようになってきたし。身軽になってきたんで。１１１キロあったのが、今１０７キロなんで、ちょうどいいくらい。だいぶいい感じですね。（コールマンの低い位置のタックルには）まずタックルを切ってから打撃を合わせたりしようかなと。あとは向こうが疲れてきたらスポーンと顔を狙って蹴ってやろうかなと思ってますけど、今回はイチかバチかっていう作戦でね。ただ、意外と下になっても殴れるんで、それもやってやろうかなと。アメリカには携帯用のＤＶＤを持って行ったんですけど、コールマンのＤＶＤはまだ発売されてないんで（笑）、代わりに『犬神家の一族』のＤＶＤでいろいろ研究してました。池の上から足を出して殺される場面を見て秘策を考えてました。要はグラウンドになっても蹴ると。佐清（スケキヨ）キック！　ヨキコトキック！　犬神キックですね。横溝正史シリーズからヒントを得ました。（一部報道にあった）ストリップには行ってません。藤田クンなんかはヘバってたからそれどころじゃなかったし。ただ、アダルトショップがあったんで、そこには髙阪クンが進んで行ってたという（笑）。ジャイアンツの清原選手に関しては行ってないですね。清原選手とは２年後にタッグを組みたいと思ってます。これを機に読売ジャイアンツと抗争を開始したいなと（笑）。（１・２５長崎の）Ｋ—１ですか？　みんなが頑張ってくれれば。生きてこそなんでね。人のことよりも自分の試合の方が大切なんで。強く生きるのがテーマですね」

ＴＫのコメント

「すいません。今日これからすぐに行かなくちゃいけないんで、また今度！」（と去って行った）

桜庭のコメント

「対策？　してないです」（桜庭）

「（対戦相手が変わったが影響は？）とくにないです。変わった練習もしてないし。（前の相手の対策と違うのでは？）（前の相手も）対策はしてないです。（メッツァーは膠着してくるのでは？）……（笑）。対戦相手が決まってもビデオとかあまり見ないので。小路さんとやったヤツ（『プライド６』）だけで十分だと思います。いろんな情報を入れると混乱してくるんで。（今日のスパーリングは？）みんな重いので苦しいです。（佐竹選手は？）初めの頃よりもいろんなことを覚えてきていて、やりにくかったです。（グローブを掴んでの攻撃をやってたが、あれはＯＫ？）自分のグローブだったら大丈夫だと思いますけど。ルールミーティングで聞いてみます。（次の相手は誰がいい？）まだ考えてないです。それより（メッツァー戦は）膠着しないように。藤田ですか？　お互いに勝ち上がれば。（希望としては？）藤田に限らず、僕はトーナメントはやりたくなかったので（笑）。あとでドリームに交渉して、ファイトマネーを上げてもらえるようにしたいなと（笑）。（パフォーマンス度がポイントに加算される話があるらしいですけど？）それはないんじゃないですかね」

金原のコメント

「（髙田道場には）試合が近くなると来てますよ。２月６日にオランダで試合があるので。佐竹さんとはこの前ちょっとやりましたね。（今日はいろんな人がいたが？）でも、僕は今までいろんなところで練習をしてたんで、そんなに感じないです。お互いに新しい技ができたらそれを教えあったりしてますよ」

◆はみだしShow

前号で書くのを忘れていたわけではありませんが、４泊６日の海外取材（日本→ロス→ミネアポリス→アトランタ→シアトル→ロス→日本）という強行スケジュールをともにしたＳＲＳの荒木ディレクター様、この場を借りて、いろいろとどうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

手に最終調整を行っていたかと思えば、ふと気付くと今度はマット上で髙田に対して、カメの状態でバックを取られた時の効果的な脱出方法を教えていたりするのだ。

それを髙田は金原を相手に何度も反復練習し続ける。

要するに髙田＆佐竹ともに4日後の『プライドGP』に向け、待ったなしと言ったところ。

しかし、そんな最終調整に余念のない両者に比べ、同じ『プライドGP』への出場が決まっているにもかかわらず、いつもと変わらぬ飄々とした面持ちで練習していたのが桜庭だった。

いつものように桜庭は豊永とジャレ合いながらの（？）スパーリング。

思わず「さすが桜庭！」と心の中で叫んだのは言うまでもない。

そんな三者三様の絵模様を見せながら、「夢」の空間は終了した。

しかし、そんな「夢」の空間が「あっさりと」実現してしまうところが、いかにも〝今〟という時代性のような気がする。

もう下手な垣根はいらない。

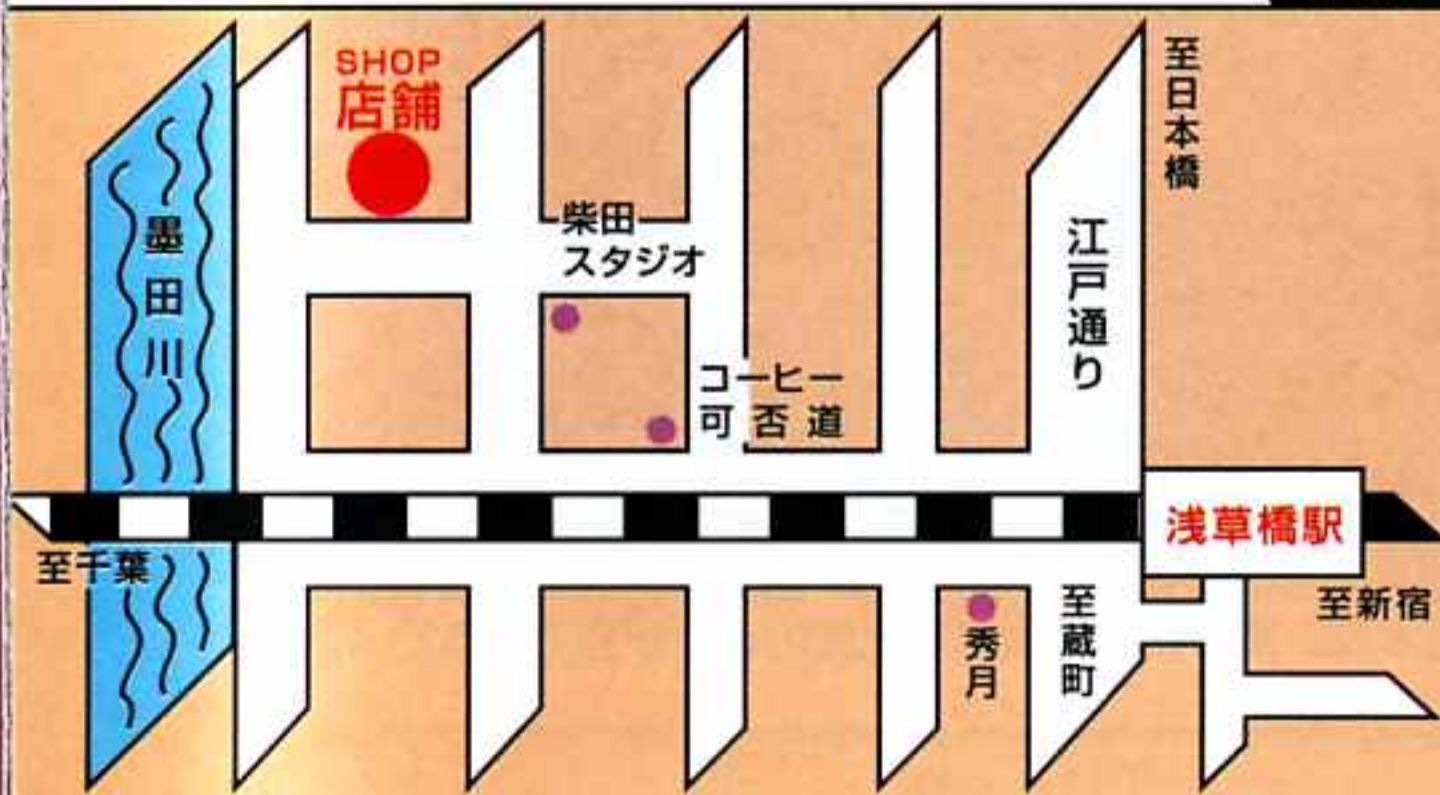
肩ヒジを張る必要など、何もないのだ。

流れに身を任せていこう！

時代は「世紀末」から「ミレニアム」、そして「新世紀」へと刻一刻と変わっていく。

とはいえ、この日の「夢」の空間はマット界にとって新たなる希望の光を感じさせるのに十分すぎるものだった。

ひとつの「夢」は次なる「夢」を現出させる試金石となる。

だから今日の「夢」こそが次なる「夢」につながるのだ。

お家騒動

松井館長体制が圧勝か？ 三瓶派、分裂の危機？
極真会館宗家が誕生！ 塚本徳臣が本部師範代に

もう極真の分裂についてはあまり触れるつもりもないのだが、情報としてお伝えする。

松井章圭館長体制とは別派で一番大きな組織だった三瓶啓二代表のＩＫＯ極真会館が今、分裂の危機を迎えている。

いわゆる三瓶派と言われる組織は、大山倍達総裁の死去後、二代目館長として就任した松井氏に対し、「極真会館の私物化」「独断専行」「不透明な経理処理」を理由に袂を分かった一派だ。

ちょうど一周忌を迎える前、大山家が松井館長を推すグループに対して、遺言状に対する異議申し立ての裁判を起こしたこともあり、極真会館は大分裂。当時は2対8で三瓶派が、組織力でリードしていたほどだった。

三瓶派は元々、松井館長体制で一本化していた時の、支部長協議会のメンバーが主流となっていた。それが、先に松井館長体制に除名、もしくは破門となった遺族と行動を共にする高木・手塚派（遺族派）とも合体する動きを見せ、一大勢力になろうとしていた。

しかし、まず支部長派と遺族派がものわかれ。続いて遺族は支部長協議会派につく動きを見せて、高木・手塚派は宙に浮く形となった。そのため、独自の行動をしていくことになったのだが、今は内部分裂を起こし、高木薫代表、手塚暢人代表、松島良一代表の3派に分かれている。

一方、支部長協議会派の理念は「民主制」にあった。つまり、松井館長体制のような生涯館長制度ではなく、選挙で代表を決め、任期制で組織を運営しようとしたのである。その初代代表が西田幸夫氏であり、副代表として三瓶啓二氏が就いた。そして若手では、緑健児氏、増田章氏、七戸康博氏、桑島保浩氏といった、松井館長の同世代が組織の実行部隊として中枢を担っていった。支部長協議会派は、自らをＩＫＯ極真会館と名乗っていく。

ところが、分裂後の松井館長の組織の建て直しはめざましかった。極真の理念を残し、ウェイト制、全日本大会、世界大会を開く他、女子の世界大会、世界ウェイト制、国別対抗戦など、次々に新しいビッグイベントに着手。フジテレビともタイアップして、極真イコール松井派を大いにアピールしていったのである。

組織に関しても、今の松井派は大山総裁時代より、道場数も会員数も上回っているというから驚きである。また、フランシスコ・フィリォをＫ－1に出場させるなど、新しい時代の中で極真の強さをアピールすることにも積極的にチャレンジしていった。

その一方で、イメージで後れをとってしまったＩＫＯ極真会館は昨年、三瓶啓二代表、緑健児副代表で、第7回世界大会を開催して巻き返しを図った。にもかかわらず、今、組織内で再び分裂騒動が起こっているのである。

まず、その火種は世界大会後の記者会見から始まった。三瓶代表、緑副代表の口から松井派に対して「世界統一戦構想」がブチ上げられたのだ。

しかし、三瓶代表の歯切れは悪かった。提案しておきながら「松井派が望むなら」という前置きをし、「いつでも統一戦を受ける。日本は負けていない」と主張。緑副代表からは具体的に「世界大会ベスト8同士の対抗戦をやりたい」という提案も聞けたのだが、中途半端な印象は拭えなかった。

もちろん、これに対し松井派は「何を今さら」という思いだっただろう。松井館長はこの提案に対し「こちらは同じ名称を名乗る組織を一切認めていないし、視界にも入っていない。選手や道場主の立場を無視して代理戦争をさせるんですか」と一蹴。実際、両組織でこの問題について話し合いが持たれた形跡はない。しかし、その後、驚いたことに、ＩＫＯ極真会館を支えた西田幸夫氏が三瓶代表と分かれて独立。増田氏も岡山支部の中川幸光氏と独立を宣言、緑氏も副代表から退いたことが判明したのだ。

緑氏はともかく、西田・増田両氏の独立は、三瓶派にとっては一大事である。

さらに、遺言状問題が噴出してから、遺族派とは別に大阪で、独自に活動を続けていた、大山総裁の長女・留壱琴（故人）の娘婿の津浦伸彦氏が、極真会館宗家を名乗る記者会見を今年1月24日に突如開いた。

これはどういうことかと言うと、松井館長が昨年1月に明け渡した旧極真会館総本部を「宗家本部道場」とし、大山倍達記念会館として活動していくとともに、再び道場生を募って稽古を始めるというのである。

▼大山倍達長女、留壱琴（故人）の娘婿の津浦伸彦氏が今回、宗家本部総監として立ち上がった

▲昨年、松井館長派が出ていってから、もぬけの殻となっていた極真会館総本部。隣りには総本部移転先の看板が立てられている

▶今年になって三瓶派から独立した増田章氏は、かつて松井館長のライバルだった

大山倍達総裁死去後の極真空手・分裂史

大山倍達
松井章圭
娘婿 津浦伸彦
極真会館宗家
(破門)
旧遺族派
松島良一
手塚暢人
高木薫
(分裂)
(協調から分裂)
(分裂)
支部長協議会⇒IKO極真
(独立)
黒澤浩樹(黒澤道場)
三瓶啓二
増田章
(独立)
西田幸夫
(独立)
緑健児
塚本徳臣

極真会館宗主は、大山智弥子未亡人。他に喜久子・恵喜氏両娘も名前を連ねている。津浦氏は宗家本部総監。そして、驚いたことに本部師範代として塚本徳臣、本部長として坂本恵義の名が挙がったことだ。

塚本と言えば、三瓶派の第6回世界チャンピオンで看板選手。その中心人物が師範代を務めることについて、津浦氏は「(三瓶派を)脱会して、ちゃんと話し合いをしてからこちらに来る」と明言した。これはまさしく三瓶派にとってはスキャンダルである。

しかし、記者会見上には出席しなかったが、会見上に姿を現した塚本の話は食い違っていた。「僕は遺族から指名されて、こちらで指導するだけ。組織(三瓶派)は辞めないですよ。三瓶師範や入来師範にも了承してもらっているし、僕は緑師範を裏切るようなことはしない。移籍では絶対にないです」とハッキリ断言。また塚本は「天皇家のような大山家を中心に、もう一度あらゆる組織(極真)が交流できれば。僕はフィリォとも闘いたい」という旨の発言をしていた。

津浦氏は「話し合いによれば、他とも交流し、全方位外交でいくが、大山倍達杯といった大会も独自に開いていきたい」と言っていたが、この辺の食い違いはどう判断したらいいのだろうか。

また、津浦氏は関西で道場を持っているため、東京には常駐せず、塚本は渋谷の道場を離れて本部指導員に専念すると言う。

いずれにしても、ここに来て三瓶氏からの独立、及び極真会館宗家問題が起き、三瓶派の屋台骨は大きく揺らぎ始めた。分裂することで、8つの別組織が「極真会館」という看板を掲げて道場を出しているから、厄介なこと、このうえない状況になっている。

三瓶派の分裂は、ある意味で、選挙制・任期制で執行部を決める理念が悪い方向に働いてしまったと見た方がいいだろう。そして、もう一つは遺族の問題である。

遺族は最初、高木・手塚派と行動を共にしていたが、その後、三瓶派になり、今は智弥子未亡人が松井館長の世界大会に再び顔を出したりしている。つい先日は、三瓶派に対して「三瓶代表たちが松井氏を解任した理由は『極真会の私物化』『独断専行』『不透明な経理処理』であり、遺言状や遺族の問題で正当性を主張することはやめてもらいたい」と声明文を出したばかり。そして、今回また津浦氏と極真会館宗家を名乗る新展開。こうした遺族の行動で、「大義名分」を失う組織が次々と誕生しているのである。

本誌は極真会館が現実的に元のサヤに収まるとは思っていない。ただ、これ以上組織が増えないことを願うばかりである。

▼宗家本部師範代の塚本徳臣は、三瓶派の第6回世界王者で看板選手である

▲松井派から一緒に分離した三瓶啓二現代表と西田幸夫前代表(右)も袂を分かった。西田師範は新たに「極真会館西田道場」として独立

▶大山倍達未亡人の智弥子さんは最近、松井派の世界大会に出席するなど、松井館長と関係を取り戻しているように見えたのだが……

それでも桜庭、VT不敗神話行進中！

シャムロック激昂！

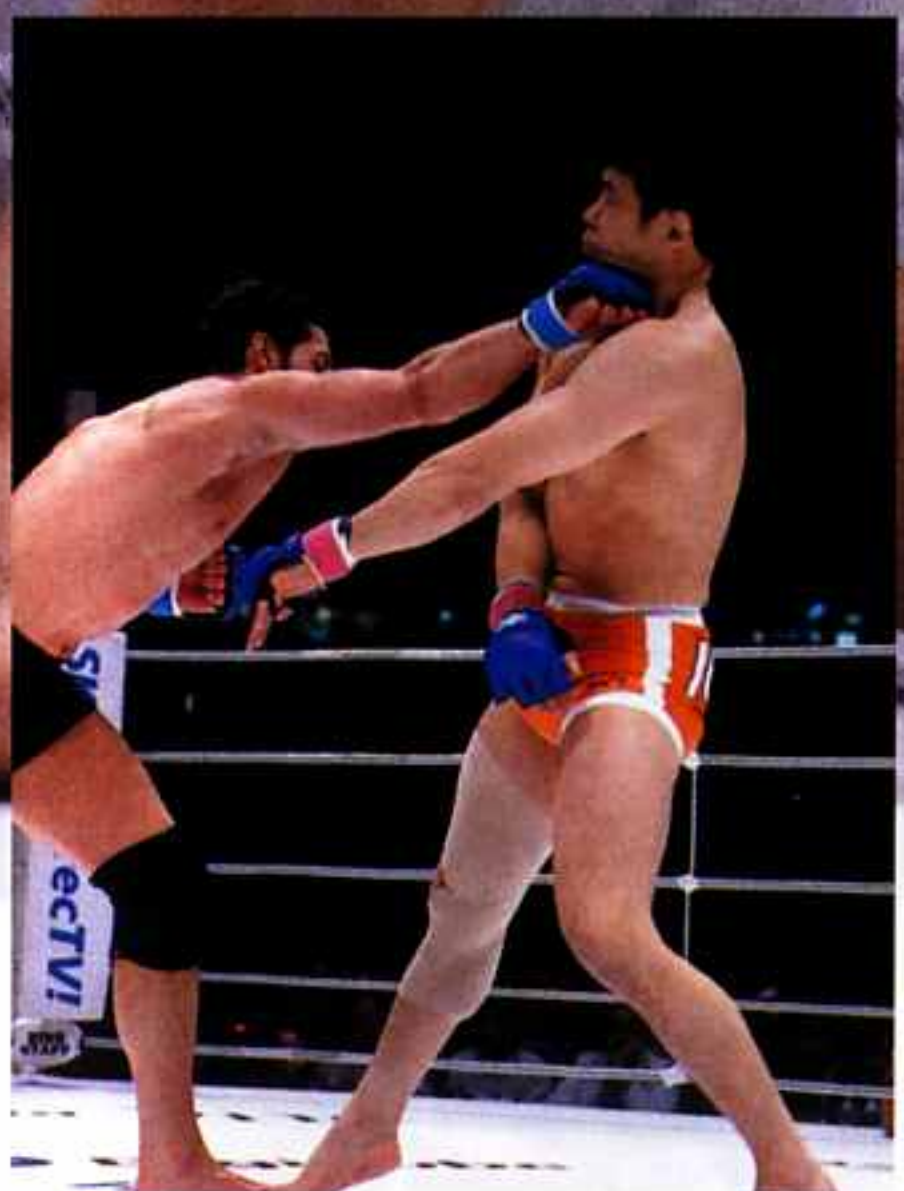
▲今や、プライドでは毎度お馴染みの風景となりつつある、島田レフェリーへの抗議。今回はシャムロックが行った

フルタイム魂、格闘技界の主人公をも揺るがす

桜庭、キックボクサー説浮上!?

ホイスの予想「短時間でサクラバが勝つ」大ハズレ！

▲ホイラー戦に続き、この日も冴え渡った、桜庭のスタンドテクニック。桜庭はキックボクサーばりにハイキックをメッツアー（元キックボクサー）に見舞っていく。他にも、今回の桜庭は手刀を繰り出す場面もあった

こうなったら桜庭VSホイスが見たい――

▲極めさせないし、極められない。メッツアーの真骨頂大爆発！　さすがの桜庭もてこずった

◀メッツアーも桜庭に負けじと右ストレート一閃！思わず桜庭の表情がゆがむ

★トーナメント一回戦/第4試合（15分1R）

○桜庭和志（1R終了、試合放棄）ガイ・メッツアー●

〈日本/高田道場〉　〈アメリカ/ライオンズ・デン〉

「サクラバ。ショート」

大会前日、池袋パルコで開催されたホイスのトークショー（※次号に掲載）の際、桜庭VSメッツアー戦について予想してもらうと、ホイスはそう答えた。

つまりホイスは短時間で桜庭が勝利すると予想していたのだ。

実を言うと、僕はこの言葉を聞いて、少しホッとしていた。

なぜならメッツアーといえば、パンクラス時代から「フルタイム魂」を爆発させ続けてきた男。

ついにはその「フルタイム魂」で、王者・船木誠勝を下し、第7代キング・オブ・パンクラシストにまで上り詰めている人物なのだ。

そのスタイルはリングが変わっても一向に変わらず、『プライド6』（99年7月4日、横浜アリーナ）では小路晃を相手にフルタイム劇を演じているのは記憶に新しいところ（結果は判定負け）。

今回のメッツアーはそれを印象づけるかのように、入場前に流された映像でも「キックを主体とした老獪なテクニック」と「相手から絶対にダメージを受けない完璧なディフェンス」を持った「難攻不落の元パンクラシスト」と紹介されていた。

一方、それに対して桜庭の映像では、前回の「プロレス界の救世主」から昇格したかのように「世界が恐れるIQレスラー」とされており、「柔軟な思考から繰り出される芸術的な技の数々」と「時にはプロレス技も使う、まさにバーリ・トゥード（VT）掟破りの男」と紹介され、さらには「グレイシー神話を崩壊させた男」の肩書きまでついていた。

判定の結果は……？

あ、猪木VSアリ状態

▲これは珍しい。猪木VSアリ状態の猪木を桜庭がやっているのだ。やはり年末に猪木と対面したのが影響したのか？

桜庭流ローリングソバット！

▲ホイラー戦に続き、この日も桜庭はソバットまで繰り出した

◀桜庭のタックルをうまく潰すメッツアー。さすが試合巧者だ

桜庭のタックルがつぶされるぅ……

メッツアー、上からパンチ！

▶何度目かのタックルにも、慌てず騒がず。メッツアーは上からパンチを落とした

◀判定の結果を待つ両者。一瞬ヒヤリとした場面だ

このVTRでの紹介の仕方を見ても分かるように、もうマット界は桜庭一色かのようである。

実際、本誌読者が選ぶMVPにも選出されており、現在の桜庭は、いつのまにかどこに出しても恥ずかしくない、圧倒的な「格闘技界の主人公」となっている。

そして両雄の対戦は「IQレスラー桜庭は難攻不落の男を崩せるのか！」で結ばれていた。

願望を言えば、だからこそ桜庭には「メッツアーを軽く料理してほしい！」と強く思っていた。

しかし、裏を返すとそれは「実際はどうなるのか？」という不安感も入り交じってのもの。

そんな不安を吹き飛ばしてくれたのが、桜庭が初黒星をつけたホイラーの実弟にあたるホイスだから、皮肉と言えば皮肉な話である。

だが、結果から言えばホイスの予想は大ハズレしてしまった。

やはりメッツアーは今回も「フルタイム魂」を爆発させてきた。

ただし、この日のメッツアーは今までとはひと味違う。

結局、最後は「フルタイム魂」の面目は死守したものの、スタンドでの攻防では自分から（それなりにではあるが）仕掛けていったり、桜庭のタックルもうまくサバき切り、逆に桜庭の腕や首を取る場面が見られるなど、積極さが（これもそれなりに、ではあるが）垣間見れたのだ。

聞けば、桜庭はオーバーワークがたたり、いつもの調子が最後まで出せなかった様子。

ところが1Rを終了した段階で、「契約の行き違い」などという、あってはならない前代未聞の事件が

最後は桜庭スマイル！

桜庭のコメント

「メッツアーの印象？　試合が終わってからすぐだったらあれなんですけど、もう忘れちゃいました（笑）。力は髙田さんの方が強いですね。あの～、タックルには入れなかったというか、ちょっと練習しすぎて身体が全然動かなかったです。だから打撃でなんとかゴマかしてやろうかと思って。（体調は100でいうと？）半分くらいです。僕は2ラウンドもやるつもりでいたので『来い、来い』ってやったんですけど、（メッツアーがリングを）降りてしまったので。次の相手の希望ですか？　まあ、誰とやっても一緒だと思うんで。一番体重が近いのはホイス選手なんですけど、当たればいいなと思います。ホイス選手は足が長いなあと思いましたけどね」

メッツアーのコメント

「サクラバはすばらしいファイターなので、ぜひとも闘いたいと思い、対戦を承諾しましたが、延長はなし、と理解していましたので、延長戦は想像していませんでした。日本は大好きですし、第二の故郷だと思っているので、リングを降りた時にブーイングされたことはガッカリでした。私は15分間はベストを尽くしましたが、日本のファンが自分のことを弱虫だと思ったとしたら大変にツラい。私はライオンズデンの一員ですが、ライオンズデンには弱虫は一人もいません。ですので、この状況を分かってもらいたい。自分たちは約束された時間を闘い、ベストを尽くしました。ところが終わってみたら、非常に私たちが悪く、間違ったことをしたような印象を持たれたようでとても残念です」

シャムロックのコメント

今後『DSEを信じろ』と言われても難しい

「2週間前にはこの対戦のオファーに対して、（ブッカーの）カワサキに『NO』と言いました。それはメッツアーがインフルエンザにかかったばかりで、足もケガしていたからです。『無理だ、無理だ』と2回断ったのですが、『どうかお願いだから』と頼まれたので、その時の条件として『1ラウンド15分だけ。その段階で必ず勝敗がつく』と明確に言われたので『OK』と答えました。それなのに、こんな結果になってしまって……。それから、試合後にメッツアーは自分自身の意思ではなく、私がリングを降ろさせました。私が交わした2試合の契約に影響が出るか？　イエス。私は、自分がこのイベントに初めて関わって、いきなり後ろから刺されたような気持ちです。嘘をつかれたのに、これから『信じろ』と言われても難しい。嘘をつかれた相手を信じることはできません」

大会終了後、桜庭VSメッツアーについて リング上からの森下社長挨拶

DSEと選手の間で、理解の不一致がありました

「この試合の負傷における条件面でのドリームステージ（DSE）サイドと選手サイドの間で、ラウンド数及び試合のジャッジメントの方式に関しての理解の不一致がありました。今回、ガイ・メッツアー選手サイドは試合が急に決まったため、1ラウンドのみの試合でその後、完全な判定勝ちとされる、との理解で試合に望みました。その結果、1ラウンド終了後のドロー判定が下されても、延長ラウンドに臨まずにリングを降りてしまいました。これはプロモーターとしてのDSEの選手管理におけるミスであり、ガイ・メッツアー選手はもとより、ケン・シャムロック選手のミスではありません。今回、お集まりのお客様に、まずお伝えさせていただきます。詳しい内容に関しては早急に調査致しまして、なぜこのようなプロモーターと選手の理解の不一致が生じたか、しかるべき方法で発表させていただきます。なお、ガイ・メッツアー選手の気持ちもそうですが、DSEと致しましても、近い大会に必ず桜庭和志選手の対戦を実現したいと思っております。ここで最後に桜庭選手、そしてガイ・メッツアー選手のすばらしいファイトに、もう一度賞賛を送ってもらいたいと思います。桜庭選手、ガイ・メッツアー選手、今日はいい試合をありがとうございました」

▲マイクを持った桜庭は「えー、毎回いろいろと問題のある試合をしてしまって申し訳ございません。えー、もっと練習してトーナメントに優勝したいと思いますので、今日は勘弁してください（場内大拍手）」と挨拶した

Ex・R
SKY PerfecTV!

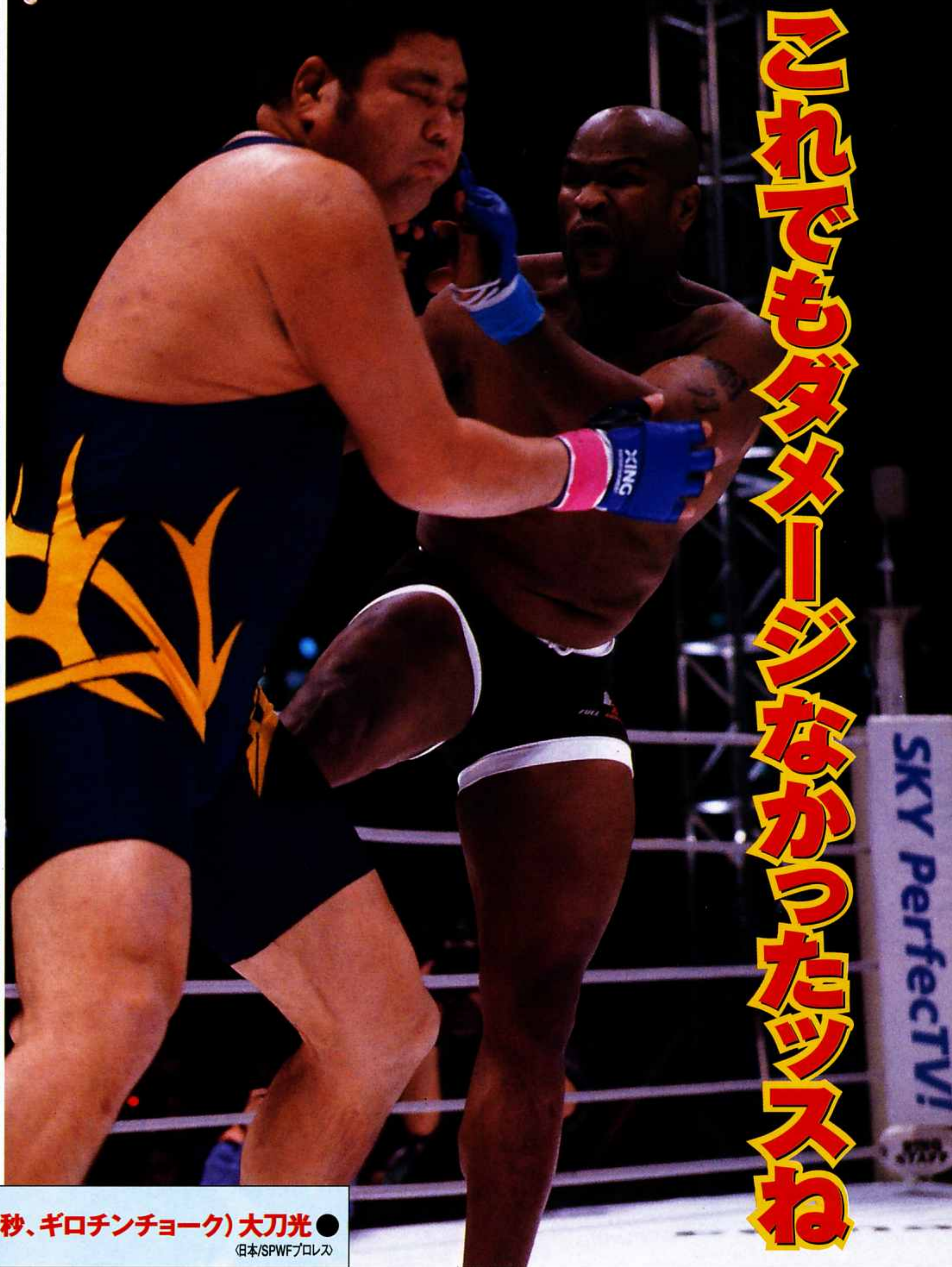
▶一度はエクストララウンド（EX・R）の告知もされたのだが……

起こり、桜庭にとっては納得のいかない勝利が転がり込むことに。
　これは、いくら「格闘技界の主人公」といえどもあまり納得できない結末だろう。
　これに対しては、どうなってるんだDSE！
　そう声を大にして言いたい。
　それにしても桜庭は、なぜ東京ドームとは相性が悪いのだろうか。
　前回のドーム（98年10月11日）でもアラン・ゴエスを相手にドロー、結果的に現在でも桜庭のVTにおける唯一の勝利を逃した一戦となっているのである。
　だから余計に桜庭も、今回はスパッと勝ちたかっただろう。
　こうなると、次回のドーム大会も……、と勘ぐりたくはなるが、そこは「格闘技界の主人公」ならば必ずやってくれるだろう。
　おそらく今回も延長戦が行われたなら、キッチリと決着をつけてくれていたはずである。
　納得のいかない試合内容に、初めて「頑張って優勝します」とアピールした桜庭。
　こうなったら2回戦では、VT不敗神話を再開したホイスと一騎打ちを行ってもらいたい。
　ハッキリ言って、今のホイスは節穴だ。
「格闘技界の主人公」からすれば、おそるるに足らず、である。
　しかもホイスに勝利すれば、髙田のリベンジを果たすことにもなり、まさに一石二鳥。
　ちなみにホイスはトークショーで桜庭についてこうも語っていた。
「ヒー　イズ　デインジャー！」
　う～ん、両者の対戦が待ち遠しい!!
（Show）

リングに上がった瞬間、作戦を忘れちゃった

1R51秒、相撲レスラーがまさかのタップを……

ゲーリー・グッドリッジが一回戦突破！

これでもダメージなかったッスね

▲ロープに詰めてヒザまで繰り出す

▲それでも大刀光はひるまず、張り手をたたきつける

★トーナメント一回戦/第1試合（15分1R）
○ゲーリー・グッドリッジ（1R0分51秒、ギロチンチョーク）大刀光●
〈トリニダード・ドバゴ/フリー〉 〈日本/SPWFプロレス〉

▲大刀光の張り手をかいくぐって剛腕パンチをぶち込むグッドリッジだが……

この日の大刀光はやっぱり抜群だった。なにせ、元幕内力士で現プロレスラーとはいえ、水道屋が本業の36歳の男が「世界最強を決める」トーナメントにいきなりの出場を果たしたのだから痛快だ。しかも、結果としてエリック・クラプトンに相撲甚句（大刀光の入場曲）を聞かせるという快挙まで成し遂げたのだからもう文句なし。

昨年末、突然の出場依頼を5秒考えただけで快諾し、その理由として「どうせ町のケンカと一緒。いつケンカになるか分からないでしょ」と簡単に言い放ち、その上「グレイシーともやってみたいね。あんな小っちゃい人とねぇ（笑）」とまで言い切る歯切れの良さも気持ちいい。なんてうかつな人だ。

専門誌・紙は久しぶりのトンパチ出現にタチ・バブルと言われるぐらいの取材攻勢をかけ、受ける大刀光も伸び伸びと吠えまくったから、ボク自身も「もしかしたら、まかり間違って勝ってくれないかな」と思ったものだ。

だが、結果は1ラウンド51秒……。ギロチンチョークで大刀光のタップアウト負け。多少がっかりはしているが、やっぱり今でも気持ち良さのほうが上回る。

だって一連の大刀光の言葉に嘘はないもの。例えば「こんないい加減な選手はいないからね。タバコは吸うし、酒は飲むし（笑）」と言う言葉は、試合の前日に大酒を飲み、当日会場入りして一服するということで証明したし、「ケンカだと思って思い切りやる」とキッパリ言い切った、その通りに自ら前に出て、男らしく打ち合いを仕掛けたわけだし。

ギロチンチョーク、ごっつぁんッスぅ

グッドリッジの右腕がノド元に食い込み、たまらずタップする大刀光

▶次からはあんな倒れ方はしたくないと語った大刀光だが、これはこれで見事な倒れ方だろう

◀「フィニッシュはきつかったッスね」（本人談）

さらに「タックルなんかで絶対に倒れない」との発言は張り手の勢いが余って自ら倒れてしまうというお茶目っぷりだ。

グッドリッジはそのまま苦もなく、サイドポジションを取り、右腕を大刀光のノド元に食い込ませてタップを奪って試合終了。肩すかしにも程がある、実にあっけない幕切れだ。大刀光、最高！

だが、試合後だってまだまだ続く。記者陣を前にして開口一番「ダメージはないんだけどなぁ」とぼやき、「あんなに人が入ってると緊張しちゃって作戦みんな忘れちゃった」なのである。

ところが、この後の記者会見で、なんとグッドリッジがこうコメントしたのだ。「かなり打撃はヒットしたと思う。ただ、頭をかなり殴ったのにあまり効いていなかったようだ。あのままパンチにこだわったら苦しかったと思う」。

そうなのだ。あの元UFCチャンプのオレッグ・タクタロフをKOし、「地上最強か？」とまで言われたトム・エリクソンと互角の打ち合いを展開したゲーリー・グッドリッジをして、こんな発言を大刀光は引き出したのである。凄いぞ、タチ！

試合前のインタビューで「武蔵丸とか海皇の張り手に比べたらグッドリッジのパンチなんか大したことないでしょ。苦じゃないですよ。相撲の方がパワーが上」と語った言葉が俄然説得力に満ちてくる上、現在、板井発言で大きく揺れる相撲界をしっかりサポートして、恩返しも果たしたと言っていいだろう。

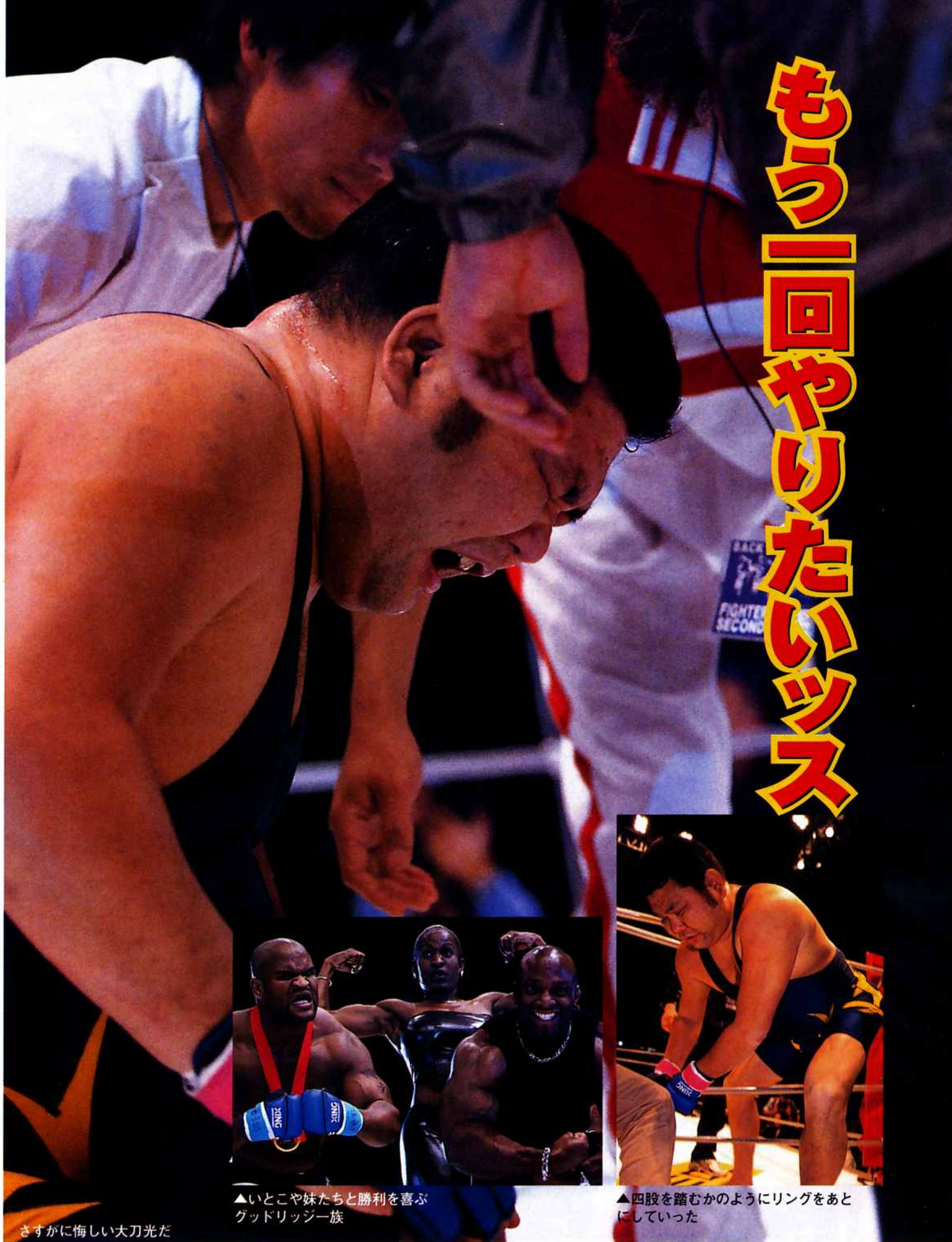
悪いけど、大刀光は7年前に引

もう一回やりたいッス

グッドリッジのコメント

「いい気分です。前は自分の仕事もあったんですけど、その仕事もキッパリ辞めました。だから、寄りかかる所も無くなったかわりに、トレーニングに100％打ち込めるようになりました。だから勝てたと思います。実は日本に来た時もそうなんですけど、本国にいる時にもいつも相撲を見ているので、相撲が大好きなんです。関取はエネルギーに溢れていますし、パワーもあるし、自分が相撲レスラーと闘えるということは大変名誉なことだと思いました。ですから今、大刀光選手のことに思いを馳せますとこれからの幸運を祈りますし、初めてのバーリ・トゥードだと思いますので、これからも頑張っていただきたいと思います」

大刀光のコメント

「あっという間に終わりました。リングに上がった瞬間から、何やっていいか全然分かんなくなっちゃって（笑）。緊張もしましたし。やられたり、殴られたりするのは全然痛くなかったけど、グラウンドの展開になるとは思ってなかったよね。う～ん、きつかったですかね。全然もうダメ、違う世界ですよ。でも、こういう大会に出るだけでもね、ドリームステージに感謝してますよ。花道を歩いた時はいい気分だったんですけど。オープニングと。また出たいっすよ。相手も1カ月くらい前に言ってほしいです。二転、三転どころか、四転、五転しましたから（笑）。決まったのが先週ですからね。はい。今度はみっちり練習して、はい」

さすがに悔しい大刀光だ

▲いとこや妹たちと勝利を喜ぶグッドリッジ一族

▲四股を踏むかのようにリングをあとにしていった

退した男だからね、相撲界を。それでもバーリ・トゥードの世界で耐久力の点では、バリバリに通用するってことである。

だいたい相撲時代も、目標として掲げていた寺尾戦を早々に実現させ、昨年の『週プロ』の年鑑で「今年はガチンコがしたい」と抱負を書けば、その通りになるし、『紙のプロレス』のインタビューで「東京ドームで試合したい」と言えば、やっぱりそれもその通りになった、タチ。

彼が願えばすべてがかなえられるわけである。

最初から最後までノー天気な態度でリングに上がり、リングに上がったと思ったら、いきなりアガって作戦を忘れる男・タチ。そして、どう見ても大した技には見えないノド押し（公式記録はギロチンチョーク）であっさりタップしながら、対戦相手のグッドリッジに、己のタフさだけはしっかり刻み込んだ男こそが大刀光なのである。ああ、抱きしめたい。

ボブチャンチンにしても、アレクにしてもそうだが、『プライド』のリングには、こういう愛しくも素敵な男たちがとにかく多い。

いい意味でバカな男たちこそ、このグランプリで勝ち残っていってほしいものだ。ただ強いだけなんてつまらない。なんにも考えずに大舞台に上がってアガってしまう大刀光や、『プライド』の前に一試合済ませて笑顔でドームの花道を歩いてくるアレクのような清々しい男っぷりこそ見たいのだ。「最強」とはそういうことだと思うし、それが男の電車道であろう。

はぁ～、どすこ～い！　（ブチ）

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

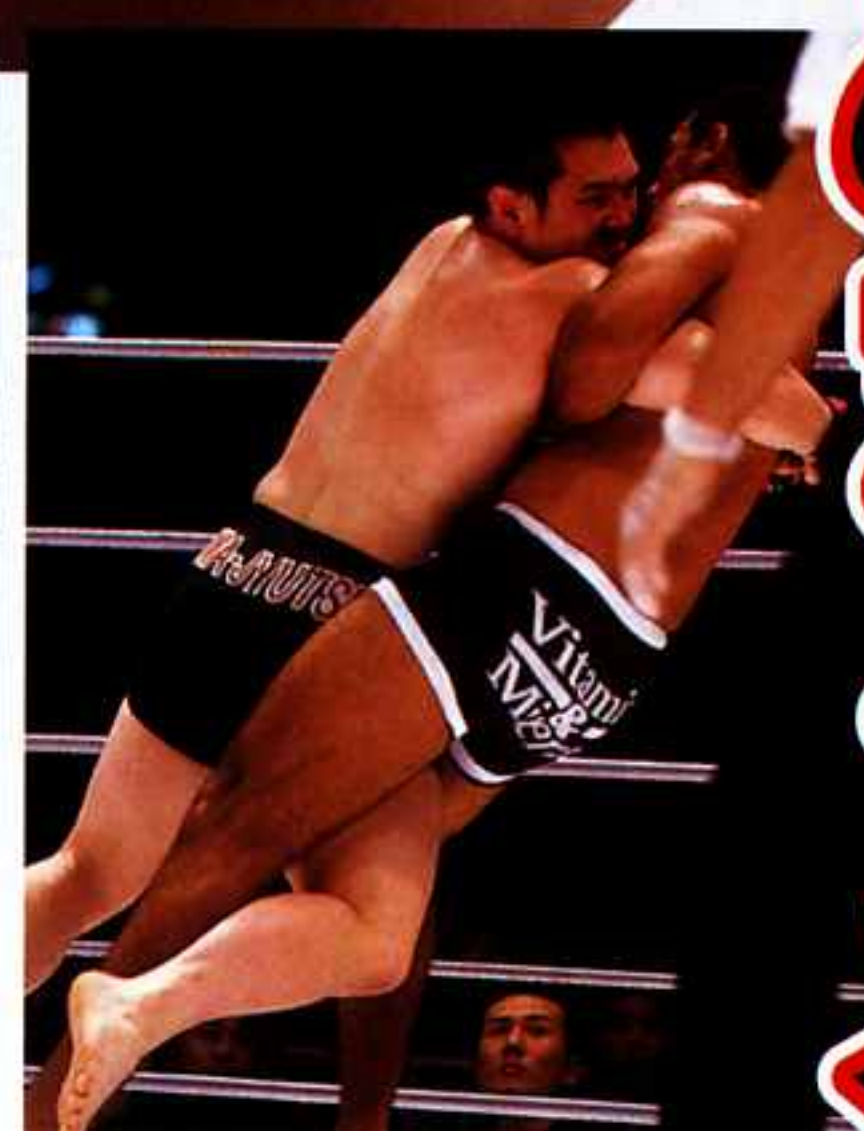
小路はやっぱり『ど・アマチュア』の『ど・根性』

ブラガの狂気の打撃を封殺 2−0の僅差判定で生き残る

とにかく攻めて攻めまくる
ここぞの一発はなくっても、
オレの強みはこれ

▲一瞬のすきをついてヒジ関節を狙うブラガだが、小路がひるむことはなかった

▲小路の積極果敢な攻めが試合を支配した。ブラガ得意の打撃は常に後手後手に回っていた

▲体重で6キロのハンディがあっても小路は組み負けない。これも気力のなせるわざ

▲さすが柔道の有段者。鮮やかな大内刈りでテイク・ダウンを奪う

★トーナメント一回戦/第2試合（15分1R）
○ 小路晃（判定2-0）エベンゼール・フォンテス・ブラガ ●
〈日本/A³ジム〉　〈ブラジル/アカデミア・ブドーカン、ボクセタイ〉

小路はどうして強いんだろう。172センチ、90キロ強。その色白でポッチャリとした体は、決して強そうには見えない。だけど、その小路がなかなか負けないのだ。ここまで『プライド』シリーズでは最多の7回出場し、黒星はボブチャンチンに判定負けした1度きり（4勝2引き分け）。その負けにしても、ロシア人のあの殺人的な豪打を、最後までまともに浴びてはいない。

それでも彼の強さは正面になかなか見えてこない。いつも試合はもったりと進行し、ギリギリの判定が続く。だが、なかなか負けない。守りに強く、そのかわりにはっきりと決着をつけるための決め手がないせいだ。

「そういう意味でアマチュア的。どアマチュア的強さが小路にはある」という、ある格闘家の話を聞いて、ようやく気がついた。同時にもうひとつ、彼が負けない理由も思いついた。それは、彼のひたむきな純情というべきものだ。

小路の試合を見るにつけ、ふと目に浮かぶ風景がある。この季節ならなおさらだ。富山県魚津市。彼の故郷は今ごろ雪に埋まっているはずだ。「格闘家になりたい」と母親に言い残して、彼は故郷を出た。その雪景色が私の頭の中で絵になる。その突貫ファイトを見るにつけ、小路がその頃の思いをいまだにしっかりと胸に抱いているように感じてならない。

だから、小路はやはり前に前に。見てくれはかっこよくはない。入場する時から、昼メロの主題歌のようなテーマ曲で観客を戸惑わし、リング上でもどこが強いのか分かりにくい。それでも、ひたすら前

◀ミドルキックがわき腹にグサリ。さしものブラガも

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

▶小路がヒヤリとしたシーンといったら終了直前のここ。回し蹴りをキャッチされたところに右パンチを浴び、マットにたたきつけられた

小路のコメント

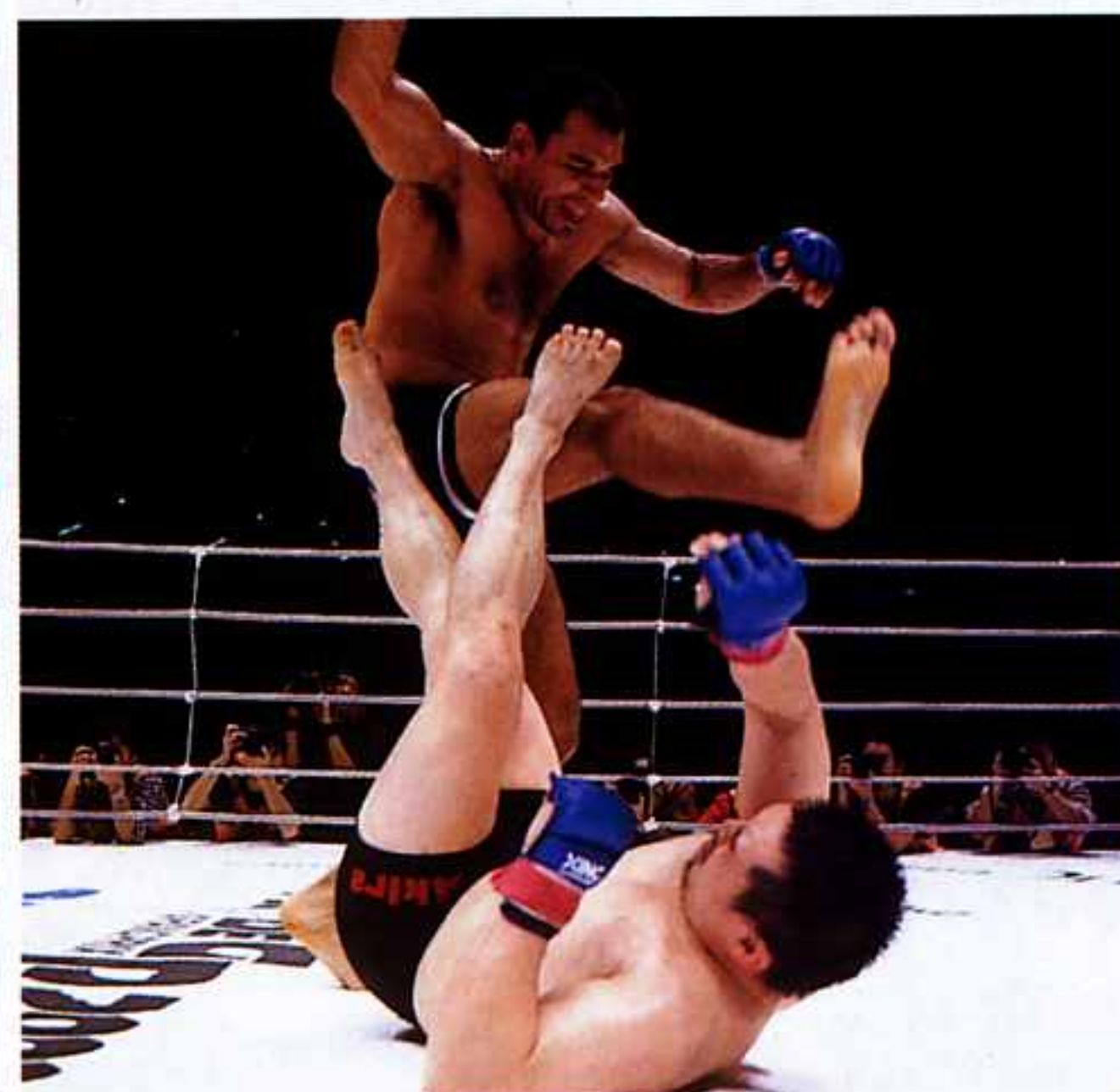
「今日は練習不足で、内容よりも次につなげることが大事だと思っていた。相手の力が強く、前に踏み出せなかった。5月までに体をしっかり立て直し、パンチも練習したい。目標は一番上。誰もそう予想してくれる人はいないだろうけど。それに藤田選手と闘いたい。新日本プロレスが好きなもので。トレードしてもらいたいくらい

ブラガのコメント

「消極的だと言われるが、下になっても自分の方がたくさんパンチを打っていた。小路にそんなに攻めさせてはいない。ボクの顔を見てくれよ。傷ひとつないだろう？　この試合は絶対に延長まで行くべきだったと思う。もう1回日本に来たときはルールをきちんとして、もっといい試合をするから、みんな楽しみに待っていてくれ」

▼打撃の強さは一級品。そんなブラガも小路の先手を取られ、ついに本領を発揮できないままだった

船木も追い込んだこの強打も一瞬だけの線香花火

◀ミドルキックがわき腹にグサリ。さしものブラガも思わずのけぞった

◀ブラジル人は油断もスキもない。倒れたところにカカト落とし。小路はすんでのところでこれをかわした

りにくい。それでも、ひたすら前にと出て、結局、対戦者の持ち味をすっかり殺してしまう。

今日もそうだ。ブラガは強い。船木誠勝をすんでまで追いつめ、桜庭和志にも一本を食らうまでは奮戦した。細面の男前ながら、試合が始まるや狂気の打撃で対戦者を追い回す。しかし、そのブラガの得意の打撃が小路の前では、さっぱりなのだ。その上、この小路、昨年末に盲腸炎を患って、それからはほとんど練習していないというから、よけいに大したものだ。

いつも先に手を出すのは小路の方だった。からみついてくるブラガの長い腕をかいくぐって大きな左右のフックで打っていく。目のいいブラジル人にクリーンヒットはしないが、それからすかさず組みついて、ロープやコーナーにグイグイと押しつけた。

グラウンドになっても上にいるのはいつも小路。ブラガの堅いガードに攻めあぐむものの、攻勢点は確実に稼いでいった。

ラスト1分のコールとともにスタンドでの打撃戦に挑んだ小路は、右回し蹴りを受け止められて、右パンチで逆に倒される。そこにカカト落としの追撃も受けたのだが、ブラガに許した反撃らしい反撃と言えばこれくらい。判定は2—0と僅差だったが、小路に上がったのは当然だったろう。

「桜庭の試合が引き分けなら、オレのもそうじゃないか。どこが違うのか教えてほしい」

ブラガはそう言って憤慨していたが、『どアマチュア』の勝負にかける熱気の方が上回っていたのは明らかだった。

（宮崎）

若きシウバが暴走男を打殺！

この男、補欠ではもったいない

ブラジルのブルース・ウィリス？　ホントに強い！

シウバのコメント

「シュライバー選手はとても強く非常に危険なファイターでしたが、タイミングよく攻撃することができました。今大会に備え、十分な準備ができたのが勝因です。今の目標はトーナメントのチャンピオンになることなので、決勝大会でチャンスがあれば嬉しい。日本のファンの皆さんの応援は非常にすばらしく心から感謝しています」

シュライバーのコメント

「敗因？　やっぱりチョークを掛けられたから負けたんだと思います（笑）。準備期間が短かったのも負けた理由の一つ。でも、例えば自分の目の前で誰かが車を盗もうとしたら、やらなくてはいけないわけですから、そういう言い訳はしません。シウバはタックルに来ると思っていたので、いきなりの打撃にちょっと戸惑いました」

打撃も寝技もいける。まさに立ってよし寝てよし

★リザーブマッチ（15分1R）
○ヴァンダレイ・シウバ（1R2分42秒、スリーパーホールド）ボブ・シュライバー●
〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉　〈オランダ/ハルデレン・ジム〉

▲打撃を得意とするシュライバーを打ち合いでも圧倒するシウバ。補欠にしておくには惜しい

◀▼マウントパンチの連打を嫌い、うつ伏せになったところをスリーパーホールド。暴走男の異名をとる34歳のシュライバーを23歳のシウバがいとも簡単に料理。末恐ろしい存在だ

◀強烈なタックルにシュライバーが宙を舞う

あの暴れん坊、ボブ・シュライバーは、いったいどこへ行ってしまったのか？　柔術の技術に加え、ムエタイも習得しており〝スタンディング柔術家〟の異名を持つ、ヴァンダレイ・シウバにかかるとこうも弱く見えてしまうのか？

まるで、そこらの観客席で、ビールを飲んでる太ったオジサンをリングに上げて、いたぶっているようにしか見えなかった。

シウバのローキック、ミドルキック、パンチの連打にヒザ蹴りというアグレッシブな攻撃には、柔術家独特の〝匂い〟が、まるで感じられない。シュライバーは、ローキックをただの一発だけ返すのが精一杯だ。

打撃の連打だけではない。ヒザ蹴りからタイミングをとってタックルを繰り出したシウバは、あっさりとマウントポジションをキープする。勝負はこの時点で決まった。マウントパンチの連打から反転し逃げるシュライバーを、バックマウントからの左右のパンチ。

とどめは、スリーパーホールド。2分42秒という短時間で、〝オランダの暴走男〟を葬り去った。

グランプリ本戦ではなく、リザーブマッチとして行われた一戦だが、消化不良気味の試合が比較的多かった、この日の中で、キラリと輝く技術を見せてくれた。

加えて23歳という若さも武器とするヴァンダレイ・シウバ。グランプリに参加する実力は充分あると見た。レスリング出身のバーリ・トゥーダーとも違い、グレイシーの闘い方とも違う、希少価値を持つこの男。今後、侮れない要注意ファイターだ。　（横山）

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

麗しの『プライドGP2000』ガールズが『ごっつぁん銀座』に登場!

かぁ〜っ♥

『プライドGP2000』・オフィシャルグッズ編

ごっつぁん銀座

アレクの男っぷりにガールズも炎上!

『プライド』新作グッズをそれぞれ2名様にプレゼント!!

※応募方法はP113を参照

▲左より、三輪潤子ちゃん、杉並美奈ちゃん、川島陽子ちゃん、大石英佳ちゃん、森里紗ちゃん、河辺瞳ちゃん。たまらんばい!

BACK

▲喧嘩世界一Tシャツ
（サイズ/XL・L・M・S
カラー/BK）
¥3,800

BACK

▲殺りたいTシャツ
（サイズ/XL・L・M・S
カラー/WH）
¥3,800

▲マーク・ケアーTシャツ
（サイズ/XL・L・M・S
カラー/NAVY）
¥3,500

BACK

BACK

▲イゴール・ボブチャンチンTシャツ
（サイズ/XL・L・M・S　カラー/RED）
¥3,500

▲大会限定『プライドGP 2000』ステッカー
¥1,000

▲開運桜庭ステッカー
¥1,500

▲大会限定『プライドGP 2000』Tシャツ
（サイズ/XL・L・M　カラー/BK・WH）
¥3,500

▲大会限定『プライドGP 2000』パーカー
（サイズ/L・M　カラー/NV）
¥7,000

速報!
ザ・ハイロウズの『プライドGP 2000』の感想を一言だけ!……「良かったのはアレクと大刀光!」（甲本ヒロト）「藤田も良かったね」（調先人）以上、アリガトーッ!!

お申し込み方法　『プライド』グッズは通販でも買えるぜ〜

※すべて税込み価格

❶電話にてご注文ください。
（株）ドリームステージエンターテインメント ☎03-3552-6300
❷ご注文後、郵便局備え付けの青色の『振替払込票（払込取扱票）』に下記の必要事項を記入し、ご送金ください。
❸商品送料は、お客様の着払いとなります。

口座番号……00130-5-163459
加入者名……（株）ドリームステージエンターテインメント
商品金額……商品金額のみ（消費税込み）
通信欄……商品名　カラー　サイズ　個数
振込人住所氏名欄……名前・住所・電話番号

※注意!　本誌編集部では通販を受けつけておりません。

総評――この日、真の勝利者はA・猪木だった

文◎ターザン山本

プロレスファンは美しい。私は『プライドGP2000』の試合が終わったあと、ファンの有志を集めて「ミッドナイト道場」をやった。

午後10時20分頃からあるビルの地下を借りて、深夜の午前0時まで30人近いファンを前にして、『プライドGP』の感想を述べた。

その時の気持ちは「今日は期待を裏切られたな……」という思いが強かった。私は『プライドGP』に対して思い入れを持ち過ぎたようだ。

というのは久し振りに興奮する興行に出会ったからだ。こういう時、私は自分以外の人に片っぱしからアジテーションを行っていく。

アジテーションは気持ちのいいものである。私が気がついたことを、まだ気がついていない人に向かって、メッセージしていくことをアジテーションという。

1・30東京ドームをいろんな媒体を使って、私はアジテーションしてきた。その効果がどれだけあったかは、調べようがないし、私にはどうでもいいことである。

もともとアジテーションは、一方通行と初めからそう考えているからだ。

ところで「ミッドナイト道場」で私が演説をしたあと、ロイヤル・ホストで11人のファンが残り、簡単な食事をした。彼らはいずれもプロレスにこだわりを持って生きてきた人たちだった。

どういうこだわりかというと、多くは昔に見たプロレスが記憶として残っていて、その記憶に刺激される形で、1・30東京ドームに足を運んだ。

つまり自分の中にある記憶の代償として1・30東京ドームに〝何か〟を期待するというやり方である。

岐阜からは2人のファンが来た。大阪からはプロレス記者を目指している学生が、ガールフレンドと一緒に1・30東京ドームを見に来ていた。

彼らは1・30東京ドームに何を感じて、家に帰ったのだろうか？　私はそれが知りたい。たとえばトーナメントの第1試合に出場した大刀光だが、マットに倒れるとあっさりギロチンチョークで、ギブアップした。

世の中には「相撲最強説」を唱えている人がいて、その意味では大刀光にはそれなりの期待があった。

だが、あんな負け方をされたら大刀光に2度目はない。

続く小路の試合はどう見ても引き分けに見えたが、結果は小路の勝ち。藤田はまだ勝ったからいいが、前半戦の最後の試合、桜庭対ガイ・メッツァーの試合は、ルール問題でもめてしまい、メッツァーは試合放棄をしてしまった。

この前半の4試合を総括するとまず、観客が好意的に試合を見ていることが分かってくる。

内心、試合がつまらないと思ってもブーイングをしたり、文句を言うファンがまるでいない。プロレスの世界で言えるものも、『プライド』など格闘技の世界では言いにくいのかも……。

これについてはあるテレビ関係者が「おかしいよね。面白くないものは面白くないし、つまらないものはつまらない」と観客は言うべきである、と。

選手は俗に真剣勝負をやっているので、観客がそれを言えないと思っていたらそれは間違っている。

お金を払って試合を見ている以上、観客はつまらないものにつまらないと言ってもいいのだ。それによって、団体と選手に自覚を促すべきなのだ。

特に選手（ファイター）には、自らがエンターティナーであることの自覚は持ってほしい。『プライド』のプライドとは、単に勝負に〝勝つ〟ことだけではないはず。選手の真のプライドは決して〝勝つ〟ことと同義語ではないからだ。

『プライド』では〝勝利〟だけを取ろうとしている選手がいるが、それはそれで立派に見えるのだが、私は尊敬する気持ちにはならない。

なぜならそういう選手を見ていると〝せこい〟印象を持ってしまうからだ。これが純粋勝負論のマイナス面というべきか？

こういう見方をする私は、まさにプロレスファンの典型である。といってもそれは想像力でプロレスを楽しむ昭和のプロレスファンのことを指す。

1・30『プライドGP』の東京ドーム大会を見ていると、プロレス的センス（または猪木的センス）を刺激する空間になってはいなかった。

ひたすら勝負だけを競い合う世界を一歩も出ていなかった。負けてもいいから自分を出そうと思ってファイトしていたのはアレクだけ。

このアレクの気持ちは我々プロレスファンに確実に届いていた。マーク・コールマンとマーク・ケアーは強い試合をしたが、あのファイトではプロレスラーというよりはアスリートに近い。

グラウンドの攻防になった時、ブレイクするルールに変えないと、『プライド』はやばい。グレイシーがブレイクをどうしても認めないと言うなら、やがてグレイシーをとるか、ブレイクを認めるルールをとるか、その二者択一を迫られる日は近いような気がする。

佐竹と高田の負けは仕方がない。佐竹は寝技を勉強中のため〝よそいき〟の人間になっていた。高田は〝負けない〟こ

とだけに賭けていたから、あんなふうなファイトになってしまったのだ。

ところで私がこの日、最もグッときたシーンは、ホイス・グレイシーが花道を〝グレイシー・トレイン〟で登場してきた時である。

その中にはもちろんグレイシー柔術の総師、エリオさんもいた。勝負論が中心となっている世界では、その時に起こる勝負の結果が、誰に対して重くのしかかるのか？

選手によって結果の、のしかかり方が全部違っているのだ。多くの場合、それは選手個人にのしかかるものだが、プロレスラーは所属する団体やジャンルに勝負の結果がのしかかっていく。

もっと言うならプロレスファンの気持ちの中にものしかかっていく。ここにプロレスの大きな特徴がある。

選手と観客が勝負の結果を共有する世界までいかないと、『プライド』の未来はないし、それを可能にする地盤はプロレスファンの中にある。

だからマーク・コールマンやマーク・ケアーは、そこまでいかないと私はだめだと思う。

そういう意味から言うと、K—1を離れてフリーファイターに転身した佐竹がやらなければならないことは、佐竹の勝ち負けの結果を共有できるファンを作ることである。

アレクが今回偉かったのは、自分のファイトを共有してくれるプロレスファンがいることを、信じて試合をしたことである。

その点でアレクは、出場した16人の選手の中で、最も進んだ意識を持っていたと言い切れる。

それと、やはりグレイシーだろう。ホイスは一族の人たちが勝敗を共有する世界を作り続けてきたからだ。こういう人たちは気持ちが強い。

あの一族の結束力は、我々日本人が失った郷愁を呼び起こしてくれるものがある。

そうなると『プライド』の主力はグレイシーとプロレスラーと言わざるを得ないのだ。

一族が勝つか？　ジャンルが勝つか？という闘いである。出場選手が全員、マーク・コールマンやマーク・ケアーになったら、誰も『プライド』を見に行かなくなる。

勝負論の中に観客やファンが参加しているという発想は、私にとって新しい発見でもあった。

A・猪木が藤田を『プライド』に送り込んだことで、初めてジャンルを背負うことの重要性を気付かせてくれたのだ。

猪木のセンスには感服するしかない。『プライドGP2000』の真の勝利者は、A・猪木だったという人は、意外と多い。

『プライド』の世界に猪木の影を見てしまうというのは、これもまた凄い話ではないか？

たとえば興行は最後に誰が締めるのかというのが、ひとつの大きなテーマとなっている。猪木はその締めるということでは天才的な人だった。

しかし、『プライドGP』ではそういう締めをできる人がいない。こういうことに関しても、『プライド』は〝プロレス的なるもの〟をどんどん偏見なく取り入れていく必要があるのではないのか？

〝プロレスなるもの〟の導入は、『プライド』には不可欠だ。次の5・1東京ドームでは、興行としてどれだけの成長ぶりを見せてくれるか、それが楽しみだ。■

格闘技界のビッグバンの予感に、観客48316人が集まった!

5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』in 東京ドーム! この男たちの中から"最強"が決まる!

決勝トーナメント進出を決めた8名。5・1『PRIDE GP 2000決勝戦』で栄冠を勝ち取るのは果たして誰か？ 組み合わせが気になるところだ

▲燦然と光り輝くベルトとともに、DSE森下直人社長が開会宣言を行った

▲入場式でズラリとならんだ出場16名の選手たち。こんな豪華なメンバーが一堂に会すると、ただただ壮観である

▲選手代表挨拶は桜庭和志。「ご来場ありがとうございます。今日ここに来なかった人たちが後悔するような試合をするので、応援してください」。なんとも桜庭らしい挨拶だった

▲試合前に、ケン・シャムロックが『プライド』参戦を表明。2試合参戦契約を結んだそうだが、メッツアー戦後に「参戦しない」と言い出した。どうなる？

▲ルッテンとともに、シャムロックはPPVの解説も務めていた

▲当日券チケットは午前中から長蛇の列で、試合が始まってもまだその列は絶えることはなかった。なんと東京ドーム始まって以来の当日券売上枚数5500枚を記録したそうだ。凄い！

PRIDE GRAND PRIX GP 2000

世界最強トーナメント開幕戦

▶本誌15号でお伝えしたとおり、伝説のロック・ギタリスト、エリック・クラプトンが本当に東京ドームに現れた。ヒャッ!　この他にもとんねるずの石橋貴明、ナインティナインの岡村隆史、ネプチューンなど芸能人も多数来場した

◀立川談志師匠と作家の百瀬博教氏が一緒に観戦!

▲大相撲の武双山関と、横綱武蔵丸関も応援にかけつけた!

今回は掣圏道の佐山聡創始がスーパーバイザーとして参戦

◀PPVとフジテレビの解説を務めた本誌編集長のサダハルンバ。なお、今大会はフジテレビで2月6日（日）、16：00～17：25まで放送されます。お楽しみに!

PRIDE GRAND PRIX GP 2000
VIP席
専用入口
VIP席チケットをお持ちのお客様はこちらよりご入場

▲10万円席となったVIP席は、専用入口があった

『PRIDE GP 2000開幕戦』フジテレビ 2月6日（日）16:00～17:25 放送決定!

桜庭、藤田 外国人包囲網をブチ破れ!!

▲閉会式で談笑する桜庭と藤田。二人には髙田や佐竹の分まで頑張ってもらわねば!

▲SRS軍団も大挙押し寄せて、熱い声援を送った

10万円シートおめでとう!

▶本誌99年MVPに選ばれた桜庭が特賞の10万円シートを抽選し、見事当選した尾崎裕君も観戦!　なんでも尾崎君は大学受験で上京中。こんなラッキーなことってあるんだねぇ

PRIDE GP 2000 GRANDPRIX 開幕戦

決戦を3日後に控えた1月27日(木)、東京・新宿ヒルトンホテル菊葉の間にて、大会直前記者会見が行われた。この会見には、全出場選手20名のうち16名までが出席(フライト時間が遅れたボブチャンチン、ブラガとシウバ、シュライバーは欠席。バヘット対テリグマンはバヘットのケガで中止)。大会直前の選手たちの表情とともに、全対戦カード、選手データをご紹介しよう。

全カード＆全選手データ

※年齢は試合当日現在。体重は1月27日(ボブチャンチン、ブラガ、シウバ、シュライバーは1月29日)に計量

〈トーナメント1回戦〉 桜庭和志×ガイ・メッツアー

〈髙田道場〉 〈ライオンズ・デン〉

桜庭和志
❶生年月日/1969年7月14日(30歳)
❷出身/秋田県
❸身長/180センチ 体重/86.7キロ
❹得意技/レスリング・テクニック、"炎のコマ"ほかオリジナル技多数
❺主なタイトル/第1回UFC-Jトーナメント優勝

ガイ・メッツアー
❶生年月日/1968年1月1日(32歳)
❷出身/アメリカ、テキサス州
❸身長/183センチ 体重/92.1キロ
❹得意技/打撃(サイドキック)
❺主なタイトル/第7代キング・オブ・パンクラシスト

〈トーナメント1回戦〉 アレクサンダー大塚×イゴール・ボブチャンチン

〈格闘探偵団バトラーツ〉 〈フリー〉

アレクサンダー大塚
❶生年月日/1971年7月17日(28歳)
❷出身/徳島県
❸身長/183センチ 体重/85.4キロ
❹得意技/プロレスラー魂、タックル
❺主なタイトル/97年ヤング・ジェネレーション・バトル優勝

イゴール・ボブチャンチン
❶生年月日/1973年8月6日(26歳)
❷出身/ウクライナ
❸身長/176センチ 体重/107.8キロ
❹得意技/パンチ
❺主なタイトル/アブソリュート大会優勝

〈トーナメント1回戦〉 髙田延彦×ホイス・グレイシー

〈髙田道場〉 〈グレイシー柔術アカデミー〉

髙田延彦
❶生年月日/1962年4月12日(37歳)
❷出身/神奈川県
❸身長/183センチ 体重/98.1キロ
❹得意技/キック、足関節技
❺主なタイトル/元プロレスリング世界ヘビー級王者、元IWGPヘビー級王者、元IWGPジュニアヘビー級王者、元IWGPタッグ王者

ホイス・グレイシー
❶生年月日/1966年12月12日(33歳)
❷出身/ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ
❸身長/185センチ 体重/81.1キロ
❹得意技/道衣を利用した絞め・関節技
❺主なタイトル/第1・2・4回UFCトーナメント優勝

〈トーナメント1回戦〉 藤田和之×ハンス・ナイマン

〈フリー〉 〈フリー〉

藤田和之
❶生年月日/1970年10月16日(29歳)
❷出身/千葉県
❸身長/182センチ 体重/107.5キロ
❹得意技/ナチュラルパワー＆レスリング・テクニック
❺主なタイトル/レスリング全日本学生選手権4連覇、レスリング全日本選手権優勝2回

ハンス・ナイマン
❶生年月日/1959年9月23日(40歳) ❷出身/オランダ、アルクマー ❸身長/187センチ 体重/111.8キロ ❹得意技/ナイマン蹴り(二段蹴り) ❺主なタイトル/空手ヨーロッパ選手権優勝2回、空手オランダ選手権優勝15回、フリースタイル・レスリング・オランダ3位、リングス・メガバトル・トーナメント3位

〈トーナメント1回戦〉 佐竹雅昭×マーク・コールマン

〈怪獣王国〉 〈オバケ・ジム〉

佐竹雅昭
❶生年月日/1965年8月17日(34歳) ❷出身/大阪府 ❸身長/185センチ 体重/106.1キロ ❹得意技/空手の突き・蹴り ❺主なタイトル/カラテ・ワールド・カップ93優勝、第6・7・8回正道会館全日本大会優勝、第1・2回トーワ杯優勝、K-1ジャパンGP97・98優勝、K-1GP94準優勝、元UKF、ISKA、KICK、世界ヘビー級王者

マーク・コールマン
❶生年月日/1964年12月20日(35歳) ❷出身/アメリカ、オハイオ州 ❸身長/185センチ 体重/109キロ ❹得意技/タックル ❺主なタイトル/元UFCヘビー級王者、バルセロナ五輪レスリング米国代表、レスリング世界選手権100キロ級銀メダル

〈トーナメント1回戦〉 エンセン井上×マーク・ケアー

〈PUREBREDシューティングジム大宮〉 〈ハンマーハウス〉

エンセン井上
❶生年月日/1967年4月15日(32歳)
❷出身/アメリカ、ハワイ州
❸身長/180センチ 体重/95.6キロ
❹得意技/マウントパンチ、腕ひしぎ十字固め
❺主なタイトル/前修斗ヘビー級王者

マーク・ケアー
❶生年月日/1968年12月21日(31歳)
❷出身/アメリカ、オハイオ州
❸身長/185センチ 体重/110.5キロ
❹得意技/パワー、スピード、テクニックすべて
❺主なタイトル/第14・15回UFCトーナメント優勝

PRIDE GRAND PRIX GP 2000 世界最強トーナメント開幕戦

1・27大会直前記者会見、〝世界最強〟の戦士たちが、ついに顔を揃えた！

〈トーナメント１回戦〉
小路晃×エベンゼール・フォンテス・ブラガ
〈A³ジム〉 〈アカデミア・ブドーカン、ボクセタイ〉

小路晃	エベンゼール・フォンテス・ブラガ
❶生年月日/ 1974年1月31日（25歳）	❶生年月日/ 1969年4月14日（30歳）
❷出身/ 富山県	❷出身/ ブラジル、リオ・デ・ジャネイロ
❸身長/172センチ 体重/91.3キロ	❸身長/182センチ 体重/97.9キロ
❹得意技/ 粘り強い寝技	❹得意技/ 打撃、マウントパンチ
❺主なタイトル/ なし	❺主なタイトル/ なし

〈リザーブマッチ〉
ヴァンダレイ・シウバ×ボブ・シュライバー
〈シュート・ボクセ・アカデミー〉 〈ハルデレン・ジム〉

ヴァンダレイ・シウバ	ボブ・シュライバー
❶生年月日/ 1976年7月3日（23歳）	❶生年月日/ 1965年3月3日（34歳）
❷出身/ ブラジル・パラナ州	❷出身/ オランダ、アルクマー
❸身長/182センチ 体重/93.4キロ	❸身長/181センチ 体重/106.8キロ
❹得意技/ ヒザ蹴り	❹得意技/ 打撃
❺主なタイトル/ IVC現ミドル級王者	❺主なタイトル/ なし

中止

〈リザーブマッチ〉
カーロス・バヘット×トレイ・テリグマン
〈カーウソン・グレイシー柔術〉 〈ライオンズ・デン〉

カーロス・バヘット	トレイ・テリグマン
❶生年月日/ 1968年7月22日（31歳）	❶生年月日/ 1965年2月7日（34歳）
❷出身/ ブラジル・リオ・デ・ジャネイロ	❷出身/ アメリカ
❸身長/194センチ 体重/115キロ	❸身長/188センチ 体重/104キロ
❹得意技/長い手足による絞め・関節技	❹得意技/ 関節技、パンチ
❺主なタイトル/ IVCヘビー級王者	❺主なタイトル/ 『スーパーブロウル』スーパーヘビー級トーナメント優勝

※バヘットのケガにより中止

〈トーナメント１回戦〉
大刀光×ゲーリー・グッドリッジ
〈SPWFプロレス〉 〈フリー〉

大刀光	ゲーリー・グッドリッジ
❶生年月日/ 1963年9月12日（36歳）	❶生年月日/ 1966年1月17日（34歳）
❷出身/ 千葉県	❷出身/ トリニダード・ドバゴ
❸身長/195センチ 体重/125.1キロ	❸身長/191センチ 体重/110.5キロ
❹得意技/ 突っ張り	❹得意技/ パンチのラッシュ
❺主なタイトル/ 元大相撲前頭十五枚目	❺主なタイトル/ アームレスリング世界選手権11連覇（86～97）

TOKYO GINZA

読者プレゼント・銀座風味

ごっつぁん銀座

西村修よ、あなたの復帰をいつまでも待ってます

TRADITIONAL TASTE

【怪獣王国提供】

FRONT

BACK

2名様

▲佐竹死刑Tシャツ
(サイズL・M・S)

本誌で通販も始めたので、当選をアテにしてない人は左ページをどうぞ！

【宇野商店提供】

1名様

◀宇野薫Tシャツ
(サイン入り／サイズM)

ゴキータが書いた1999年最高の格闘Tシャツのひとつ

10名様

▲宇野薫ステッカー
(2枚セット)

大きさはそれぞれ切手ぐらいのサイズです。でもやっぱり欲しいかーっ!!

【モーリス・スミスジム提供】

5名様

▲モーリス・スミスジムTシャツ
(モーリス＆佐竹サイン入り／カラー黄・白)

モーリス大盤振舞の5枚プレゼント！清原もこれを着れば今季復活間違いなしっ！

【本誌編集部提供】

各3名様

◀いろんな人のサイン入り色紙
(佐竹＆清原、髙田延彦、桜庭和志、松井大二郎、豊永稔、マーク・ケアー、マーク・コールマン、バス・ルッテン、佐藤ルミナ、桜井速人、モーリス・スミス、髙阪剛)

この機会にゼヒ！

【バップ提供】

3名様

▶CD『ジャイアント馬場～王道伝説～』

日本テレビスポーツテーマをはじめ、馬場さんのインタビュー、王者の魂ほか数々の名勝負の実況を多数収録。くぅ～、泣けぇぇぇぇ――

【ポリスター提供】

3名様

▶CD『挑戦し続ける男』辰吉丈一郎メモリアルサウンドトラック

あの辰吉の入場テーマ『死亡遊戯』が入った泣けるCD。ノブ兄さんのテーマ『TRAINING MONTAGE』も入ってるので、さらに号泣です！ ちなみに辰吉は浪速のジョーじゃなくて、倉敷のジョーだ！

【R to R提供】

▶柔術で充実トレーナー
(サイズL)

1名様

1名様

▲チーム・タイラトレーナー
(サイズL)

我らが平選手（正道柔術クラス総帥）から、ごっつぁんです！4月から総合格闘技の中での立ち技にスポットを当てたクラス＆フレックスクラスを開設、またホームページも開設予定だ。詳細は分かり次第、またお伝えします

FRONT

BACK

1名様

◀トウキョウボンバイエトレーナー
(サイズL)

バックには『プライド』でも評判だった三代目魚武濱田成夫さんのデザインロゴ入り！

【オバケ・ファイト・スクール提供】

ブレイク間近！
OBAKEグッズは
間違いなくヒットするっ!!

▶OBAKE Tシャツ3種類
(サイズL)

各1名様

FRONT

BACK

BACK

FRONT

BACK

FRONT

応募券
ごっつぁん銀座
第16号

『SRS・DX』特選 完全無欠の U.F.O.オフィシャルグッズ通信販売

❻オーチャンパーカー ¥6,500
❷オーチャンTシャツB ¥3,500
❹UFOTシャツ ¥3,500
❼オーチャン携帯ストラップ ¥1,300
NEW!
BACK
FRONT

編集部大混乱の爆発的人気!! ふたたびテンテコ舞い!!

❶オーチャンTシャツA ¥3,500
❸Mr.ウォーリーTシャツ ¥3,500
❺オーチャンステッカー ¥1,000

ズバリ言って、実力もグッズもあっという間にナンバー1!!

■ご注文方法

パーカーとストラップを作った途端、初期の勢いが甦ったUFOグッズ。どこのショップでも売り切れ続出です。賢明な『SRS・DX』読者は、この通販を利用しよう! というわけで、これから購入ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、希望商品(サイズも)を明記したメモを添えて、希望商品の代金と送料(いくつ買っても500円)を現金書留で、編集部までお送りください。商品は、ご注文をいただいてから3日〜2週間位でお届けします。

❶オーチャンTシャツA(黒/サイズL・M) ¥3,500(税込)
❷オーチャンTシャツB(ラグラン/サイズL・M・S・XS) ¥3,500(税込)
❸Mr.ウォーリーTシャツ(白・黒/サイズL・M) ¥3,500(税込)
❹UFOTシャツ(サイズL・M) ¥3,500(税込)
❺オーチャンステッカー ¥1,000(税込)
❻オーチャンパーカー(白・グレー/サイズL・M) ¥6,500(税込)
❼オーチャン携帯ストラップ ¥1,300(税込)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『UFOグッズ通販』係 まで

こっちも特選!! 着ないヤツは死刑の 佐竹 死刑Tシャツ 通信販売

■ご注文方法

1・30東京ドームで、佐竹とともに衝撃のデビューをはたした「佐竹死刑Tシャツ」。ズバリ言って、大ブレイクの予感が……。佐竹Tシャツなのに、なぜに「佐竹死刑」? 話すと長くなるので、またの機会に。死刑だけに佐竹ファンはおろか、アンチ佐竹も着られる2WAY。やったね! 購入ご希望の方は、住所、氏名、電話番号、希望サイズを明記したメモを添えて、商品の代金(1枚 3,500円)と送料(何枚買っても500円)を現金書留で、編集部までお送りください。商品は、ご注文をいただいてから3日〜2週間位でお届けします。

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『佐竹T通販』係 まで

【ギャガ・コミュニケーションズ提供】

●映画『13ウォーリアーズ』劇場鑑賞用チケット
ペアで5組10名様

●『13ウォーリアーズ』プレスシート
(石井館長、武蔵、中迫剛サイン入り)
各1名様

2月19日より、ニュー東宝シネマほか全国東宝洋画系にてロードショー!の『13ウォーリアーズ』のチケットおよびサイン入りプレスシートをプレゼント。前号でお伝えしたとおり、石井館長が題字を書いたこの映画、監督はジョン・マクティアナン、主演がアントニオ・バンデラス。つーことは面白いだろ。
プレゼントの応募は、
〒104-0041
東京都中央区新富2-11-1 イグチビル3F
(株)トライアル
『13ウォーリアーズSRS・DX』係まで
※希望プレゼント名をかならず明記してください

総製作費130億円! スペクタクル・アクション超大作!!
主演:アントニオ・バンデラス「マスク・オブ・ゾロ」
監督:ジョン・マクティアナン「ダイ・ハード」
原作:マイケル・クライトン「ジュラシック・パーク」
13ウォーリアーズ

13ウォーリアーズ
K-1 石井和義

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう!

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
❶郵便番号・住所・電話番号 ❷お名前
❸年齢・ご職業 ❹希望プレゼント名
❺今号で面白かった記事とその理由(複数可)
❻今号で面白くなかった記事とその理由(複数可)
❼本誌に対するご意見・ご感想をください
❽1・30『プライド GP2000』開幕戦の感想
❾あらためて優勝者は誰だ!?
を書いて、ビシバシ応募してください!
なお、このハガキのご意見を無断に『ワンフー・マクダニエル』で掲載させていただくことがあります。実名がマズイ人は、ペンネームも記載してください。お手数おかけします。

あて先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『ごっつぁん銀座⑯』係まで

締め切り…2月24日(木) 当日消印有効。

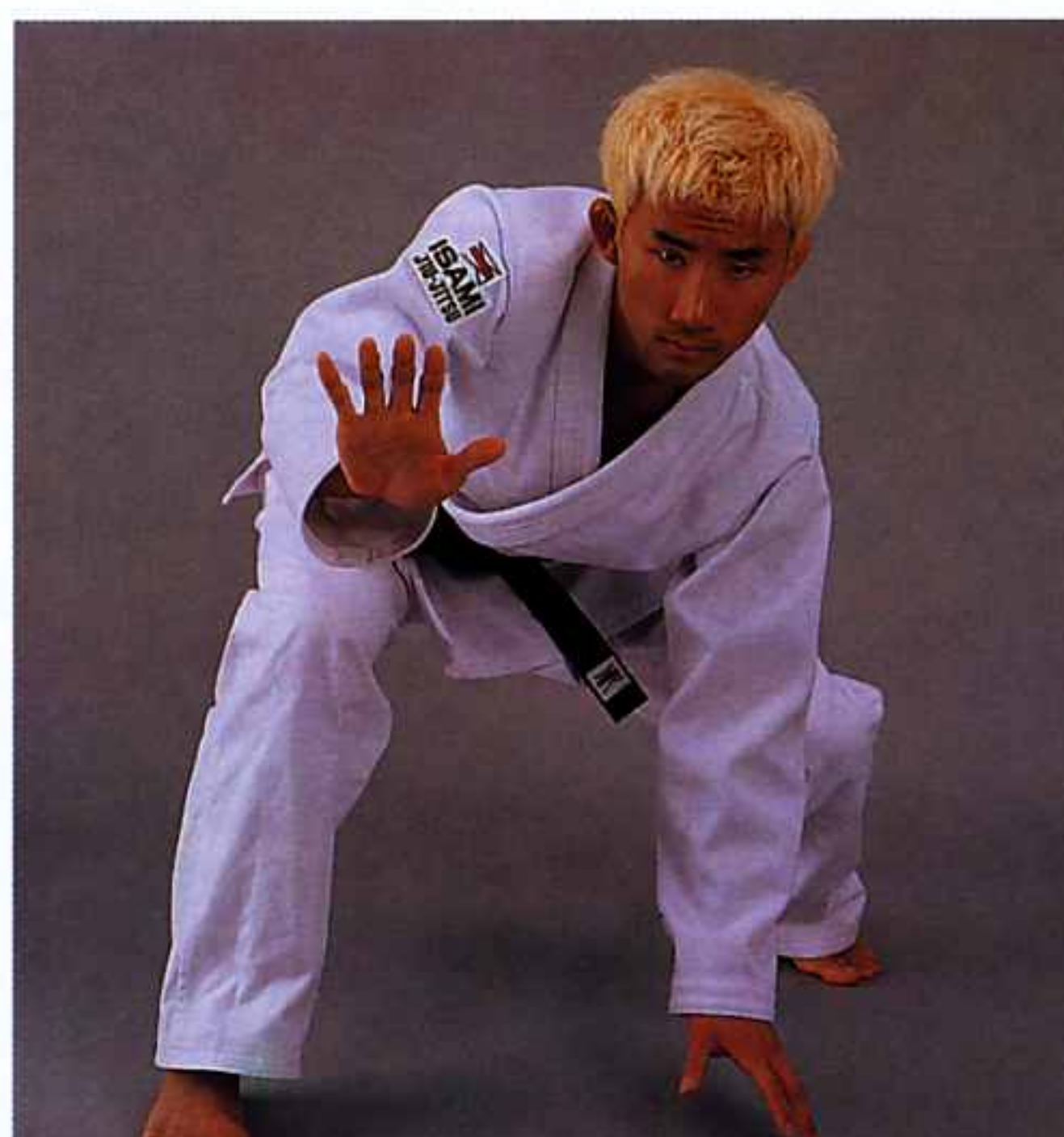
モデル：早川光由（正道会館柔術クラスのインストラクター）

柔術衣（ダブル） JJ-1000 日本製

●上衣／二重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2～5号

JJ-1000 柔術衣 （単位:円）

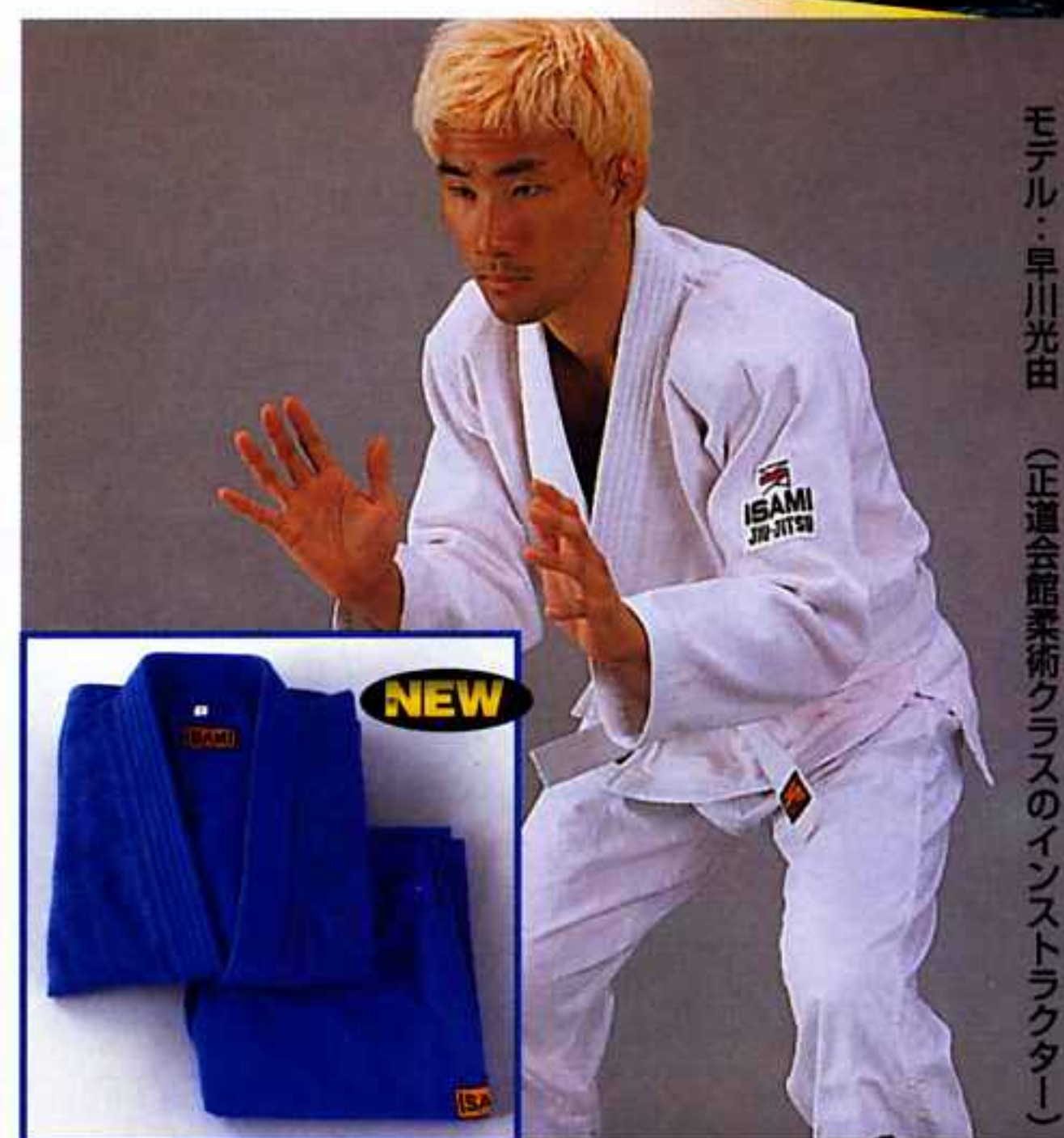
サイズ（号）	JJ-1001（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-1000（上下セット）
2～5	17,800	6,200	24,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長（cm）	155	165	175	185

柔術衣（シングル） JJ-100 日本製

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2～5号

JJ-100 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-101（上衣）	JJ-50（ズボン）	JJ-100（上下セット）
2～5	8,800	6,200	15,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長（cm）	155	165	175	185

ブルー柔術衣 JJ-200BL 柔術衣 JJ-200 中国製

NEW

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4～7号

JJ-200／JJ-200BL 柔術衣 （単位:円）

サイズ（号）	JJ-201 / JJ-201BL（上衣）	JJ-202 / JJ-202BL（ズボン）	JJ-200 / JJ-200BL（上下セット）
4	6,860	2,940	9,800
5	7,280	3,120	10,400
6	7,560	3,240	10,800
7	7,980	3,420	11,400

柔術衣参考サイズ	サイズ	4	5	6	7
	身長（cm）	165	170	175	180

MAT

エクササイズマット SUN-1

¥2,500 NEW
送料¥600
タテ148cmxヨコ58cmx
厚さ8mm

折りたたんだ時のサイズ
タテ36cmヨコ60cm

WEIGHT GLOBE

ウエイトグローブ SUN-5

NEW

5ポンド ¥2,500
送料¥700
左右1組

10ポンド ¥3,000
送料¥900
左右1組

WEIGHT WRIST&ANKLE

ウエイトリスト&アンクル SUN-4

手首、足首どちらにも使用できます。

NEW

5ポンド ¥2,000
送料¥700
左右1組

10ポンド ¥2,500
送料¥900
左右1組

WRIST TRAINER

リストトレーナー SUN-2

¥3,500 NEW
送料¥600
●1～6段階、負荷調節可能
最大負荷:30kg

HAND GRIP

ハンドグリップ SUN-3

¥1,800 NEW
送料600円
1～6段階
負荷調節可能
最大負荷:30kg

武道・トレーニング用品の総合メーカー
株式会社イサミ SRS係
〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2
TEL.0480-24-0711㈹ FAX.0480-24-0713

注文受付時間	
平日	9:00～21:00
土・日・祝日	9:00～18:00

★1998～1999総合カタログご希望の方は切手¥240分をご送付下さい

イサミの商品は、通信販売の他、お近くの代理店でも、お求めいただけます。

- ㈱建武堂（東京池袋）…TEL.03-3986-5255
- 尚武堂産業（東京水道橋）…TEL.03-3815-0411
- 神奈川八光堂（横浜市） TEL.045 261 6834
- 赤心堂（大阪市難波・東大阪市）…TEL.06-6649-7111
- ㈱公武堂（名古屋市）…TEL.052-241-2511
- 林藤武道具（石川県金沢市）…TEL.0762-52-2220
- ㈲東京武道具（札幌市）…TEL.011-241-6345
- ㈱いさご武道具（仙台市）…TEL.022-262-2562
- ㈱マルシン（京都市）…TEL.075-841-1523
- ㈱三惠（長崎県諫早市）…TEL.0957-22-5210

ご注文方法

代引	TEL又はFAXにてご注文下さい。お支払いは商品到着時に配達員へお支払い下さい。商品代金+送料+代引手数料+消費税
現金書留	注文書と商品代金+送料+消費税をご送金下さい。
カード	TELにてご注文下さい。合計¥10,000よりご利用できます。合計¥20,000より2回払いも承ります。
分割	合計¥50,000よりご利用できます。詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

セントラルファイナンス

ご注意

★沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合わせ下さい。
★代引手数料 総額 ¥30,000未満… ¥400
総額 ¥100,000未満… ¥600
総額 ¥100,000以上… ¥1,000
★表示の価格及び送料には消費税が含まれておりません。
★万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換します。お客様ご都合による返品は未使用に限り可。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。その際の返送料はお客様負担となります。

ご使用いただけるカード
ディーシー ビザ マスター ミリオン ジェーシービー

NEW

スクリュー式
ダンベルシャフト

バーベルセット
ウエイトグローブ
スクワットパット
プレゼント!

ダンベルセット
ウエイトグローブ
プレゼント!

ラバータイプ

プレート ラバータイプ			
重量	価格	重量	価格
1.25kg	400円	10.0kg	3,200円
2.5kg	800円	15.0kg	4,800円
5.0kg	1,600円	20.0kg	6,400円
7.5kg	2,400円		

シャフト	
バーベルシャフト（180cm・カラー付）	4,000円

バーベルセット バーベル ラバータイプ		
35kgセット	16,000円→	9,500円
55kgセット	24,000円→	14,500円
75kgセット	32,000円→	19,500円
105kgセット	44,000円→	26,500円
145kgセット	60,000円→	34,500円

バーベルシャフト10kg1本（カラー付）
ダンベルシャフト2.5kg2本（カラー付）

ダンベルセット ダンベル ラバータイプ		
20kgセット	9,500円→	6,000円
30kgセット	13,500円→	8,000円
40kgセット	17,500円→	10,000円
50kgセット	21,500円→	12,500円
60kgセット	25,000円→	14,500円

ダンベルシャフト2.5kg2本（カラー付）

エリートマッスル

特別価格 68,000円

フィットネスクラブにあるマシンの負担方式と同じウェイトスタック方式を採用。

- ウェイトスタック方式は、油圧シリンダー方式にくらべ負担がつねに一定なので、効率の高いトレーニングが可能です。
- ラバーウェイトは、ラバーの経年劣化があるため、また油圧シリンダーは、パッキン等の機械的消耗があるためにフィットネス・クラブではほとんどつかわれておらず、ウェイトスタック方式が採用されています。
- トレーニングによって発生する音をミニマムにおさえた低音設計。
- ウェイトの重さを微調整することができ、使う方の筋力に合わせたトレーニングが可能です。

9段階調節。

サイズ:(W)約110cm×(L)約112cm×(H)約198cm
重量:約116kg ※約畳半帖分（組立式キット商品）

1.ベンチプレス
2.クローズグリップ・ベンチプレス
3.ラット・プルダウン
4.ストレートアーム・プルダウン
5.バタフライ
6.レッグ・エクステンション
7.レッグカール
8.ダンベル・サイドレイズ
9.ダンベル・カール
10.ショルダー・プレス
11.リヤ・レッグレイズ
12.アブドミナル・クランチ
13.スクワット
14.ベントオーバー・ダンベルロー
15.トライセプスリヤー
16.クロスオーバー・ダンベルロー
17.サイド・レッグレイズ
18.ホリゾンタル・バーロイング

その他応用トレーニング多数可能。あなたも自宅で本格トレーニングをしてみませんか?

①
②
③

パンチング
グローブ
3,500円

サンドバッグ・ハードタイプ

①18,000円→10,500円 40Ø×150
②14,800円→7,500円 40Ø×130
12,800円→5,500円 40Ø×100

高級レザー

不倒神話

本物主義

40Ø×H180×土台60

スタンディングバックDX

人体感覚を徹底的に追求しました。本体内部には、
極太の鉄芯を用い強力なパンチ、キックをしっかり受け止めます。
もちろん、転倒の心配は一切ありません。

打撃部本体には、
多重構造ウレタンを使用。

高級レザー

3,9000円→24,500円

W150×D150×H150~225

シングルスタンドPRO

（サンドバック別売）パンチングボール別売 3,500円

24,800円→9,500円

フラットベンチDX+ベンチセーフティDX+バーベルラバータイプ75kgセットがついてこの価格!

当社推薦

DXセット

高さ5段階可能

60,000円→35,500円

W45×D125×H80

アブシェイプ

解説ビデオ付き

無理なく腹筋を鍛えることができ、腰痛予防にも効果的です!

12,800円→8.500円

商品お持ち帰りOK!!送料無料(詳しくはTELにて)
ご注文はTEL・FAX・ハガキにて 通販OK
※FAX・ハガキでご注文される方は住所・氏名・電話番号を必ず明記して下さい。

TEL／06-6706-4411
FAX／06-6706-4412
受付／AM9：00~PM9：00
株式会社
ファイティングロード
〒547-0011 大阪市平野区長吉出戸1丁目7-6

FIGHTING ROAD

便利なクレジットカードもご利用OK!

VISA MasterCard JCB

●受注後スピード配送!（但し、地域により異なります）●代金は商品到着後、配達員にお支払い下さい。
●受付時間AM9:00~PM9:00（年中無休）●表示価格には消費税・送料は含まれておりません。
●返品、交換は未開封に限り、到着後7日以内にて（送料はお客様負担になります。）
●改良の為、予告なく色・形状が変わる事があります。●全商品に生産物賠償保険付

信頼のブランド

グランドバーゲン

はっきり言って早い者勝ちです!!

45% OFF〜

モデルプロフィール
仲田　健

有名プロ・アマ選手の専属トレーナーとして活躍。
●高田道場　高田延彦　元トレーナー
●立命館大学アメリカンフットボール部ストレングスコーチ
●現役プロ野球選手トレーナー

NEW

スクリュー式ダンベルシャフト

バーベルセット ウエイトグローブ スクワットパット プレゼント!

ダンベルセット ウエイトグローブ プレゼント!

ブラックタイプ

バーベルセット

バーベル ブラックタイプ		
35kgセット	12,000円 ➡	7,000円
55kgセット	17,000円 ➡	10,000円
75kgセット	22,000円 ➡	13,500円
105kgセット	29,500円 ➡	17,500円
145kgセット	39,000円 ➡	23,500円

バーベルシャフト10kg1本（カラー付）
ダンベルシャフト2.5kg2本（カラー付）

ダンベルセット

ダンベル ブラックタイプ		
20kgセット	7,000円 ➡	4,500円
30kgセット	9,500円 ➡	6,000円
40kgセット	12,000円 ➡	7,500円
50kgセット	14,000円 ➡	8,500円
60kgセット	16,500円 ➡	11,000円

ダンベルシャフト2.5kg2本（カラー付）

プレート ブラックタイプ

重量	価格	重量	価格
1.25kg	300円	10.0kg	2,400円
2.5kg	600円	15.0kg	3,600円
5.0kg	1,200円	20.0kg	4,800円
7.5kg	1,800円		

シャフト

ダンベルシャフト（カラー付）	2,000円

当社推薦

ハードベンチ+ベンチセーフティDX+バーベルラバータイプ75kgセットがついてこの価格!

W110×D126×H85〜105

DXセットII
高さ5段階可能
65,000円 ➡ 37,500円

W90×D137×H205
キングスセット（プレートセット別売）
ラット運動によるショルダー部の集中強化によりパンチ力強化、持久力が備わります!
40,000円 ➡ 19,500円

W90×D195×H205
キングスセットDX
プロスクワット台付（プレートセット別売）
58,000円 ➡ 28,500円

W72×D146×H130〜170
ハードベンチDX
スクワット台付（プレートセット別売）
35,000円 ➡ 18,500円

W72×D146×H130〜170
トレーニングベンチDX
スクワット台付（プレートセット別売）
27,000円 ➡ 12,500円

W90×D137×H100〜130
キングofベンチ
（プレートセット別売）
35,000円 ➡ 14,500円

W90×D195×H120〜160
キングofベンチDX
プロスクワット台付（プレートセット別売）
53,000円 ➡ 23,500円

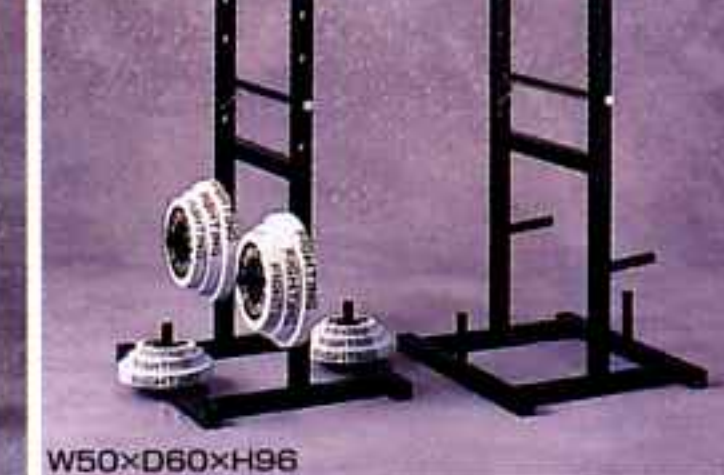
W62×D126×H85〜105
ハードベンチ（プレートセット別売）
ワンタッチでシットアップベンチ。折りたたみが可能!
20,000円 ➡ 9,500円

W52×D126×H100
トレーニングベンチ（プレートセット別売）
安定感抜群のベンチプレス台
12,000円 ➡ 6,500円

キングスセット　キングofベンチ トレーニング例
ベンチプレスを筆頭に数種類もの運動が可能。安定感・耐久性共にバツグン!

スクワットパット 2,000円

ウエイトグローブ 3,000円

W30×D123×H40
フラットベンチPRO
極太パイプを使用抜群の安定感!
10,000円 ➡ 4,500円

W50×D60×H96
セイフティーガード（プレート別売）
安全にベンチプレス運動ができプレートの収納ができます!
（フラットベンチとセットでご使用されると最適です）
25,000円 ➡ 13,500円

W90×D60×H120〜160
プロスクワット台
（プレートセット別売）
18,000円 ➡ 9,500円

格闘家入場テーマ曲 着メロコレクション

FIGHTER'S MUSIC on ケータイ

vol.16

辰吉丈一郎

GAME OF DEATH～辰吉丈一郎のテーマ～
(『Joe　挑戦し続ける男/辰吉丈一郎』に収録)

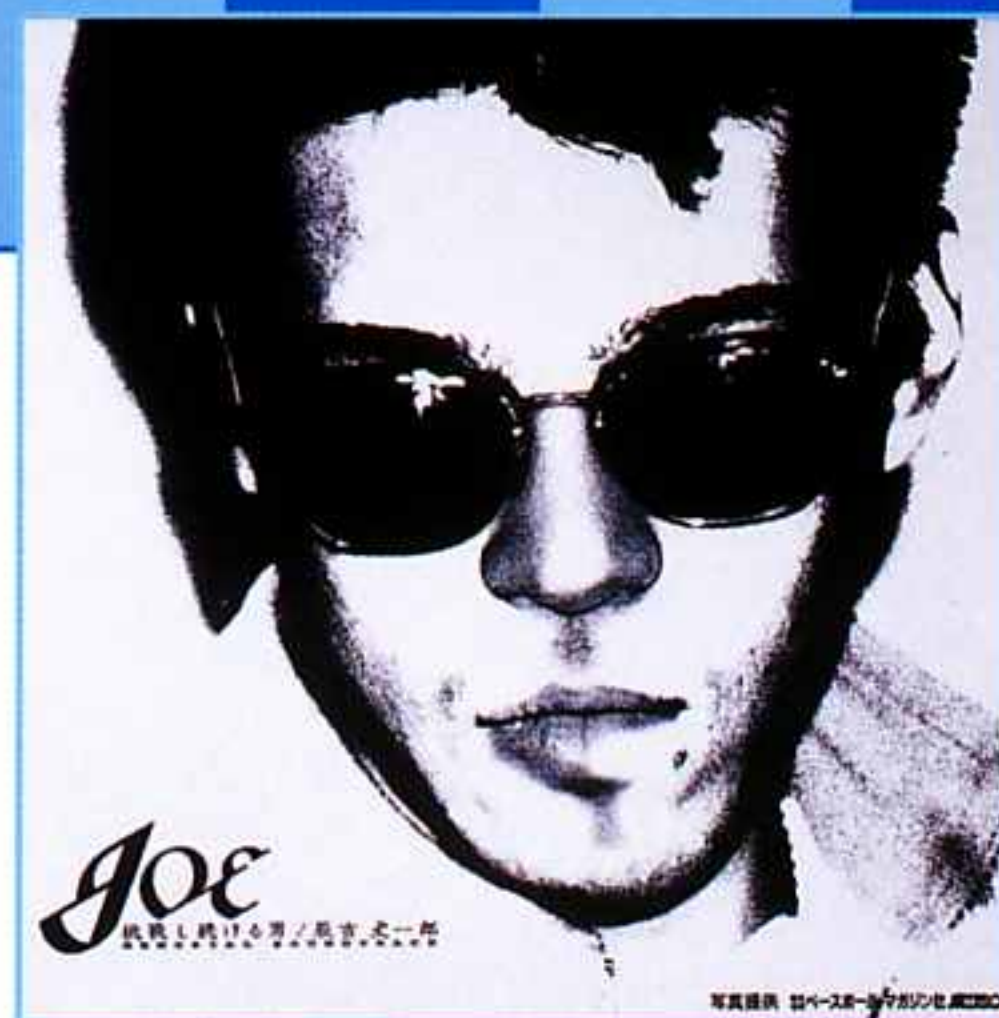
さあ、今回の着メロは、辰吉丈一郎のテーマ曲『GAME OF DEATH』だ！　90年代を代表する名ボクサー、記録以上に記憶に残る男・辰吉！　そのテーマ曲は、かなり物騒なタイトルだが、常に悲壮感を背負いながらリングに上がり続けた辰吉には、バツグンに似合う。薬師寺戦、シリモンコン戦、ウィラポン戦。何度、ファンはこの曲で涙したことか。CD『Joe　挑戦し続ける男/辰吉丈一郎』を買って、もう一回泣け！

対応機種タイプ

Type. 1
DoCoMo／P206、P205、P156
J-PHONE／DP145
IDO／521G、521GⅡ
Tu-Ka／TH081
デジタルツーカー／P3
セルラー／HD60P、HD61P

Type. 2
DoCoMo／P207、P157、P601ev
J-PHONE／J-P01　IDO／531G
Tu-Ka／TH091
デジタルツーカー／P4　セルラー／D101P

Type. 3
DoCoMo／D207、D207S、D501i
J-PHONE／J-D01
Tu-Ka／TH48s、THZ41、THZ43
デジタルツーカー／D4

Type. 4
IDO／529G、526G
Tu-Ka／TH181、TH18K、TH18S
セルラー／HD60K、HD61K、D201K、D202K

『Joe　挑戦し続ける男/辰吉丈一郎』
ポリスターより3,000円（税込）で発売中！

TYPE 1

1 1 1 0 0 0 0 0 4 0 5 5
0 0 0 0 0 1 0 4 0 0 0 0
0 0 0

TYPE 3

1 9 1(×7) 0(×4) 4 9(×2) 4(×3) 5 8 5(×7) 0(×4) 1
8 1(×3) 4(×8) 0(×8) 1 9 1(×7) 0(×4) 4 9(×2) 4(×3) 5
8 5(×7) 0(×4) 1 8 1(×3) 4(×8) 0(×8) 1 9 1(×7) 0(×6)
6 9(×2) 8 6(×3) 1 9 1(×7) 0(×8) 1(×8) 0(×6) 6 9(×2)
8 6(×3) 1 9 1(×7) 0(×8)

TYPE 2

1(×5) *(×4) 0 4 5(×2) *(×4) 0 1 4 *(×4) 0 *(×4)
1(×5) *(×4) 0 4 5(×2) *(×4) 0 1 4 *(×4) 0 *(×4)
1(×5) *(×4) 0 ▶ 0 * 6(×2) 1(×5) *(×4) 0 *(×4) 1(×5)
*(×4) 0 ▶ 0 * 6(×2) 1(×5) *(×4) 0 *(×4)

TYPE 4

↓(×13) 0(×3) # 0(×2) # ↑(×7) 0 # ↑(×10) 0(×3) # 0(×2)
↑(×2) 0 # ↑(×7) 0(×3) # 0(×2) # 0(×2) # ↓(×13)
0(×3) # 0(×2) # ↑(×7) 0 # ↑(×10) 0(×3) # 0(×2) #
↑(×2) 0 # ↑(×7) 0(×3) # 0(×2) # 0(×2) # ↓(×13) 0(×3)
0(×2) # 0 # ↑(×12) 0 # ↓(×13) 0(×3) # 0(×2)
0(×2) # ↓(×13) 0(×3) # 0(×2) # 0 # ↑(×12) 0
↓(×13) 0(×3) # 0(×2) # 0(×2)

OTHERS

Type. 1～4までの機種以外を使っている方は、この表を元に、それぞれの機種に応じて入力してください。表の見方は次の通りです。
ド↑…1オクターブ上げる
ド#…半音上げる
□…休符
また、音符・休符の横の数字は音の長さを表し、十六分音符を1として八分音符＝2、四分音符＝4と増えていきます。

ド↑8　□4　ファ4　ソ#8　□4　ド4
ファ8　□8　ド↑8　□4　ファ4　ソ#8
□4　ド4　ファ8　□8　ド↑8　□6
ラ#4　ド↑8　□8　ド↑8　□6　ラ#4
ド↑8　□8

リクエスト受付中！

このコーナーでは、「この選手のテーマ曲を着メロにしてほしい！」という読者のみなさんからのリクエストを受付中です。希望する選手とテーマ曲、住所、名前、電話番号を明記の上、

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『着メロ』係

まで、どしどしご応募ください。人気の高い曲は、どんどん紹介していく予定です。

SRSDX 3・9臨時増刊 No.16
1・30『PRIDE GP 2000』速報号
1・25『K-1 RISING 2000』長崎大会

JOE
挑戦し続ける男／辰吉丈一郎
MEMORIAL SOUNDTRACK

NOW ON SALE

会場使用入場テーマ楽曲
『GAME OF DEATH～辰吉丈一郎のテーマ～』
PSCR-5834 ¥3.000（税込）オリジナルヴァージョン完全収録

[辰吉丈一郎キャンペーン開催！] 下記の"辰吉丈一郎・応援店"にて当CDをお買いあげのお客様に抽選で素敵なプレゼントが当たります。

<景品>
1等 辰吉本人使用練習用ボクシンググローブ（1名）
2等 辰吉丈一郎等身大ポップキット（10名）
3等 サイン入りポスター（20名）

応募方法 ..... 下記の"辰吉丈一郎応援店"にて当CDをご購入された際に貰った応募ハガキに必要事項を書き込んで送ってください。厳正な抽選で上記の豪華グッズが当たります。尚、当選者の結果は発送をもってかえさせて頂きます。（応募〆切・2000年3月末日必着）

辰吉丈一郎・応援店 ●北海道地区 <札幌>キクヤ、タワーレコードPivot、タワーレコードプリヴィ、PALS 21 ●東北地区 <青森>（株）日弘楽器 ●関東甲信越地区 <東京>銀座山野楽器本店、タワーレコード渋谷店、SHIBUYA TSUTAYA、新星堂新宿靖国通り店、新星堂大森店、タワーレコード新宿店、新宿TSUTAYA、TSUTAYA旗の台店、TSUTAYA三軒茶屋店、TSUTAYA東村山店 <千葉>TSUTAYA富里店<埼玉>TSUTAYA春日部店 <栃木>TSUTAYA横田店、ビッグワンTSUTAYA氏家店 <長野>ライオン堂、TSUTAYA南松本店 ●中部地区 <愛知> ヤマギワソフトメルサ店、ヤマギワソフトナディアパーク<静岡>TSUTAYA中原店 <富山>文苑堂TSUTAYA熊野店 ●近畿地区 <大阪>TSUTAYA梅田堂山店、TSUTAYA東香里店、ワルツ堂京阪モール店、ワルツ堂くずはモール店、ヤマギワ大阪店、HMV阿倍野、HMV天満橋、ミヤコ心斎橋店 <京都>TSUTAYA西院店、JEUGIA四条、ビーバー京極店 ●中国地区 <広島>サウンドメガ

写真提供 ベースボール・マガジン社 ボクシングマガジン

POLYSTAR CO.LTD

定価680円 本体648円
雑誌21586-3/9
Ⓛ-2000.4/13
T1121586030683
Printed in Japan